# 吉野町館跡遺跡

県営ほ場整備事業豊科南部地区に係る

埋蔵文化財発掘調査報告書

1992. 3

豊科町教育委員会

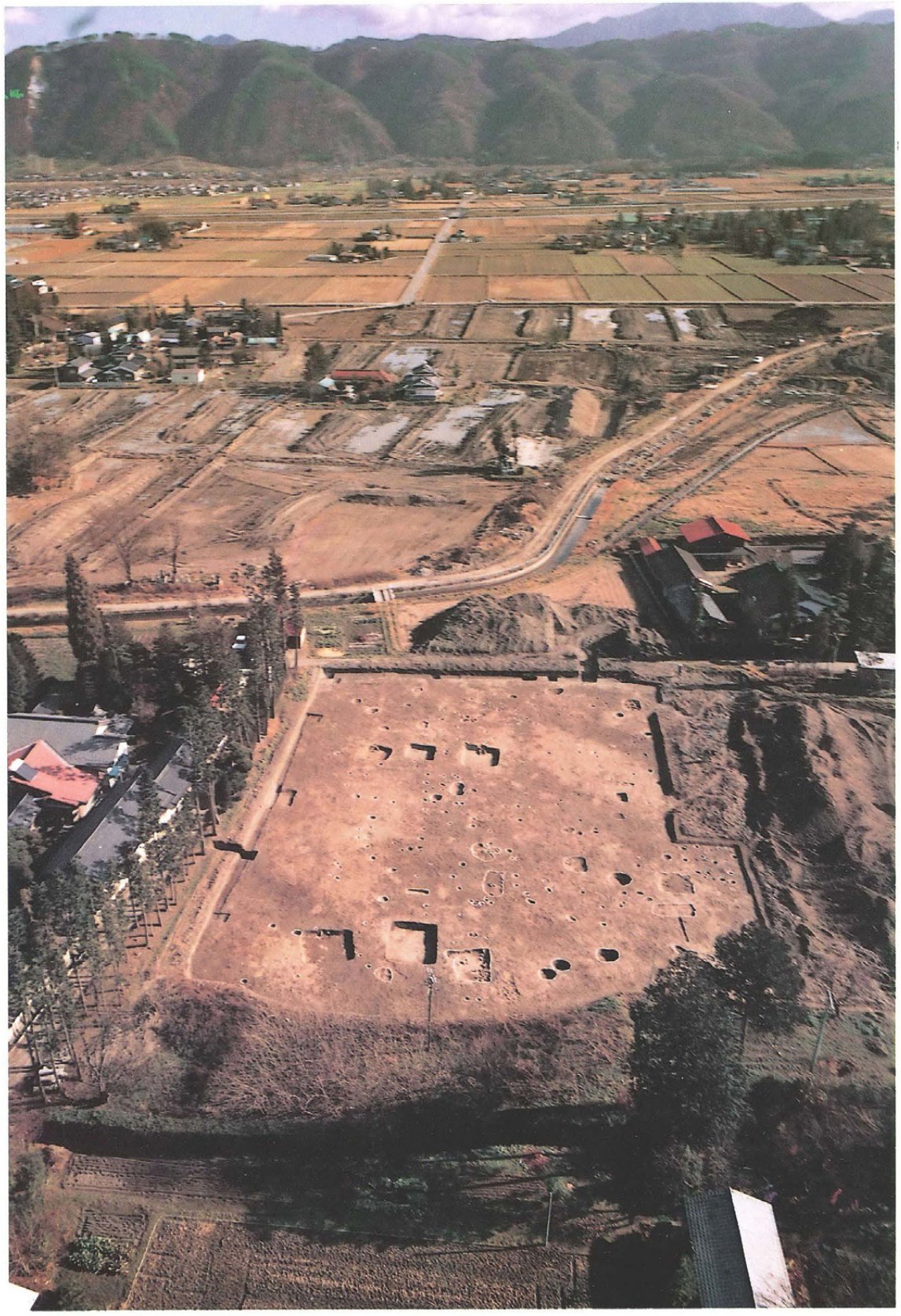
# 吉野町館跡遺跡

県営ほ場整備事業豊科南部地区に係る

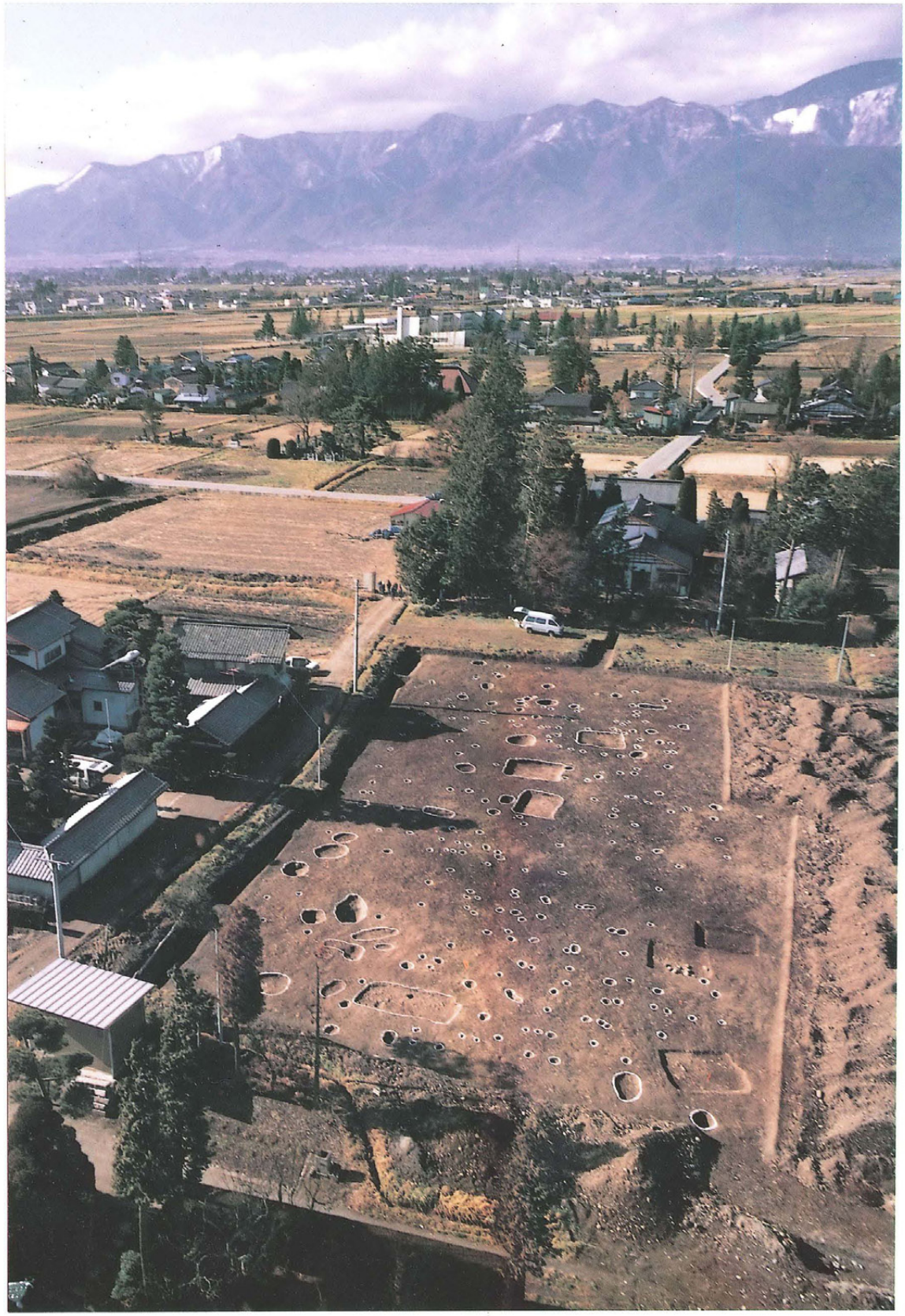
埋蔵文化財発掘調査報告書

1992. 3

豊科町教育委員会

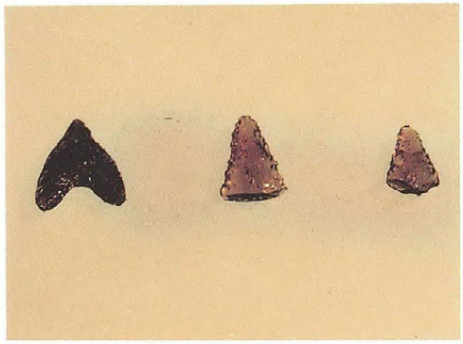


吉野町館跡遺跡（調査地北半、西上空より）

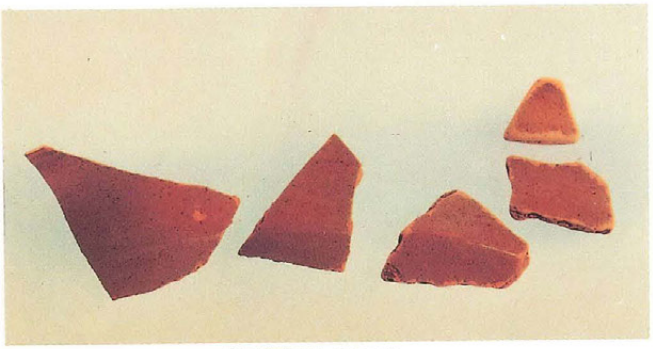


吉野町館跡遺跡（調査地南半、東上空より）

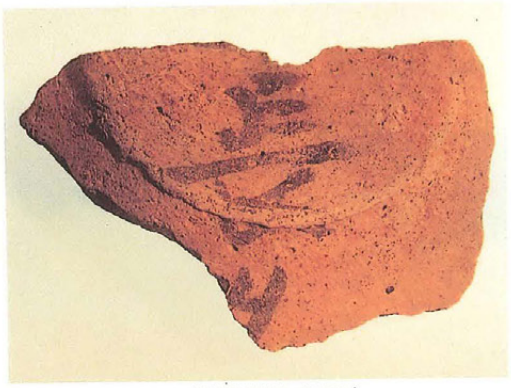
吉野町館跡遺跡全景（北半調査中）



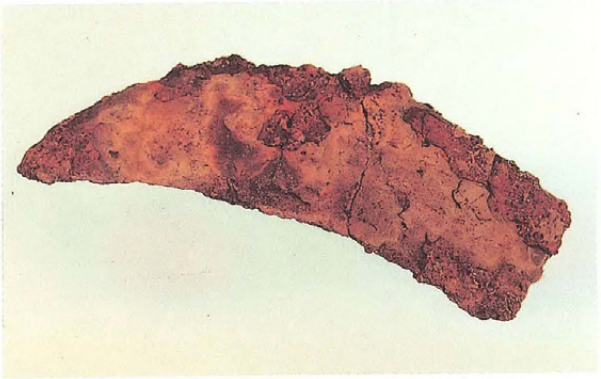
石 鏃



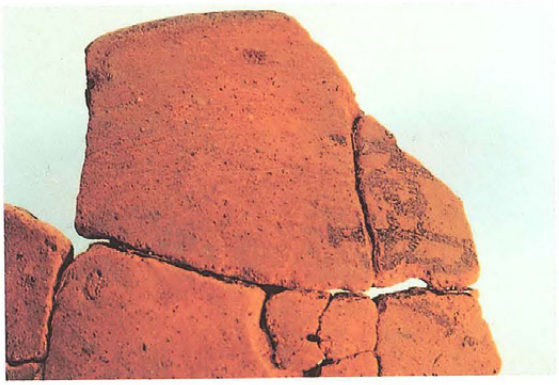
緑釉陶器（SB6）



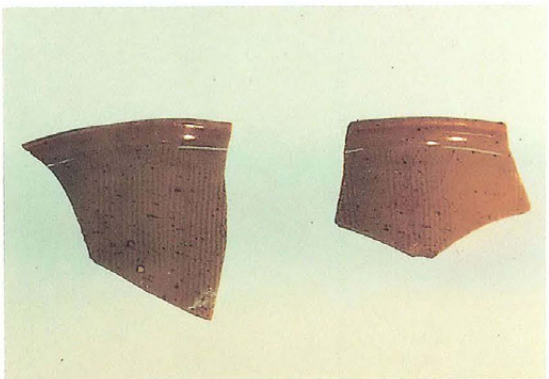
墨書土器（SB2）



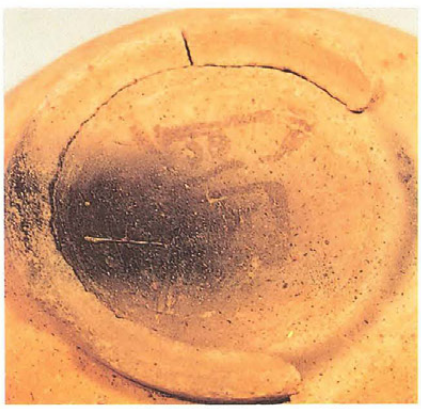
鎌（SB2）



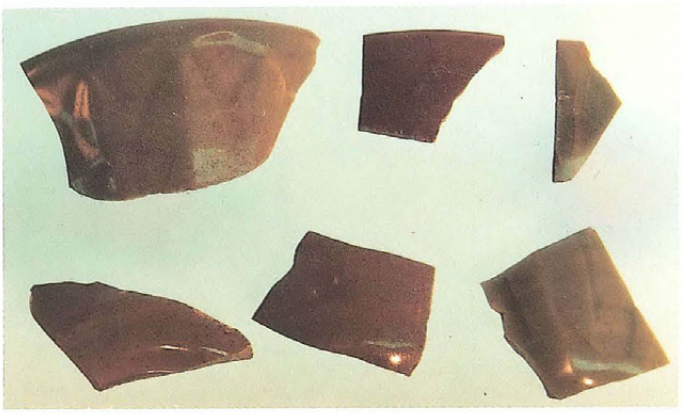
墨書土器（SB2－22）



白 磁



墨書土器（SB8－92）



青 磁

# 序

吉野町館跡遺跡は今から約400年前に築かれたとされる館の跡です。周囲を堀と土塁という施設で囲んだ立派な館で、吉野町の町並みもこのころ形成されたと言われています。

しかし、その館も長い年月を経て荒廃し、土に埋まり、やがて水田へと姿を変えてきました。そして、今またほ場整備事業によってその景観も大きく変わろうとしています。今回の発掘調査は、その事業の前に、「館跡」という私たちの郷土を築いてきた先人の生活のあとを明らかにするために、平成2年の秋から冬にかけて実施したものです。

その結果、新たに古代の集落を確認するなど後述するような成果をあげることができました。それらは今後の文化財保護と地域の歴史の解明に役立つことでしょう。

ここに調査にご理解とご協力をいただきました松本地方事務所を初めとする関係機関の皆様に対し、深甚の敬意と感謝を申し上げます。

平成4年3月

豊科町教育委員会

教育長　小　幡　正　行

# 例　　言

1　本書は平成２年10月15日から12月27日に実施した、長野県南安曇郡豊科町大字豊科3043番地　吉野町館跡遺跡の緊急発掘調査の報告書である。

2　本調査は松本地方事務所より委託を受け、豊科町教育委員会が実施した。

3　調査の記録にあたっては、古澤測量設計事務所に委託して設定した新平面座標系Ⅷによる測量座標を用いた。

4　本書の作成にかかわる図面、遺物整理等の作業の分担は第１章に記した。

5　本書の編集は、事務局が行なった。執筆は第２章第２節を森義直が、他は山田真一が担当した。

6　註、引用文献、参考文献等は各章末に一括掲載した。

7　遺物実測図のうち、古代土器の種類は次のように表した。

須恵器　 　土師器　 　黒色土器（内面黒色処理）　

灰釉陶器　

また、中世以降の陶磁器については次のように（土器は断面を白抜きで）表した。

陶器　 　磁器　 　釉（灰釉）　

釉（鉄釉）　 　釉（長石釉）　 　釉（錆釉）　

8　調査地の航空写真は、写真測図研究所に委託して撮影した。

9　出土遺物及び図類は豊科町教育委員会が保管している。

# 目　　次


第1章　調査の経緯と方法 …… 1
　第1節　調査に至る経緯 …… 1
　第2節　調査体制 …… 2
　第3節　調査の方法 …… 3
　第4節　調査経過 …… 4
第2章　遺跡の立地と歴史的環境 …… 9
　第1節　遺跡の位置 …… 9
　第2節　地形と地質 …… 9
　第3節　歴史的環境 …… 12
第3章　調査の結果 …… 17
　第1節　調査の概要 …… 17
　第2節　遺構 …… 17
　　1　竪穴住居址 …… 17
　　2　土坑 …… 29
　　3　堀 …… 56
　　4　土塁 …… 57
　第3節　遺物 …… 61
　　1　土器・陶磁器 …… 61
　　(1)　古代の土器 …… 61
　　(2)　中世以降の土器・陶磁器 …… 63
　　(3)　遺構出土の土器 …… 66
　　2　鉄器・金属製品 …… 69
　　3　銭貨 …… 70
　　4　石器・石製品 …… 70
第4章　調査のまとめ …… 71

# 挿 図 目 次


挿図1　遺跡の位置 …… 8
挿図2　調査地の位置 …… 11
挿図3　周辺の遺跡 …… 13
挿図4　吉野町館跡地籍図 …… 15
挿図5　SB1実測図 …… 18
挿図6　SB2遺物出土状況図 …… 20
挿図7　SB2実測図 …… 21
挿図8　SB6礫等出土状況図・実測図 …… 22
挿図9　SB7礫等出土状況図 …… 23
挿図10　SB7実測図 …… 24
挿図11　SB8遺物出土状況図 …… 25
挿図12　SB8実測図 …… 26
挿図13　SB9実測図 …… 27
挿図14　SB10実測図 …… 28
挿図15　SB11実測図 …… 29
挿図16　土坑規模相関図 …… 30
挿図17　SB3実測図 …… 31
挿図18　SB4実測図 …… 32
挿図19　SB5・SB12実測図 …… 33
挿図20　SK1・SK2・SK3・SK4・SK5・SK78実測図 …… 35
挿図21　SK6・SK7・SK8・SK9実測図 …… 37
挿図22　SK11・SK12・SK13・SK19・SK20・SK24実測図 …… 39
挿図23　SK25・SK26・SK29・SK30・SK31・SK32・SK33実測図 …… 42
挿図24　SK35・SK38・SK39・SK40・SK41・SK42実測図 …… 44
挿図25　SK215・SK301・SK308・SK310・SK312・SK328実測図 …… 46
挿図26　SK339・SK355・SK361・SK374・SK383実測図 …… 49
挿図27　SK385・SK400・SK401・SK402実測図 …… 51
挿図28　SK433・SK450・SK452・SK454・SK500実測図 …… 53
挿図29　SK501・SK505・SK510・SK511・SK512実測図 …… 55
挿図30　SK521・SK547実測図 …… 56
挿図31　堀・土塁実測地点 …… 58
挿図32　堀・土塁実測図 (1) …… 59
挿図33　堀・土塁実測図 (2) …… 60
挿図34　SB1出土須恵器坏ヘラ記号 …… 67
挿図35　文字関係資料（墨書土器・転用硯） …… 69
挿図36　柱列組み図 …… 73

# 表　目　次

表１　町内の城館跡 …… 14
表２　SB1出土土器構成表 …… 66
表３　SB2出土土器構成表 …… 67
表４　SB6出土土器構成表 …… 67
表５　SB7出土土器構成表 …… 68
表６　SB8出土土器構成表 …… 68
付表１　土坑一覧表 …… 77
付表２　出土土器・陶磁器観察表 …… 95
付表３　鉄器・金属製品一覧表 …… 106
付表４　銭貨一覧表 …… 106
付表５　石器・石製品一覧表 …… 107

# 図　版　目　次

カラー図版１　吉野町館跡遺跡（調査地北半，西上空より）
カラー図版２　吉野町館跡遺跡（調査地南半，東上空より）
カラー図版３　吉野町館跡遺跡全景（北半調査中）
カラー図版４　石鏃，墨書土器，緑釉陶器，鎌，白磁，青磁
図版１　調査地全体図
図版２　遺構図 (1)
図版３　遺構図 (2)
図版４　遺構図 (3)
図版５　遺構図 (4)
図版６　遺構図 (5)
図版７　遺構図 (6)
図版８　遺構図 (7)
図版９　遺構図 (8)
図版10　遺構図 (9)
図版11　遺構図 (10)
図版12　遺構図 (11)
図版13　遺構図 (12)
図版14　遺構図 (13)
図版15　遺構図 (14)
図版16　遺構図 (15)
図版17　遺構図 (16)
図版18　遺構図 (17)
図版19　遺構図 (18)

図版20　遺物実測図（土器：SB1，SB2）
図版21　遺物実測図（土器：SB2）
図版22　遺物実測図（土器：SB6，SB7）
図版23　遺物実測図（土器：SB7，SB8）
図版24　遺物実測図（土器：SB8）
図版25　遺物実測図（土器：SB8，SB9，SB10，SB11）
図版26　遺物実測図（土器・陶磁器：SB11，SB3，SB4，SB12，SK3）
図版27　遺物実測図（土器・陶磁器：SK6，SK11，SK12，SK13，SK24，SK25，SK51，SK61，SK67，SK269，SK296，SK297，SK298，SK355，SK361）
図版28　遺物実測図（土器・陶磁器：SK385，SK400，SK456，SK500，SK512，堀（東側），堀（南側））
図版29　遺物実測図（土器・陶磁器：堀（東側），遺構外）
図版30　遺物実測図（土器・陶磁器：遺構外，銭貨，鉄器，金属製品）
図版31　遺物実測図（石器・石製品）
図版32　遺物実測図（石器・石製品）
図版33　西上空より（調査地北半，1　平瀬城，2　上ノ山窯跡群）
図版34　東上空より（調査地南半，背後に吉野町の町並みが見える）
図版35　二の郭西側の矢竹・調査地北側（右奥が調査地，堀と土塁を彷彿させる）
図版36　堀跡（本郭西側）・熊野権現社（西より）
図版37　調査地全景
図版38　調査地北半・調査地南半
図版39　SB1・SB1　カマド
図版40　SB2　遺物等出土状況・SB2
図版41　SB6　礫等出土状況・SB6
図版42　SB7・SB8　遺物等出土状況
図版43　SB8　カマド・SB8
図版44　SB9・SB10
図版45　SB11・SB11　カマド
図版46　堀（北側）・堀（東側）
図版47　SB3，SB5，SK2，SK6，SK24，SK328，SK383（手前）・SK385，SK374
図版48　SB1・SB2出土土器
図版49　SB2・SB6出土土器
図版50　SB7・SB8出土土器
図版51　SB8・SB9・SB10・SB11・土坑出土土器・陶器
図版52　土器・陶磁器，銭貨，石器・石製品

# 第１章　調査の経緯と方法

## 第１節　調査に至る経緯

本調査は県営ほ場整備事業豊科南部地区に伴う緊急発掘調査で、事業の主体者は長野県松本地方事務所である。事業は豊科町の中南部に位置し一級河川梓川及び犀川左岸に展開する水田地帯においてほ場整備を計画し、高性能農業機械の有効利用、水田の汎用化、農地の集団化を図り、労力の節減、作物の品質向上等、総合的改善を期することを目的としている。事業総面積は　387.8haで　平成２年度から着手された。

事業の開始にあたり、区域内の埋蔵文化財の保護について、事業者・長野県教育委員会・豊科町役場耕地課・豊科町教育委員会が参加して協議がもたれた。その結果、平成２年度は吉野町館跡遺跡に工事の影響が及ぶため、その発掘調査を実施することとなった。調査は平成元年11月の試掘調査を経て、平成２年10月から12月にかけて実施された。翌年１月から整理作業を本格的に開始し、平成３年度にその報告書を作成した。

なお、本調査は平成２年度及び３年度の国宝重要文化財等保存整備費補助事業（国庫）、文化財保護事業（県費）として行なわれた。その文書記録は以下のとおりである。

平成元年９月８日　平成２年度県営ほ場整備事業豊科南部地区に係る埋蔵文化財保護協議を豊科町公民館及び現地にて開催
11月20～27日　吉野町館跡遺跡試掘調査を実施（豊科町教育委員会）
12月８日　平成２年度県営ほ場整備事業豊科南部地区に係る埋蔵文化財保護協議を豊科町公民館及び現地にて開催
12月25日　平成２年度文化財関係補助事業計画書提出
平成２年４月４日　平成２年度国宝重要文化財等保存整備費補助事業計画内定（通知）
平成２年度文化財保護事業県費補助金の内示（通知）
６月１日　平成２年度国宝重要文化財等保存整備費補助金交付申請書提出
７月24日　平成２年度国宝重要文化財等保存整備費補助金交付決定（通知）
８月10日　平成２年度文化財保護事業県費補助金交付申請書提出
９月17日　埋蔵文化財（吉野町館跡遺跡）発掘調査の通知提出

10月１日　平成２年度県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財包蔵地発掘調査委託契約を結ぶ

10月12日　平成２年度文化財保護事業県費補助金交付決定（通知）

12月27日　埋蔵文化財（吉野町館跡遺跡）発掘調査終了届・埋蔵文化財拾得届・同保管証提出

平成３年１月11日　平成３年度文化財関係補助事業計画書提出

２月４日　吉野町館跡遺跡埋蔵物の文化財認定通知

３月25日　平成２年度県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財包蔵地発掘調査実績報告書提出

３月30日　平成２年度国宝重要文化財等保存整備費補助事業・平成２年度文化財保護事業（県費）実績報告書提出

３月31日　平成２年度文化財保護事業県費補助金額の確定

４月10日　平成２年度国宝重要文化財等保存整備費補助金額の確定

４月15日　平成３年度国宝重要文化財等保存整備費補助事業計画内定（通知）

５月10日　平成３年度国宝重要文化財等保存整備費補助金交付申請書提出

５月20日　平成３年度県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財包蔵地発掘調査委託契約を結ぶ

平成３年度事業着手

９月11日　平成３年度国宝重要文化財等保存整備費補助金交付決定（通知）

９月26日　平成３年度文化財保護事業県費補助金交付申請書提出

10月15日　平成３年度文化財保護事業県費補助金交付決定（通知）

## 第２節　調査体制

**調査主体**　豊科町教育委員会

**調査担当**　山田真一（豊科町教育委員会社会教育課）

**調 査 員**　森　義直（大町高等学校）

百瀬新治（豊科東小学校）

**作業参加者**　飯沼定計、奥村隆雄、奥村美栄子、熊井秋実、熊井かつ江、熊井貞義、熊井孝子、熊井貞四郎、熊井徹朗、小林武夫、手塚秀子、古瀬操、堀井鉄造、丸山倫子、山田治実、山田昌子、山水美知子

**事　務　局**　豊科町教育委員会社会教育課社会教育係　二木義照（社会教育課長　～H 3．6.30）　丸山幸安（社会教育課長　H 3.7.1～）等々力政文（社会教育係長）赤沢重輝、宮沢佐多子、宮沢万茂留、野本岳洋、小川正弘

## 第3節　調査の方法

吉野町館跡遺跡は、主に地籍図からの研究と、堀及び土塁と推定される遺構の存在によりその位置が知られてきた。

今回、工事が館跡本郭と予想される地域に及ぶにあたり、まず、試掘調査を実施し遺構の存在と土層の状況を確認した（平成元年）。

本調査は稲の刈取りを待って開始した。本郭のほぼ全域が対象となることから、その様相を明らかにすること。また、いつ、誰によって築造されたかが不明であることから、その手がかりを得ることを目標にした。調査は、調査地外への排土の移動が限られたため調査地内で土の移動をし、まず北半を、次いで南半の順に実施した。

試掘調査の際、礫層まで安定した面が存在しないことが確認されていたのでその直上を検出面ととらえた。表土は重機で剥ぎ、検出は人力で行なった。

遺構には検出順に竪穴住居址にSB、土坑にはSKの記号を冠し通し番号を付けていった。SKを付した中には掘立柱建物を構成する柱穴とみられるものがあり、これらはまとめてSTの記号を付した。遺構名は現場での調査終了後に整理し、変更したり追加したものもある。掘り下げは四分割し、その土手で土層を観察する方法を基本に、適宜応用して実施した。また、堀部分の調査についてはその底までは工事によって破壊されないとの判断から、一部、トレンチ法を採用し、上面の調査にとどめた部分もある。

測量は委託設定した国土座標に基づき1／20で行ない、必要に応じて1／10等大縮尺で行なった。写真はモノクロネガとカラースライドを使用し、その他にカラーネガでも撮影をしている。また、館の全容を明らかにするため航空写真を委託して撮影した。

調査記録は主に次の者が担当した。

**遺　構　測　量**　奥村美栄子、熊井秋実、熊井かつ江、熊井孝子、手塚秀子、古瀬

操、丸山倫子、山田昌子、山水美知子、山田真一

**遺物復元**　飯沼定計、奥村美栄子、熊井秋実、熊井かつ江、小林武夫、手塚秀子、山田昌子、山水美知子

**遺物実測**　手塚秀子、山水美知子、山田真一

**遺構トレース**　手塚秀子、山水美知子

**遺物トレース**　山水美知子

**遺構・遺物写真**　山田真一

調査中は以下の方々、ならびに諸機関からご指導、ご協力いただいた。記して謝意を表したい。

会田進　市川隆之　伊藤和明　小穴喜一　小穴芳実　大沢哲　河西克造　神沢昌二郎　桐原健　熊井章夫　熊井健治　熊井康夫　熊谷康治　児玉卓文　小林富雄　小松望　塩原久和　島田哲男　関沢聡　鳥羽嘉彦　直井雅尚　中野次男　中野正實　野村一寿　原明芳　樋口昇一　平林彰　平林秀一　福田明男　降旗俊行　三村竜一　山下泰永　山田和之　吉野区

## 第4節　調査経過

調査の経過は以下の作業日誌に記したとおりである。

平成2年10月15日(月)　曇　調査地にプレハブ・トイレを設置。

10月16日(火)　晴　器材等搬入。調査員会議、作業説明会開催。

10月17日(水)　晴　バックホー・ブルドーザーにより調査地の雑物を除去する。

10月18日(木)　晴　バックホー・ブルドーザーにより水田耕土を除去（東側の田へ）。

10月19日(金)　晴　引き続き水田耕土を除去、午後からは表土剥ぎを行なう。

10月20日(土)　晴　バックホー・ブルドーザーにより表土剥ぎを行なう。土師器・須恵器・灰釉陶器が出土し、平安時代の遺構の存在を予想させる。

10月22日(月)　晴　引き続きバックホー・ブルドーザーにより表土剥ぎを行なう。本日より検出作業を開始する（北西隅から）。

10月23日(火)　晴　引き続きバックホー・ブルドーザーによる表土剥ぎ、作業員による検出を行なう。

10月24日(水)　曇／晴　バックホー・ブルドーザーによる表土剥ぎを行なう。終了後、堀部分へトレンチを入れる。検出作業継続。遺構検出状況略測図を作成する。「中日新聞」取材。

10月25日(木)　曇　遺構検出状況略測図を作成。西端の遺構から掘りはじめる。

10月29日(月)　晴　引き続き西端の遺構を掘り下げる。検出面出土の遺物を取り上げ。

10月31日(水)　曇／晴　古澤測量設計事務所基準杭設定。土坑掘り下げ継続。セクション図作成。

11月1日(木)　晴　SB1他掘り下げ。土坑セクション図作成。

11月2日(金)　晴　SB1他掘り下げ。SB2再検出。土坑セクション図作成。

11月5日(月)　晴　SB1．2他掘り下げ。土坑セクション図作成。

11月6日(火)　晴　SB1．2．6掘り下げ。SB1は床面及びカマド周辺を調査。SB1・土坑のセクション図を作成する。

11月7日(水)　晴　SB1．2．6掘り下げ。SB1遺物出土状況図作成。

11月8日(木)　晴　SB2．6他掘り下げ。土坑セクション図作成。

11月9日(金)　曇　SB2他掘り下げ。SB6・土坑セクション図作成。

11月10日(土)　晴／曇　SB2他掘り下げ。土坑セクション図作成。SB5礫出土状況図作成。

11月13日(火)　晴　土坑掘り下げ。SB2他セクション図作成。

11月14日(水)　晴　SB2．7他掘り下げ。SB5礫出土状況図作成。土坑セクション図作成。

11月15日(木)　晴／曇　SB2．7他掘り下げ。SB1遺物出土状況図作成。SB8を検出。土坑セクション図作成。

11月16日(金)　晴　SB6．7他掘り下げ。SB2遺物等出土状況図作成。土坑セクション図作成。

11月17日(土)　晴　SB8他掘り下げ。SB2遺物取り上げ。SB6礫等出土状況図作成。土坑セクション図作成。

11月19日(月)　曇　SB8他掘り下げ継続。SB7セクションベルトをはずす。SB1．2床面及びカマド精査。土坑等セクション図作成。

11月20日(火)　曇　SB8他掘り下げ、セクション図を作成する。SB7カマド調査。東側堀を検出、部分的に掘り下げる。

11月21日(水)　曇／晴　SB7他掘り下げ。SB6遺物出土状況図作成。東側堀掘り下げ。遺構完掘写真撮影。南中学校一・二年生見学。「信濃毎日新聞」「市民タイムス」取材。

11月22日(木)　晴　SB8遺物出土状況図作成、写真撮影。東側堀掘り下げ。遺構完掘写真撮影。南中学校一・二年生見学。

11月24日(土)　晴　SB8出土状況図作成。調査地全域に水糸で２ｍメッシュを組み遺構平面図の作成を始める。（西側より）南小児童SB9掘り下げ。

11月26日(月)　曇　SB9掘り下げ。東側堀掘り下げ。遺構平面図作成継続。

11月27日(火)　晴　SB9セクション図作成。東側堀・北側堀部分トレンチ掘り下げ。遺構平面図作成継続。

11月29日(木)　曇時々雨　北側トレンチ掘り下げ。遺構平面図作成継続。

12月１日(土)　晴　SB9完掘。北側堀を検出、引き続き掘り下げ。遺構平面図作成継続。

12月３日(月)　晴　遺構清掃。10時30分よりラジコンヘリコプターを利用し空撮を行なう（写真測図研究所）。撮影後、住居址カマドの断ち割り、測量を行なう。SB10の掘り下げ開始。あづみ野テレビ取材。

12月４日(火)　晴　ブルドーザーにより排土の移動を行なう。西側及び東側のトレンチ（堀・土塁部分）のセクション図を作成する。北側トレンチ掘り下げ。

12月５日(水)　晴　バックホー・ブルドーザーで表土剥ぎ、検出を行なう。北側堀セクション図作成。SB10・東側堀を掘り下げる。SB1．2のカマドを断ち割る。

12月６日(木)　晴　バックホー・ブルドーザーで表土剥ぎ、検出を行なう。SB10セクション図・SB1．2のカマドセクション図作成。遺構の検出状況略測図を作成する。

12月７日(金)　晴　バックホー・ブルドーザーで表土剥ぎ、検出を行なう。遺構の検出状況略測図を作成する。西側より遺構の掘り下げを開始する。

12月８日(土)　晴　遺構（土坑）掘り下げ継続。土坑セクション図作成。古澤測量設計事務所基準杭設定。

12月10日(月)　晴　遺構（土坑）掘り下げ継続。土坑セクション図作成。古澤測量設計事務所基準杭設定。

12月11日(火)　曇　遺構（土坑）掘り下げ継続。土坑セクション図作成。古澤測量設計事務所基準杭設定。

12月12日(水)　曇　遺構（土坑）掘り下げ継続。土坑セクション図作成。

12月13日(木)　晴　調査地西側の再検出を行なう。土坑セクション図作成。

12月14日(金)　曇／晴　遺構（土坑）掘り下げ継続。土坑セクション図作成。

12月15日(土)　曇　午前中雨が残ったため作業は休み。山田　土坑セクション図作成。

12月17日(月)　晴／曇　南側堀・土坑掘り下げ。調査地全域に水糸で２ｍメッシュを組み遺構平面図の作成を始める。（西側より）

12月18日(火)　晴　南側堀掘り下げ。遺構平面図作成。教育委員視察。

12月19日(水)　晴　遺構平面図作成。東側堀掘り下げ。南小学校五年生見学、文化財調査委員視察。

12月20日(木)　晴　遺構平面図作成。東側堀掘り下げ。

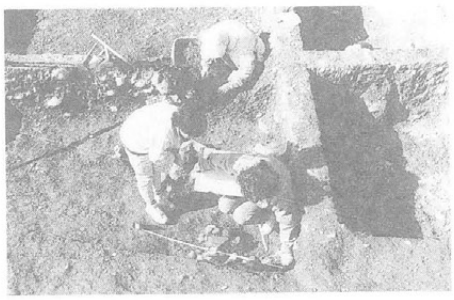
12月21日(金)　曇／晴　午前中、雨が残ったため作業中止。午後、遺構平面図作成。東側堀掘り下げ。調査地の清掃を行なう。

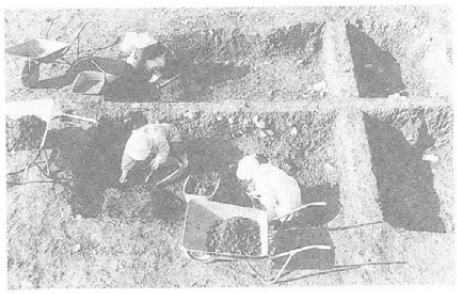
12月22日(土)　晴　午前中、写真測図研究所により空撮。午後、現地説明会を開催。終了後、SB10．11の遺物取り上げ、床面及びカマドの精査、測量を行なう。器材等撤収。

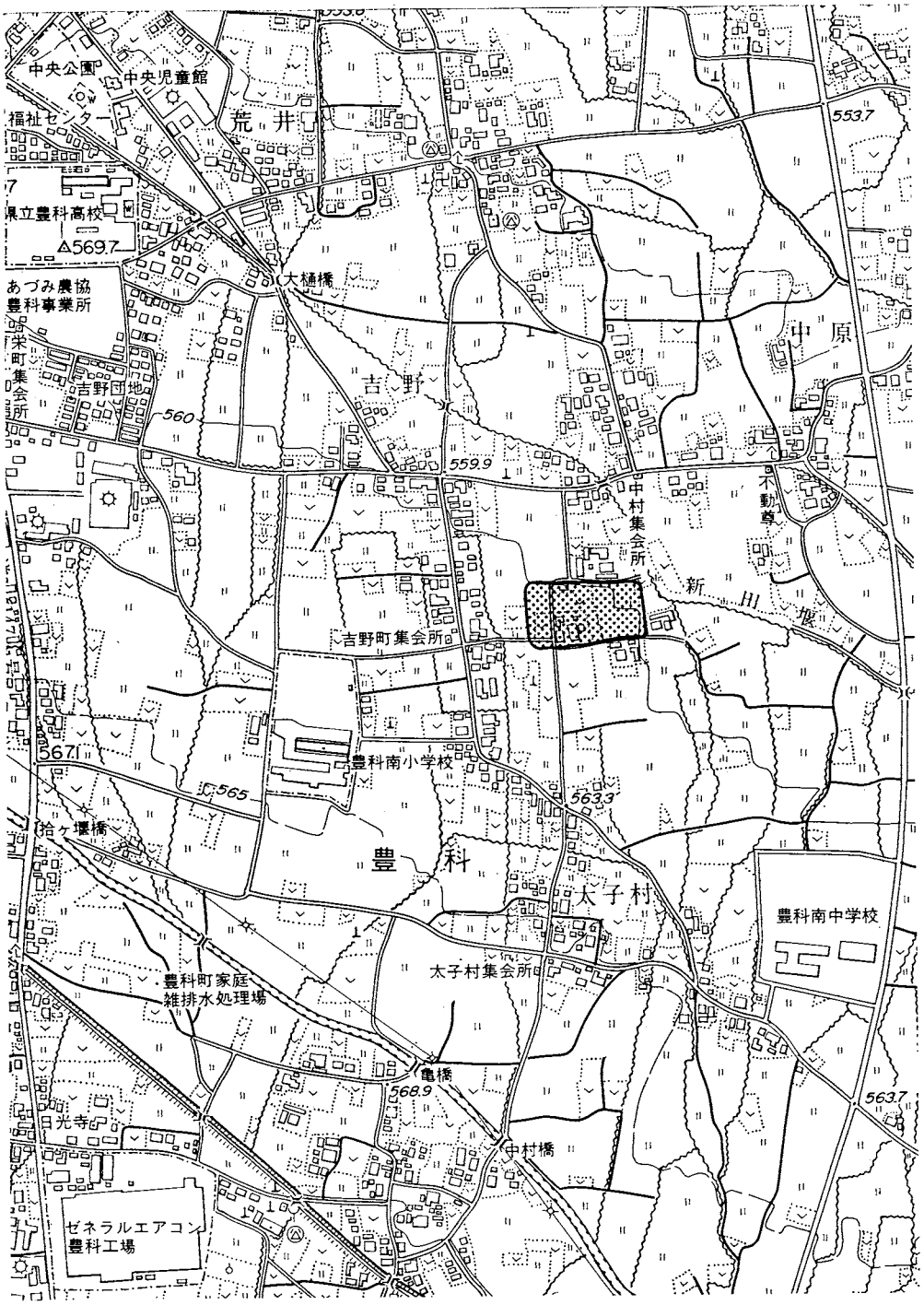
12月24日(月)　晴　発掘器材等撤収。

12月27日(木)　雪　プレハブ・トイレ等撤収。

以後、教育委員会事務局別室で整理作業を継続。平成3年度報告書（本書）作成。








挿図1　遺跡の位置（1：10,000）

# 第２章　遺跡の立地と歴史的環境

## 第１節　遺跡の位置

吉野町館跡遺跡は豊科町のほぼ中央、吉野地区に所在する。人家が散在する安曇野の典型的な風景の中に位置し、地番では豊科町大字豊科2991～3045番地周辺があたる。

遺跡周辺はほぼ平坦な地形で、地目は水田あるいは畑地となっている。西100ｍに旧松本街道に沿った吉野町の古い町並みが形成され、南100ｍには吉野神社古宮が所在する。また、東は西流する新田堰（慶長年間開削、延宝７年（1679年）改修）がこの館の手前で大きく北へ流れを変えられている。

## 第２節　地形と地質

**地形・地質の概説**　本遺跡は南北約50㎞、東西10～15㎞にかけて広がる松本盆地の中央やや北寄り、安曇野の標高557ｍの地点に位置する。松本盆地に流入する主要河川の一つである梓川により形成された大扇状地の沖積地で、梓川と奈良井川が合流して犀川となる左岸にある。

松本盆地は、更新世の中頃（およそ70万年前）の造盆地運動により、西は山麓線に沿い東もほぼ東山の山麓線に沿って南北方向に走るそれぞれ複数の大断層で陥没し、この陥没地に南から奈良井川、南西から梓川、北からは高瀬川をはじめとする大小の河川が流入し、大量の土砂を厚く堆積させ現在に至っている。盆地の西部山地は飛騨山脈の東端にあたり、地質学上は美濃帯と呼ばれる中・古生層と中生代末の花こう岩類より成り、上記断層帯の他、それに雁行する幾本かの断層により、急傾斜をなして盆地と接している。これらの山地を侵食して運ばれた沢や河川の礫は、供給源である山地の地質により、硬砂岩・粘板岩・チャート・花こう岩などが主である。梓川水系ではこの他に、乗鞍・焼岳の安山岩や穂高連峰の火成岩も混入している。

東部山地はフォッサマグナの堆積物で、新生代の第三紀層と火成岩より成る。古女鳥羽川が城山付近に流下し厚く礫層を堆積させているが、本遺跡付近には及んでいない。したがって本遺跡付近は主として梓川水系による扇状地堆積物より成り、土砂の厚さはおよそ400ｍと推定されている。その堆積物の上に烏川系の古い扇状地の扇端付近が重なり、現吉

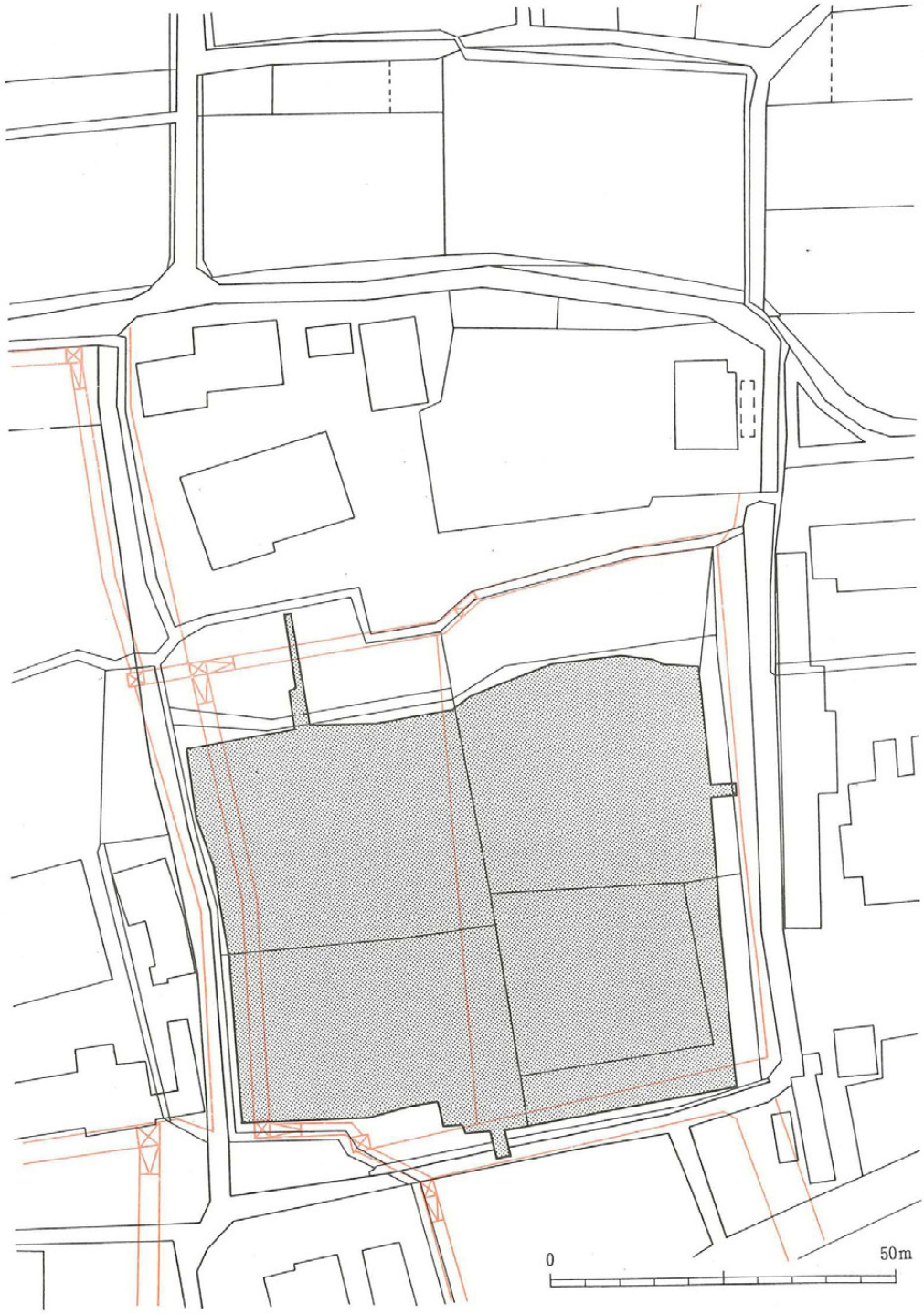
野の地表面が形成されている。

**遺跡付近について**　上述したように、吉野地区の大部分は、更新世の比較的径の大きな梓川礫層（波田礫層）の上に、氾濫原堆積物として沖積層が10～30ｍの厚さで堆積しており、部分的に微高地として旧烏川扇状地の削り残された部分ではないかとみられる硬く締まった褐色粘土層が存在している。梓川系の沖積層は一般に比較的細粒の堆積物が多く、シルト質をはさんでいるのが特徴である。発掘地点は、膠結の進んだ旧烏川の扇端が梓川に削り残された部分ではないかと推定され、平安時代ころまでは微高地になっていたところである。

梓川左岸には三つの段丘が存在し、上段からロームの載った更新世の上野面、次のロームの載らない完新世の丸田面、その下の現梓川の氾濫原である岩岡面となっている。梓川は丸田面の堆積が終わるころから流路を北から東へと向きを変え、その結果、広い岩岡面が形成されるに至った。このうち直接本遺跡と関係が深い丸田面は、梓川下立田から大妻を通り、上真々部から下鳥羽の太子村付近で消滅している。したがって吉野付近は、時期的には岩岡面と同じとみられ、しばしば洪水に見舞われた跡が発掘地点の東部以東に見られる。一方、上記の如く烏川による扇状地の東限は、およそ細萱から除沢付近迄であるが、部分的には旧扇端部（更新世）が吉野から梶海渡にかけて残存しているものとみられる。以上、総合すると発掘地点の大部分は旧烏川扇端部が削り残された更新世の微高地の疑いが濃く、東側は明らかに梓川の沖積層となっている。これらの微高地もまわりの沖積地との比高差が小さいため、洪水時に冠水したことが認められる。時期のわかるものとしては平安時代の竪穴住居址に洪水性の砂礫が南東方向から流れ込んでおり、平安中期の梓川の洪水によるものと推定される。その後も文献資料によると、洪水時に梓川村岩岡付近でしばしば決壊し、真々部→上鳥羽→吉野の東部→寺所方向に向かう流れが西の限界であり、それ以東では幾度となく洪水の被害に遭っている。

発掘地点は平安中期の冠水以後はほとんど洪水による冠水はなかったものと見られ、平安時代の生活面と中世の生活面との差はわずかで、発掘作業のうえからは近似した検出面となっている。

17世紀、堰の開削が進む以前の自然河川は、この洪水路に沿ったほぼ南北方向のものであったと推定される。近世に入って、梓川扇状地の等高線沿いに拾ケ堰を始め何本かの東西方向の堰とそれに交差する幾多の堰の開削により水田化が進み、現地形が形成される。土砂の堆積速度は凹地を除き盆地中央部では年平均１㎜と推定される。




挿図２　調査地の位置

館跡の土層は大きく3層に区分できるが、歴史的に連続して人が居住または耕作されてきたため、人の手の加わった堆積土である。第1層の表土（耕作土）は20cm前後の厚さであり、第2層の褐色系の遺物包含層は、その下の地山となる第3層の起伏により厚さ・土質は一定せず平均30cm前後である。この第2層内は人為的に攪乱されており、中世の生活面は検出しにくいが、その下部となる。第3層は基底を成す層で、旧烏川の扇端堆積物と考えられる。上部は極めてふるいわけの悪い黒褐色の礫混じり土で、礫は径10cm以下のものが多く入っており、沖積地と比べ膠結が進んでいる。下にいくにつれ、暗褐色～褐色の礫土に漸移している。平安時代の生活面は、第3層の最上部か第2層の最下部とみられる。

## 第3節　歴史的環境

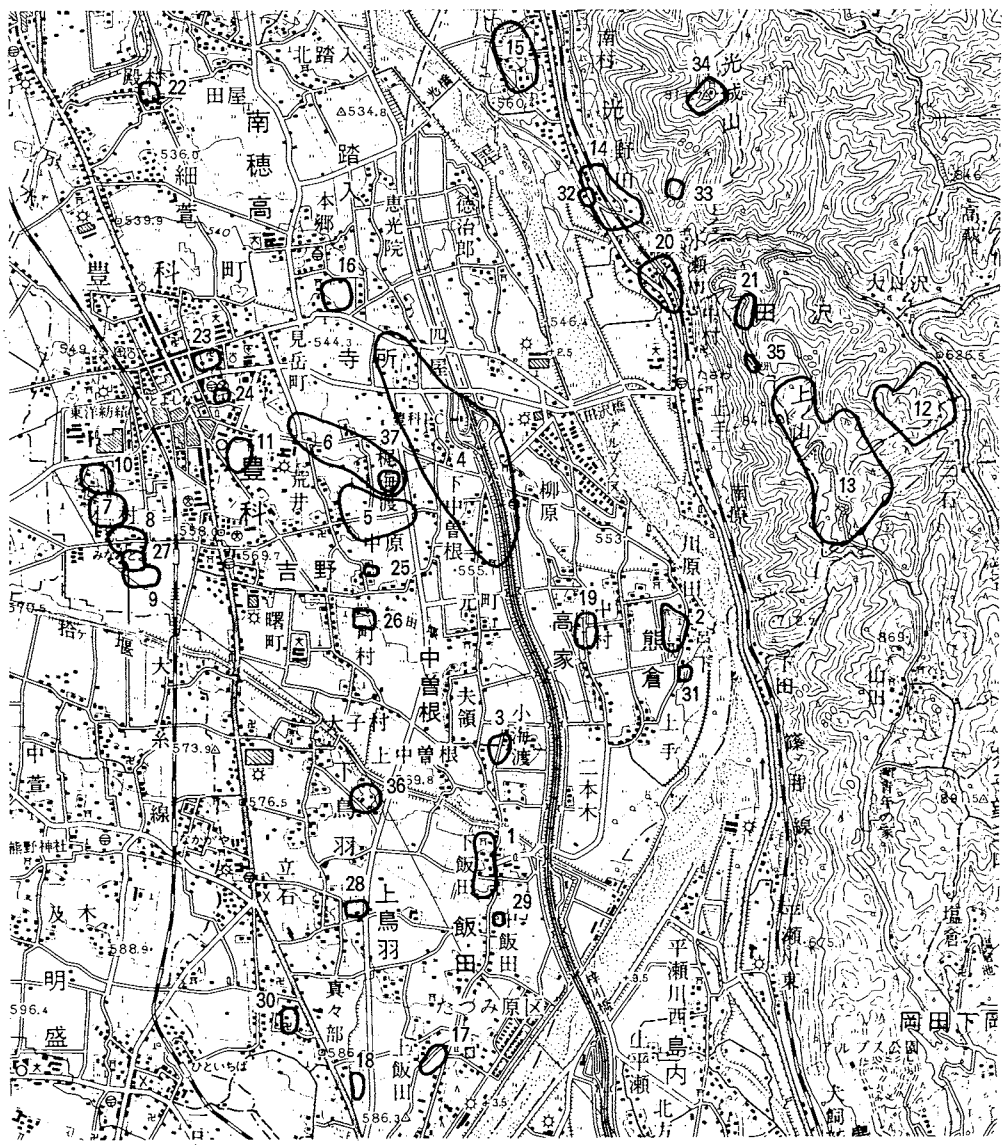
**周辺の遺跡**　豊科町は北アルプス山麓にひろがる安曇野の南東に位置し、地形的には肥沃な水田地帯となっている平地と犀川右岸の東山に大別される。

扇状地の複合より成る平地では、梓川をはじめとする各河川の影響で各所に砂礫の厚い堆積がみられ、一方、100cm以上の深い耕土帯も存在する。したがって、遺跡はわずかな遺物出土地が「点」として知られているのみで、その広がり・性格等は不明なものが多い。また、過去に紹介されている遺物もその所在が不明であったり、出土地点が明確でないものが多い[1]。発掘調査も今までに数例しか行なわれていない。このように町内の遺跡を述べるには必ずしも資料に恵まれてはいないが、以下、時代ごとに概観していきたい。

先土器時代にさかのぼる遺跡は現在のところ発見されていないが、縄文時代には犀川段丘上から東山にかけて遺物の出土が知られている。犀川左岸段丘上の熊倉遺跡で打製石斧・凹石、右岸段丘上の光遺跡では中期土器の出土が記録されている。東山山中では1986・87年に行なわれた窯跡群の発掘調査の際、五領ケ台式土器を主体に早期から中期にかけての土器と石鏃が出土している。また、平地部の成相遺跡でも打製石斧が出土している。

弥生時代には、光城山山麓から犀川段丘上にかけて町田遺跡が形成される。瓦の粘土採取中に発見された遺跡で、土器では百瀬式・箱清水式、石器では太形蛤刃石斧・扁平片刃石斧・石包丁等の出土がある。土器には人面付のものもある。

古墳時代の遺構・遺物は現在のところ確認されていないが、奈良・平安時代には各所で遺物が出土している。宮前遺跡・小海渡遺跡・町村遺跡・飯田古宮遺跡・真々部巾下遺跡・



| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 宮前遺跡 | 11 | 成相遺跡 | 21 | 上ノ山北遺跡 | 31 | 熊倉氏館跡 |
| 2 | 熊倉遺跡 | 12 | 菖蒲平窯跡群 | 22 | 殿村館跡（細萱氏館跡） | 32 | 町田館跡 |
| 3 | 小海渡遺跡 | 13 | 上ノ山窯跡群 | 23 | 法蔵寺館跡 | 33 | 田沢城跡 |
| 4 | 上手木戸遺跡 | 14 | 町田遺跡 | 24 | 構えの墓館跡 | 34 | 光城跡 |
| 5 | 荒井遺跡 | 15 | 光遺跡 | 25 | 中村堀屋敷跡 | 35 | 上ノ山城跡 |
| 6 | 梶海渡遺跡 | 16 | 原村遺跡 | 26 | 吉野町館跡 | 36 | 推定日光寺址 |
| 7 | 柳原遺跡 | 17 | 飯田古宮遺跡 | 27 | 成相氏館跡 | 37 | 推定法蔵寺址 |
| 8 | 本村遺跡 | 18 | 真々部巾下遺跡 | 28 | 鳥羽館跡 | | |
| 9 | 大海渡遺跡 | 19 | 町村遺跡 | 29 | 飯田砦跡 | | |
| 10 | 姥ケ池遺跡 | 20 | 小瀬幅遺跡 | 30 | 真々部氏館跡 | | |

**挿図３　周辺の遺跡**

荒井遺跡・梶海渡遺跡・柳原遺跡・本村遺跡・大海渡遺跡・姥ケ池遺跡・成相遺跡・原村遺跡等が知られている。いずれも発掘調査が実施されておらずその内容については不明だが、荒井遺跡では住居址らしい遺構があったと報告されている。広大な沖積地の開発が進んでいたことが窺われる。一方、この時期、東山山中では須恵器窯跡群が形成される。1986・87年ゴルフ場造成に伴い行なわれた発掘調査では須恵器窯跡17基、竪穴住居址26軒等が調査された。芥子望主山から会田盆地にかけて形成された窯跡群の一つの中心をなしていたと考えられている。

**町内の城館跡**　中世～近世には殿村館跡（細萱氏館跡）・真々部氏館跡をはじめ多くの城館が築かれる（表１）。とりわけ大伴氏の系譜に連なる細萱氏の居館　殿村館跡の築造は中世前期にさかのぼるとされており、安曇野の開発の拠点として果たした役割は大きい。他は戦国期以降の築造とされ、田沢城・光城・町田館跡等が海野氏に、中村堀屋敷跡・鳥羽館跡が丸山氏に、真々部氏館跡等が武田氏に関係するものと考えられている。いずれも松本から安曇野への交通の要衝に築かれ、以後集落の中心として現在に至っている。豊科町に残る古い町並みは、ほぼこの頃、基盤ができたといっていい。

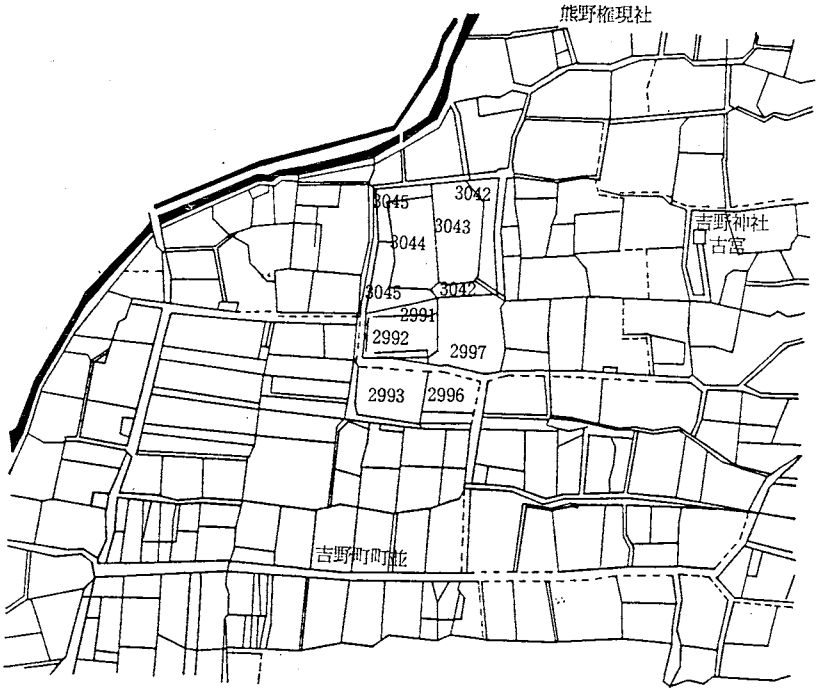
一方、この時代の集落址には上手木戸遺跡がある。1986年、中央自動車道長野線の工事に先立ち発掘調査が行なわれ、内耳土器を伴う竪穴状遺構、掘立柱建物址等が検出されて

| | 名　　称 | 立　地 | 規　模　・　遺　構 | 時　期 | 現　状 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 殿村館跡（細萱氏館跡） | 平　地 | 本郭:東西34m 南北38m,二の郭:東西27m 南北54m,堀 土塁 | 中　世 | 宅　地 |
| 2 | 法蔵寺館跡 | 平　地 | 東西109m 南北109m, 堀 | 中・近世 | 寺　院 |
| 3 | 構えの墓館跡 | 平　地 | 東西45m 南北54m, 堀 | 中・近世 | 墓　地 |
| 4 | 中村堀屋敷跡（堀屋敷） | 平　地 | 東西45m 南北36m, 堀 土塁 | 中・近世 | 宅　地 |
| 5 | 吉野町館跡（堀の内） | 平　地 | 本郭:東西63m南北72m, 二の郭, 堀 土塁 | 中・近世 | 宅地・水田 |
| 6 | 成相氏館跡 | 平　地 | 本郭:東西63m 南北54m | 中・近世 | 水　田 |
| 7 | 鳥羽館跡 | 平　地 | 本郭:東西90m 南北81m, 二の郭, 堀 土塁 | 中　世 | 宅地・水田 |
| 8 | 飯田砦跡 | 平　地 | 東西30m 南北25m, 土塁 | 中　世 | 畑 |
| 9 | 真々部氏館跡 | 平　地 | 本郭:東西81m 南北81m, 二の郭, 堀 土塁 | 中　世 | 宅地・寺院 |
| 10 | 熊倉氏館跡 | 平地(段丘上) | 土塁 | 中　世 | 宅　地 |
| 11 | 町田館跡 | 平地(段丘上) | 東西60m 南北72～90m | 中　世 | 宅地・水田 |
| 12 | 田沢城跡 | 尾根上 | 本郭:東西20m 南北26m, 堀 土塁 | 中　世 | 山　林 |
| 13 | 光城跡 | 山　頂 | 本郭:東西50m 南北15m, 二の郭:東西42m, 南北18m堀 土塁 | 中　世 | 山　林 |
| 14 | 上ノ山城跡 | 尾根上 | 土塁 | 中　世 | 山　林 |

**表１　町内の城館跡**　（章末参考文献より，規模は間数を1.8mで換算）

いる。

**吉野町館跡**　吉野町館跡のある字は元屋敷（堀の内）といい、慶安４年（1651年）の検知帳が初見だという。明治22年の地籍図によると（挿図４）、3043、3044番地の２枚の田と、その四周を巡る細長い畑地がそれにあたる。この畑地は一段と高くなっており、土塁が崩れた痕と考えられた。さらにその東、南、西に用水が巡っており、2991番地の南には堀の痕と考えられる溝がある（図版36）。また、北側3045番地の北の道が一段と低くなっていることから、やはり堀の痕と推定された（図版35）。以上が本郭で、その西2992～2997番地が二の郭と推定されている。二の郭は現在屋敷地となっており、南側にけやきの古木がみられる。また、西には矢竹が群生している（図版35）。一方、本郭の南東には熊野権現社が祀られ、境内には樹齢5•600年とされるびゃくしんの古木（豊科町指定文化財）がある（図版36）。館の鎮守の意味をなしたものと考えられている。




挿図４　吉野町館跡地籍図

吉野町の町並みは　204mの南北の通りで、その南と北がそれぞれ鍵の手に屈曲されている。細萱・成相・飯田・平瀬を結ぶ松本街道筋の要衝である。

館主および築造時期等は明白でない。また、慶安4年には既に元屋敷になっており、居が移されているがその理由は火事によるとの伝承がある。

註　(1)　遺跡名についても若干の混乱が生じている（姥ケ池遺跡等）。今後、あらためて調査する必要がある。

参考文献　『豊科町誌』（1955年）

『南安曇郡誌』第二巻上（1968年）

長野県教育委員会『長野県の中世城館跡－分布調査報告書－』（1983年）

長野県教育委員会「上手木戸遺跡」（『中央自動車道長野線埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書10－豊科町内－』, 1989年）

豊科町教育委員会『豊科町の土地に刻まれた歴史』（1991年）

# 第３章　調査の結果

## 第１節　調査の概要

調査は館跡の本郭部分を一部トレンチ法を用いながら、ほぼ全面的に発掘した。調査面積は4800㎡である。調査地内で土の入れ替えをし２回に分けて検出したこと、礫が多く検出が困難であったことから十分に遺構を明らかにできたとはいえないが、当初確認されていなかった平安時代の竪穴住居址をはじめ、館の堀・建物跡・土坑等の遺構約600基を調査した。これらは遺物からみると９世紀代、12～13世紀、16世紀以降の３段階に分けられそうである。しかし、個々の遺構の所属時期については、出土遺物がなかったり流れ込みと考えられる例があったりして判然としないものが多い。

平安時代の遺構では竪穴住居址が８軒調査された。この他に土師器・黒色土器・須恵器を伴う土坑が30数個ある。いずれも９世紀中ごろの遺構と考えられる。竪穴住居址は主に調査地北半に分布するが、遺物の出土地点はあまり偏りがなく、調査地周辺に竪穴住居址の存在を想定することもできる。遺物には須恵器・土師器・黒色土器・灰釉陶器・緑釉陶器・鉄製の鎌がある。特に緑釉陶器の出土が注目される。また、須恵器蓋を転用した硯、墨書土器も出土している。

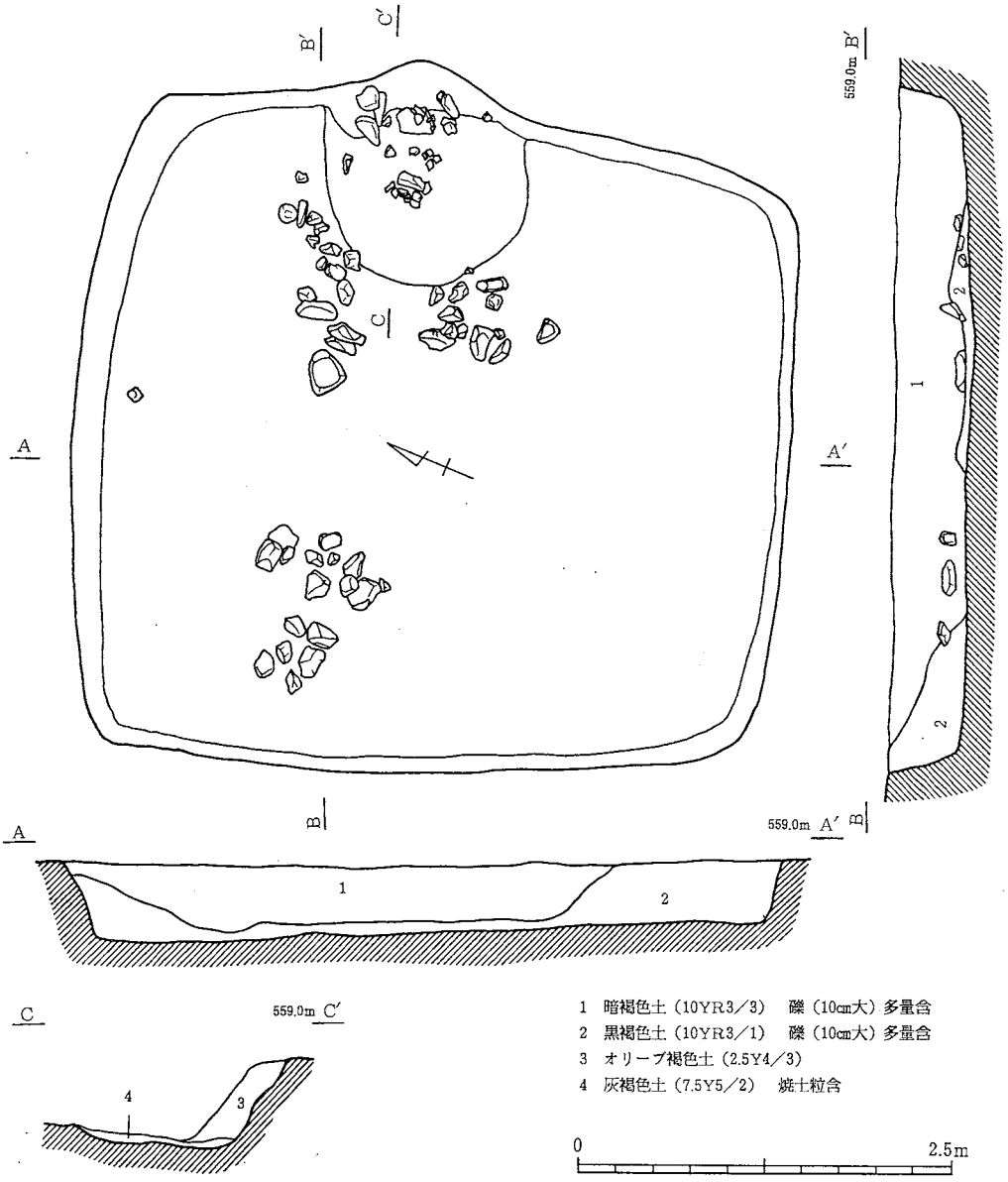
中世以降の遺構には館跡の堀、掘立柱あるいは竪穴の建物、土坑等がある。しかし、土塁については、その明確な痕跡は見当らなかった。また、土塁があるべきところに遺構が検出される例、現地表に残る堀・土塁と想定される遺構と検出された堀・土塁の位置がずれている例もあり、新たな課題も残した。

館の様相については、特に掘立柱建物がつかめず、十分に明らかにできたとはいえない。さらに検討が必要である。

## 第２節　遺　　構

### １　竪穴住居址

検出時にSBの記号を付した遺構の中で、平安時代に属する竪穴住居址を取り上げる。中世以降に属するものは土坑の項で取り上げる。


A
A′
B
B′
C
C′
559.0m
1
2
3
4
1 暗褐色土（10YR3／3） 礫（10cm大）多量含
2 黒褐色土（10YR3／1） 礫（10cm大）多量含
3 オリーブ褐色土（2.5Y4／3）
4 灰褐色土（7.5Y5／2） 焼土粒含
0
2.5m

挿図5 SB1 実測図

SB1

調査地北西　B−7・8に位置する。SK563・564・565に切られ、南3mにはSB2が隣接する。礫混じりの褐〜灰黄褐色土に掘り込んで構築されており、検出は困難であった。規模は4.8×4.6mで平面形はほぼ方形、主軸方向はN−69°−Eを指す。

覆土は二層に分かれ、ともに10cm大の礫が多量に含まれていた。壁はほぼ垂直に掘り込まれており、最大壁高は55cmを測る。床面は掘り方をそのまま用いているが、平坦で固くしまっていた。

カマドは東壁中央に設けられている。遺存状況が悪く、薄い火床と芯材とした石がわずかに残るだけである。

貯蔵穴・柱穴等は検出されなかった。

遺物はカマド前からまとまって出土している。須恵器の坏、黒色土器の坏・椀、土師器の小形甕・甕・盤等がある。

SB2

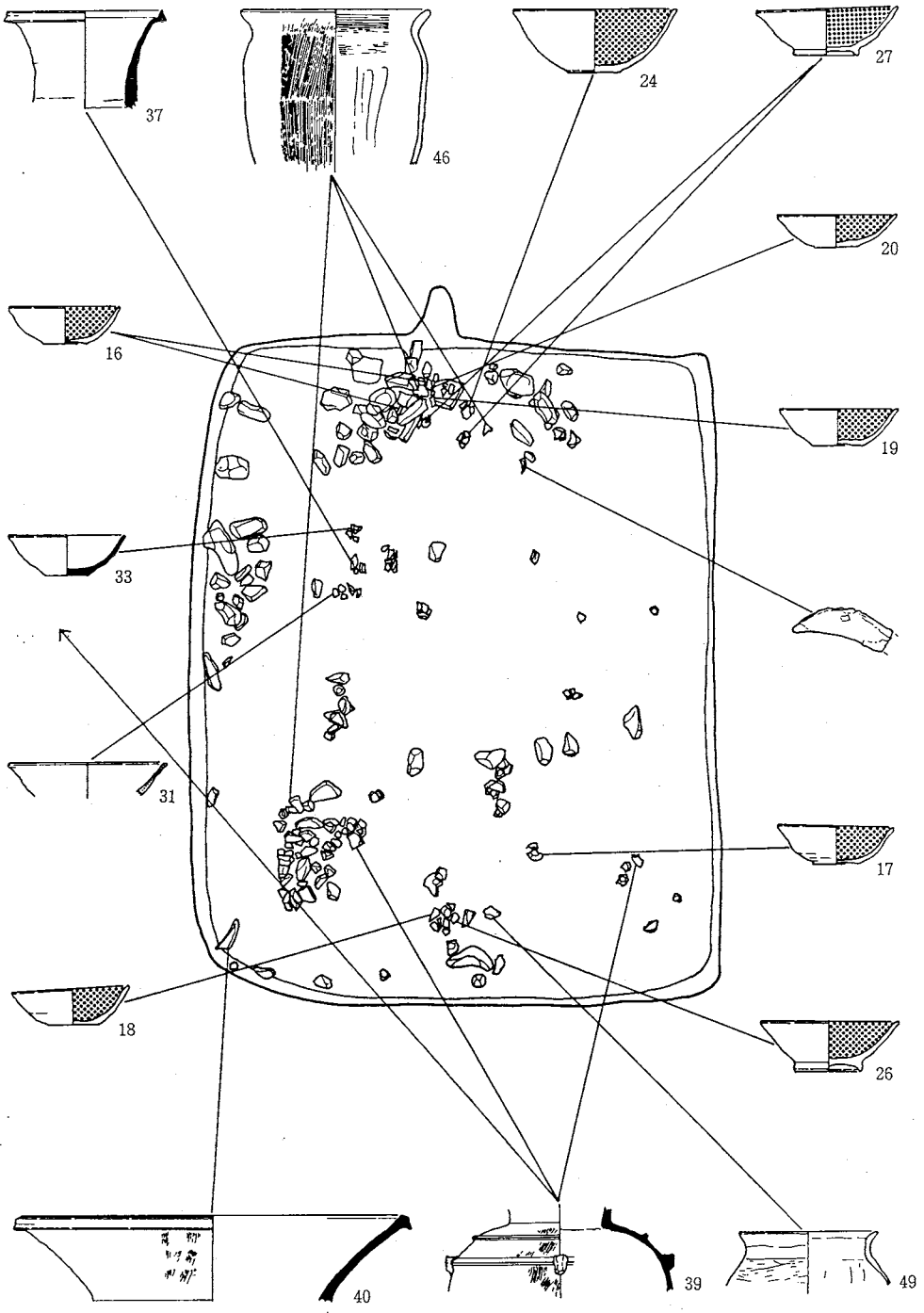
調査地北西　C−7・8に、SK566・567・568に切られ、SB1に隣接して位置する。礫混じりの褐〜灰黄褐色土に掘り込んで構築されており、検出は困難であった。規模は4.4×5.7mで、平面形は煙道部がやや突出する長方形を呈す。主軸方向はN−81°−Eを指す。

覆土は四層に分かれる。1層の黄灰色土には礫を含まないが、2層以下には多量の礫を含む。特に床面近くには10〜20cm大の礫が多量にみられた。壁は垂直に掘り込まれており、最大壁高は65cmを測る。床面は平坦で、中央から南側にかけては黄色粘質土の貼床がみられた。

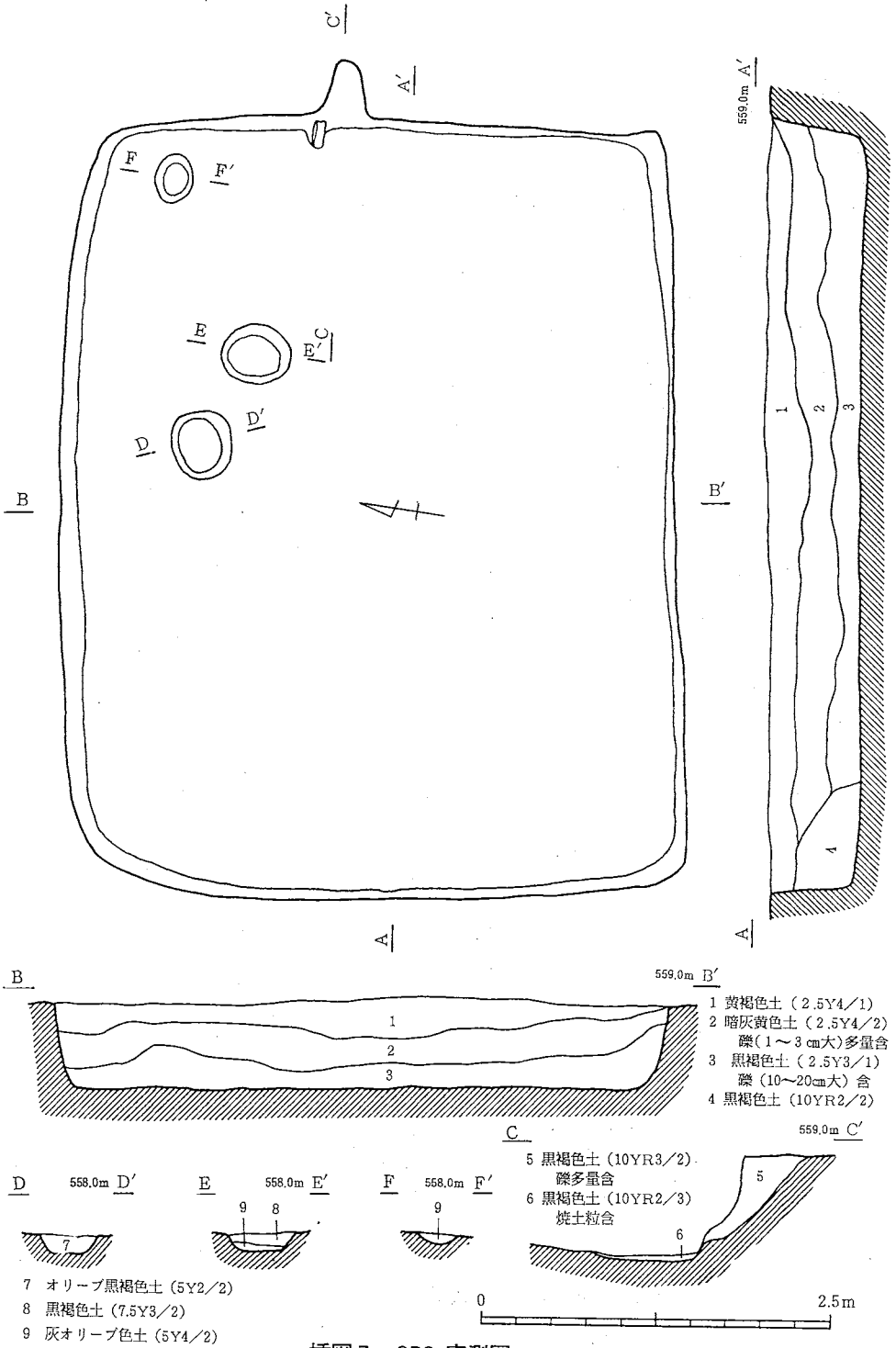
カマドは東壁中央に設けられている。芯材にしたと思われる礫がカマド前に重なっており、遺存状況はよくない。火床の焼土も少ない。

ピットは北東隅に3ケ検出された。いずれも径30〜50cmの円形のもので、深さも15cmたらずである。

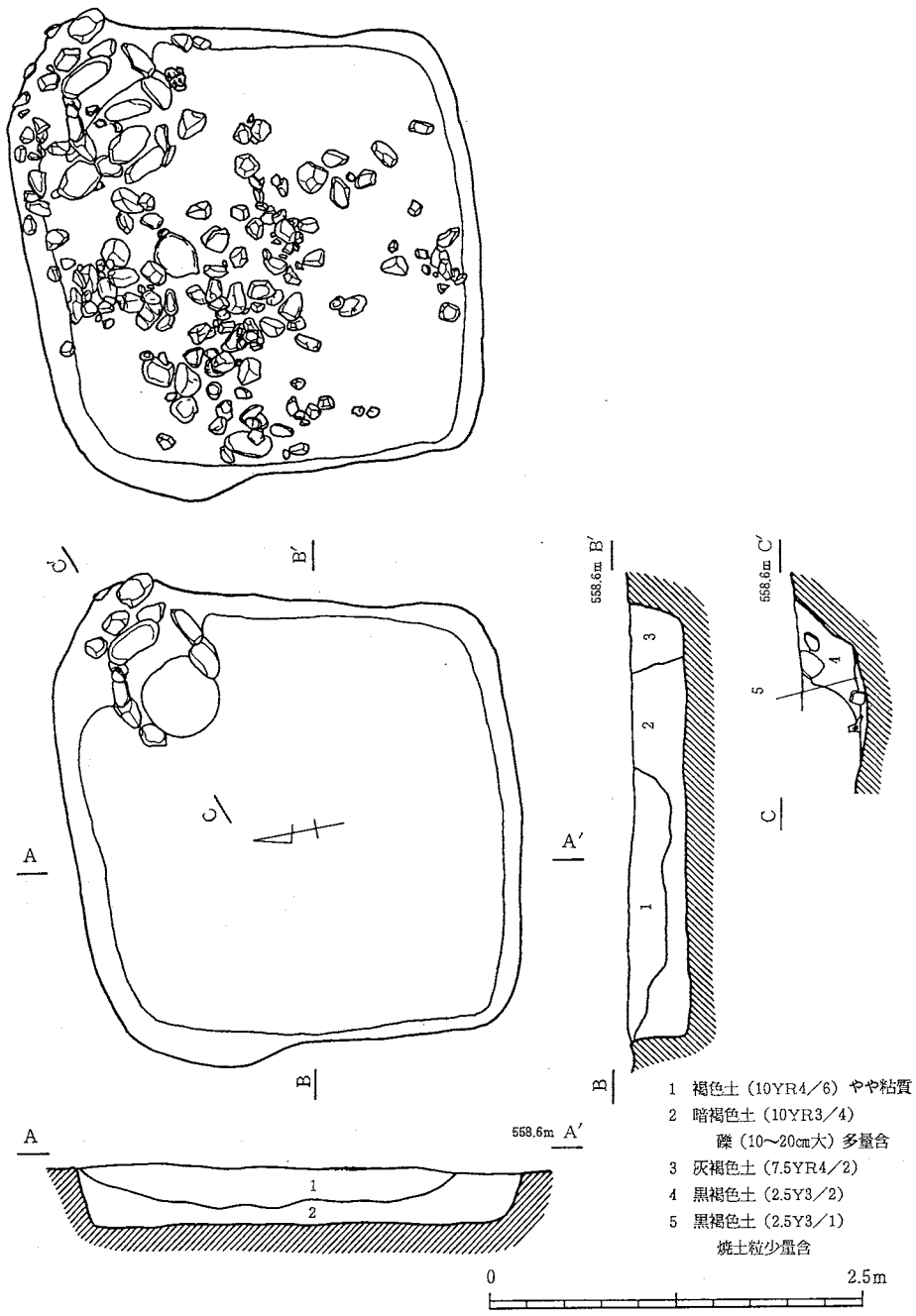
遺物は3層中から床面にかけて多く出土している。カマド前を中心にほぼ全面からだが、壁際からの出土は少ない。黒色土器坏・椀、灰釉陶器皿・椀・瓶、須恵器坏・椀・甕（四耳壺）、土師器甕・小形甕・台付甕、また、鉄製の鎌の出土もある。土器の中にはSB8、SB9出土のものと接合する例もある。




挿図6　SB2 遺物出土状況図


C′
A′
F
F′
E
E′
C
D
D′
B
B′
559.0m A′
1
2
3
4
A
B
559.0m B′
1 黄褐色土（2.5Y4／1）
2 暗灰黄色土（2.5Y4／2）
礫（1～3㎝大）多量含
3 黒褐色土（2.5Y3／1）
礫（10～20㎝大）含
4 黒褐色土（10YR2／2）
C
559.0m C′
5 黒褐色土（10YR3／2）
礫多量含
6 黒褐色土（10YR2／3）
焼土粒含
D
558.0m D′
E
558.0m E′
F
558.0m F′
9
8
7
7 オリーブ黒褐色土（5Y2／2）
8 黒褐色土（7.5Y3／2）
9 灰オリーブ色土（5Y4／2）
0
2.5m

挿図7　SB2 実測図




挿図8　SB6 礫等出土状況図・実測図

ＳＢ６

調査地北側　Ｂ－4に検出された。礫混じりの褐色土中に掘り込まれ、SB7・SB8に近接し、SK569・576に切られる。3×3mの不整方形を呈す小形の住居址で、主軸方向はＮ－96°－Eを指している。

覆土は三層に分かれ、下層に10～20cm大の礫が多量に含まれている。壁はほぼ垂直で、壁高は40cmを測る。床面は平坦である。

カマドは北東隅に設けられている。石を芯にし粘土で固めたもので、右袖側がやや深くなっている。焼土は薄い。

貯蔵穴・柱穴等は検出されなかった。

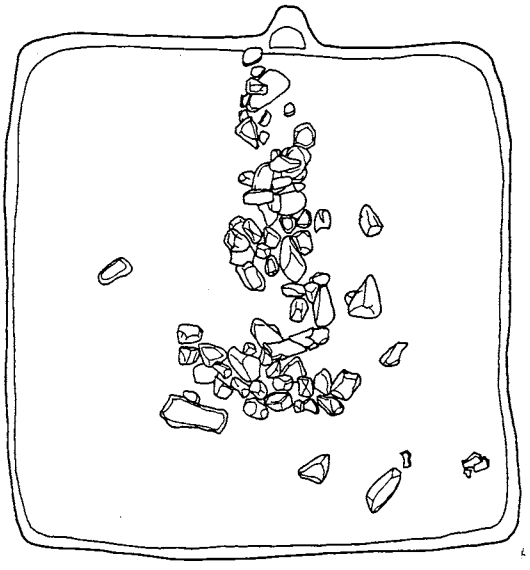
遺物は主にカマド前から出土している。須恵器坏、灰釉陶器皿・椀、黒色土器坏・椀・鉢、土師器甕・小形甕、緑釉陶器等がある。

ＳＢ７

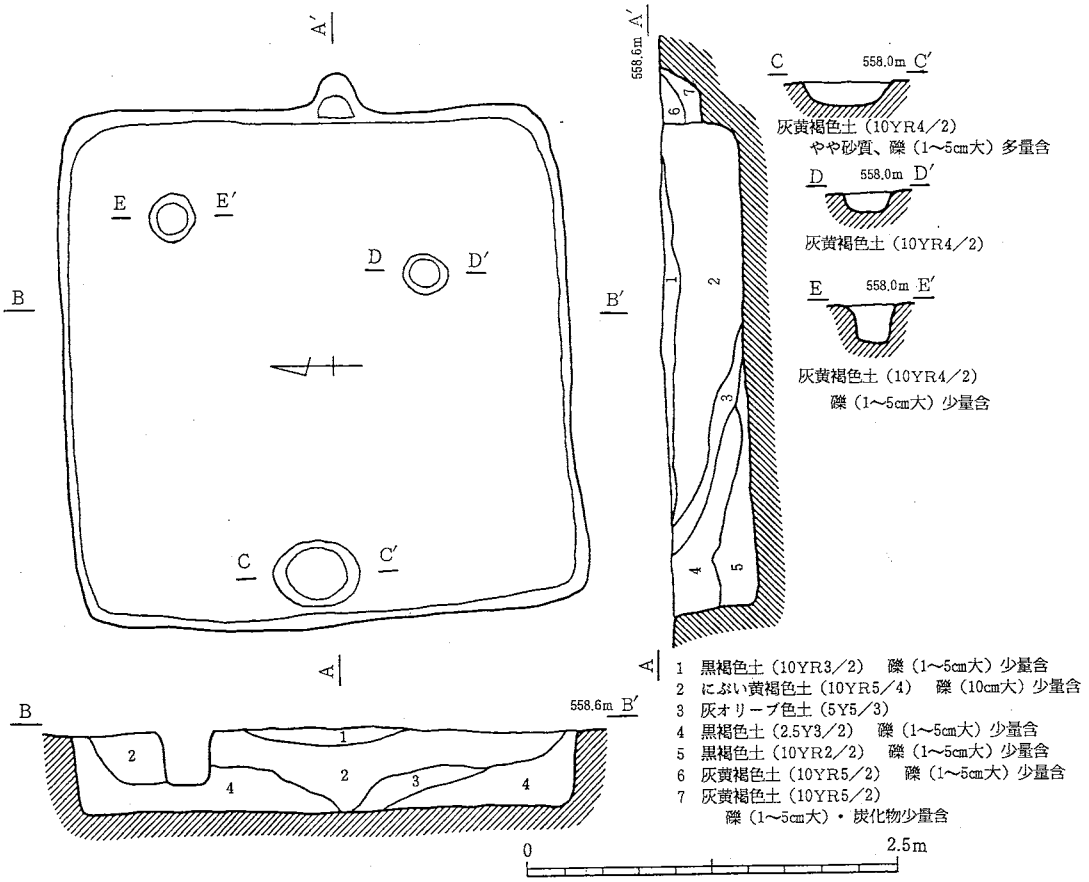
調査地北側　Ｂ－4に検出された。SK571・572・573・574に切られ、北にSB6、南にSB8が近接する。平面形は3.4×3.4mの方形を呈し、主軸方向はＮ－89°－Eを指す。礫混じりの褐色土中に掘り込まれており、壁高は55cmを測る。覆土は五層に分かれる。東西ベルトには南西方向からの流れ込みとみられる層（3.4層）がある。また、中央下層には10cm以上の礫がまとまって検出された。

床面は平坦で、ピットが３ケ検出された。p1は58×45×16cm、p2は30×25×13cm、p3は30×30×25cmである。p3が柱穴に相当する可能性があるが、対応する位置には検出されなかった。

カマドは東壁中央に設けられている。遺存状況が悪く、煙道部と焼土がわずかに確認できただけである。



挿図９　SB7 礫等出土状況図

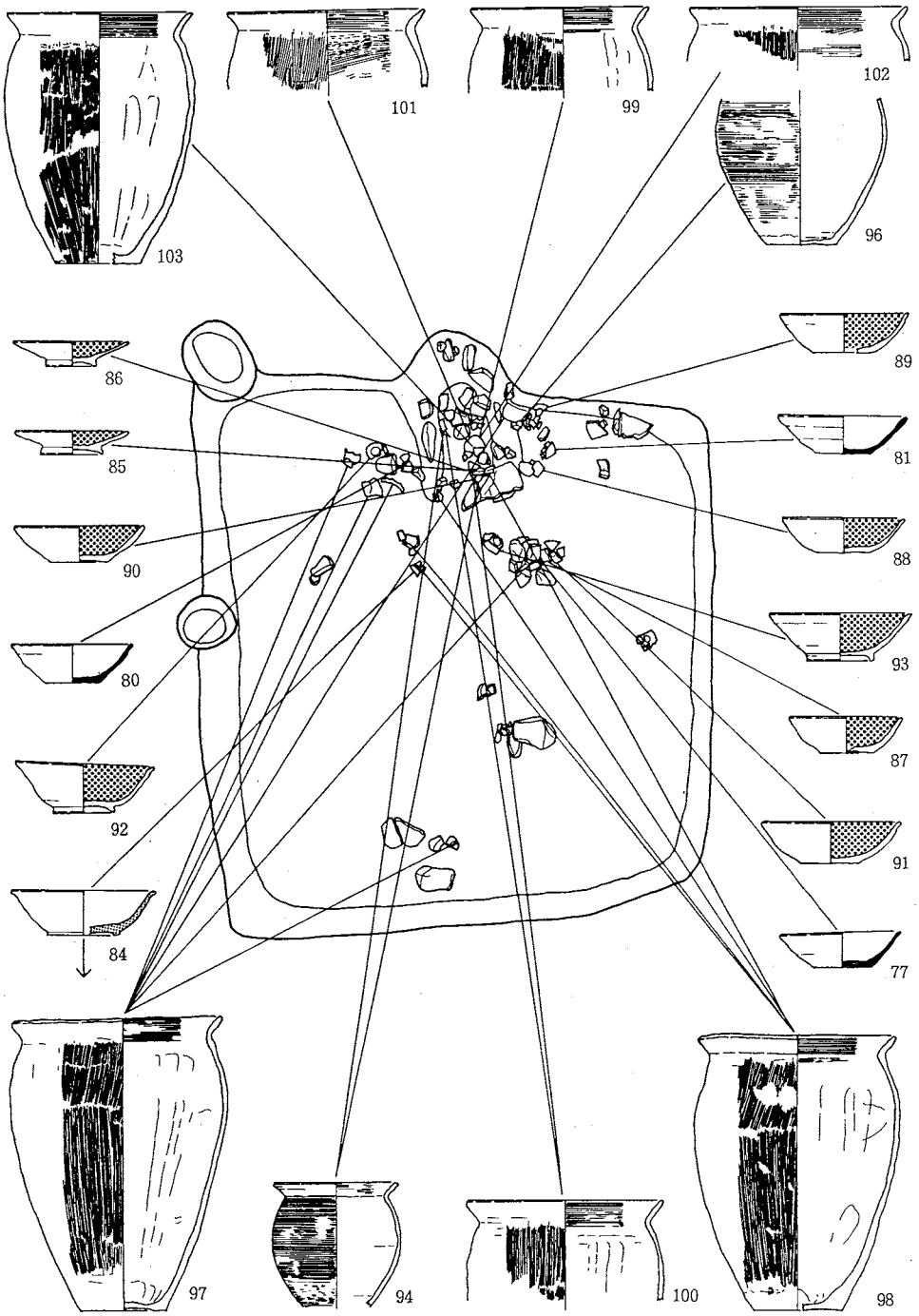



挿図10　SB7 実測図

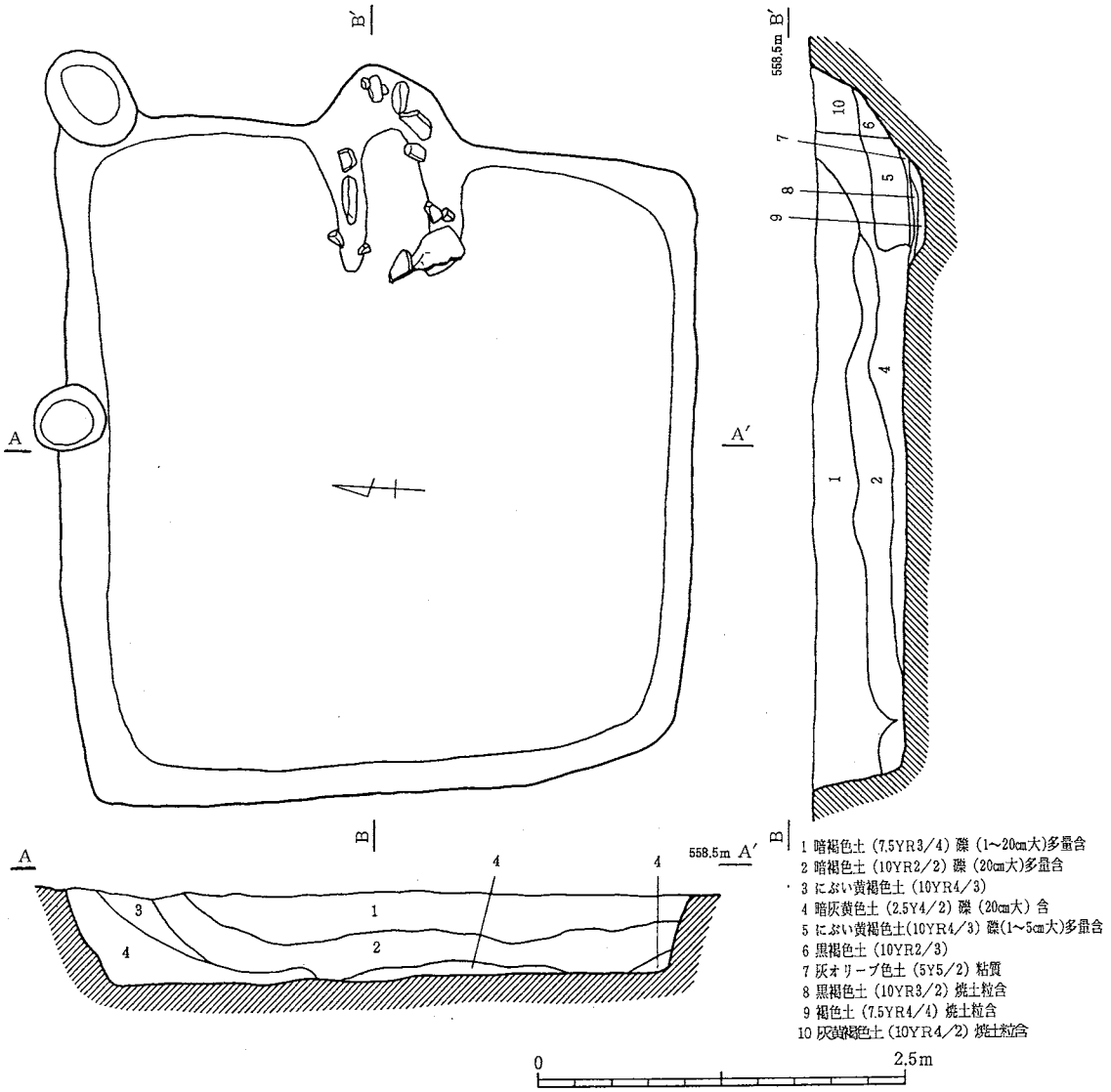
遺物は下層の礫間から、特にカマド前から多く出土している。須恵器坏・蓋・壺・甕、黒色土器皿•坏、土師器甕・小形甕等がある。また、須恵器蓋を転用した硯もカマド右側壁際上位より出土している。

## ＳＢ８

調査地北側　C－4に位置する。SK173・174・199・200・275に切られ、SB7に近接する。多量の礫が混じった褐色土中に掘り込まれて構築されており、カマド部分の他は検出が非常に困難であった。平面形は4.25×4.7ｍの長方形を呈し、主軸方向はN－86°　－Eを指す。




挿図11　SB8 遺物出土状況図


B′
A
A′
B
558.5m B′
10
6
7
5
8
9
4
1
2
B
A
558.5m A′
4
4
3
1
4
2
1 暗褐色土 (7.5YR3/4) 礫 (1~20㎝大)多量含
2 暗褐色土 (10YR2/2) 礫 (20㎝大)多量含
3 にぶい黄褐色土 (10YR4/3)
4 暗灰黄色土 (2.5Y4/2) 礫 (20㎝大) 含
5 にぶい黄褐色土(10YR4/3) 礫(1~5㎝大)多量含
6 黒褐色土 (10YR2/3)
7 灰オリーブ色土 (5Y5/2) 粘質
8 黒褐色土 (10YR3/2) 焼土粒含
9 褐色土 (7.5YR4/4) 焼土粒含
10 灰黄褐色土 (10YR4/2) 焼土粒含
0
2.5m

挿図12　SB8 実測図

覆土中には1～20cm大の礫が多量に含まれていた。壁はほぼ垂直で、壁高は60cmを測る。床面は掘り方をそのまま用いている。平坦でしまっているが、やや礫が露出している。

カマドは東壁中央に設けられている。30～50cm大の河原石を芯に灰オリーブ粘質土で固めている。

柱穴・貯蔵穴等の検出はなかった。

遺物はカマド内・前を中心に多量に出土している。特にカマド内には完形に近く復元できる土師器甕が横たわっていた。一方、離れて出土した破片が接合できる例、SB2出土のものと接合する例もみられた。須恵器坏・蓋・壺、灰釉陶器椀、黒色土器皿・坏・椀、土師器小形甕・甕等がある。

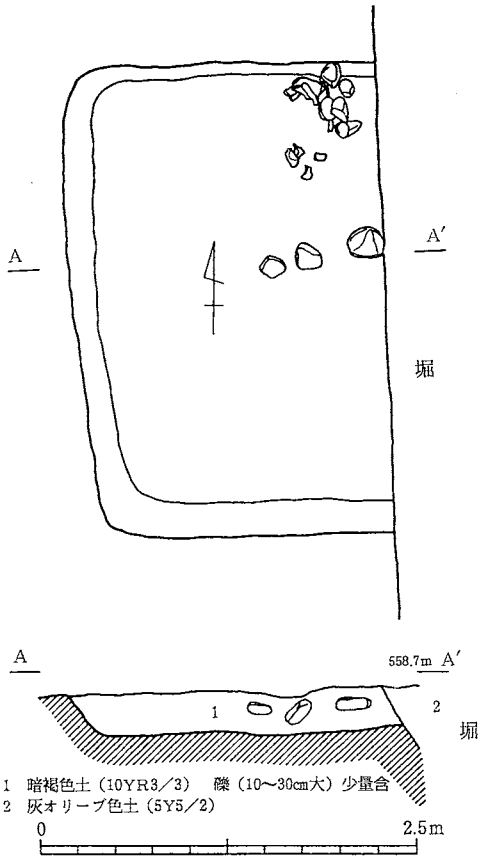
## SB9

調査地北端　A－5に位置する。北半が館の堀に切られ規模は不明だが、残存する辺は3.2mを測る小形の住居である。褐色土中に掘り込まれて構築されており、壁高は25cmを測る。覆土は暗褐色の単層で10～30cm大の礫を少量含んでいる。

カマドの位置は不明だが西壁際に15cm大の礫がまとまり、また遺物もそこから多く出土した。西壁中央にカマドがあり堀により壊されたと考えられる。

柱穴・貯蔵穴等は検出されなかった。

遺物には須恵器坏・黒色土器坏・椀、土師器小形甕・甕がある。西壁際からが多く、特に須恵器坏1枚と黒色土器椀2枚が重なったまま出土した。

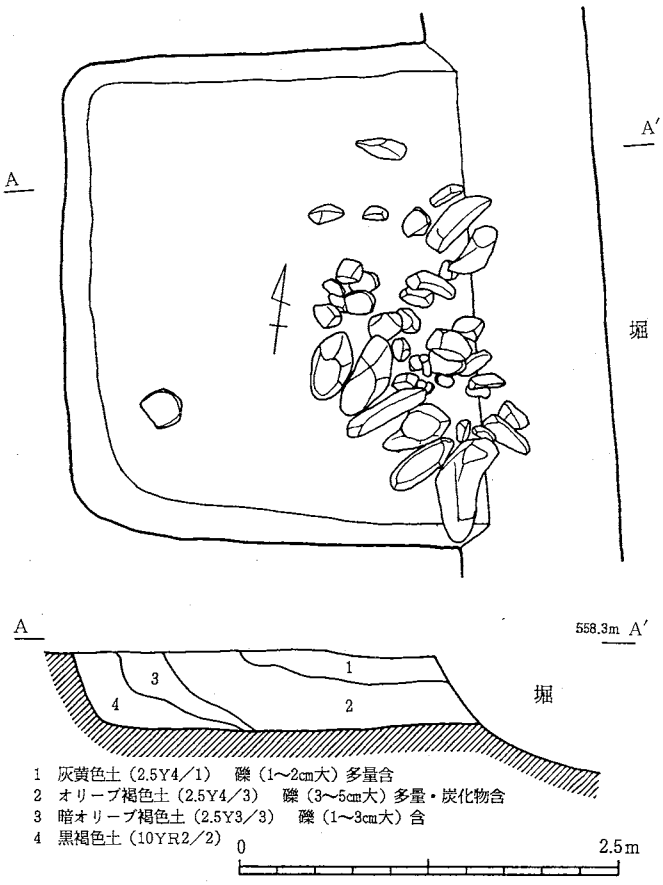



挿図13　SB9 実測図

ＳＢ10

調査地東端　Ｃ－2に検出された。館の堀に切られ規模は不明だが、残存する辺は3.35mの小形の住居である。礫混じりの褐色土中に掘り込まれて構築されており、壁高は55cmを測る。

覆土は四層に分かれる。1～3層に小礫が多量に含まれている。また、堀との境近くには50cm大の河原石がまとまって堆積していた。住居に伴う施設たとえばカマドの構築材料に使われたものとは考えられず、また、調査地内からは他にこのような大石が出土していないことから、どのような意味をもつものか検討が必要である。あるいは堀に伴う施設の可能性もある。



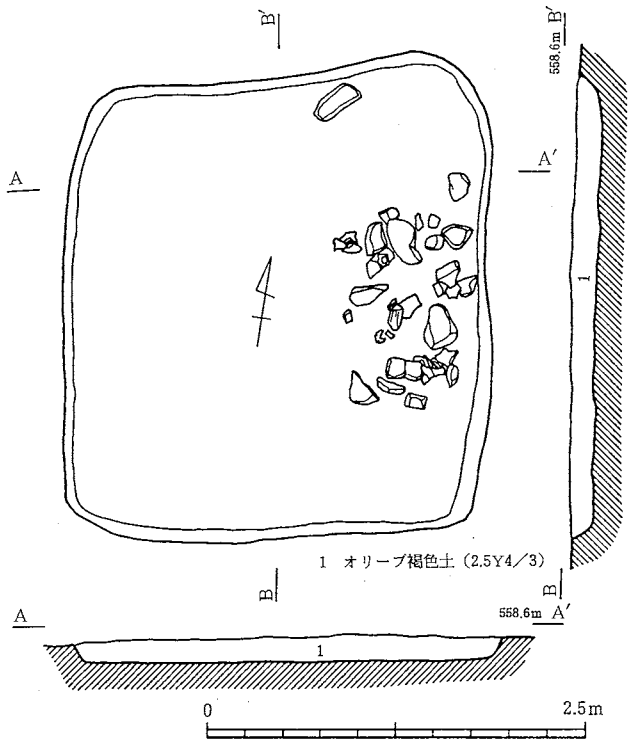

挿図14　SB10 実測図

カマド及び柱穴等は検出されなかった。

遺物は覆土上層から下層まで、また、大石の間からも出土している。須恵器坏・灰釉陶器皿、黒色土器皿・椀・鉢、土師器甕等があるが小片が多い。9世紀中ごろに位置付けられる。

ＳＢ11

調査地中央東側　Ｅ－3に位置する。礫混じりの褐色土中に掘り込まれて構築されているが、遺構外まで覆土と同様のオリーブ褐色土が堆積しており検出は困難であった。2.8×3.1mの方形を呈す小形の住居で、主軸方向はＮ－82°　－Ｅを指す。



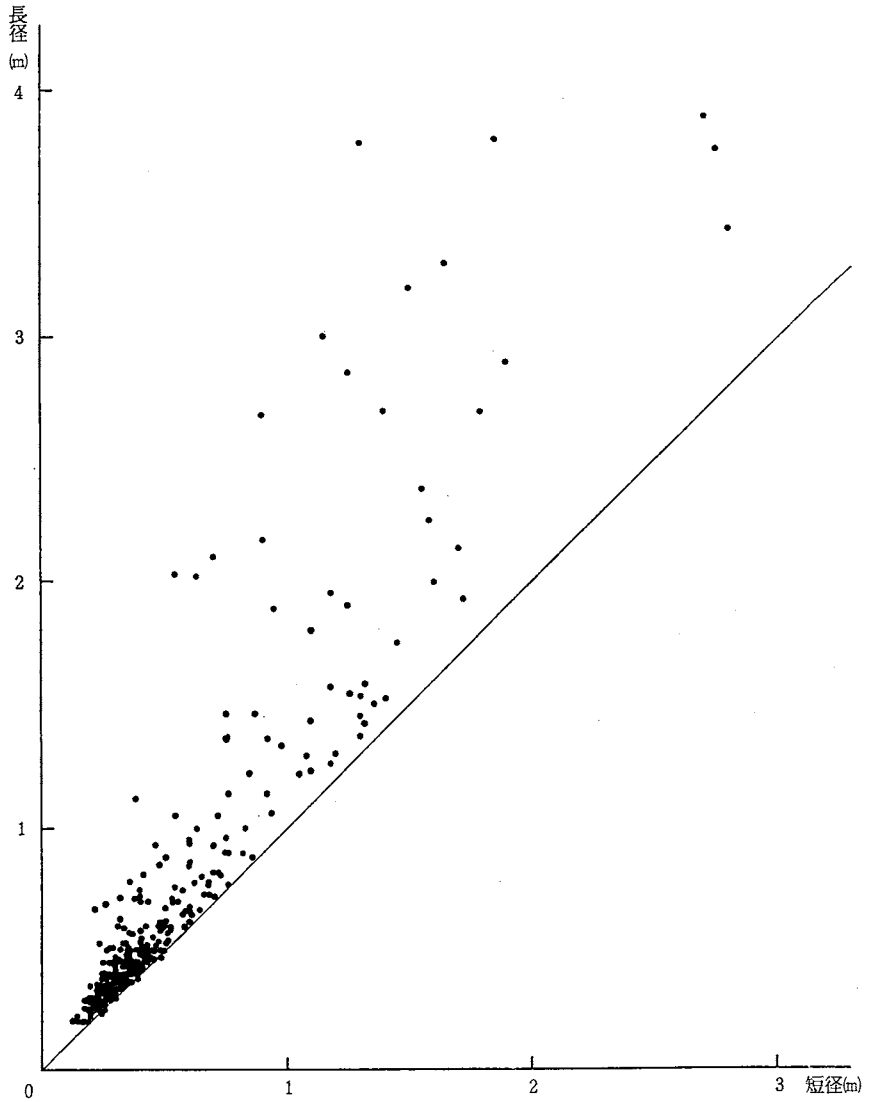

挿図15　SB11 実測図

覆土はオリーブ褐色土の単層で礫の混入は少ない。壁高は15～20cmと浅く、床面は基盤の礫が露出するものの平坦であった。カマドは東壁中央に設けられている。遺存状況が悪く、薄い火床と構築材にした礫がカマド前に残っているだけであった。

遺物は主にカマド前から出土している。須恵器坏、灰釉陶器皿、黒色土器坏・鉢、土師器小形甕・甕・鍋がある。

## 2　土坑

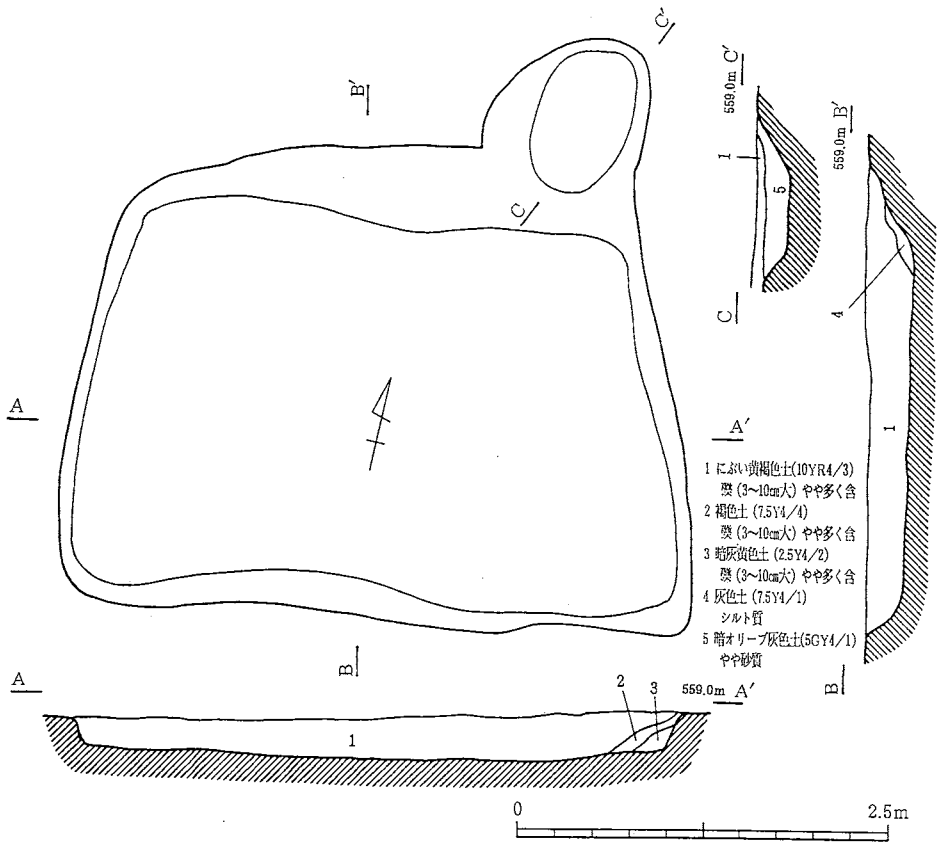
580基検出された。（検出時にSBの記号を冠した中世以降の遺構も、前述してきた平安時代の竪穴住居址と区別するためここで扱う。）平面形態・規模・出土遺物等さまざまで（挿図16）、これらは本来、竪穴建物址・掘立柱建物址を構成する柱穴等として把握されるべきものである。しかし、現時点では十分な把握が困難なため、掘立柱建物址等の構成についてはふれず、本章では個々の土坑を表により提示（付表）をし、代表的なものについて取り上げてふれたい。




挿図16　土坑　規模相関図

SB3

調査地北西D－8に位置し、SK296を切る。礫混じりの褐～灰黄褐色土に掘り込まれて構築されている。平面形は4.2×3.1mの不整長方形で、長軸方向はN－77°－Eを指す。壁は、北側で崩落しているが、概ね斜めに立ち上がっている。底面は基盤の礫層をそのまま用いており、平坦である。覆土中には、4層を除いて、3～10cm大の礫が多く含まれている。特に南西側で顕著で、20cm大の大石もまとまってあった。大石は南東・北東側ではその量が少なく、北西側ではまったく見られなかった。



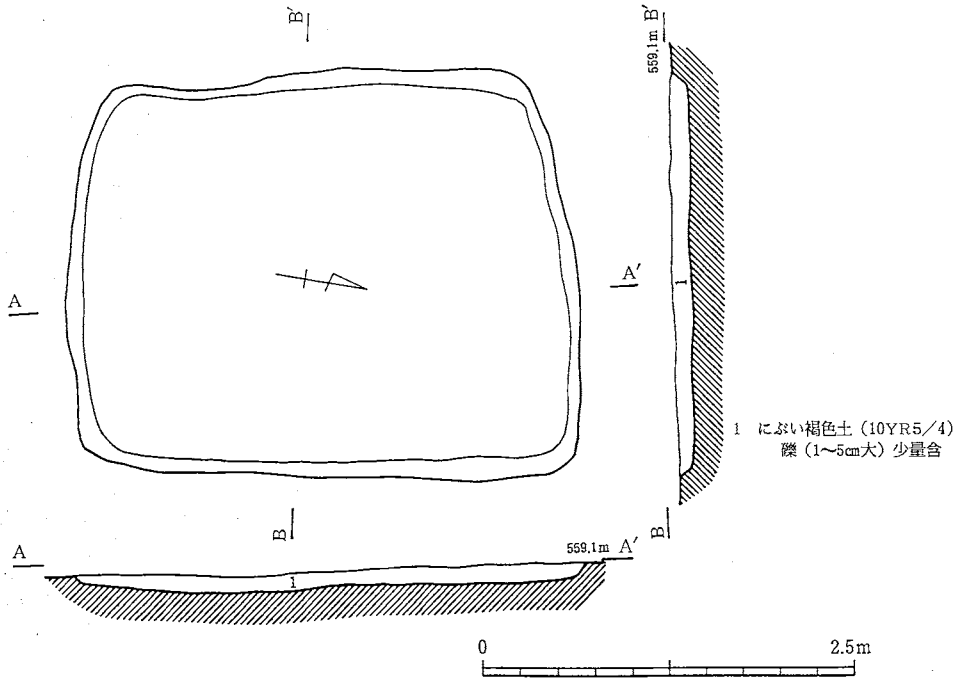

挿図17　SB3 実測図

遺物にはV類の白磁碗（12世紀）、瀬戸美濃鉄釉碗・皿（17世紀）、伊万里染付碗、内耳鍋、釘、古銭等がある。

## ＳＢ４

調査地西端中央　E−7に位置する。褐色土中に掘り込まれて構築されている。平面形は3.45×2.7ｍの長方形で、長軸方向はN−10°　−Wを指す。底面は平坦で、壁は斜めに立ち上がる。覆土はにぶい黄褐色土の単層で、礫を少量含んでいる。

遺物には18世紀に位置づけられる瀬戸美濃鉄釉碗、瀬戸美濃灰釉碗、染付皿がある。




挿図18　SB4 実測図

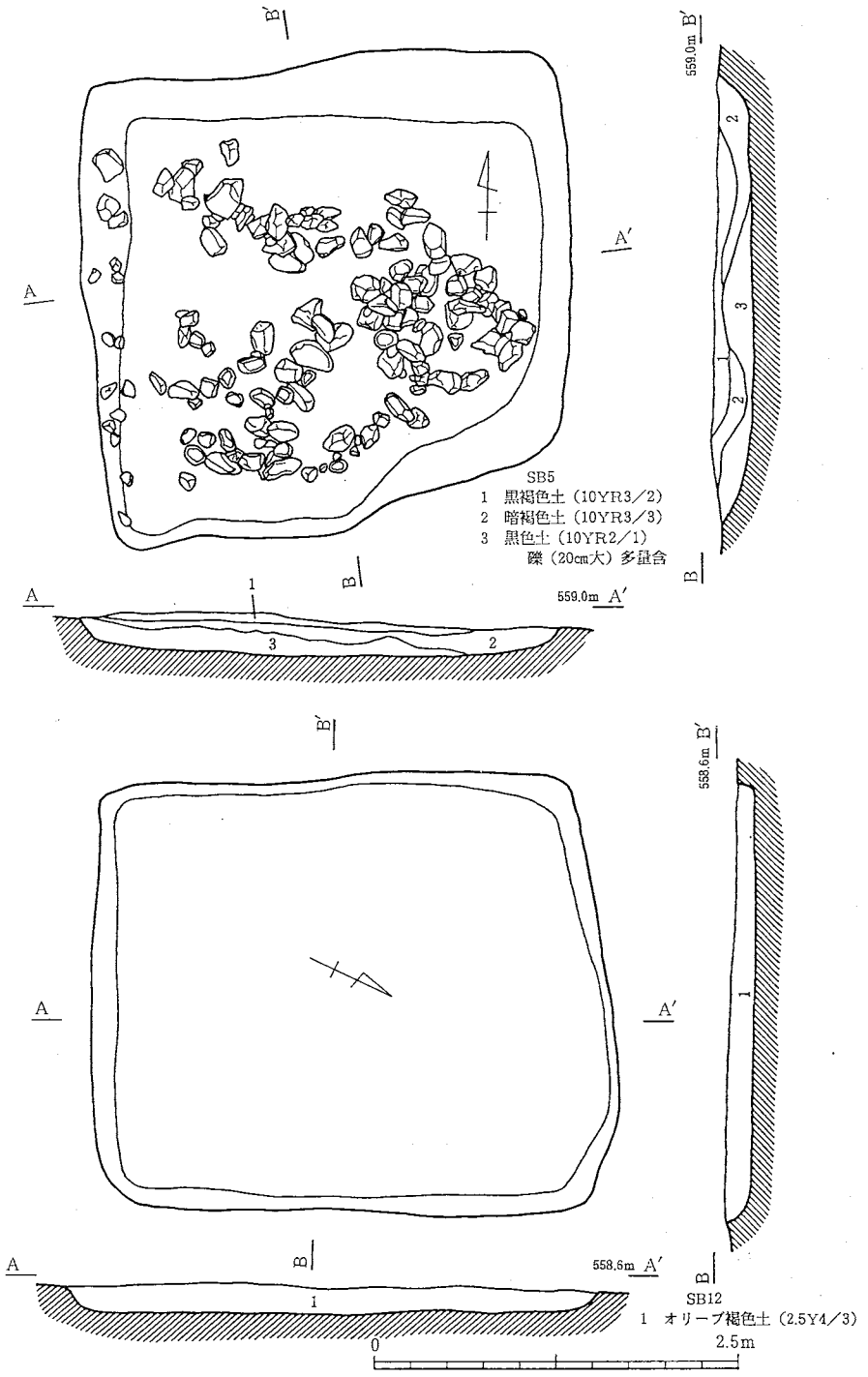
## ＳＢ５

調査地中央西側Ｅ－6に位置し、平面形は3.3×3.3ｍの不整方形を呈す。壁はややなだらかに立ち上がり、底面もほぼ平坦である。覆土は３層に分かれる。３層中に、人為的に投げ込まれたと考えられる15～20㎝大の石が多量にあり、その中には石臼も含まれていた。その他の遺物には17世紀に位置づけられる志野皿、鉄滓がある。

## ＳＢ12

調査地東端中央Ｅ－2に位置する。平面形は3.6×3.1ｍの長方形で、長軸方向はＮ－25°－Ｗを指す。検出時には平安時代の竪穴住居址と考えたが、カマド等の施設は検出できなかった。壁高は15～20㎝と浅く、斜めに立ち上がっている。底面は基盤の礫が露出するものの平坦である。覆土はオリーブ褐色土の単層で、東壁中央には大きな石が見られた。

遺物には須恵器杯、土師器甕、黒色土器皿・椀がある。竪穴住居址同様、９世紀後半に位置づけられよう。




挿図19　SB5・SB12 実測図

ＳＫ１

調査地北西　Ｃ－8に位置する。平面形は1.8×1.1ｍの不整円形で、長軸方向はＮ－75°－Ｅを指す。浅い遺構で、壁はなだらかに立ち上がる。覆土は暗灰黄色土の単層で、底面には鉄分が沈澱して見られた。

遺物には土師器の甕らしい小片がある。

ＳＫ２

調査地北西　Ｃ－7に位置し、礫混じりの褐～灰黄褐色土に掘り込まれて構築されている。平面形は2.02×0.63ｍの長方形で、長軸方向はＮ－10°－Ｗを指す。壁はほぼ垂直で、底面は平坦である。覆土は三層に分かれる。２層中に炭化物（樹種はクルミが中心）が多量に含まれている。

遺物は土師器の甕が出土している

ＳＫ３

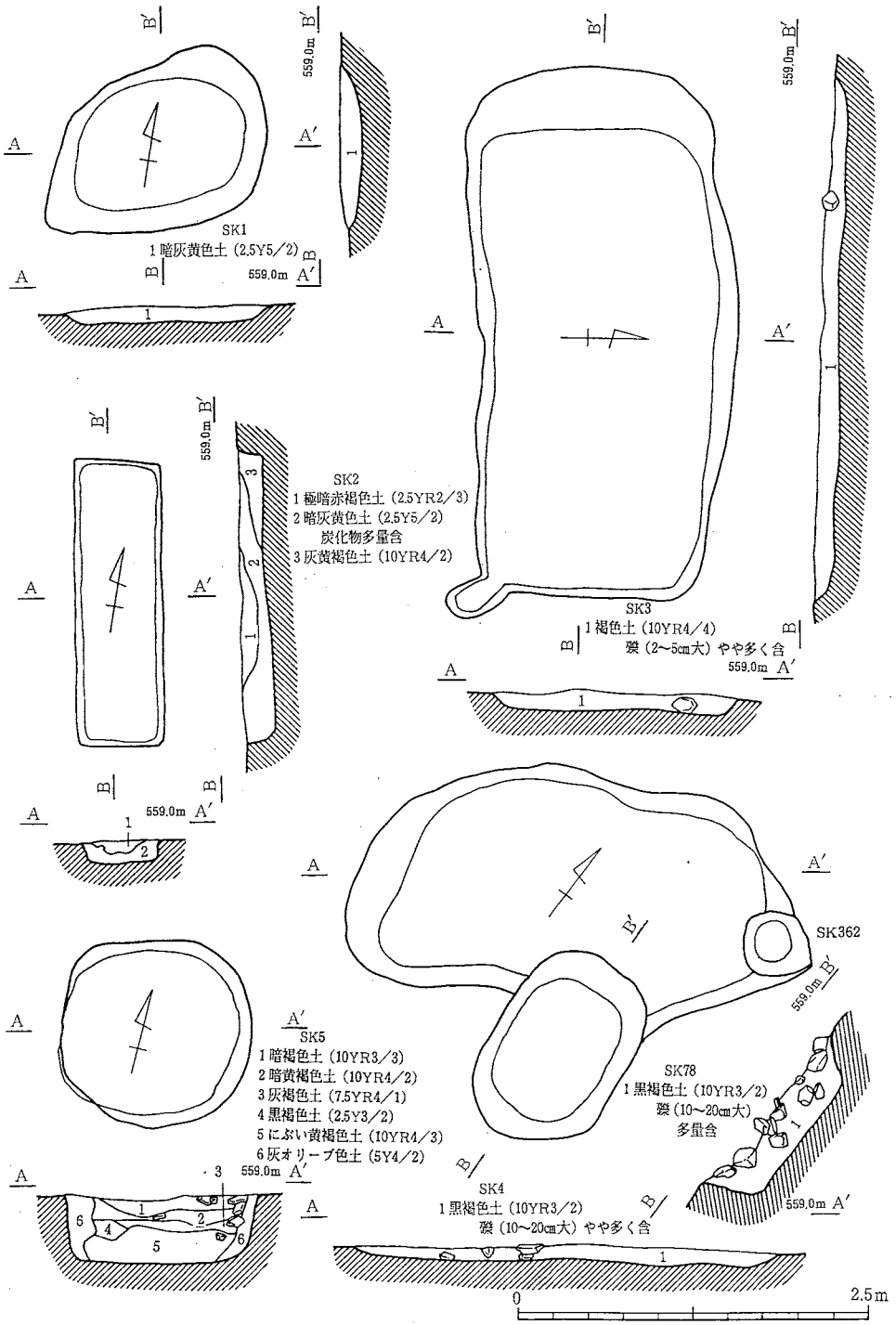
調査地中央北西寄り　Ｄ－6に位置する。平面形は3.78×1.3ｍの長方形で、長軸方向はＮ－88°－Ｅを指す。南東隅に径25㎝の円形の張り出しを有し、切り合い関係があったと思われたが、明確にできなかった。浅い遺構で、壁はなだらかに立ち上がっている。覆土は褐色土の単層で、小礫が多く含まれている。特に、北西隅には20㎝大の礫がまとまっていた。

遺物は北西側を中心に出土している。13世紀後半～14世紀前半に位置づけられる龍泉窯系の青磁碗、内耳鍋、18世紀に位置づけられる瀬戸美濃鉄釉碗、肥前系の陶器、また鉄製品等がある。

ＳＫ４

調査地中央北西寄り　Ｃ－6に位置し、SK78・362に切られる。平面形は3.3×1.65ｍの不整円形で、長軸方向はＮ－60°－Ｅを指す。浅い遺構で、壁はなだらかに立ち上がっている。覆土は黒褐色土の単層で、10～20㎝大の礫が含まれている。また、底面には鉄分が沈澱して見られた。

遺物の出土はなかった。




挿図20　SK1・SK2・SK3・SK4・SK5・SK78 実測図

SK5

調査地西端中央　D−8に位置し、SK6に近接する。掘り方の平面形は1.42×1.32mの円形を呈し、最大壁高は50cmを測る。壁は垂直で、やや袋状に掘り込まれているところもある。壁際を灰オリーブ色土で固めてあり、その内側が何らかの「あな」として機能していたものと考えられる。覆土は六層に分かれ、最下層には5〜20cm大の礫が少量含まれていた。また、東壁際上位にも礫がまとまって見られた。

遺物の出土はなかった。

SK6

調査地西端中央　D−7に位置し、SK5に近接する。掘り方の平面形は1.52×1.4mの円形を呈し、最大壁高は65cmを測る。壁は垂直で、やや袋状に掘り込まれているところもある。壁際と底面を厚さ10〜20cmにわたって、粘性に富む暗青灰色土で固めてあり、SK5同様、その内側が何らかの「あな」として機能していたものと考えられる。覆土は三層に分かれる。1層はマンガンと小礫を少量含む暗褐色土、2層はしまりがややない暗褐色土、3層は砂質のオリーブ黒色土となっている。このうち2層から3層にかけて、10〜20cm大の礫がそれによって隙間ができるほど多量に重なり合っていた。礫はほとんどが割石であった。

遺物には須恵器甕、内耳鍋、志野皿（17世紀）、瀬戸美濃徳利（18世紀）、染付碗（18世紀）等がある。また、割石の中に石臼が含まれていた。

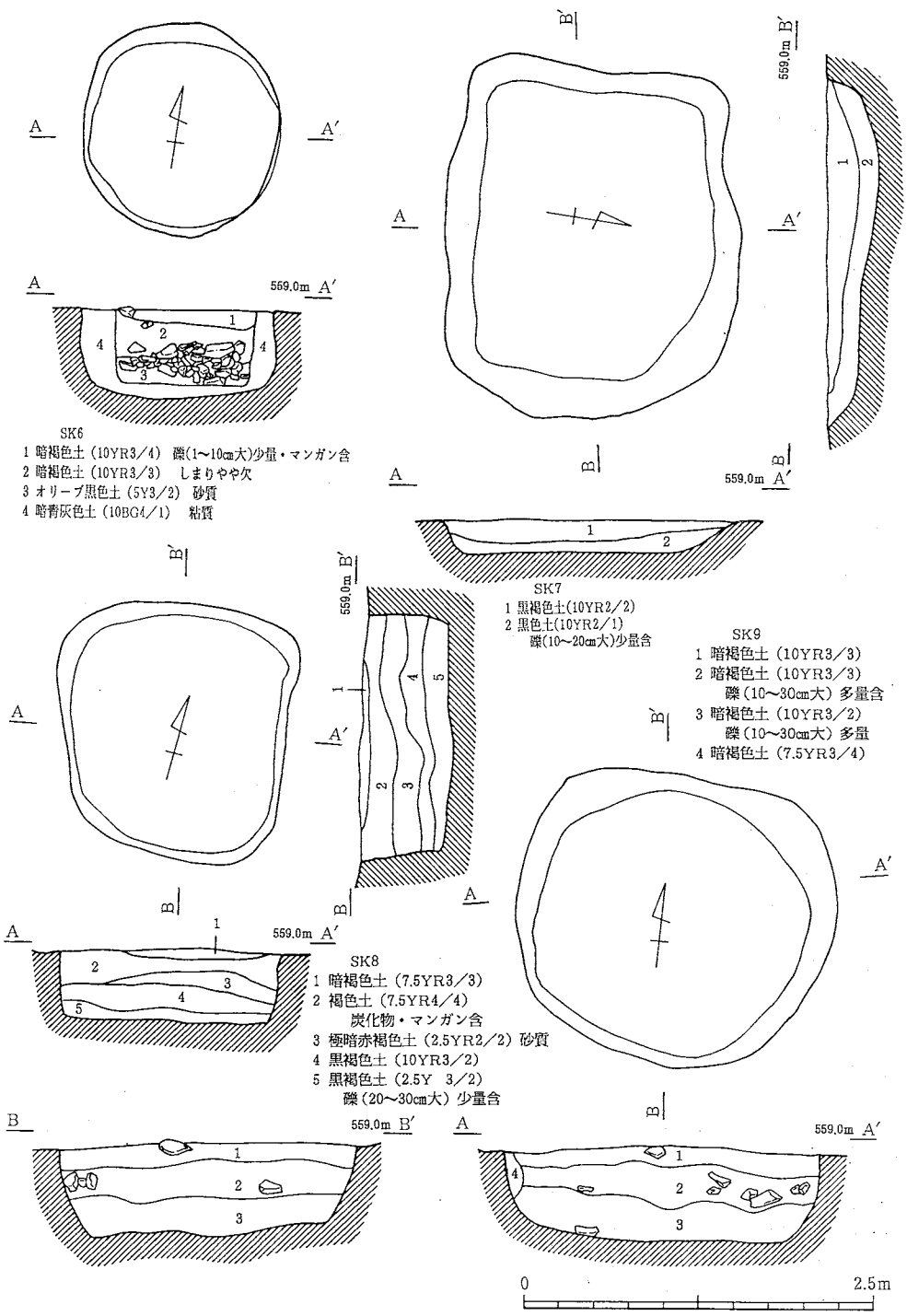
SK7

調査地中央西側　D−6に位置する。平面形は2.7×1.8mの隅丸長方形で、長軸方向はN−85°−Eを指す。壁は斜めに立ち上がり、最大壁高は45cmを測る。底面は概ね平坦だが、やや傾斜をもっている。覆土は二層に分かれる。北東隅と南西隅を中心に20〜30cm大の礫がまとまっていた。

遺物は内耳鍋、瀬戸美濃鉄釉碗・拳骨茶碗（18世紀）、刀子他が出土している。

SK8

調査地西端中央　E−7に位置する。平面形は2.25×1.58mの隅丸方形で、最大壁高は70cmを測る。壁は垂直で、底面にはやや凹凸がある。覆土は五層に分かれる。このうち2層には炭化物（樹種はクリ・コナラ・ヒノキ等）とマンガンが、最下層の5層には20〜30cm




挿図21　SK6・SK7・SK8・SK9 実測図

大の礫が少量含まれている。また、3層は砂質の土であった。

遺物には須恵器甕、黒色土器坏、銅銭がある。

SK9

調査地中央西側　E－6に位置する。平面形は2.38×2.05ｍの円形を呈し、壁高は80㎝を測る。壁はほぼ垂直で、底面にはやや凹凸が見られる。覆土は四層に分かれる。全体的に10～30㎝大の礫が多く含まれており、特に2層に顕著であった。

遺物の出土はなかった。

SK11

調査地西端中央に位置し、SB4に近接する。平面形は3×2.15ｍの不整方形で北東隅でSK10を切る。底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。覆土はにぶい褐色土の単層で、南側を中心に礫が少量含まれる。

遺物は北東側を中心に出土している。内耳鍋、志野織部皿（17世紀）、瀬戸美濃灰釉碗（18世紀）・鉄釉碗、伊万里染付碗（18世紀）、煙管等がある。

SK12

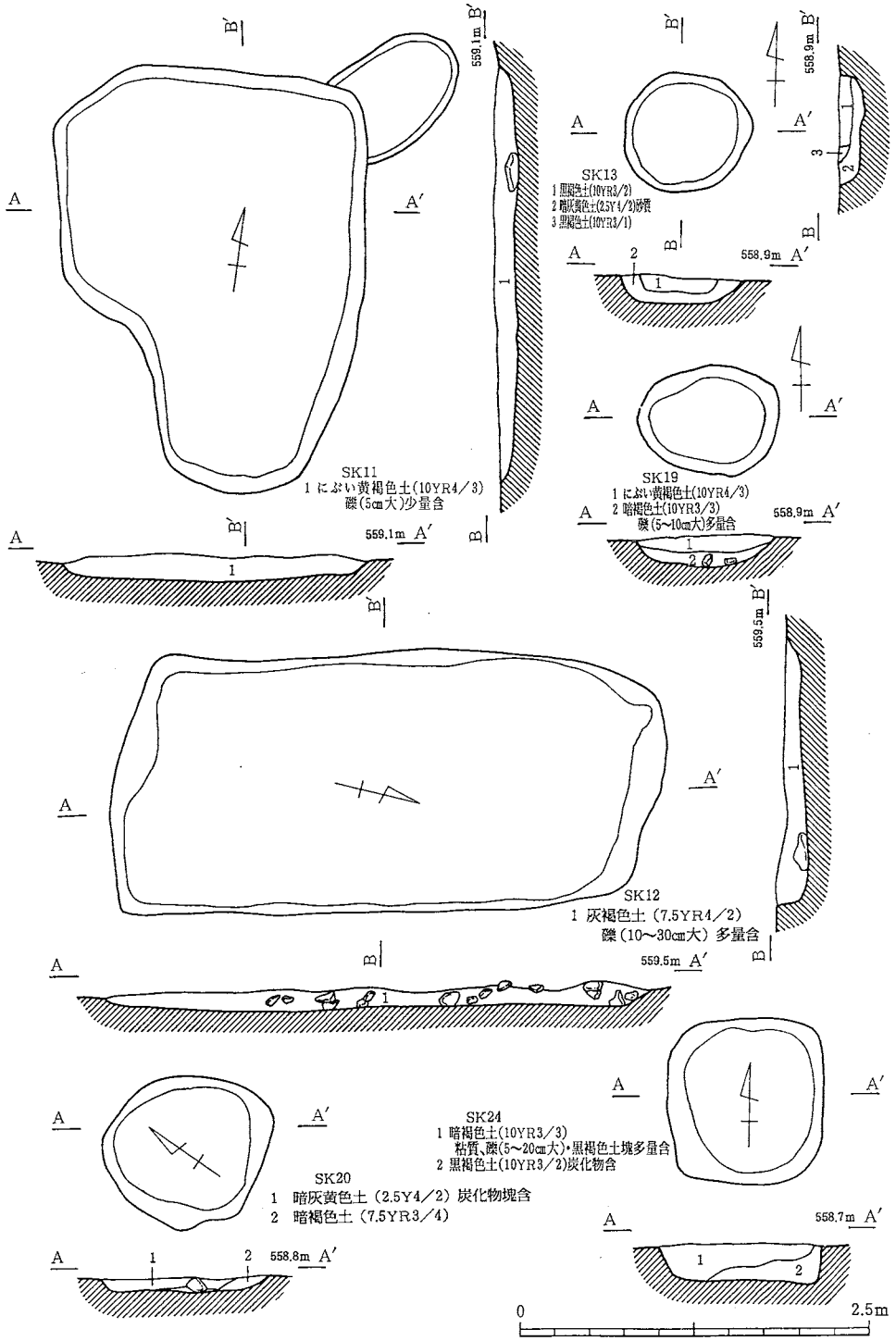
調査地中央西寄り　E－6に位置し、SB5に近接する。平面形は3.8×1.85ｍの長方形を呈し、長軸方向はN－15°－Wを指す。底面は平坦で、壁はなだらかに立ち上がる。覆土は灰褐色土の単層で、10～30㎝大の礫を多量に含んでいる。

遺物はかわらけ、内耳鍋、大窯皿（16世紀）、志野織部皿（17世紀）、瀬戸美濃鉄釉碗、凹石等が出土している。

SK13

調査地北西　C－7に位置する。平面形は0.88×0.86ｍの円形を呈す。壁はほぼ垂直に立ち上がり、壁高は19㎝を測る。底面にはやや傾斜が見られる。覆土は三層に分かれ、うち、2層は砂質の層であった。

遺物には瀬戸美濃灰釉鉢（18世紀）・拳骨茶碗がある。




挿図22　SK11・SK12・SK13・SK19・SK20・SK24 実測図

SK19

調査地中央西より　E－6に位置する。平面形は1.36×0.75ｍの楕円形を呈し、壁高は21㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面にも傾斜が見られる。覆土は二層に分かれる。２層中に小礫が多量に含まれている。遺物の出土はなかった。

SK20

調査地中央　D－5に位置する。1.22×1.05ｍの不整円形を呈し、壁高は10㎝と浅い遺構である。底面はほぼ平坦で、鉄分が多量に沈澱し赤みがかっている。また、1～2㎝大の小礫が多量に分布していた。壁はなだからに立ち上がっている。覆土は二層に分かれ、１層中には炭化物塊も見られた。遺物の出土はなかった。

SK24

調査地中央北寄り　C－5に位置し、周囲を小土坑が取り囲んでいる。平面形は1.37×1.3ｍの隅丸方形を呈し、壁高は30㎝を測る。底面は平坦だが、東側がやや低くなっている。壁はほぼ垂直に立ち上がっている。覆土は二層に分かれる。1層は黒褐色土塊と小礫を多く含み、２層には炭化物が含まれる。

遺物には須恵器坏がある。

SK25

調査地中央北寄り　C－5に位置する。平面形は2.85×1.25ｍの長方形を呈し、長軸方向はN－85°－Eを指す。壁は東西は斜めに立ち上がり、南北はほぼ直に立ち上がっている。底面はほぼ平坦である。覆土は三層に分かれる。３層中には炭化物が層になって見られた。また、10～20㎝大の礫も多く含まれている。

遺物には須恵器坏・壺、土師器甕、黒色土器椀がある。また釘の出土もある。

SK26

調査地中央北寄り　C－4に位置し、北側をSK570に切られる。平面形は0.72×0.7ｍの円形を呈し、壁高は21㎝を測る。壁はほぼ垂直で、底面にはやや凹凸がある。覆土は二層に分かれる。うち、２層中に礫が多量に含まれる。

遺物の出土はなかった。

SK29

調査地中央　E－5に位置し、礫層に掘り込まれて構築されている。平面形は1.58×1.32ｍの隅丸方形を呈し、壁高は14cmを測る。底面から壁にかけてはなだらかに立ち上がっている。覆土はにぶい黄褐色土の単層で、10～20cm大の礫を少量含んでいる。また、壁際には炭化物が多量に見られた。

遺物の出土はなかった。

SK30

調査地中央　E－5に位置し、礫層に掘り込まれて構築されている。平面形は1.95×1.18ｍの長方形で、長軸方向はN－80°－Eを指す。底面は平坦で、壁はほぼ垂直に立ち上がる。壁高は40cmを測る。覆土は四層に分かれ、最下層に20cm大の礫が少量含まれていた。

遺物には須恵器坏、土師器甕がある。

SK31

調査地北東　B－4に位置する。褐色土中に掘り込まれ、平面形は1.26×1.18ｍの円形を呈す。壁高は21cmを測り、底面から壁にかけては緩やかに立ち上がっている。覆土はにぶい黄褐色土の単層で、小礫を少量含んでいる。

遺物には須恵器甕、土師器甕、黒色土器椀がある。

SK32

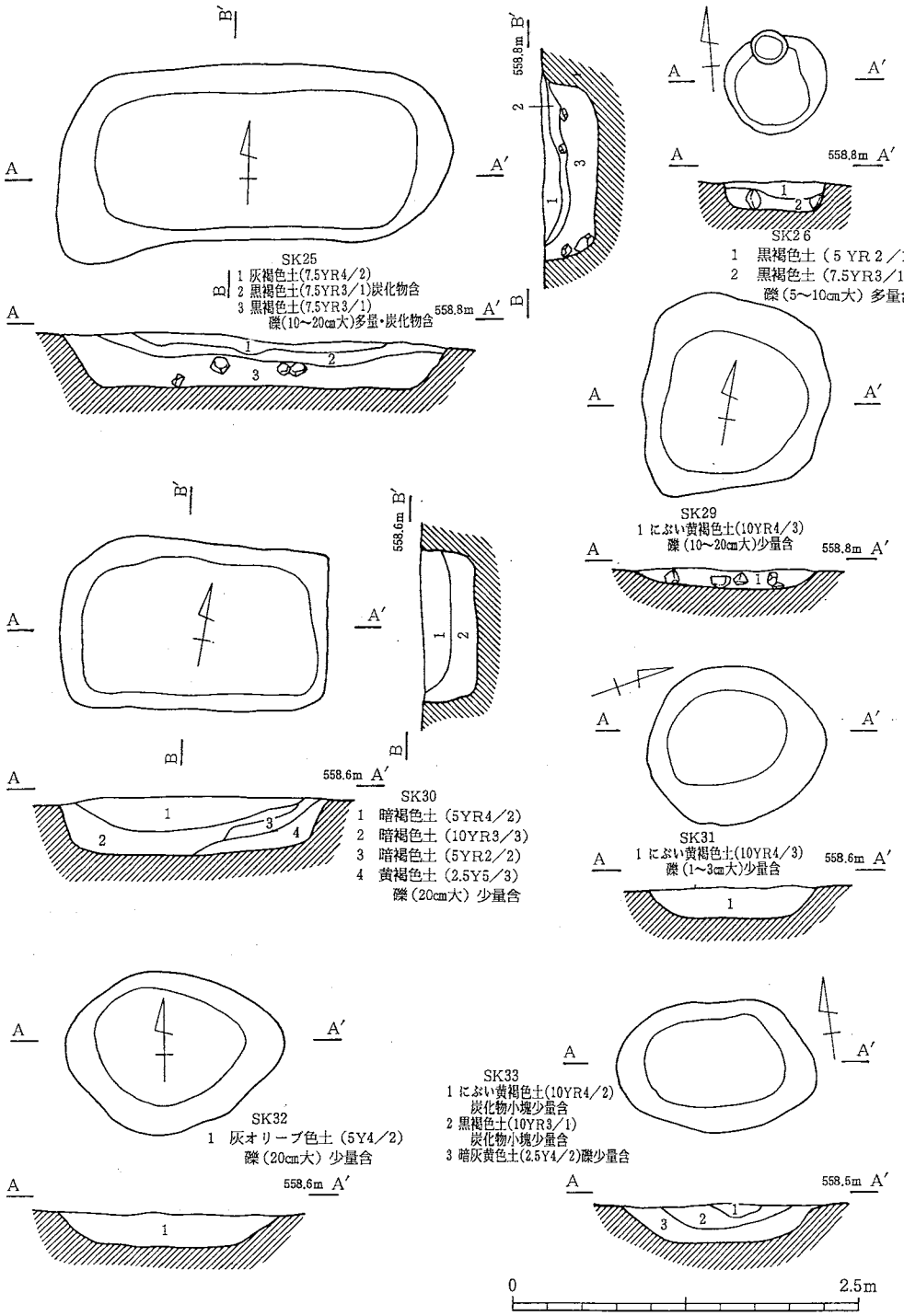
調査地北東　B－3に位置し、褐色土中に掘り込まれる。平面形は1.57×1.18ｍの楕円形を呈し、壁高は27cmを測る。底面から壁にかけては緩やかに立ち上がっている。覆土は灰オリーブ色土の単層で、底面と壁際に20cm大の礫が見られた。

遺物の出土はない。

SK33

調査地北東隅　A－3に位置する。褐色土中に掘り込まれ、平面形は1.33×0.98ｍの隅丸長方形を呈す。壁高は27cmを測り、底面から壁にかけて緩やかに立ち上がっている。覆土は三層に分かれる。1・2層に炭化物の小塊、3層中に礫が含まれている。

遺物の出土はない。




挿図23　SK25・SK26・SK29・SK30・SK31・SK32・SK33 実測図

SK35

調査地北東隅　B－2に位置する。平面形は1.45×1.3mの方形を呈し、壁高は20cmを測る。底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がっている。覆土は灰オリーブ色土の単層で、底面中央に20cm大の礫がまとまってあった。

遺物の出土はない。

SK38

調査地東端中央　D－2に位置する。平面形は2.7×1.4mの不整円形で、壁高は48cmを測る。底面から壁にかけて緩やかに立ち上がり、浅い摺り鉢状を呈している。覆土は二層に分かれる。2層中に10～20cm大の礫を少量含んでいる。

遺物には土師器甕、黒色土器椀、龍泉窯系の青磁碗（12世紀後半）、内耳鍋等がある。青磁は床面からの出土であった。

SK39

調査地東端中央　E－3に位置する。平面形は1.29×1.08mの楕円形で、壁高は30cmを測る。底面はほぼ平坦で、壁は垂直に掘り込まれている。覆土は三層に分かれる。1層中に5～10cm大の礫を多量に含み、2層は砂質の層であった。また、炭化物が少量含まれていた。

遺物には瀬戸美濃灰釉徳利、釘、鉄滓等がある。

SK40

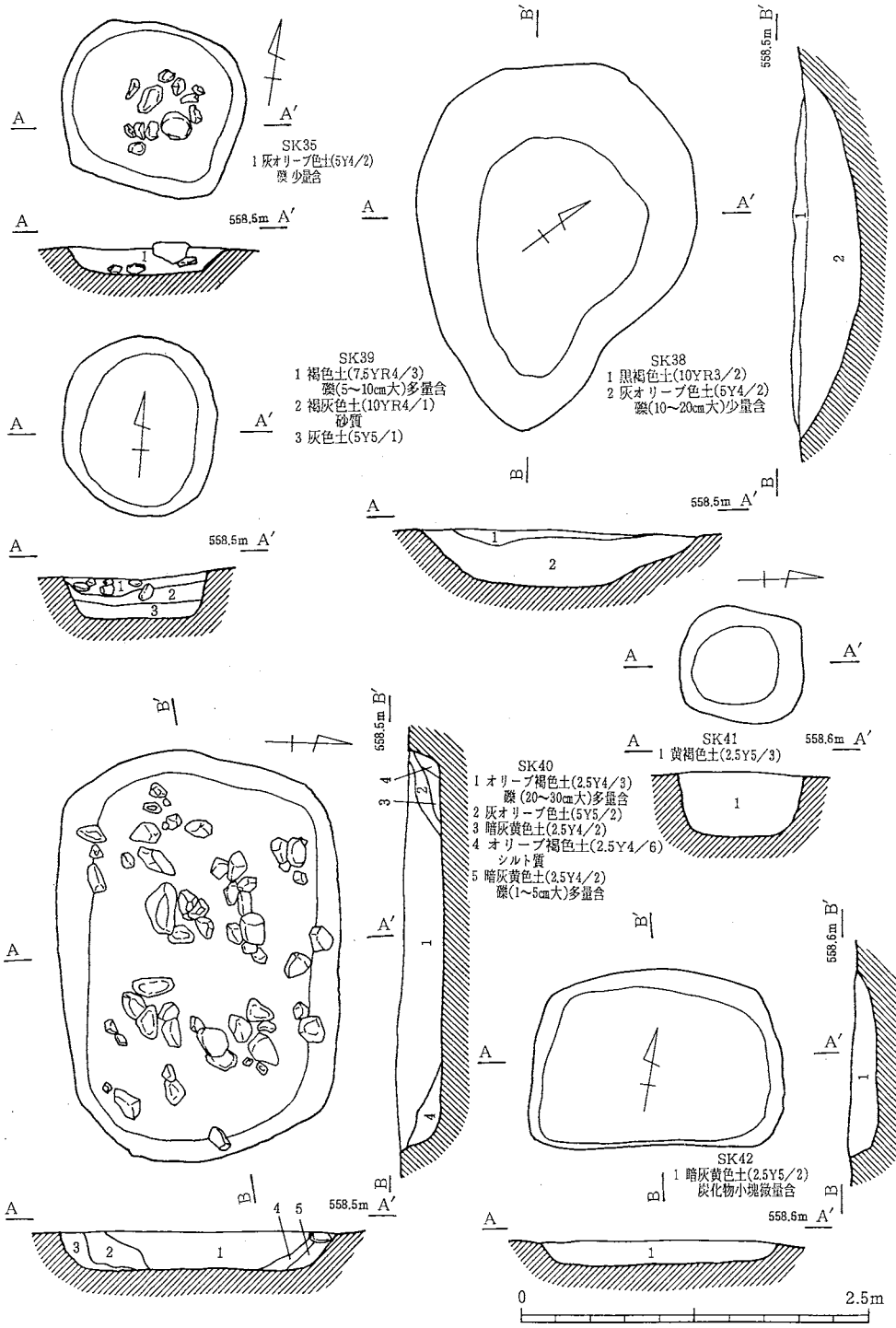
調査地東端中央　E－2に位置する。平面形は2.9×1.9mの隅丸方形で、長軸方向はN－85°－Eを指す。壁は崩落したとも考えられるが、斜めに掘り込まれている。底面は平坦である。覆土は五層に分かれ、20～30cm大の礫が多量に含まれている。

遺物には須恵器坏・甕、土師器甕、黒色土器坏がある。

SK41

調査地東側中央　E－3に位置する。平面形は1.0×0.83mの隅丸方形を呈す。壁はほぼ垂直に掘り込まれ、深さは46cmを測る。底面は平坦、覆土は黄褐色土の単層であった。

遺物の出土はない。




挿図24　SK35・SK38・SK39・SK40・SK41・SK42 実測図

SK42

調査地北東　B－3に位置する。平面形は1.9×1.25mの長方形を呈し、長軸方向はN－80°－Eを指す。壁は斜めに掘り込まれ、底面は平坦であった。壁高は18cmを測る。覆土は暗灰黄褐色土の単層で、炭化物の小塊を微量含んでいる。

遺物の出土はなかった。

SK215

調査地中央　E－4に位置し礫層に掘り込まれて構築されている。平面形は1.46×0.87mの長方形を呈し、長軸方向はN－3°－Eを指す。底面は平坦で、壁は斜めに掘り込まれている。壁高は12cmと浅い。覆土は暗オリーブ褐色土の単層で、小礫を少量含んでいる。

遺物の出土はなかった。

SK301

調査地南西隅　H－7に位置する。平面形は1.23×1.1mの円形で、深さは37cmを測る。底面は中央に向かって緩やかに傾斜し、壁はほぼ垂直に掘り込まれている。覆土は三層に分かれる。うち、1層の表面には、炭化物が薄い層になって見られた。

遺物の出土はなかった。

SK308

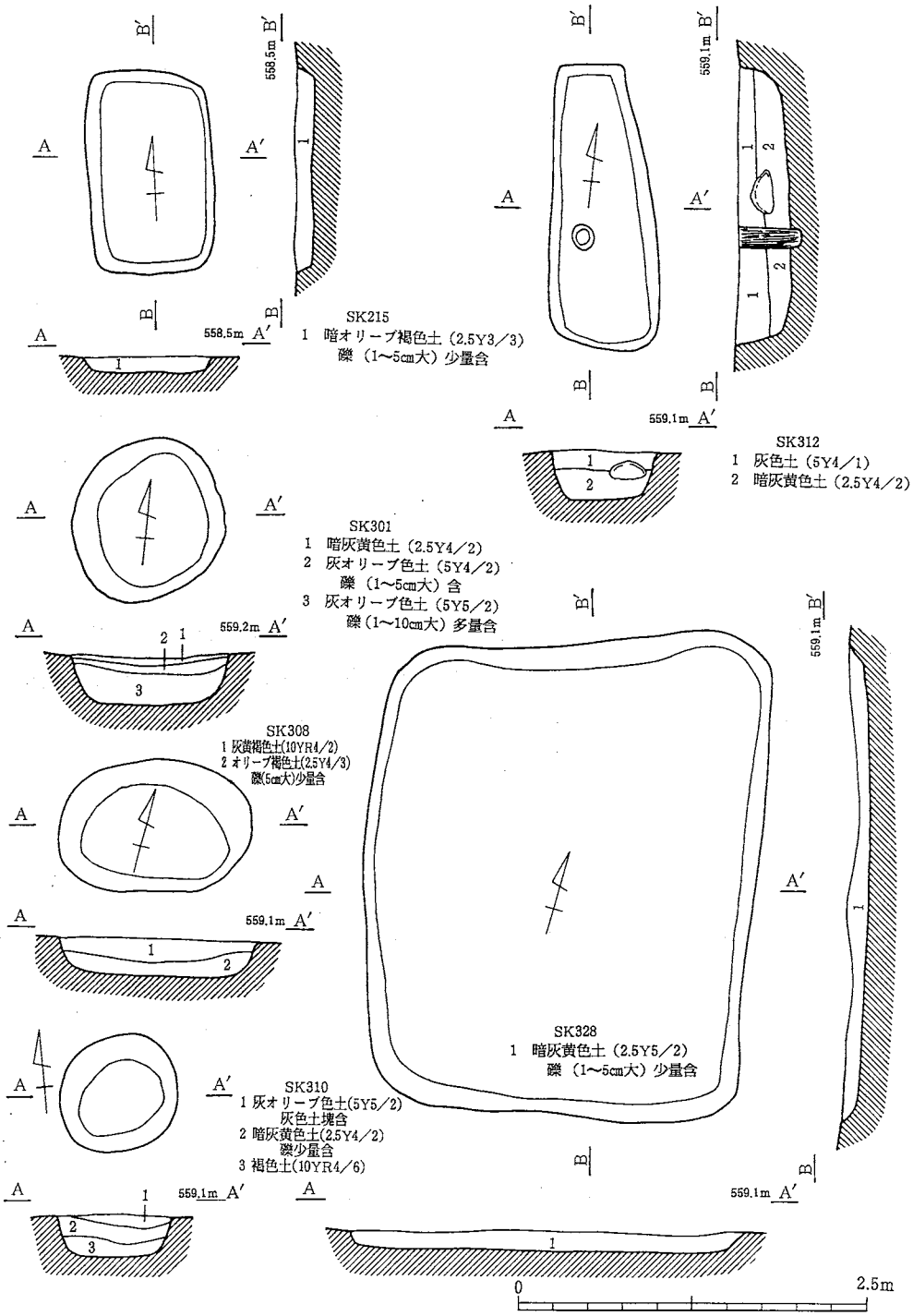
調査地南西隅　H－7に位置する。平面形は1.36×0.92mの楕円形を呈し、壁高は29cmを測る。底面は平坦で、壁はほぼ垂直に立ち上がっている。覆土は二層に分かれ、2層中に礫が少量含まれる。

遺物の出土はない。

SK310

調査地南西側　H－6に位置し平面形は0.9×0.82mの円形を呈す。底面は平坦で、基盤の礫層が露出している。壁はほぼ垂直に立ち上がり、その深さは30cmある。覆土は三層に分かれる。2層中に礫が少量含まれる。

遺物の出土はない。




挿図25　SK215・SK301・SK308・SK310・SK312・SK328 実測図

SK312

調査地南西側　F－7に位置し、礫混じりの黒褐色土中に掘り込まれている。平面形は2.1×0.7mの長方形を呈し、長軸方向はN－5°－Wを指す。壁は垂直に掘り込まれており、その深さは41cmを測る。底面は平坦で、その中央やや西寄りに20×15cmの柱穴が掘り込まれており、柱が残っていた。覆土中には柱の掘り方が確認できないので、遺構に伴うものか、後世に上面より打ち込まれたものと考えられる。覆土は二層に分かれ、その境に30cm大の扁平な石があった。また、2層の上面はマンガンを含み赤みがかっている。

遺物の出土はない。

SK328

調査地南西側　G－6に位置し、礫混じりの黒褐色土中に掘り込まれている。周囲を小土坑が取り囲む大形の土坑である。平面形は3.45×2.80mの長方形を呈し、長軸方向はN－15°－Wを指す。底面は基盤の小礫が顔を出しているものの平坦で、壁は斜めに立ち上がっている。覆土は暗褐色土の単層で、小礫を少量含んでいる。

遺物は須恵器甕、志野皿が出土している。

SK339

調査地南西側　F－6に位置し、中央をSK36に切られる。平面形は1.3×1.2mの円形で深さは22cmある。底面にはやや傾斜があり、壁は斜めに立ち上がっている。覆土は灰黄褐色土の単層で、小礫がやや多く含まれている。

遺物の出土はなかった。

SK355

調査地南西側　G－6に位置し、礫混じりの褐色土中に掘り込まれる。平面形は、2.14×1.7mの円形で、深さは45cmある。底面から壁にかけて摺り鉢状に斜めに立ち上がっている。覆土は五層に分かれる。うち、4層には炭化物が含まれ、5層は粘質の土であった。

遺物には黒色土器坏、龍泉窯系の青磁碗（13世紀）、東海系の捏鉢（13世紀）、瀬戸美濃天目茶碗（17世紀）等がある。

SK361

調査地南側中央　G－5に位置し、北西隅でSK363を切る。平面形は4.05×2.85ｍの長方形を呈し、長軸方向はN－10°－Wを指す。底面はほぼ平坦で、東壁際中央に径35㎝の穴が穿たれている。壁は斜めに立ち上がっており、壁高は44㎝を測る。覆土は二層に分かれる。うち、２層には焼土・炭化物が微量含まれていた。また、中央南側の上位には20㎝大の礫がまとまって見られた。

遺物は覆土上層から床面まで偏りなく出土している。土師器甕、東海系の捏鉢（13世紀）、内耳鍋、志野皿（17世紀）、瀬戸美濃灰釉皿（17世紀）がある。

SK374

調査地中央　E－5に位置する。平面形は0.82×0.6ｍの円形で、深さは25㎝ある。底面には３個の扁平な石が敷きつめられている。このような例は本遺跡のなかでは類例がない。覆土は二層に分かれる。

遺物の出土はなかった。

SK383

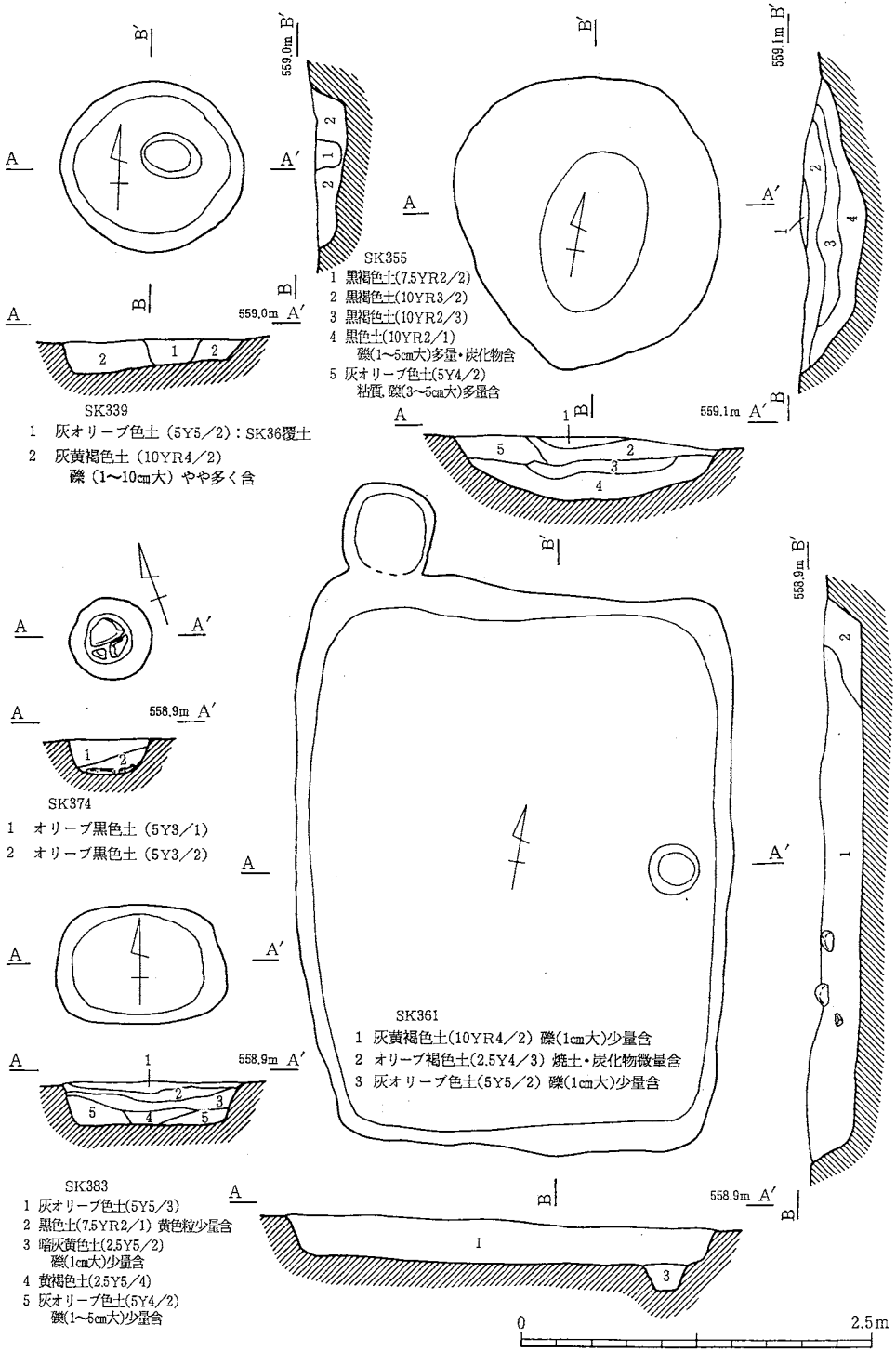
調査地南側中央　G－5に位置し、礫混じりの黒褐色土中に掘り込まれる。平面形は1.22×0.85ｍの長方形を呈し、長軸方向はN－85°－Eを指す。底面は平坦で、壁はほぼ垂直に掘り込まれている。壁高は30㎝を測る。覆土は五層に分かれ、下層には礫が少量含まれていた。

遺物の出土はなかった。

SK385

調査地南側中央　G－5に位置する。平面形は3.77×2.75ｍの長方形を呈し、長軸方向はN－85°－Wを指す。底面は平坦で、壁は斜めに掘り込まれている。壁高は29㎝を測る。覆土は三層に分かれる。うち、１層には炭化物が微量含まれていた。また、中央上位には20㎝大の礫がまとまっていた。

遺物は覆土上層から床面まで偏りなく出土している。龍泉窯系の青磁碗（13世紀）、内耳鍋（16世紀）、かわらけ（17世紀）、志野皿（17世紀）、志野織部皿（17世紀）がある。




挿図26　SK339・SK355・SK374・SK383 実測図

SK400

調査地南端東寄り　H－4に位置する。平面形は1.43×1.1ｍの円形で、深さは15㎝と浅い。底面は傾斜をもち、やや凹凸がある。また、基盤の礫が現われている。そこから壁にかけては緩やかに立ち上がっている。覆土は二層に分かれる。１層中に小礫が多量に含まれている。

遺物には龍泉窯系の青磁碗がある。劃花文が施されるもので、12世紀後半に位置づけられよう。

SK401

調査地南端東寄り　H－3に位置する。平面形は2.0×1.6ｍの円形で、深さは26㎝ある。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がっている。覆土はオリーブ黒色土の単層で、10～20㎝大の礫が多量に見られた。

遺物には龍泉窯系の青磁碗（13世紀）、かわらけがある。

SK402

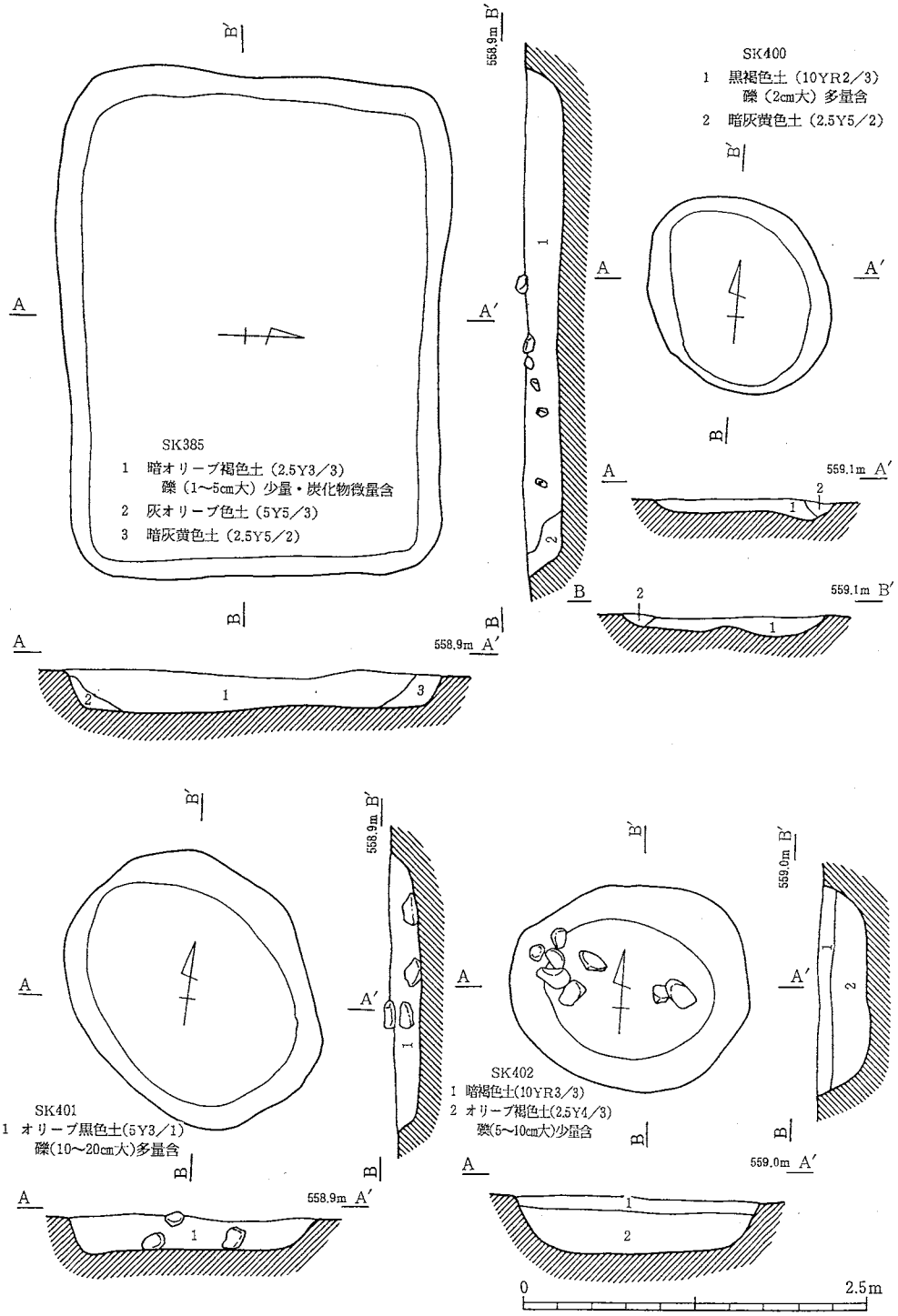
調査地南端東寄り　H－3に位置する。平面形は1.75×1.45ｍの円形で、深さは41㎝ある。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がっている。覆土は二層に分かれる。下層に小礫が少量含まれている。

遺物の出土はなかった。

SK433

調査地南東隅　G－3に位置する。平面形は3.2×1.5ｍの不整円形で、最大壁高は63㎝を測る。もともとは2.0×1.5ｍくらいの楕円形の遺構で周囲が地表より一段と低く削られていたものと考えられる。底面は東側がやや低くなっており傾斜をもっている。壁は垂直に近く掘り込まれている。覆土は三層に分かれる。特に３層は砂質の層であった。また、２層中に10～20㎝大の礫が多量に含まれていた。壁が異なるが、SK5・6と同様な遺構であったと考えられる。

遺物は北西側より黒色土器坏が出土している。




挿図27　SK385・SK400・SK401・SK402 実測図

SK450

調査地南東隅　G－3に位置する。平面形は1.5×1.35ｍの円形で、深さは47㎝と深い。底面は平坦で、壁は斜めに立ち上がっている。覆土は暗灰黄色土の単層である。

遺物の出土はなかった。

SK452

調査地南東隅　G－3に位置する。平面形は2.68×0.9ｍの長楕円形で、深さは10㎝と浅い。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がっている。覆土はオリーブ褐色土の単層で、小礫を少量含んでいる。

遺物の出土はなかった。

SK454

調査地南東隅　G－2に位置する。平面形は2.3×1.3ｍの不整円形で、深さは24㎝ある。南側に突出部がある1.3×1.1ｍくらいの楕円形の浅い遺構ととらえられよう。底面から壁にかけては緩やかに立ち上がっている。覆土は暗オリーブ褐色土の単層で、小礫を少量含んでいる。

遺物の出土はなかった。

SK500

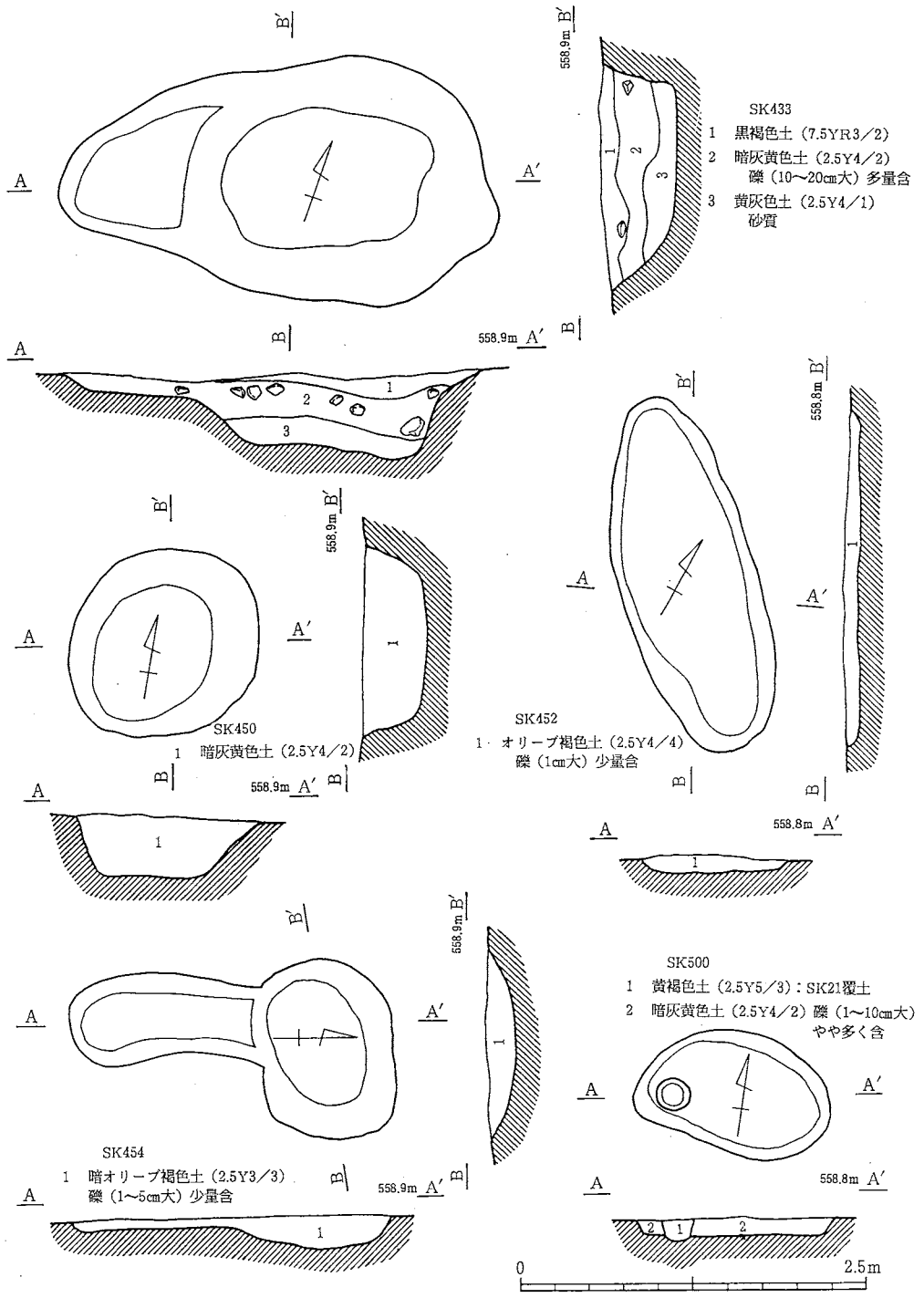
調査地南東隅　G－2に位置し、SK21に切られる。平面形は1.45×0.75ｍの楕円形で、深さは13㎝ある。底面は平坦で、壁は緩やかに立ち上がっている。覆土は暗灰黄色土の単層で、小礫をやや多く含んでいる。

遺物にはV類の白磁（12世紀）がある。

SK501

調査地南東隅　G－2に位置する。平面形は1.92×1.75ｍの円形で、深さは15㎝と浅い。底面はやや傾斜をもち、壁は緩やかに立ち上がっている。覆土は黒褐色土の単層で、南東側に礫がまとまって入り込んでいた。

遺物には須恵器甕がある。




挿図28　SK433・SK450・SK452・SK454・SK500 実測図

SK505

調査地南側中央　G－5に位置する。平面形は2.16×0.9ｍの長方形で、長軸方向はN－2°－Wを指す。底面は南北が浅く中央が深くなっており、凹凸を有している。したがって壁は、東西はほぼ垂直に深く掘り込まれているが、南北は緩やかになっている。最大壁高は24cmを測る。覆土は四層に分かれる。うち、1層はマンガンが沈澱しており、また、4層には灰色土塊が少量含まれていた。

遺物の出土はなかった。

SK510

調査地東端中央　E－2に位置し、平面形は1.13×0.92ｍの円形を呈す。壁はほぼ垂直に深く掘り込まれており、最大壁高は50cmを測る。底面は平坦である。覆土は二層に分かれる。2層中には5～15cm大の礫が少量含まれていた。また、1層は2層に被っただけの層である。

遺物の出土はなかった。

SK511

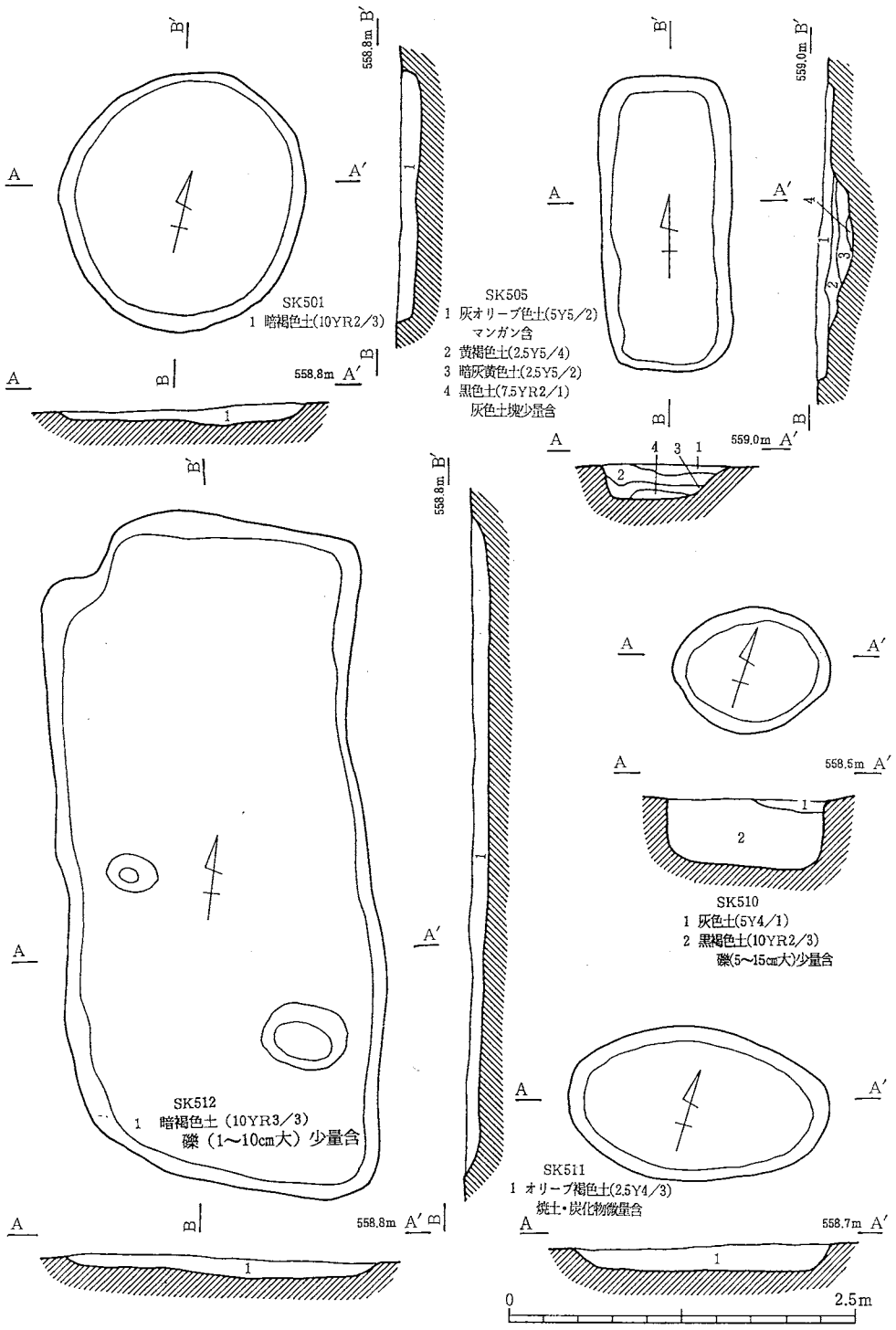
調査地東端中央　E－2に位置し、平面形は1.88×0.95ｍの楕円形を呈す。底面は平坦で、壁は斜めに掘り込まれている。覆土はオリーブ褐色土の単層で、焼土・炭化物が微量含まれている。

遺物には土師器甕がある。

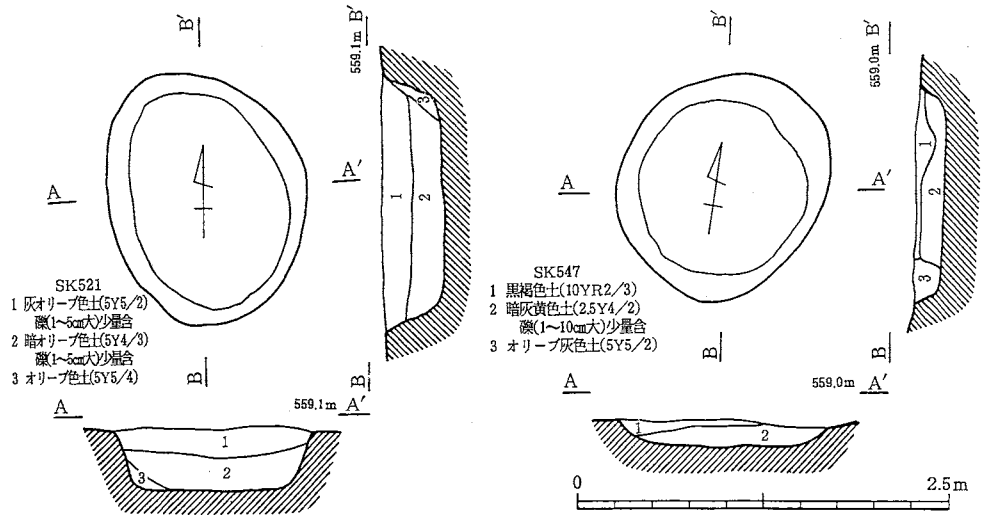
SK512

調査地南東隅　G－2に位置する。平面形は4.84×2.18ｍの長方形で、長軸方向はN－10°－Wを指す。底面は概ね平坦で、壁は斜めに立ち上がっている。最大壁高は14cmと浅い。覆土は暗褐色土の単層で、小礫が少量含まれる。床面には2ケのピットが穿たれている。一つは長径60cm、短径47cm、深さ10cm、もう一つは長径38cm、短径28cm、深さ28cmであった。いずれも覆土は礫を少量含む暗褐色土で、遺構覆土と変化はなかった。

遺物には土師器甕とかわらけがある。




挿図29　SK501・SK505・SK510・SK511・SK512 実測図




**挿図30　SK521・SK547 実測図**

### S K521

調査地南西側　G－6に位置する。平面形は1.52×1.3mの楕円形で、深さは43cmある。壁はほぼ垂直に掘り込まれており、底面は平坦である。覆土は三層に分かれ、1層の上面にはマンガンが沈澱していた。また、1・2層中には小礫が少量含まれる。

遺物の出土はない。

### S K547

調査地南側中央　G－5に位置する。平面形は1.53×1.26mの円形で、深さは18cmと浅い。底面はほぼ平坦で、壁は斜めに掘り込まれている。覆土は三層に分かれ、うち、3層中には小礫が少量含まれていた。

遺物の出土はなかった。

## 3　堀

調査地の北・東・南で堀を検出した。調査地端のためその内側のラインを確認し、一部を掘り下げただけの調査にとどまったが、北と東でそれぞれ1カ所トレンチ調査により、幅と深さを明らかにした。(挿図32) また、西側では地表に残る土塁及び堀とされる遺構について、断ち割りと表面高を記録した。(挿図33)

幅は北側で4.5m、東側で3.3m、深さは北側が1m、東側が0.75mを測り、東側より北側がやや規模が大きい。底は比較的平坦で、壁は約30°～40°と緩やかに立ち上がっている。

東側では埋土に灰色土の堆積がみられ、砂やマンガンが多く含まれていることから滞水していたことがうかがえる。滞水していた様子は南側でもうかがえるが、北側では明確でない。東側・南側は上位にもそれらの堆積があるので、ある程度埋没してからも水路として利用されていたのだろう。また、北側・東側とも、中位から上位にかけて礫が多量に含まれており、近世以降、人為的に埋められたことがうかがえた。

北側では、当初、考えられていた道路の内側、土塁状に高まった土手の下から堀が検出された。おそらく、ここもその際に改変されてそのような地形になったのだと考えられる。調査地の土層が安定していないこと。遺構外から多量に遺物が出土していることもこの改変が大きかったためと考えられる。

遺物は古代から近世のものまで多く出土している。中世以降のものでは白磁、内耳鍋（16世紀他）、志野皿（17世紀）、瀬戸美濃の三足香炉（17世紀）・灰釉鉢（18世紀）・灰釉皿（18世紀）・鉄釉鉢（19世紀）・備前徳利（19世紀）・染付碗（19・20世紀）、擂鉢、染付碗等がある。いずれも検出面・上層からの出土で、最下層からは、資料が得られなかった。これからは18世紀から19世紀にかけて大きな改変が行われたものと考えられよう。

なお、東側で堀を検出した際、埋土中に幅20～30cmの灰色土の帯が約2m間隔でみられた。断ち割った結果、灰色土は下層から続くもので、灰色土を残して掘り下げたことが明らかになった。しかし、畑の耕作によるものとは考え難く、その性格は不明である。

### 4　土塁

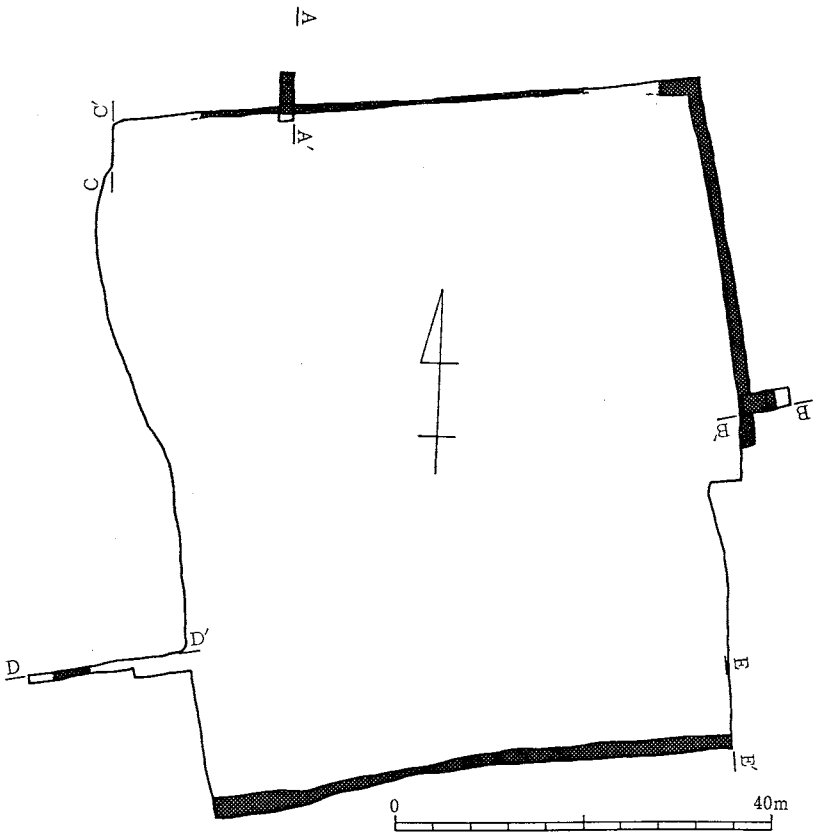
調査前には地積や、一段と高くなった畑によりその位置が予想されていた。しかし、今回の調査ではその明確な痕跡は確認できず、とくに南側ではその存在が疑われる結果となった。

北側では北西隅で土層の確認を行なった（挿図32）。7層が土塁の痕と考えられ、その幅は3.4mを測る。また、堀に沿って遺構の空白部が存在し、その部位に土塁があったと考えられよう。

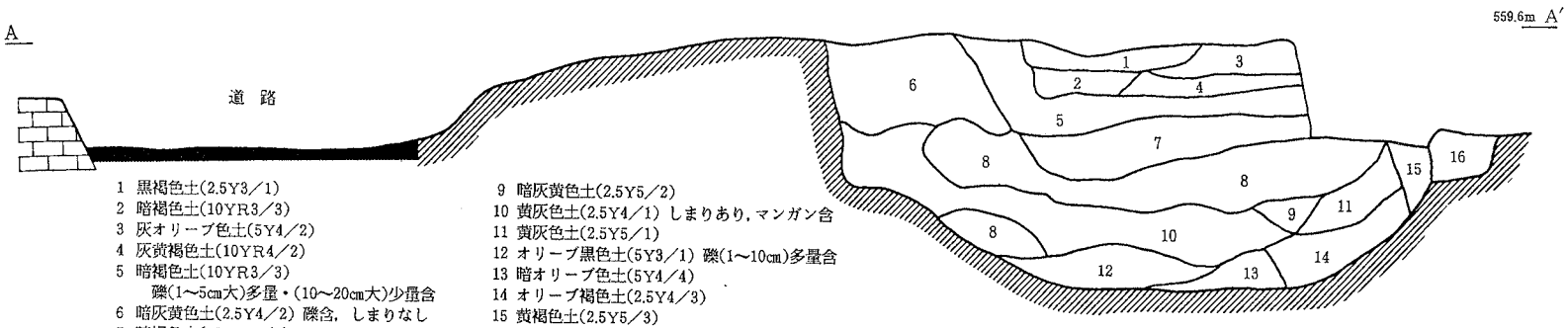
南側では南東隅で土層の確認を行なった（挿図33）。適切な場所でないため判然としないが、12層にその可能性がある。しかし、それに続くべき南側堀に沿っては遺構が並んでおり、仮にそれらが館の建物の一部とすれば土塁の存在は考え難い。同様に東側でも堀に近

い位置に遺構が検出されており、規模が小さかったか、あるいはその存在が疑われる。

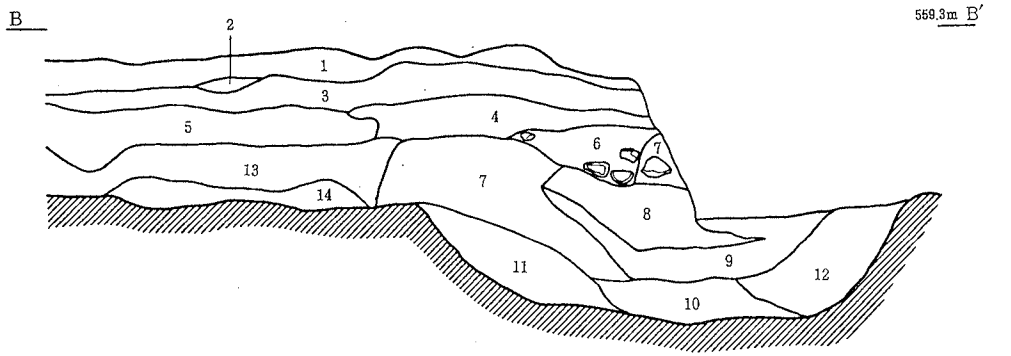
西側では土塁跡と推定されていた南北に続く一段と高くなった畑（幅 8.5m）を断ち割った。その結果、最下層（8層）に土塁の可能性が考えられた。全体にしまりのない層であること。中央に流路の痕（3．4層）が確認できることから、後世の改変によって周囲より一段と高い土塁状の畑ができあがったと理解できる。



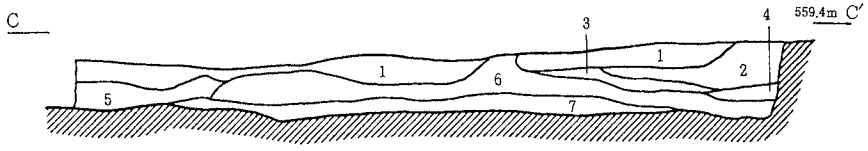

挿図31　堀・土塁 実測地点




1 黒褐色土(2.5Y3／1)
2 暗褐色土(10YR3／3)
3 灰オリーブ色土(5Y4／2)
4 灰黄褐色土(10YR4／2)
5 暗褐色土(10YR3／3)
　礫(1～5cm大)多量・(10～20cm大)少量含
6 暗灰黄色土(2.5Y4／2) 礫含，しまりなし
7 暗褐色土(10YR4／3)
8 灰色土(5Y4／1) 礫(5～15cm大)多量含
9 暗灰黄色土(2.5Y5／2)
10 黄灰色土(2.5Y4／1) しまりあり，マンガン含
11 黄灰色土(2.5Y5／1)
12 オリーブ黒色土(5Y3／1) 礫(1～10cm)多量含
13 暗オリーブ色土(5Y4／4)
14 オリーブ褐色土(2.5Y4／3)
15 黄褐色土(2.5Y5／3)
16 オリーブ褐色土(2.5Y4／6)



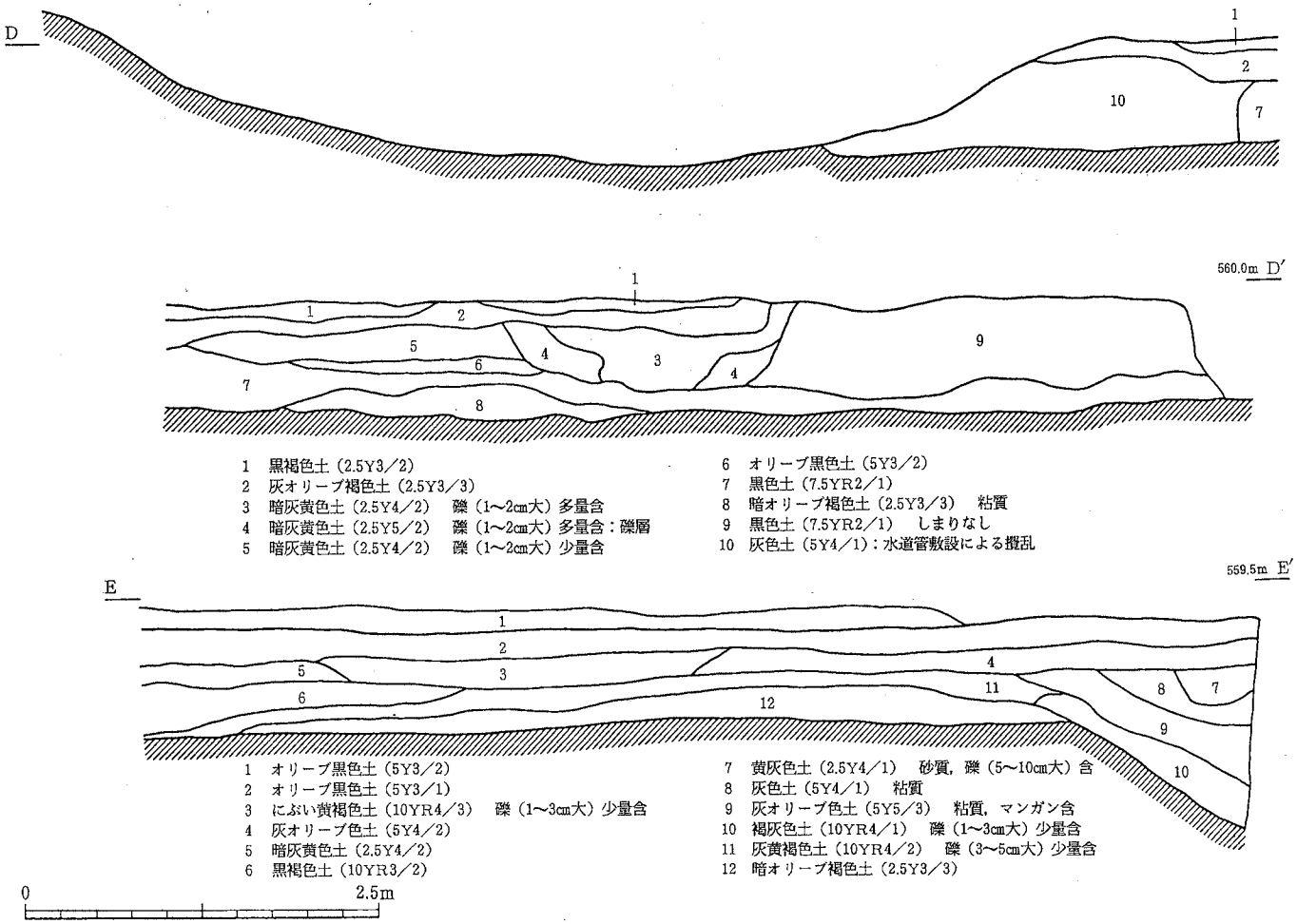

1 黒色土(10YR2／1)
2 暗灰黄色土(2.5Y5／2) 礫(1cm大)多量含
3 オリーブ黒色土(5Y3／1) しまりあり
4 オリーブ黒色土(5Y3／2) しまりあり
5 黒褐色土(2.5Y3／2) 礫(1～3cm大)多量含
6 灰黄褐色土(10YR4／2) 礫(10～20cm大)多量含
7 暗褐色土(10YR3／4) 礫(10～20cm大)多量含
8 オリーブ黒色土(10YR3／1) 砂質
9 灰色土(5Y4／1) 砂・粘質土・マンガン含
10 灰色土(5Y5／1) マンガン含
11 灰色土(5Y5／1) 礫(3～10cm大)多量・マンガン含
12 黒色土(7.5YR2／1) 礫(3～10cm大)多量含
13 暗オリーブ褐色土(2.5Y3／3) 粘質
14 黒褐色土(7.5Y3／2)




1 褐灰色土(10YR4／1)：耕作土
2 灰黄褐色土(10YR4／2) 黄色土粒含
3 灰色土(5Y4／1)
4 暗灰黄色土(2.5Y4／2)
5 灰黄褐色土(10YR4／2)
　やや粘質，黄色土塊・灰色土塊含
6 黄褐色土(2.5Y5／3) シルト質
7 オリーブ褐色土(2.5Y4／3) しまりあり

0　2.5m

挿図32　堀・土塁　実測図(1)




挿図33 堀・土壙 実測図(2)

## 第3節　遺　　物

### 1　土器・陶磁器

(1)　古代の土器

竪穴住居址を中心に多量に出土している。概ね平安時代（9世紀代）に属するものである。

土器の種類には須恵器・土師器・黒色土器・灰釉陶器・緑釉陶器がある。

**須恵器**

器形の種類には坏蓋・坏・椀・長頸壺・短頸壺・四耳壺・甕等がある。

**坏蓋**　SB1・SB2・SB7・SB8他で少量出土している。いずれも小片である。天井部に扁平な宝珠形のつまみがつき、端部を下方へ短く屈曲させる。口径が復元できるものは2点（64・75）あり、それぞれ、14.3cm、11.2cmを測る。天井部には回転ヘラ削り痕が観察できる。

**坏**　各住居址から出土している。無台のものが多く、有台のものは遺構外から出土した1点だけである。口径は12.6～14.0cm、器高は3.5～4.6cmに分布する。ほとんどが灰白色～黄褐色を呈す軟質のもので、黒斑が残る。

**椀**　1点のみ、SB2から出土した（36）。薄い体部が大きく外開し、底部端に断面三角形の高台が付く。

**長頸壺**　出土量は非常に少なく、器形が窺えるものはSB7出土の胴部（67）と、SB8出土の口頸部片（81）のみである。なお、SB2出土の口頸部（38）は四耳壺としてあるが大形の長頸壺の可能性もある。

**短頸壺**　出土量は非常に少なく、図示できたものはSB8出土の底部片（82）と遺構外出土の（204）だけである。

**四耳壺**　当地方で一般的に使われている呼称にしたがい、中形の甕の肩部に凸帯とそれを4分割する形で耳（突起）が付されたものをいう。図示できたものはSB2出土のもの（37・38・39）だけで、凸帯が2条巡る。

**甕**　各住居址から出土があるが、体部の破片が多く図示できるものは非常に少ない。SB2出土の40・41はともに大形の口頸部片でタタキ成形の痕が残る。40は端部を下方へ引き出し、41は上方へ折り返している。胴部片は外面に平行あるいは擬格子のタタキが施され、

内面にはナデ痕を残している。

その他　皿と思われる小片、鉢の出土がある。

**土師器**

器形の種類には坏・盤・甕・小形甕・鍋がある。また、甕のなかには脚の付くものが存在している。

**坏**　小片が数点出土しているのみで図示できるものはない。

**盤**　出土量は少ない。小形で盤部が平らなもの（42）と大形で体部が斜めに立ち上がるもの（14）がある。

**甕**　2種ある。主体は長胴形で胴部外面にハケ目調整を施し、「く」字状に外反する口縁部内面にカキ目調整を施すもので、すべての住居址から多量に出土している。全形を知り得るもので、口径20.2～24.8cm、器高は28.1～36.0cmを測る。もう1種は胴部外面にヘラ削りを施して非常に器壁が薄く、口縁部が「コ」字状または「く」字状を呈す。一般的に武蔵型の甕と呼称されているものである。

**小形甕**　ロクロを使用し、胴部外面をカキ目で調整するもの。「く」字状に外反する口縁部内面にもカキ目を施すものがある。出土量は多い。また、甕同様、武蔵型と呼称されるものの出土もあり、SB2出土の50はその脚部と考えられる。

**鍋**　器形を窺えるのは1点のみ、SB11から出土した。丸い底部から体部が大きく外反し、口縁部がさらに「く」字状に弱く外反するもので、底部には手持ちヘラ削りが施される。

**黒色土器**

器形の種類には坏・椀・鉢・皿がある。内面をヘラ磨き・黒色処理するもののみで、外面を黒色処理するものはなかった。

**坏**　体部は膨らみをもちながら立ち上がり底部内面に明瞭な境を作らないもので、底部外面には回転糸切り痕を残す。口径13cm、器高4cm前後のものと口径15cm以上の大形のものの2法量がある。

**椀**　坏に高台を付した形態で、法量は口径15cm、器高は5.5cm前後を測る。

**鉢**　坏を大形にした形態をとり、口径は20cmをこえる。口縁の形態には丸くおさめるものと、面取りをするものとがある。

**皿**　断面三角形の高台が付されるもので、口径12～13cm、器高2.5～3cm前後の法量をも

つ。

**灰釉陶器**

器形の種類には皿・椀・瓶がある。

**皿**　体部に段をもつものともたないものとがある。法量には大小がある。

**椀**　体部にわずかに丸みをもち直線的に開く形態で、台形あるいは三日月様の高台が付される。

**瓶**　広口瓶あるいは短頸壺と考えられるものの胴部下半（28）、小瓶の小片がある。

**緑釉陶器**

SB6から小片が出土した。豊科町内では上ノ山窯跡群中から出土したものに次いで2例目である。器形の種類は皿で、体部に稜があり、口縁端部は外反する。胎土は淡黄褐色で軟質、釉は透明に近い淡黄緑色を呈す。

(2)　中世以降の土器・陶磁器

土坑及び堀、その他に遺構外からも多く出土している。総破片数で388点あり、うち、中世に属すると考えられるものが29点ある。残りは16世紀以降、近世から近代にかけてと考えられるものである。[1]

中世の陶器には東海系の捏鉢・山茶碗・山皿があり、それぞれ2点・1点・7点出土している。磁器には中国産の白磁6点と青磁13点がある。

16世紀以降には焼き物の種類・器形とも増える。土器にはかわらけ（皿）・内耳鍋・ほうろく・火鉢がある。いずれも在地産と考えられるものである。陶器には常滑・瀬戸美濃・肥前系のものがある。さらに量は少ないが鉢等の中に在地産と考えられるものがある。主体を占めるのは瀬戸美濃で大窯・志野・志野織部の他、灰釉を施釉するもの、鉄釉を施釉するもの等がある。磁器は肥前系（伊万里）の染付を主体に、瀬戸美濃のものが若干見られる。16世紀以降と考えられる359点のうち、用途別の割合では食器が188点で52%、調理具が157点で44%、貯蔵具が4点で1%、その他・不明が10点で3%という結果が得られた。また、産地別の割合では常滑産が2点で1%、瀬戸美濃産が147点で41%、肥前系が37点で10%、在地産が、160点で45%を占めている。時期は16世紀から20世紀まで継続して見られ、17・18世紀のものが最も多い。16世紀と考えられるものは瀬戸美濃大窯の製品3点（SK12・

遺構外出土）と、内耳鍋２点（SK358・東側堀出土）だけである。

**捏鉢**

灰白色の緻密な胎土をもつもので、SK355・SK361と遺構外から出土している。SK355出土のものは、断面三角形の高台を付し、体部下半は手持ちヘラ削りが施されている。口縁端部は肥厚し面を作り、そこに弱い沈線が観察できた。13世紀に位置付けられる。

**山茶碗**

SK268と遺構外からの２点出土しており、灰白色の緻密な胎土をもつ。底部は回転糸切り後、断面三角形の高台を貼りつける。その高台にはもみがら痕がみられる。13世紀後半～14世紀に位置付けられよう。

**山皿**

灰白色の緻密な胎土をもつもので、１点のみ、SK456から出土している（179）。口縁端部は丸くおさめられ、内面は滑らかになっている。13世紀に位置付けられる。

**白磁**

総数６点出土している。いずれもV類に分類される碗である。口縁部は大きく外反し、体部外面には櫛目文が施されている。12世紀に位置付けられる。

**青磁**

総数13点出土している。いずれも龍泉窯系の碗で、鎬蓮弁文と劃花文を施すものが多い。145・159は13世紀後半～14世紀前半、167・176は13世紀後半、178・210は12世紀後半に位置付けられる。

**かわらけ（皿）**

図示できたものは ４点ある。いずれも底部は回転糸切りで切り離し、体部内面は斜めにナデをいれるものが多い。体部は大きく開くが、181のようにいったん開いてから急に立ち上がるものもある。また、209のように器高の低いものもある。172は灯明皿として利用されている。

**内耳鍋・ほうろく**

小片では識別が困難なためあわせて扱う。出土量は多い。全体を復元できるものは少ないが、口径は25～30cm前後に集中しそうである。口縁部は外に開くもの（194）と、外傾する体部からやや内側に折れて立ち上がるものとがある。ほうろくでは体部が丸みをもって立ち上がるもの（196）と直線的に立ち上がるもの（211）とがある。底部外面には砂粒が付いており、成形の際、離れ材としてそれが利用されていたことを窺わせる。

**火鉢**

1点のみ遺構外（調査地東端）より出土した。体部から口縁部にかけては内外に稜を持ちながら内傾し、端部を外に折り返している。口縁より1cm以下の内面に煤の付着が見られる。

**常滑**

甕が1点、SK97から出土した。小片で時期は不明である。

**瀬戸美濃製品**

多量に出土している。志野及び志野織部製品は別に扱う。

鉄釉を施釉するものと灰釉を施釉するものとがある。前者には碗・拳骨茶碗・鉢・擂鉢等があり、後者には皿・菊皿・碗・鉢・三足香炉がある。また、この他に量は少ないが上絵付の皿（152）・染付（228）等もみられる。

鉄釉の碗は高台を削り出し、体部は多くが下半で丸みをもって立ち上がる。18世紀に位置付けられるものが多い。また、図示できたものはないが天目茶碗の出土もある。拳骨茶碗は体部と底部それぞれ1点ずつが図示できた。体部下半が大きく張り、口縁部へとまっすぐに立ち上がっている。18世紀に位置付けられる。193の鉢は19世紀に、199の擂鉢は17世紀後半以降に位置付けられよう。

灰釉の菊皿は1点のみ図示できた（218）。断面台形のしっかりした高台が付されるもので、その径は8.1cmを測る。17世紀に位置付けられる。鉢は口縁端部を丸く折り返すもので、口径は23cm前後に集中している。154は18世紀に、191・234は19世紀に位置付けられよう。三足香炉は1点出土している（195）。口径5.6cm、器高4.1cmを測り、17世紀に位置付けられる。

志野

長石釉を施すもので、丸皿がある。底部に小さい高台を削り出し、口径は11cm前後、器高は2.5cm前後に集中する。

志野織部

長石釉を施す丸皿の内面に鉄絵を描く。法量は志野と変わらない。また、足を３ケ付す向付が少量出土している。

染付

碗と皿がある。碗には体部下半が張るものと丸くなって立ち上がるものとがある。碗・皿とも18世紀に位置付けられるものが多い。

(3) 遺構出土の土器

まとまった量の遺物が出土した竪穴住居址について取り上げてふれる。

ＳＢ１

須恵器坏蓋・坏・皿・壺・四耳壺・甕、土師器坏・盤・小形甕・甕、黒色土器坏・椀・鉢がある。灰釉陶器の出土はなかった。それぞれの重量比は表のとおりである。食器の主体は軟質の須恵器と黒色土器である。図示できなかったが、甕の中には武蔵型のものも含まれる。盤（14）は大形のもので、内面にはススが付いていた。４の体部には墨書が見られる。また、須恵器坏のなかにヘラ記号を持つものが１点見られた（挿図34)。

| 土器の種類 | 器形の種類 | 重量(g) | 比率(%) | 食器の比率(%) | |
|---|---|---|---|---|---|
| 須恵器 | 蓋 | 5 | 0.1 | 0.2 | 28.0 |
| | 坏 | 85 | 1.9 | 3.9 | |
| | 坏(軟質) | 520 | 11.4 | 23.7 | |
| | 皿 | 5 | 0.1 | 0.2 | |
| | 壺 | 15 | 0.3 | — | |
| | 四耳壺 | 95 | 2.1 | | |
| | 甕 | 485 | 10.7 | | |
| 土師器 | 坏 | 5 | 0.1 | 0.2 | 7.9 |
| | 盤 | 170 | 3.7 | 7.7 | |
| | 小形甕 | 695 | 15.2 | — | |
| | 甕 | 1,000 | 21.9 | | |
| | 甕(武蔵) | 80 | 1.8 | | |
| 黒色土器 | 坏 | 350 | 7.7 | 16.0 | 64.1 |
| | 椀 | 395 | 8.6 | 18.0 | |
| | 鉢 | 110 | 2.4 | 5.0 | |
| | 不明 | 550 | 12.0 | 25.1 | |

表２　SB1出土土器構成表

挿図34　SB１出土須恵器坏ヘラ記号

ＳＢ２

須恵器坏蓋・坏・椀・長頸壺・短頸壺・四耳壺・甕、土師器坏・盤・小形甕・甕、黒色土器坏・椀・皿・鉢、灰釉陶器皿・椀・瓶が出土している。それぞれの重量比は表のとおりである。食器は黒色土器の坏が最も多く、次いで黒色土器の椀、軟質の須恵器坏が続く。

| 土器の種類 | 器形の種類 | 重量(g) | 比率(%) | 食器の比率(%) | |
|---|---|---|---|---|---|
| 須恵器 | 蓋 | 10 | 0.1 | 0.1 | 21.7 |
| | 坏 | 125 | 0.8 | 1.7 | |
| | 坏(軟質) | 1,395 | 8.8 | 19.3 | |
| | 椀 | 40 | 0.2 | 0.6 | |
| | 長頸壺 | 230 | 1.4 | — | |
| | 短頸壺 | 115 | 0.7 | | |
| | 四耳壺 | 1,060 | 6.7 | | |
| | 甕 | 2,440 | 15.3 | | |
| 土師器 | 坏 | 10 | 0.1 | 0.1 | 0.2 |
| | 盤 | 5 | — | 0.1 | |
| | 小形甕 | 720 | 4.5 | — | |
| | 甕 | 3,640 | 22.9 | | |
| | 甕(武蔵) | 495 | 3.1 | | |
| 灰釉陶器 | 皿 | 35 | 0.2 | 0.5 | 1.2 |
| | 椀 | 45 | 0.3 | 0.6 | |
| | 瓶 | 10 | 0.1 | 0.1 | |
| 黒色土器 | 皿 | 220 | 1.4 | 3.0 | 76.9 |
| | 坏 | 2,565 | 16.1 | 35.6 | |
| | 椀 | 1,720 | 10.8 | 23.8 | |
| | 鉢 | 770 | 4.8 | 10.7 | |
| | 不明 | 275 | 1.7 | 3.8 | |

表３　SB2出土土器構成表

黒色土器の坏には大小の２方量が認められる。灰釉陶器は４点出土した。K－14号窯式・光ケ丘１号窯式に比定できるものである。42の土師器盤は小形のもので、内面はヘラ磨きされる。短い高台が付くと考えられる。47～49は武蔵型の甕の口縁部で、50はその（小形甕）脚部である。また、22をはじめ、墨書土器も数点出土している（挿図35）。39の須恵器四耳壺はSB9から出土したものと接合している。

ＳＢ６

須恵器の軟質の坏・壺、黒色土器坏・椀・皿・鉢、土器器小形甕・甕、灰釉陶器皿・椀、緑釉陶器がある。それぞれの重量比は表のとおりで、全体としては土師器甕の出土量が多い。食器に限れば黒色土器が際立って多く、須恵器坏の占める割合は小さい。灰釉陶器はK－14号窯式から光ケ丘１号窯式に比定できるものである。図示できなかったが甕の中には武蔵型のものも含まれる。

| 土器の種類 | 器形の種類 | 重量(g) | 比率(%) | 食器の比率(%) | |
|---|---|---|---|---|---|
| 須恵器 | 坏(軟質) | 50 | 1.5 | 6.7 | 6.7 |
| | 壺 | 15 | 0.3 | — | |
| 土師器 | 小形甕 | 395 | 11.5 | — | — |
| | 甕 | 2,275 | 66.3 | | |
| | 甕(武蔵) | 10 | 0.3 | | |
| 黒色土器 | 坏 | 150 | 4.4 | 20.1 | 75.2 |
| | 椀 | 170 | 5.0 | 22.9 | |
| | 鉢 | 225 | 6.6 | 30.2 | |
| | 皿 | 15 | 0.4 | 2.0 | |
| 灰釉陶器 | 皿 | 100 | 2.9 | 13.4 | 17.4 |
| | 椀 | 30 | 0.9 | 4.0 | |
| 緑釉陶器 | 皿 | 5 | 0.1 | 0.7 | 0.7 |

表４　SB6出土土器構成表

## ＳＢ７

須恵器坏蓋・坏・長頸壺・短頸壺・四耳壺・甕、黒色土器坏・皿、土師器小形甕・甕、灰釉陶器椀が出土している。それぞれの重量比は表のとおりで、食器では須恵器坏と黒色土器坏が主体をなす。須恵器の坏はいずれも硬質で、軟質のものは１片確認できただけであった。軟質のものが主体を占める他の住居址とは様相が異なる。また、黒色土器では椀が確認できなかった。

63の須恵器蓋は転用して硯として使われたものである（挿図35）。

| 土器の種類 | 器形の種類 | 重量(g) | 比率(%) | 食器の比率(%) | |
|---|---|---|---|---|---|
| 須恵器 | 蓋 | 20 | 0.3 | 4.1 | 37.8 |
| | 坏 | 160 | 2.7 | 32.7 | |
| | 坏(軟質) | 5 | 0.1 | 1.0 | |
| | 長頸壺 | 800 | 13.3 | — | |
| | 短頸壺 | 120 | 2.0 | | |
| | 四耳壺 | 45 | 0.7 | | |
| | 甕 | 3,385 | 56.3 | | |
| 土師器 | 小形甕 | 240 | 4.0 | — | — |
| | 甕 | 690 | 11.5 | | |
| | 甕(武蔵) | 240 | 4.0 | | |
| 黒色土器 | 坏 | 220 | 3.7 | 44.9 | 62.2 |
| | 皿 | 85 | 1.4 | 17.3 | |

**表５　SB7出土土器構成表**

## ＳＢ８

須恵器坏蓋・坏・長頸壺・短頸壺・甕、黒色土器坏・椀・皿・鉢、土師器小形甕・甕・鍋、灰釉陶器椀・瓶がある。それぞれの重量比は表のとおりで、全体としては土師器甕の出土量が多く、食器のなかでは軟質な須恵器坏と黒色土器坏が主体を占める。須恵器四耳壺、土師器の武蔵型甕の出土はなかった。

83の灰釉陶器椀は台形の高台をもつものでＫ－14号窯式に比定される。SB2出土片とも接合している。92には墨書がある（挿図35）。

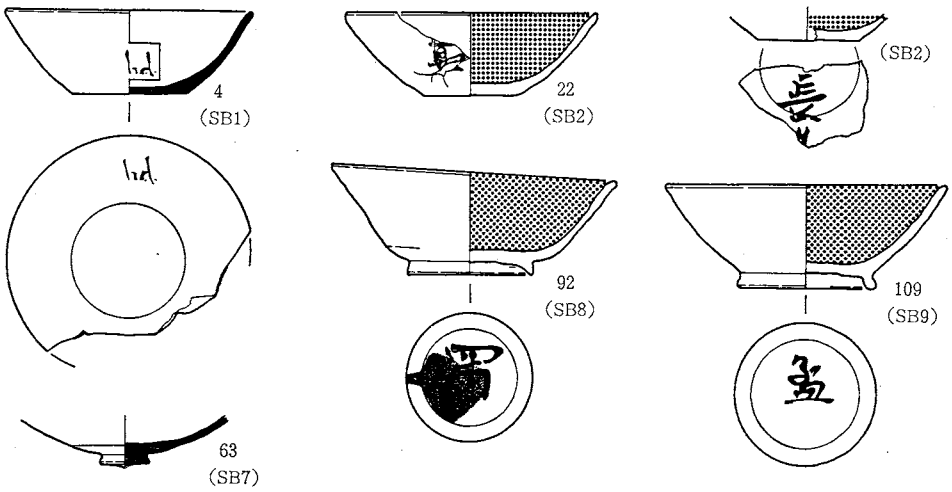
| 土器の種類 | 器形の種類 | 重量(g) | 比率(%) | 食器の比率(%) | |
|---|---|---|---|---|---|
| 須恵器 | 蓋 | 20 | 0.2 | 0.9 | 30.7 |
| | 坏 | 30 | 0.3 | 1.4 | |
| | 坏(軟質) | 630 | 5.9 | 28.4 | |
| | 長頸壺 | 160 | 1.5 | — | |
| | 短頸壺 | 50 | 0.5 | | |
| | 甕 | 410 | 3.8 | | |
| 土師器 | 小形甕 | 470 | 4.4 | — | — |
| | 甕 | 7,275 | 68.0 | | |
| | 鍋 | 120 | 1.1 | | |
| 黒色土器 | 坏 | 1,065 | 9.9 | 48.0 | 69.1 |
| | 椀 | 170 | 1.6 | 7.6 | |
| | 皿 | 150 | 1.4 | 6.7 | |
| | 鉢 | 55 | 0.5 | 2.5 | |
| | 不明 | 95 | 0.9 | 4.3 | |
| 灰釉陶器 | 椀 | 5 | 0.1 | 0.2 | 0.2 |
| | 瓶 | 5 | | | |

**表６　SB8出土土器構成表**

## ＳＢ９

遺構が約半分しか残存していないこともあり、出土量は多くない。須恵器坏、黒色土器坏・椀、土師器小形甕・甕があり、うち須恵器坏には軟質のものと硬質のものがある。土師器甕のなかでは武蔵型の甕の出土がなかった。

106・109・110の三枚が重なって出土し、109の底部には墨書がある（挿図35）。




**挿図35　文字関係資料**

### ＳＢ10

須恵器の坏・鉢・甕・四耳壺、黒色土器皿・坏・椀・鉢、灰釉陶器皿・椀・瓶、土師器小形甕・甕の出土がある。小片が非常に多く、また磨耗していたり、黒色土器には脱色しているものも多い。本址廃絶の特徴を示しているようである。食器では黒色土器坏・椀と軟質の須恵器坏が主体を占める。須恵器坏では硬質のものはなかった。また、灰釉陶器の量の多さも目につく。灰釉陶器は光ケ丘１号窯式に比定できるものがある。土師器甕のなかでは武蔵型の甕はなかった。

### ＳＢ11

須恵器坏、黒色土器坏・鉢、灰釉陶器皿、土師器小形甕・甕・鍋がある。出土量は多くない。個体識別の結果、それぞれ２個体、１個体、２個体、１個体、２個体、３個体、１個体という結果が得られた。須恵器の坏は軟質のものである。

## 2　鉄器・金属製品

遺構内外から13点出土した。内訳は鎌１点、刀子１点、釘８点、煙管（吸口）１点、不明・その他２点である。また、この他に鉄滓５点が出土している。いずれも調査地北半の大形の遺構からの出土である。鎌（240）が平安時代の竪穴住居址（SB2）から、他は土坑及び検出面から出土したもので中世以降のものとみてよいだろう。

### 3　銭貨

9点出土した。遺構内からは、SB3とSK8、SK65、SK457の4点だけで、他は何れも検出面からの採集であった。

銭種は5点が判別でき、3種あった。237の元祐通宝、236の紹聖元宝、欠損して不明だが235の3点が渡来銭（銅銭）で、他は寛永通宝（鉄銭）である。銭種不明のうち、3点は鉄製で錆が著しく判別できなかったものである。渡来銭3点はいずれも遺構内から出土している。

### 4　石器・石製品

石鏃4点、凹石3点、石臼4点、砥石1点等がある。うち、石鏃1点は整理作業の過程で紛失し、提示することができない。

石鏃はいずれも検出面で採集されたもので、黒耀石製である。豊科町内の平地部では初めての出土である。

凹石は252と253が安山岩製で、小形の丸い形態のものである。砂岩製の256は大形で座りがよくない。埋め込んで固定して使われたものと考えられる。また、3面が磨かれている。多用途に利用されたようである。

石臼の内訳は上臼3点、下臼1点である。うち、257は茶臼である。石質は254が玢岩、255が花崗岩、257・258が安山岩である。257が接合して完形に近くなるものの、他は1／3～1／4ほどしか残存しない。また、258は凹石に転用されている。

砥石は珪長岩製のものである。また、250は砂岩製のものである。薄く、側面が弧をなし、そこに細い溝が刻まれている。

註　(1)　中・近世陶磁器については、㈱長野県埋蔵文化財センター　市川隆之氏・野村一寿氏にご教示、鑑定していただいた。

担当者の力量不足により、それらを十分に生かしきれなかったこと、分類及び呼称等についてやや混乱が生じていることをお詫びしておきたい。

参考文献　小平和夫「古代の土器」（『中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書4－松本市内その1－』長野県教育委員会，1990年）

横田賢次郎・森田勉「太宰府出土の輸入中国陶磁器について－型式分類と編年を中心として－」（『九州歴史資料館研究論集』4，1978年）

# 第4章　調査のまとめ

今回の調査は町内に数多く残る城館跡に対する初めての、また平地部においても上手木戸遺跡（1987年）に次いで2例目の発掘調査として多くの成果をあげることができた。今まで不明確であった館跡の遺構を確認し、本郭の様相を知るてがかりを得たこと。さらには石鏃の出土、古代集落の検出といった新たな知見も得られた。以下、時代を追って成果と課題を明らかにし、まとめとしたい。

石鏃は4点出土した。町内では東山山中及び山麓からの出土はあるが、平地部では初めての発見となった。居住の痕を示すものではないが、平地部における縄文人の活動に対して再考を要する結果となった。

平安時代の竪穴住居址は8軒検出された。これも豊科町の平地部では初めての発見である。出土土器よりいずれも9世紀後半に位置づけられる。『南安曇郡誌』によると荒井遺跡に竪穴住居址らしい遺構があったとの記述があり、また、平成3年度調査の梶海渡遺跡でもほぼ同じ時期のものが1軒検出されている。吉野がこの時期、集落適地であったことが窺えよう。竪穴住居址が掘り込まれているのは基盤となる礫混じり土で、それも60㎝前後と深く掘り込まれている。微高地上に住居を設け、SB2から出土した鎌が示すように、おそらく東側の低地で水田経営を行っていたと考えられる。しかし、いまだ安定した生活域とはなっていなかったようで、集落は継続していない。住居址覆土中にも流れ込んだ土砂の堆積が観察できる例（SB7）もある。このように集落が9世紀後半の1時期にみられるという様相は、梓川右岸の松本市島内北方遺跡と共通している。(1)

遺物には「長□」の墨書土器や緑釉陶器の出土があり注目される。

古代の集落は10世紀には姿を消すが、13世紀ころには再び生活の痕跡がみられる。東海系の捏鉢、山茶碗、山皿、さらに白磁、青磁等が出土している。しかし、館が築かれるまで継続して集落が営まれた様子は窺えない。

館跡については堀の位置を確認し、その内側から580もの土坑（あな）を検出した。既に触れてきたようにこれらは本来建物の柱穴等として把握されるべきものである。実際いくつか組んでみたのだが（挿図36）、確実に捉えることはできず建物として提示することは控えた。東側と西側でよく通っており、中央部分と北西側で疎となっていることがわかる。

不明であった築造時期については、16世紀に位置付けられる遺物が少量みられることから、16世紀代には築かれていたと考えられよう。調査地は慶安4年（1651年）の検知帳で

は既に元屋敷となっており、伝承では火事によって居を移したとされている。しかし遺物でみるかぎり、17・18世紀の遺物が卓越しており、検出された遺構の多くはこの時期のものと考えられる。また、北側の表土中にわずかな炭の層があっただけで火事に結び付くような痕は確認できなかった。廃絶の時期についてはさらに検討が必要であろう。いずれにしても近世にはそのまま屋敷地として、またその後には生産域として確実に生活の中にあったと理解できる。

また、現地表に残る堀・土塁とされる遺構と違う位置にそれが検出されたこと。土塁があるべき位置に他の遺構が検出されたこと等、新たな課題も残した。このように調査の目標とした館の様相については、十分に明らかにできたとはいえない。さらに、土層より調査地が近世にかなり改変（攪乱）を受けていたことも窺え、館がどのような経緯で現在の姿に変わってきたのかを検討する必要もあろう。

調査の成果と課題を簡単にあげてきた。今まで知られていなかった全く新しい郷土の姿が明らかになり、これらについては各方面で活用されることを期待したい。しかし、それ以上に新たな課題が残されたといえる。これらについては梶海渡遺跡・平成4年度調査予定の鳥羽館跡遺跡の調査結果をふまえ、稿を改めて検討したい。

最後に、多くの方々から貴重なご教示をいただきながら担当者の力量不足で十分に生かせなかったことを深くおわび申し上げます。

註 (1) 長野県教育委員会「北方遺跡」（『中央自動車道長野線埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書 10－松本市内その7－』，1989年）

挿図36　柱列組図

# 付　　表

1　土坑一覧表

2　出土土器・陶磁器観察表

3　鉄器・金属製品一覧表

4　銭貨一覧表

5　石器・石製品一覧表

| 番号 | 位置 | 規模（cm） | | | 平面形 | 断面形 | 土層 | 出土遺物 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 長径 | 短径 | 深さ | | | | | |
| SB 3 | D－8 | 420 | 310 | 32 | 不整長方形 | 台形 | 挿図 17 | 白磁碗Ⅴ類（12C）、瀬戸美濃鉄釉碗・Ⅲ（17C）<br>染付碗、釘、銭 | >SK296 |
| 4 | E－7 | 345 | 270 | 13 | 長方形 | 台形 | 挿図 18 | 瀬戸美濃灰釉碗・鉄釉碗（18C）・擂鉢、染付碗・Ⅲ | |
| 5 | E－6 | 330 | 330 | 26 | 不整方形 | 台形 | 挿図 19 | 内耳鍋、瀬戸美濃天目茶碗（17C）・菊皿（17C）<br>志野皿（17C）、瀬戸美濃御深井釉碗（18C）、染付（18C）他 | |
| 12 | E－2 | 360 | 310 | 20 | 長方形 | 台形 | 挿図 19 | 須恵器坏、土師器甕、黒色土器Ⅲ・碗 | |
| SK 1 | C－8 | 180 | 110 | 17 | 不整円形 | 舟底形 | 挿図 20 | 土師器甕 | |
| 2 | C－7 | 202 | 63 | 23 | 長方形 | 舟底形 | 挿図 20 | 土師器甕 | |
| 3 | D－6 | 378 | 130 | 14 | 長方形 | 舟底形 | 挿図 20 | 肥前系磁器（13C）、瀬戸美濃鉄釉碗（18C）<br>肥前系陶器（18C）、内耳土器、染付碗　他 | |
| 4 | C－6 | 330 | 165 | 13 | 不整円形 | 半円形 | 挿図 20 | | <SK78・SK302 |
| 5 | D－8 | 142 | 132 | 50 | 円形 | 台形 | 挿図 20 | | |
| 6 | D－7 | 152 | 140 | 63 | 円形 | U字形 | 挿図 21 | 須恵器甕、内耳鍋、志野皿（17C）、染付碗（18C） | |
| 7 | D－6 | 270 | 180 | 45 | 隅丸長方形 | 舟底形 | 挿図 21 | 瀬戸美濃鉄釉（18C）、石臼他 | |
| 8 | E－7 | 225 | 158 | 70 | 隅丸長方形 | 台形 | 挿図 21 | 内耳鍋、瀬戸美濃鉄釉碗・挙骨茶碗（18C）、刀子　他 | |
| 9 | E－6 | 238 | 205 | 77 | 円形 | 舟底形 | 挿図 21 | 須恵器甕、黒色土器坏、銭　他 | |
| 10 | E－7 | － | 70 | 13 | | 舟底形 | 黒色土（7.5YR2／1）　礫（5～10cm）含 | | |
| 11 | E－7 | 330 | 215 | 25 | 不整方形 | 舟底形 | 挿図 22 | 志野丸皿　他 | <SK11 |
| 12 | E－6 | 380 | 185 | 25 | 長方形 | 舟底形 | 挿図 22 | 志野織部皿（17C）、瀬戸美濃灰釉碗（18C）<br>内耳鍋、伊万里染付碗（18C）、燭台　他 | >SK10 |
| 13 | C－7 | 88 | 86 | 19 | 円形 | 舟底形 | 挿図 22 | かわらけ、大皿皿（16C）、志野織部丸皿（17C）<br>瀬戸美濃鉄釉碗、内耳鍋、砥石 | |
| 14 | D－7 | 100 | 63 | 14 | 楕円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | 瀬戸美濃挙骨茶碗（18C）・灰釉鉢（18C）　他 | |
| 15 | C－3 | 28 | 25 | 20 | 円形 | 半円形 | 1.灰オリーブ色土(5Y4/3) 2.灰色土(5Y4/1) 3.灰オリーブ色土(5Y4/3) | | |
| 16 | C－6 | 65 | 57 | 13 | 不整円形 | 半円形 | にぶい黄褐色土（10YR4／3） | | |
| 17 | C－6 | 60 | 47 | 30 | 不整円形 | 半円形 | 黒色土（7.5YR2／1） | | |
| 18 | D－7 | 85 | 48 | 22 | 不整円形 | 半円形 | 1.暗褐色土(10YR3/3) 2.暗灰黄色土(2.5YR4/2) | | |
| 19 | E－6 | 136 | 75 | 21 | 楕円形 | 舟底形 | 挿図 22 | | |
| 20 | D－5 | 122 | 105 | 10 | 不整円形 | 舟底形 | 挿図 22 | | |
| 21 | G－2 | 25 | 20 | 16 | 円形 | 半円形 | 暗灰色土（2.5Y4／2） | | >SK500 |
| 22 | B－5 | 82 | 72 | 25 | 隅丸方形 | 舟底，台形 | 1.暗灰黄褐色土(2.5Y4/2) 2.黒褐色土(2.5Y3/2) | | |
| 23 | B－6 | 68 | 50 | 30 | 楕円形 | 舟底形 | 暗褐色土（10YR3／4） | | |
| 24 | C－5 | 137 | 130 | 30 | 隅丸方形 | 舟底形 | 挿図 22 | 須恵器坏 | |
| 25 | C－5 | 285 | 125 | 44 | 長方形 | 舟底形 | 挿図 23 | 須恵器坏・蓋、土師器甕、黒色土器椀 | |
| 26 | C－4 | 72 | 70 | 21 | 円形 | 舟底形 | 挿図 23 | | >SK570 |
| 27 | A－4 | 66 | 64 | 11 | 円形 | 舟底形 | 灰色土（5Y4／1） | 須恵器甕、内耳鍋 | |
| 28 | C－5 | 53 | 40 | 20 | 円形 | 半円形 | 灰色土（5Y4／1） | | |
| 29 | E－5 | 158 | 132 | 14 | 隅丸方形 | 舟底形 | 挿図 23 | | |

| 番号 | 位置 | 規模（cm） | | | 平面形 | 断面形 | 土層 | 出土遺物 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 長径 | 短径 | 深さ | | | | | |
| 30 | E－5 | 195 | 118 | 40 | 長方形 | 舟底形 | 挿図 23 | 須恵器坏、土師器甕、 | |
| 31 | B－4 | 126 | 118 | 21 | 円形 | 舟底形 | 挿図 23 | 須恵器甕、土師器甕、黒色土器椀 | |
| 32 | B－3 | 157 | 118 | 27 | 楕円形 | 舟底形 | 挿図 23 | | |
| 33 | A－3 | 133 | 98 | 27 | 隅丸長方形 | 舟底形 | 挿図 23 | | |
| 34 | B－3 | 78 | 62 | 17 | 円形 | 半円形 | オリーブ黒色土（5Y 3／1） | | |
| 35 | B－2 | 145 | 130 | 20 | 方形 | 舟底形 | 挿図 24 | | |
| 36 | F－6 | 36 | 26 | 14 | 楕円形 | 台形 | 灰オリーブ色土（5Y 5／2） | | ＞SK339 |
| 37 | C－2 | 114 | 76 | 29 | 楕円形 | 舟底形 | 1.黒褐色土(2.5Y3／2) 2.灰オリーブ色土(5Y5／2) | 須恵器坏、土師器甕、 | |
| 38 | D－2 | 270 | 140 | 48 | 不整円形 | 舟底形 | 挿図 24 | 土師器甕、黒色土器椀、龍泉窯系青磁碗<br>内耳鍋甕他 | |
| 39 | E－3 | 129 | 108 | 30 | 楕円形 | 舟底形 | 挿図 24 | 瀬戸美濃灰釉縁利、釘、鉄滓　他 | |
| 40 | E－2 | 290 | 190 | 28 | 隅丸方形 | 舟底形 | 挿図 24 | 須恵器坏・甕、土師器甕、黒色土器坏 | |
| 41 | E－3 | 100 | 83 | 46 | 隅丸方形 | 台形 | 挿図 24 | | |
| 42 | B－3 | 190 | 125 | 18 | 長方形 | 舟底形 | 挿図 24 | | |
| 43 | B－8 | 50 | 49 | 14 | 円形 | 台形 | 黒褐色土（2.5Y3／1） | | |
| 44 | B－8 | 54 | 47 | 27 | 円形 | V字形 | 1.暗灰黄色土(2.5Y4／2) 2.にぶい黄褐色土(10YR4／3) 層(1～4a)含 3.暗赤褐色土(5YR3／2) | | |
| 45 | C－8 | 41 | 37 | 18 | 楕円形 | 半円形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 46 | B－8 | 78 | 68 | 18 | 円形 | 舟底形 | 黒褐色土（5YR3／1） | | |
| 47 | B－7 | 23 | 20 | 12 | 円形 | U字形 | 黒褐色土（5YR3／1） | | |
| 48 | C－8 | 20 | 18 | 20 | 円形 | U字形 | 黒褐色土（2.5Y3／2） | | |
| 49 | C－8 | 33 | 26 | 16 | 楕円形 | 半円形 | 暗灰褐色土（2.5Y4／2） | | |
| 50 | B－7 | 53 | 24 | 10 | 楕円形 | 舟底形 | 暗灰褐色土（2.5Y4／2） | | |
| 51 | C－7 | 25 | 18 | 10 | 不整円形 | 半円形 | 暗灰褐色土（2.5Y4／2） | 黒色土器坏 | |
| 52 | C－7 | 25 | 23 | 20 | 円形 | U字形 | オリーブ褐色土（2.5Y 4／3） | | |
| 53 | C－7 | 44 | 36 | 15 | 楕円形 | 半円形 | 暗灰褐色土（2.5Y4／2） | | |
| 54 | C－7 | 35 | 34 | 23 | 円形 | U字形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | | |
| 55 | C－7 | 48 | 36 | 8 | 楕円形 | 舟底形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | | |
| 56 | C－6 | 50 | 32 | 7 | 不整円形 | 舟底形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | | |
| 57 | C－6 | 62 | 48 | 25 | 楕円形 | 台形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | | |
| 58 | C－7 | 72 | 40 | 27 | 楕円形 | 舟底形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | 凹石 | |
| 59 | C－7 | 34 | 31 | 30 | 円形 | U字形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | | |
| 60 | D－7 | 40 | 37 | 21 | 楕円形 | 舟底形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | | |
| 61 | D－7 | 52 | 40 | 20 | 楕円形 | U字形.舟底形 | 1.オリーブ褐色土(2.5Y4／3) 2.暗灰黄色土(2.5Y4／2) | 龍泉窯系青磁碗（13C） | |
| 62 | D－7 | 28 | 20 | 14 | 楕円形 | U字形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |

| 番号 | 位置 | 規模（cm） | | | 平面形 | 断面形 | 土層 | 出土遺物 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 長径 | 短径 | 深さ | | | | | |
| 63 | C−6 | 25 | 22 | 12 | 円形 | 半円形 | 黒褐色土（10YR3／2） 礫(1〜3cm)多量含 | | |
| 64 | C−6 | 44 | 36 | 21 | 楕円形 | 半円形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 65 | C−6 | 60 | 50 | 22 | 円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | 銭 | |
| 66 | C−6 | 40 | 35 | 15 | 円形 | U字形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 67 | D−6 | 40 | 25 | 10 | 不整円形 | 舟底形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | 白磁V類碗（12C） | |
| 68 | D−6 | 45 | 30 | 10 | 不整円形 | U字形 | 暗灰黄色土（2.5Y3／2） | | |
| 69 | F−2 | 35 | 30 | 22 | 円形 | 半円形 | 暗褐色土（10YR3／4） | | |
| 70 | D−6 | 40 | 38 | 14 | 円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 71 | B−7 | 40 | 38 | 24 | 円形 | U字形 | 暗褐色土（10YR3／4） | | |
| 72 | B−7 | 24 | 20 | 23 | 円形 | U字形 | 黒褐色土（7.5YR2／2） | | |
| 73 | B−6 | 30 | 28 | 15 | 円形 | 台形 | 黒褐色土（2.5Y3／2） | | |
| 74 | B−6 | 55 | 40 | 13 | 楕円形 | 舟底形 | 灰褐色土（7.5Y4／2） | | |
| 75 | D−6 | 67 | 22 | 20 | 不整円形 | 舟底形・半円形 | 1.暗オリーブ灰色土(2.5GY4/1) 2.灰黄褐色土(10YR4/2) | | |
| 76 | A−4 | 28 | 25 | 25 | 円形 | U字形 | 暗オリーブ灰色土（2.5Y1／4） | | |
| 77 | C−6 | 43 | 40 | 8 | 円形 | 舟底形 | オリーブ褐色土（5Y 2／2） | | |
| 78 | C−6 | 137 | 100 | 13 | 長方形 | 舟底形 | 黒褐色土（7.5YR3／2） | | >SK4 |
| 79 | F−5 | 22 | 20 | 10 | 円形 | 半円形 | オリーブ褐色土（5Y 2／2） | | |
| 80 | D−6 | 40 | 33 | 22 | 円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y 4／2） | | |
| 81 | D−6 | 30 | 28 | 13 | 円形 | U字形 | 黒褐色土（2.5Y3／2） | | |
| 82 | D−6 | 60 | 52 | 20 | 円形 | 舟底形 | オリーブ黒色土（5Y 2／2） | | |
| 83 | D−6 | 30 | 27 | 7 | 円形 | 舟底形 | 黒褐色土（2.5Y3／2） | | |
| 84 | C−7 | 45 | 31 | 6 | 楕円形 | 舟底形 | 1.灰色土(5Y4／1) 2.暗褐色土(7.5YR3／3) | | |
| 85 | C−7 | 76 | 54 | 20 | 楕円形 | 舟底形 | 1.黒褐色土(5YR2／2) 2.オリーブ褐色土(5Y2／2) | | |
| 86 | D−7 | 22 | 20 | 20 | 円形 | U字形 | 黒褐色土（2.5Y3／2） | | |
| 87 | D−8 | 40 | 33 | 18 | 楕円形 | 舟底形 | 1.暗灰黄色土(2.5Y4／2) 2.灰オリーブ色土(5Y4／2) | | |
| 88 | D−8 | 34 | 30 | 10 | 円形 | 舟底形 | オリーブ黒色土（5Y 3／1） | | |
| 89 | B−8 | 50 | 48 | 13 | 円形 | 舟底形 | 灰褐色土（7.5Y4／2） | | |
| 90 | E−7 | 50 | 42 | 14 | 楕円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 91 | E−7 | 40 | 26 | 12 | 楕円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 92 | E−6 | 50 | 40 | 11 | 楕円形 | 舟底形 | 黒褐色土（10YR3／2） | | |
| 93 | E−6 | 37 | 30 | 9 | 楕円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 94 | E−6 | 66 | 58 | 22 | 円形 | 舟底形 | 暗褐色土（10YR3／3） | | |
| 95 | E−6 | 88 | 50 | 21 | 円形 | 舟底形 | 黒褐色土（2.5Y3／1） | | |

| 番号 | 位置 | 規模（cm） | | | 平面形 | 断面形 | 土層 | 出土遺物 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 長径 | 短径 | 深さ | | | | | |
| 96 | E−6 | 60 | 50 | 16 | 円形 | 舟底形 | 1.黒褐色土(10YR3/2) 2.黒褐色土(2.5Y3/2) | | |
| 97 | E−6 | 45 | 30 | 28 | 楕円形 | U字形 | 黒褐色土（10YR3/2） 礫（3〜5cm)多量含 | 常滑甕 | |
| 98 | E−5 | 50 | 48 | 18 | 円形 | U字形 | 暗褐色土（10YR3/4） | | |
| 99 | F−5 | 35 | 30 | 21 | 円形 | 半円形 | 1.黒褐色土(10YR3/1) 2.黒褐色土(10YR2/2) | | |
| 100 | F−5 | 32 | 28 | 12 | 円形 | 半円形 | 暗灰黄色土（5Y4/2） | | |
| 101 | E−5 | 48 | 35 | 15 | 円形 | U字形 | 暗灰黄色土（5Y4/2） | | |
| 102 | F−5 | 53 | 33 | 15 | 楕円形 | V字形 | 暗灰黄色土（2.5Y4/2） | | |
| 103 | E−6 | 60 | 31 | 13 | 楕円形 | 舟底形 | 1.灰黄褐色土(10YR4/2) 2.黒褐色土(10YR3/2) | | |
| 104 | F−6 | 57 | 37 | 17 | 楕円形 | 舟底形 | 黒褐色土（10YR3/2） | | |
| 105 | F−6 | 35 | 27 | 28 | 円形 | U字形 | 黒褐色土（10YR3/2） | | |
| 106 | F−6 | 58 | 48 | 28 | 楕円形 | 半円形 | 黒褐色土（10YR3/2） | | |
| 107 | F−6 | 52 | 38 | 14 | 楕円形 | 舟底形 | 1.黒褐色土(10YR3/2) 2.黒褐色土(10YR3/1) | | |
| 108 | F−6 | 43 | 38 | 16 | 円形 | 舟底形 | 黒褐色土（10YR3/2） | | |
| 109 | F−6 | 52 | 45 | 14 | 円形 | 舟底形 | 黒褐色土（10YR3/1） | | |
| 110 | E−5 | 48 | 35 | 14 | 楕円形 | 舟底形 | 黒褐色土（10YR3/2） | | |
| 111 | E−5 | 28 | 22 | 12 | 円形 | 舟底形 | 黒褐色土（2.5Y3/2） | | |
| 112 | E−5 | 27 | 23 | 5 | 円形 | 舟底形 | 黒褐色土（10YR3/2） | | |
| 113 | E−6 | 22 | 20 | 12 | 円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y4/2） | | |
| 114 | E−6 | 39 | 38 | 10 | 円形 | 舟底形 | オリーブ黒色土（5Y3/1） | | |
| 115 | F−6 | 25 | 23 | 20 | 円形 | 半円形 | 灰オリーブ色土（5Y4/2） | | |
| 116 | F−6 | 30 | 24 | 13 | 楕円形 | U字形 | 暗灰黄色土（2.5Y4/2） | | |
| 117 | F−6 | 25 | 23 | 8 | 円形 | 舟底形 | オリーブ褐色土(2.5Y4/3)礫(1〜3cm)多量含 | | |
| 118 | D−5 | 70 | 53 | 16 | 楕円形 | 舟底形 | 黒褐色土（10YR2/1） | 土師器甕 | |
| 119 | D−5 | 46 | 36 | 10 | 楕円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y4/2） | | |
| 120 | D−5 | 43 | 38 | 15 | 楕円形 | 舟底形 | 1.暗褐色土(10YR3/3) 2.黒褐色土(10YR2/1) | | |
| 121 | B−6 | 50 | 36 | 22 | 楕円形 | U字形 | 黒褐色土（10YR3/2） | | |
| 122 | B−6 | 32 | 25 | 22 | 楕円形 | U字形 | 黒褐色土（2.5Y3/1） | | |
| 123 | B−6 | 52 | 40 | 10 | 楕円形 | 舟底形 | 黒褐色土（2.5Y3/1） | | |
| 124 | B−6 | 25 | 18 | 15 | 楕円形 | U字形 | 黒褐色土（2.5Y3/1） | | |
| 125 | B−6 | 40 | 28 | 11 | 楕円形 | 舟底形 | 黒褐色土（2.5Y3/1） | | |
| 126 | B−6 | 37 | 29 | 16 | 円形 | U字形 | 暗褐色土（10YR3/4） | | |
| 127 | C−6 | 35 | 20 | 20 | 楕円形 | 半円形 | 暗褐色土（10YR3/3） | | |
| 128 | B−6 | 40 | 30 | 10 | 円形 | 半円形 | 暗褐色土（10YR3/3） | | |

| 番号 | 位置 | 規模（cm） | | | 平面形 | 断面形 | 土層 | 出土遺物 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 長径 | 短径 | 深さ | | | | | |
| 129 | D－6 | 30 | 25 | 5 | 円形 | 舟底形 | 1.暗灰黄色土(2.5Y4／2) 2.黒褐色土(2.5Y3／2) | | |
| 130 | D－6 | 43 | 40 | 7 | 不整円形 | 舟底形 | 1.暗灰黄色土(2.5Y5／2) 2.にぶい黄褐色土(10YR4／3) | | |
| 131 | D－6 | 20 | 13 | 8 | 楕円形 | 半円形 | 1.暗灰黄色土(2.5Y5／2) 2.黒褐色土(10YR2／2) 3.黒褐色土(10YR2／3) | | |
| 132 | F－7 | 37 | 32 | 7 | 円形 | 舟底形 | 1.灰オリーブ色土(5Y5／2) 2.黒褐色土(10YR2／3) | | |
| 133 | C－7 | 20 | 18 | 13 | 円形 | 半円形 | 黒色土（10YR2／1） | | |
| 134 | D－5 | 47 | 44 | 24 | 円形 | 半円形 | 黒褐色土（2.5Y3／2） | | |
| 135 | C－5 | 35 | 33 | 20 | 円形 | U字形 | 黒褐色土（2.5Y3／2） | | |
| 136 | D－5 | 45 | 43 | 21 | 円形 | 半円形 | 黒褐色土（2.5Y3／2） 礫(1～3cm)含 | | |
| 137 | D－5 | 33 | 26 | 8 | 不整円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土(5Y4／2) 礫(1～3cm)多量含 | | |
| 138 | D－5 | 40 | 30 | 15 | 楕円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 139 | D－5 | 50 | 36 | 16 | 楕円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 140 | C－5 | 34 | 30 | 14 | 円形 | 半円形 | 黒褐色土（7.5YR3／1） | | |
| 141 | C－5 | 50 | 27 | 20 | 楕円形 | U字形 | オリーブ黒色土（5Y3／1） | | |
| 142 | C－5 | 30 | 25 | 18 | 楕円形 | U字形 | オリーブ黒色土（5Y3／1） | | |
| 143 | C－5 | 34 | 31 | 10 | 円形 | 舟底形 | オリーブ黒色土（5Y3／1） | | |
| 144 | B－5 | 28 | 25 | 6 | 円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | | |
| 145 | C－5 | 60 | 50 | 15 | 不整円形 | 舟底形 | 黒褐色土（10YR2／2） | | |
| 146 | D－5 | 28 | 25 | 14 | 円形 | 台形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | | |
| 147 | C－5 | 40 | 35 | 12 | 不整円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | | |
| 148 | D－5 | 68 | 60 | 10 | 円形 | 舟底形 | オリーブ黒色土（5Y3／1） | | |
| 149 | E－6 | 34 | 32 | 38 | 円形 | U字形 | オリーブ黒色土（5Y3／1） | | |
| 150 | C－5 | 46 | 42 | 15 | 円形 | 半円形 | 1.灰オリーブ色土(5Y4／2) 2.オリーブ黒色土(5Y3／1) | | |
| 151 | C－5 | 54 | 51 | 19 | 円形 | 舟底形 | 黒褐色土（10YR2／3） | | |
| 152 | C－5 | 28 | 22 | 10 | 円形 | U字形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | 須恵器坏 | |
| 153 | C－5 | 45 | 25 | 24 | 楕円形 | U字形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 154 | C－5 | 30 | 20 | 10 | 楕円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 155 | C－5 | 55 | 45 | 25 | 楕円形 | U字形 | 黒褐色土（10YR2／3） | | |
| 156 | C－5 | 30 | 28 | 15 | 円形 | 舟底形 | 1.黄灰色土(2.5Y4／1) 2.暗灰黄色土(2.5Y4／2) | | |
| 157 | C－5 | 50 | 45 | 41 | 円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | | |
| 158 | C－5 | 37 | 32 | 15 | 円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | | |
| 159 | C－5 | 71 | 38 | 22 | 楕円形 | 台形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | 土師器甕 | |
| 160 | C－5 | 40 | 36 | 10 | 円形 | 舟底形 | 1.灰オリーブ色土(5Y4／2) 2.オリーブ黒色土(5Y3／1) | | |
| 161 | C－5 | 31 | 26 | 12 | 円形 | 舟底形 | 1.黒色土(10YR2／1) 2.暗灰黄色土(2.5Y4／2) | | |

| 番号 | 位置 | 規模（cm） | | | 平面形 | 断面形 | 土層 | 出土遺物 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 長径 | 短径 | 深さ | | | | | |
| 162 | C−5 | 23 | 20 | 20 | 円形 | U字形 | 1.灰オリーブ色土(5Y4/2) 2.オリーブ褐色土(2.5Y4/3) | 土師器甕 | |
| 163 | C−5 | 55 | 45 | 12 | 楕円形 | 舟底形 | 黒褐色土（10YR2/3） | | |
| 164 | C−5 | 37 | 34 | 23 | 円形 | U字形 | 暗灰黄色土（2.5Y4/2） | | |
| 165 | C−5 | 35 | 28 | 13 | 楕円形 | 半円形 | 灰オリーブ色土（5Y4/2） | | |
| 166 | C−5 | 34 | 32 | 14 | 楕円形 | 半円形 | 1.灰オリーブ色土(5Y4/2) 2.黒色土(10YR2/1) | | |
| 167 | C−5 | 46 | 43 | 18 | 円形 | U字形 | 暗灰黄色土（2.5Y4/2） | | |
| 168 | B−3 | 35 | 28 | 14 | 円形 | 台形 | 暗灰黄色土（2.5Y4/2） | | |
| 169 | B−3 | 42 | 36 | 15 | 円形 | 半円形 | 黒色土（2.5Y2/1） | | |
| 170 | B−3 | 32 | 30 | 14 | 円形 | 台形 | 灰オリーブ色土（5Y4/2） | | |
| 171 | C−4 | 26 | 24 | 12 | 円形 | U字形 | オリーブ黒色土（5Y3/1） | | |
| 172 | C−4 | 50 | 35 | 10 | 楕円形 | 舟底形 | オリーブ黒色土（5Y3/1） | | |
| 173 | C−4 | 42 | 40 | 14 | 円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y4/2） | 土師器甕 | >SB 8 |
| 174 | C−4 | 71 | 53 | 13 | 楕円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土(5Y4/2) 礫（1〜2cm）少量含 | | >SB 8 |
| 175 | C−4 | 40 | 30 | 15 | 楕円形 | 半円形 | 灰オリーブ色土（5Y4/2） | | |
| 176 | B−5 | 30 | 25 | 9 | 円形 | 舟底形 | オリーブ褐色土（2.5Y4/3） | | |
| 177 | F−5 | 28 | 26 | 7 | 円形 | 半円形 | 灰オリーブ色土（5Y4/2） | | |
| 178 | B−4 | 43 | 33 | 10 | 楕円形 | 舟底形 | オリーブ褐色土（2.5Y4/3） | | |
| 179 | B−4 | 40 | 25 | 7 | 楕円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4/2） | | |
| 180 | F−5 | 30 | 28 | 7 | 楕円形 | 半円形 | 灰オリーブ色土（5Y4/2） | | |
| 181 | F−4 | 45 | 33 | 10 | 楕円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y4/2） | | |
| 182 | E−6 | 75 | 40 | 21 | 楕円形 | 舟底形 | 1.灰オリーブ色土(5Y5/2) 2.暗オリーブ褐色土(2.5Y3/3) | | |
| 183 | B−3 | 70 | 43 | 15 | 不整円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4/2） | | |
| 184 | C−3 | 35 | 30 | 16 | 円形 | 台形 | 暗灰黄色土（2.5Y4/2） | | |
| 185 | B−3 | 81 | 41 | 10 | 楕円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土(5Y5/2) 礫（1〜10cm）少量含 | | |
| 186 | B−2 | 33 | 30 | 25 | 円形 | U字形 | 暗褐色土（10YR3/3） | | |
| 187 | B−3 | 45 | 36 | 16 | 楕円形 | 半円形 | 灰色土（7.5Y4/1） | | |
| 188 | B−3 | 45 | 37 | 10 | 円形 | 半円形 | 灰色土（5Y4/1） | | |
| 189 | C−3 | 46 | 45 | 18 | 円形 | 半円形 | 黒褐色土（10YR2/3） | | |
| 190 | C−3 | 43 | 37 | 12 | 円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4/2） | | |
| 191 | C−3 | 70 | 55 | 22 | 円形 | U字形 | 黒色土（7.5YR2/1） | 土師器甕 | |
| 192 | C−3 | 37 | 34 | 12 | 円形 | 舟底形 | 暗褐色土（10YR3/3） | | |
| 193 | C−4 | 26 | 25 | 16 | 円形 | U字形 | 灰オリーブ色土(5Y5/2) 礫（3〜5cm）少量含 | | |
| 194 | C−2 | 45 | 43 | 17 | 円形 | 半円形 | 黒色土（10YR2/1） | | |

| 番号 | 位置 | 規模（cm） | | | 平面形 | 断面形 | 土層 | 出土遺物 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 長径 | 短径 | 深さ | | | | | |
| 195 | C－3 | 33 | 24 | 8 | 楕円形 | 半円形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | 土師器甕 | |
| 196 | C－3 | 31 | 29 | 9 | 円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | | |
| 197 | C－3 | 43 | 34 | 10 | 楕円形 | 舟底形 | 灰色土（5Y4／1）　礫（1～3cm）少量含 | | |
| 198 | C－3 | 40 | 34 | 40 | 楕円形 | 台形 | 1灰オリーブ色土(5Y4/2) 2.暗オリーブ色土(7.5Y4/3) | | |
| 199 | C－4 | 36 | 35 | 12 | 円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y5／2） | 土師器甕 | ＞SB 8 |
| 200 | C－4 | 30 | 25 | 10 | 円形 | 舟底形 | 灰色土（5Y4／1） | | ＞SB 8 |
| 201 | C－4 | 35 | 30 | 10 | 円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y5／2） | | |
| 202 | C－4 | 37 | 35 | 15 | 円形 | 台形 | 暗灰黄色土(2.5Y5／2)　礫（1～3cm)少量含 | | |
| 203 | C－3 | 48 | 41 | 11 | 円形 | 舟底形 | 灰色土（5Y4／1） | | |
| 204 | C－3 | 43 | 41 | 24 | 円形 | U字形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | | |
| 205 | C－3 | 33 | 30 | 10 | 円形 | 舟底形 | 黒色土（10YR2／1） | 石臼 | |
| 206 | C－3 | 31 | 30 | 24 | 円形 | 台形 | 灰オリーブ色土（5Y5／2） | | |
| 207 | C－3 | 37 | 34 | 15 | 円形 | 舟底形 | 黒褐色土(2.5Y3／2)　礫（1～3cm）少量含 | | |
| 208 | C－3 | 24 | 23 | 10 | 円形 | 半円形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 209 | C－3 | 34 | 28 | 17 | 円形 | 台形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2）　礫(1～3cm)少量含 | | |
| 210 | D－4 | 54 | 50 | 12 | 円形 | 舟底形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | | |
| 211 | D－5 | 35 | 32 | 11 | 円形 | 舟底形 | 1灰オリーブ色土(5Y5/2) 2.黒褐色土(7.5YR3/2) | | |
| 212 | D－4 | 25 | 23 | 18 | 円形 | 台形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 213 | D－4 | 29 | 26 | 15 | 円形 | 台形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 214 | E－4 | 43 | 33 | 8 | 楕円形 | 半円形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2）　礫（1～3cm)含 | | |
| 215 | E－4 | 146 | 87 | 12 | 長方形 | 舟底形 | 挿図 25 | | |
| 216 | E－4 | 42 | 41 | 16 | 円形 | 舟底形 | 黒褐色土（2.5Y3／1） | | |
| 217 | D－4 | 33 | 25 | 12 | 楕円形 | 舟底形 | 黒褐色土（2.5Y3／2）　礫（1～3cm)多量含 | | |
| 218 | D－4 | 36 | 34 | 23 | 円形 | U字形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | | |
| 219 | E－5 | 43 | 40 | 9 | 円形 | 舟底形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | | |
| 220 | C－4 | 45 | 34 | 13 | 楕円形 | U字形 | 暗オリーブ色土（5Y4／3） | | |
| 221 | C－5 | 27 | 26 | 7 | 楕円形 | 半円形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | | |
| 222 | C－3 | 28 | 23 | 15 | 円形 | 台形 | 灰オリーブ色土（5Y5／2） | | |
| 223 | C－3 | 51 | 29 | 9 | 楕円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土(5Y5/2)　礫（1～3cm）少量含 | | |
| 224 | C－3 | 32 | 28 | 10 | 楕円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y5／2） | 土師器甕、黒色土器 | |
| 225 | C－3 | 34 | 29 | 10 | 楕円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y5／3） | 灰釉椀 | |
| 226 | C－3 | 40 | 39 | 10 | 円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y5／3） | | |
| 227 | C－3 | 35 | 24 | 9 | 楕円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（5Y4／2）　礫（1～3cm)少量含 | 土師器甕 | |

| 番号 | 位置 | 規模（cm） | | | 平面形 | 断面形 | 土層 | 出土遺物 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 長径 | 短径 | 深さ | | | | | |
| 228 | C−3 | 40 | 30 | 15 | 楕円形 | 舟底形 | 暗褐色土（10YR3／3） 礫（1cm）少量含 | | |
| 229 | C−3 | 24 | 19 | 12 | 円形 | 台形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） 礫（1cm）少量含 | | |
| 230 | C−3 | 30 | 26 | 22 | 円形 | 台形 | 灰オリーブ色土（5Y5／2） | | |
| 231 | C−2 | 53 | 50 | 6 | 円形 | 舟底形 | 灰色土（5Y5／1） 礫（5cm）少量含 | | |
| 232 | C−3 | 47 | 34 | 25 | 楕円形 | U字形 | 暗褐色土（10YR3／3） | | |
| 233 | C−3 | 31 | 29 | 30 | 円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y5／3） | 土師器甕 | |
| 234 | C−3 | 32 | 30 | 20 | 円形 | U字形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | 須恵器甕 | |
| 235 | C−3 | 31 | 30 | 17 | 円形 | 半円形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 236 | C−3 | 27 | 26 | 10 | 円形 | 台形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | 鉄滓 | |
| 237 | C−3 | 30 | 26 | 16 | 円形 | U字形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | | |
| 238 | C−3 | 37 | 32 | 42 | 円形 | U字形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） 礫（1〜3cm）少量含 | | |
| 239 | C−3 | 28 | 25 | 25 | 円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y4／3） | | |
| 240 | C−3 | 45 | 41 | 23 | 円形 | 台形 | 1.灰オリーブ色土(5Y4/3) 2.オリーブ褐色土(2.5Y4/4) | | |
| 241 | C−3 | 36 | 30 | 17 | 円形 | 台形 | にぶい黄褐色土（10YR4／3） | | |
| 242 | C−3 | 28 | 26 | 12 | 円形 | 半円形 | 灰オリーブ色土（5Y4／3） | | |
| 243 | C−3 | 43 | 33 | 11 | 楕円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y4／3） | | |
| 244 | D−3 | 47 | 35 | 11 | 楕円形 | 舟底形 | 暗オリーブ褐色土（2.5Y3／3） | | |
| 245 | D−3 | 37 | 36 | 17 | 円形 | 舟底形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | 須恵器甕？ | |
| 246 | D−3 | 37 | 34 | 11 | 円形 | 舟底形 | 黄灰色土（2.5Y4／1） 礫（1〜5cm）少量含 | | |
| 247 | C−2 | 50 | 44 | 14 | 円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | | |
| 248 | C−2 | 30 | 28 | 20 | 円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y5／3） | | |
| 249 | C−2 | 32 | 27 | 12 | 円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | | |
| 250 | C−2 | 112 | 38 | 11 | 楕円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | | |
| 251 | D−3 | 33 | 23 | 11 | 楕円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 252 | D−3 | 36 | 32 | 11 | 円形 | 舟底形 | オリーブ褐色土（2.5Y3／3） | | |
| 253 | D−2 | 27 | 23 | 10 | 円形 | U字形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 254 | D−2 | 25 | 22 | 12 | 円形 | U字形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 255 | D−2 | 34 | 24 | 10 | 楕円形 | 舟底形 | 黒褐色土（10YR2／3） | | |
| 256 | D−2 | 25 | 22 | 12 | 円形 | U字形 | 黄灰色土（2.5Y4／1） | | |
| 257 | D−2 | 38 | 31 | 15 | 円形 | 舟底形 | 黄灰色土（2.5Y4／1） | | |
| 258 | D−2 | 39 | 29 | 9 | 楕円形 | 舟底形 | 暗褐色土（10YR3／3） | | |
| 259 | D−2 | 69 | 26 | 10 | 楕円形 | 舟底形 | 1.オリーブ褐色土(2.5Y4/6) 2.暗褐色土(2.5Y4/2) | | |
| 260 | D−2 | 30 | 25 | 11 | 円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y5／3） | | |

| 番号 | 位置 | 規模（cm） | | | 平面形 | 断面形 | 土層 | 出土遺物 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 長径 | 短径 | 深さ | | | | | |
| 261 | D－2 | 25 | 20 | 12 | 円形 | 台形 | 灰オリーブ色土（5Y5／3） | | |
| 262 | D－2 | 40 | 35 | 13 | 円形 | 舟底形 | 1.灰オリーブ色土(5Y5/2)　2.オリーブ褐色土(2.5Y4/3) | | |
| 263 | D－2 | 37 | 33 | 25 | 円形 | 台形 | オリーブ色土（2.5Y4／2） | | |
| 264 | D－2 | 55 | 45 | 27 | 円形 | 台形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 265 | E－3 | 34 | 28 | 7 | 円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 266 | E－3 | 29 | 26 | 14 | 円形 | 舟底形 | にぶい黄色土（10YR4／3） | | |
| 267 | E－3 | 28 | 26 | 12 | 円形 | 台形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 268 | E－3 | 27 | 24 | 15 | 円形 | 台形 | 黄灰色土（2.5Y4／1） | 山茶碗（13C） | |
| 269 | E－3 | 48 | 40 | 17 | 楕円形 | 半円形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | 土師器甕、瀬戸美濃灰釉皿 | |
| 270 | E－3 | 47 | 44 | 16 | 円形 | 舟底形 | 1.暗灰黄色土(2.5Y5/2)　2.暗褐色土(10YR3/3) | | |
| 271 | E－3 | 41 | 39 | 12 | 円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y5／3） | | |
| 272 | E－3 | 43 | 41 | 10 | 円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y5／3） | | |
| 273 | E－3 | 60 | 45 | 13 | 楕円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y5／2） | | |
| 274 | D－3 | 38 | 36 | 14 | 円形 | 半円形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | | |
| 275 | D－3 | 33 | 30 | 21 | 円形 | U字形 | 黄褐色土（2.5Y5／3） | | ＞SB 8 |
| 276 | D－3 | 42 | 38 | 12 | 円形 | 舟底形 | にぶい黄褐色土（10YR4／3） | 内耳鍋 | |
| 277 | D－4 | 50 | 48 | 18 | 円形 | 舟底形 | 褐色土（10YR4／4） | | |
| 278 | D－4 | 45 | 35 | 11 | 楕円形 | 舟底形 | にぶい黄褐色土（10YR4／3）　礫（1～5cm）少量含 | | |
| 279 | D－3 | 30 | 28 | 10 | 円形 | 舟底形 | にぶい黄褐色土（10YR5／3） | | |
| 280 | E－3 | 28 | 23 | 10 | 円形 | 舟底形 | 黄褐色土（2.5Y5／3） | | |
| 281 | D－3 | 28 | 22 | 7 | 円形 | 舟底形 | 黄褐色土（2.5Y5／3） | | |
| 282 | D－3 | 35 | 29 | 10 | 円形 | 舟底形 | 黄褐色土（2.5Y5／3） | | |
| 283 | D－3 | 37 | 30 | 8 | 円形 | 舟底形 | 黄褐色土（2.5Y5／3） | | |
| 284 | B－5 | 57 | 40 | 12 | 楕円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 285 | B－5 | 55 | 47 | 8 | 円形 | 舟底形 | 黄灰色土（2.5Y4／1） | | |
| 286 | B－5 | 37 | 32 | 14 | 円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 287 | B－5 | 35 | 30 | 13 | 円形 | 舟底形 | 灰黄褐色土（2.5Y4／2） | | |
| 288 | B－5 | 26 | 23 | 11 | 円形 | 半円形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 289 | B－5 | 44 | 40 | 24 | 円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 290 | B－5 | 42 | 40 | 20 | 円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y5／2）　礫（1cm）多量含 | | |
| 291 | B－5 | 29 | 18 | 25 | 楕円形 | 台形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 292 | B－3 | 35 | 27 | 20 | 楕円形 | 台形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | 瀬戸美濃擂鉢、内耳鍋 | |
| 293 | C－3 | 70 | 55 | 20 | 楕円形 | 舟底形 | 1.黒褐色土(7.5YR3/1)　2.オリーブ褐色土(2.5Y4/3) | 須恵器坏、土師器甕 | |

| 番号 | 位置 | 規模（cm） | | | 平面形 | 断面形 | 土層 | 出土遺物 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 長径 | 短径 | 深さ | | | | | |
| 294 | C－3 | 96 | 75 | 27 | 楕円形 | 舟底形 | 1.灰オリーブ色土(5Y5/2)　2.黄褐色土(2.5Y5/3) | 須恵器坏・甕、土師器甕、内耳鍋 | |
| 295 | C－3 | 105 | 72 | 20 | 楕円形 | U字形 | 1.灰オリーブ色土(5Y5/2)　2.黄褐色土(2.5Y5/3) | | |
| 296 | C－8 | － | 100 | 22 | 楕円形 | 舟底形 | 1.にぶい黄褐色土(10YR4/3)　2.暗オリーブ灰色土(5GY4/1) | 須恵器坏、土師器甕、黒色土器坏 | ＜SB3 |
| 297 | E－4 | 65 | 58 | 25 | 円形 | 舟底形 | 黄褐色土（10YR5/3） | 須恵器甕、土師器甕、黒色土器坏 | |
| 298 | E－4 | 93 | 70 | 20 | 楕円形 | 舟底形 | にぶい黄褐色土(10YR5/3)　礫(1～10cm)多量含 | 須恵器坏・甕、土師器坏 | |
| 299 | C－6 | 28 | 25 | 12 | 不整円形 | 半円形 | 暗灰黄色土（2.5Y5/2）　礫（1cm）少量含 | | |
| 300 | C－6 | 20 | 18 | 14 | 不整円形 | 台形 | 暗灰黄色土（2.5Y5/2） | | |
| 301 | H－7 | 123 | 110 | 37 | 円形 | 舟底形 | 挿図 25 | | |
| 302 | H－7 | 55 | 40 | 27 | 楕円形 | U字形 | 灰褐色土（10YR4/2） | | |
| 303 | H－7 | 60 | 52 | 21 | 円形 | 舟底形 | 1.灰褐色土(10YR4/2)　2.灰オリーブ色土(5Y5/2) 礫(1～10cm)少量含 | | |
| 304 | H－7 | 73 | 68 | 32 | 円形 | 台形 | 1.灰褐色土(10YR4/2)　2.灰オリーブ色土(5Y4/2) 礫(1～5cm)少量含 | | |
| 305 | H－7 | 47 | 41 | 18 | 円形 | 半円形 | 灰色土（5Y4/1） | 龍泉窯系青磁碗（13C） | |
| 306 | H－7 | 25 | 22 | 22 | 円形 | 台形 | 黄褐色土（2.5Y5/3） | | |
| 307 | H－6 | 93 | 46 | 9 | 楕円形 | 舟底形 | にぶい黄色土（2.5Y6/3） | | |
| 308 | H－7 | 136 | 92 | 29 | 楕円形 | 舟底形 | 挿図 25 | | |
| 309 | H－6 | 36 | 27 | 25 | 円形 | 台形 | 暗灰黄色土（2.5Y4/2） | | |
| 310 | H－6 | 90 | 82 | 30 | 円形 | 舟底形 | 挿図 25 | | |
| 311 | F－7 | 52 | 50 | 25 | 円形 | 舟底形 | にぶい黄褐色土（10YR5/3） | | |
| 312 | F－7 | 210 | 70 | 41 | 長方形 | 舟底形 | 挿図 25 | | |
| 313 | G－6 | 30 | 28 | 20 | 円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y4/2） | | |
| 314 | F－7 | 40 | 38 | 41 | 円形 | U字形 | 暗灰黄色土（2.5Y5/2）　礫（1cm）少量含 | | |
| 315 | F－7 | 45 | 35 | 30 | 楕円形 | U字形 | 暗灰黄色土（2.5Y5/2） | | |
| 316 | H－6 | 35 | 30 | 10 | 円形 | 半円形 | 灰オリーブ色土（5Y5/2） | | |
| 317 | H－6 | 25 | 19 | 9 | 円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y5/2） | | |
| 318 | H－6 | 32 | 30 | 20 | 円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y5/2） | | |
| 319 | H－6 | 25 | 20 | 10 | 円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y5/2） | | |
| 320 | H－6 | 48 | 42 | 10 | 円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y5/2） | | |
| 321 | H－6 | 38 | 32 | 31 | 円形 | U字形 | 1.灰オリーブ色土(5Y5/2)　2.暗灰黄色土(2.5Y5/2) | | |
| 322 | H－6 | 37 | 35 | 10 | 円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y5/2） | | |
| 323 | H－6 | 27 | 22 | 7 | 円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y5/2） | | |
| 324 | H－6 | 77 | 76 | 20 | 円形 | 舟底形 | 黄褐色土（2.5Y5/3）　礫（1～3cm）少量含 | | |
| 325 | H－6 | 35 | 30 | 15 | 円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y5/2） | | |
| 326 | G－6 | 53 | 40 | 6 | 楕円形 | 舟底形 | 灰色土（5Y5/1） | | |

| 番号 | 位置 | 規模（cm） | | | 平面形 | 断面形 | 土層 | 出土遺物 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 長径 | 短径 | 深さ | | | | | |
| 327 | G－6 | 55 | 47 | 35 | 楕円形 | U字形 | 暗灰黄色土（2.5Y5／2）　礫（5cm）少量含 | | |
| 328 | G－6 | 345 | 280 | 15 | 長方形 | 舟底形 | 挿図 25 | 志野丸皿、須恵器甕 | |
| 329 | G－6 | 40 | 28 | 29 | 楕円形 | U字形 | 1.灰オリーブ色土(5Y5/2) 2.黄褐色土(2.5Y5/3) 礫(1~5cm)少量含 | 須恵器甕 | |
| 330 | G－6 | 34 | 25 | 15 | 楕円形 | U字形 | 暗灰黄色土（2.5Y5／2） | 須恵器甕 | |
| 331 | F－6 | 45 | 35 | 20 | 楕円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y5／2） | | |
| 332 | F－6 | 20 | 16 | 15 | 楕円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y5／2） | | |
| 333 | F－6 | 40 | 35 | 14 | 楕円形 | U字形 | 暗灰黄色土（2.5Y5／2） | | |
| 334 | F－6 | 37 | 35 | 24 | 円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | | |
| 335 | F－6 | 35 | 30 | 10 | 円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | | |
| 336 | F－6 | 37 | 34 | 12 | 円形 | 舟底形 | オリーブ黒色土（5Y3／1） | | |
| 337 | F－6 | 25 | 20 | 16 | 円形 | U字形 | 黒褐色土（10YR3／2） | | |
| 338 | F－6 | 32 | 25 | 18 | 円形 | U字形 | 暗褐色土（10YR3／3） | | |
| 339 | F－6 | 130 | 120 | 22 | 円形 | 舟底形 | 挿図 26 | | ＜SK36 |
| 340 | F－6 | 45 | 37 | 14 | 円形 | 半円形 | 暗褐色土（10YR3／3） | | |
| 341 | F－6 | 25 | 23 | 11 | 円形 | 半円形 | 1.黒褐色土(10YR2／3) 2.灰黄褐色土(10YR4／2) | | |
| 342 | G－6 | 33 | 29 | 12 | 円形 | 舟底形 | 黄灰色土（2.5Y4／1） | | |
| 343 | G－6 | 28 | 23 | 17 | 円形 | 半円形 | 黄灰色土（2.5Y4／1） | | |
| 344 | G－6 | 31 | 23 | 11 | 円形 | 半円形 | 黄灰色土（2.5Y4／2） | | |
| 345 | G－6 | 33 | 31 | 11 | 円形 | 舟底形 | 1.灰色土(5Y4／1) 2.暗オリーブ色土(5Y4／3) | | |
| 346 | G－6 | 26 | 22 | 8 | 円形 | U字形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 347 | G－6 | 43 | 33 | 20 | 円形 | 半円形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 348 | F－6 | 55 | 45 | 20 | 楕円形 | 半円形 | 1.灰色土(5Y4／1)　2.黒褐色土(2.5Y3／2) | | |
| 349 | H－6 | 31 | 30 | 29 | 円形 | U字形 | 黄灰色土（2.5Y4／1） | | |
| 350 | H－6 | 34 | 31 | 12 | 円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | | |
| 351 | H－6 | 32 | 28 | 34 | 円形 | U字形 | 灰色土（5Y4／1） | | |
| 352 | H－6 | 50 | 48 | 11 | 円形 | 舟底形 | 1.灰オリーブ色土（5Y4／2）　2.黒褐色土(2.5Y3／1) | | |
| 353 | H－6 | 32 | 30 | 11 | 円形 | 半円形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 354 | G－5 | 45 | 43 | 9 | 円形 | 舟底形 | 黒褐色土（10YR2／2） | | |
| 355 | G－6 | 214 | 170 | 45 | 円形 | 舟底形 | 挿図 26 | 黒色土器坏、施釉系青磁碗（13C）、擂鉢（13C）<br>瀬戸美濃天目茶碗（17C）　他 | |
| 356 | F－6 | 29 | 28 | 11 | 円形 | 半円形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／1） | | |
| 357 | F－6 | 27 | 25 | 13 | 円形 | 半円形 | 1.黄灰色土(2.5Y4／1)　2.暗灰黄色土(2.5Y4／1) | | |
| 358 | F－6 | 48 | 40 | 18 | 楕円形 | 半円形 | オリーブ黒色土（5Y3／1） | | |
| 359 | G－5 | 50 | 38 | 12 | 不整円形 | 舟底形 | 暗褐色土（10YR3／3） | | |

| 番号 | 位置 | 規模（cm） | | | 平面形 | 断面形 | 土層 | 出土遺物 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 長径 | 短径 | 深さ | | | | | |
| 360 | G－5 | 27 | 24 | 23 | 円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | | |
| 361 | G－5 | 405 | 285 | 44 | 円形 | 舟底形・台形 | 挿図 26 | 土師器甕、東海系擂鉢（13C）、志野皿（17C）瀬戸美濃灰釉皿（17C）、内耳鍋　他 | ＞SK363 |
| 362 | C－6 | 56 | 48 | 13 | 円形 | 半円形 | 黒褐色土（10YR3／2） | | ＞SK4 |
| 363 | G－5 | 75 | 57 | 15 | 円形 | 舟底形 | 1.灰色土(5Y4／1)　2.黒褐色土(2.5Y3／1) | | ＜SK361 |
| 364 | F－5 | 46 | 32 | 16 | 楕円形 | 舟底形 | 1.黒褐色土(2.5Y3／1)　2.黒褐色土(2.5Y3／2) | | |
| 365 | F－5 | 62 | 48 | 15 | 円形 | 舟底形 | 1.黄灰色土(2.5Y4/1) 2.黒褐色土(2.5Y3/1) 3.黒褐色土(2.5Y3/2) | | |
| 366 | F－5 | 25 | 23 | 14 | 円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | | |
| 367 | F－5 | 40 | 33 | 18 | 円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | | |
| 368 | F－5 | 44 | 40 | 39 | 円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | | |
| 369 | F－5 | 40 | 32 | 12 | 円形 | 舟底形 | 1.灰色土（5Y4／1）　2.黒色土（2.5Y2／1） | | |
| 370 | F－5 | 20 | 15 | 22 | 円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | | |
| 371 | F－5 | 39 | 32 | 34 | 円形 | V字形 | 1.黒褐色土（10YR2／2）　2.灰オリーブ色土（5Y4/2） | | |
| 372 | F－5 | 40 | 38 | 20 | 円形 | 半円形 | 1.暗オリーブ褐色土(2.5Y3/3)　2.灰オリーブ色土(5Y4/2) | | |
| 373 | F－5 | 72 | 32 | 20 | 楕円形 | 舟底形 | 1.オリーブ黒色土(5Y3/1)　2.オリーブ黒色土(5Y3/2) | | |
| 374 | E－5 | 82 | 60 | 25 | 円形 | 半円形 | 挿図 26 | | |
| 375 | B－4 | 20 | 17 | 20 | 円形 | U字形 | 灰色土（5Y4／1） | | |
| 376 | F－5 | 28 | 24 | 10 | 円形 | 半円形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | | |
| 377 | E－5 | 50 | 41 | 29 | 楕円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | | |
| 378 | H－5 | 42 | 40 | 19 | 円形 | 半円形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | | |
| 379 | H－5 | 41 | 39 | 24 | 円形 | 半円形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 380 | G－5 | 52 | 42 | 28 | 円形 | 半円形 | 暗オリーブ褐色土（2.5Y3／3） | | |
| 381 | G－5 | 43 | 41 | 22 | 円形 | 半円形 | 黒褐色土（10YR2／3） | | |
| 382 | G－5 | 53 | 34 | 7 | 楕円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 383 | G－5 | 122 | 85 | 30 | 長方形 | 舟底形 | 挿図 26 | | |
| 384 | G－5 | 81 | 73 | 23 | 円形 | 半円形 | 1.黒褐色土（10YR2／2）　2.黒褐色土(10YR2／3) | | |
| 385 | G－5 | 377 | 275 | 29 | 長方形 | 舟底形 | 挿図 27 | 瀬戸窯系青磁碗（13C）、内耳鍋（16C）、志野皿（17C）志野織部皿（17C）、かわらけ（17C） | |
| 386 | G－5 | 30 | 27 | 16 | 円形 | U字形 | 1.黒褐色土(2.5Y3／1)　2.黒褐色土(2.5Y3／2) | | |
| 387 | G－5 | 38 | 35 | 20 | 円形 | U字形 | 黒色土（10YR2／1） | | |
| 388 | F－5 | 33 | 29 | 18 | 円形 | 半円形 | 灰色土（5Y4／1） | | |
| 389 | F－5 | 31 | 30 | 12 | 円形 | 半円形 | 1.灰オリーブ色土(5Y4／2)　2.黒褐色土(2.5Y3／1) | | |
| 390 | H－4 | 36 | 27 | 25 | 円形 | 台形 | 灰オリーブ色土（5Y5／2） | | |
| 391 | H－4 | 77 | 68 | 20 | 円形 | 舟底形 | 1.灰色土(5Y4/1) 2.暗褐色土(10YR3/4) 礫(1～3㎝)少量含 | | |
| 392 | G－5 | 59 | 34 | 27 | 楕円形 | 半円形 | 黒褐色土（2.5Y3／2） | | |

| 番号 | 位置 | 規模（cm） | | | 平面形 | 断面形 | 土層 | 出土遺物 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 長径 | 短径 | 深さ | | | | | |
| 393 | G－5 | 38 | 33 | 29 | 円形 | 台形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | | |
| 394 | G－5 | 38 | 33 | 11 | 円形 | 舟底形 | 暗褐色土（7.5YR3／3） | | |
| 395 | F－4 | 45 | 39 | 8 | 円形 | 舟底形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | | |
| 396 | F－4 | 25 | 20 | 9 | 円形 | 半円形 | 暗オリーブ褐色土（2.5Y3／3） | | |
| 397 | F－4 | 22 | 21 | 7 | 円形 | 舟底形 | 暗オリーブ褐色土（2.5Y3／3） | | |
| 398 | F－4 | 35 | 25 | 6 | 楕円形 | 舟底形 | 黒褐色土（2.5Y3／2） | | |
| 399 | H－4 | 31 | 29 | 11 | 円形 | 半円形 | 黄褐色土（2.5Y5／4） | | |
| 400 | H－4 | 143 | 110 | 15 | 円形 | 舟底形 | 挿図 27 | 龍泉窯系青磁碗（12C） | |
| 401 | H－3 | 200 | 160 | 26 | 円形 | 舟底形 | 挿図 27 | 龍泉窯系青磁碗（13C）、かわらけ | |
| 402 | H－3 | 175 | 145 | 41 | 円形 | 舟底形 | 挿図 27 | | |
| 403 | G－4 | 60 | 42 | 14 | 楕円形 | 舟底形 | オリーブ色土（5Y3／2） | | |
| 404 | G－4 | 30 | 26 | 6 | 円形 | 舟底形 | 1.黒褐色土(10YR2/3)　2.オリーブ褐色土(2.5Y4/3) | | |
| 405 | G－4 | 30 | 28 | 11 | 円形 | U字形 | 1.暗オリーブ褐色土(2.5Y3/3)　2.灰オリーブ色土(5Y4/2) | | |
| 406 | G－4 | 47 | 30 | 8 | 円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | | |
| 407 | G－4 | 63 | 32 | 15 | 楕円形 | 舟底形 | 黒褐色土（2.5Y3／2） | | |
| 408 | G－4 | 25 | 23 | 6 | 円形 | 舟底形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | | |
| 409 | G－4 | 27 | 26 | 11 | 円形 | 半円形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | 灰釉椀 | |
| 410 | G－4 | 42 | 35 | 12 | 円形 | 舟底形 | オリーブ黒色土（5Y3／2） | | |
| 411 | G－3 | 43 | 40 | 12 | 円形 | 舟底形 | 暗オリーブ褐色土（2.5Y3／3） | | |
| 412 | G－4 | 35 | 30 | 12 | 円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 413 | G－4 | 59 | 49 | 7 | 楕円形 | 舟底形 | 1.灰オリーブ色土(5Y4／2)　2.黒褐色土(2.5Y3／2) | | |
| 414 | G－4 | 25 | 22 | 8 | 円形 | 舟底形 | 1.灰オリーブ色土(5Y4／2)　2.黒褐色土(2.5Y3／2) | | |
| 415 | F－4 | 43 | 30 | 5 | 楕円形 | 舟底形 | 1.オリーブ褐色土(2.5Y4/4)　2.黒褐色土(2.5Y2/3) | | |
| 416 | F－4 | 25 | 24 | 7 | 円形 | 舟底形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／4） | | |
| 417 | F－3 | 44 | 40 | 18 | 円形 | U字形 | 黒褐色土（2.5Y3／1） | | |
| 418 | F－3 | 37 | 32 | 20 | 円形 | 半円形 | 黒褐色土（2.5Y3／1） | | |
| 419 | C－5 | 42 | 40 | 24 | 円形 | U字形 | 黒褐色土（10YR2／2） | | |
| 420 | F－3 | 33 | 30 | 7 | 円形 | 舟底形 | 黒褐色土（2.5Y3／2） | | |
| 421 | F－4 | 38 | 29 | 10 | 楕円形 | 舟底形 | 黒褐色土（2.5Y3／2） | | |
| 422 | F－4 | 28 | 25 | 10 | 円形 | 舟底形 | 黒褐色土（2.5Y3／2） | | |
| 423 | F－7 | 40 | 35 | 25 | 円形 | U字形 | 暗灰色土（2.5Y5／2）　礫（1cm）多量含 | 志野丸皿（17C） | |
| 424 | G－6 | 70 | 40 | 15 | 楕円形 | 舟底形 | 暗灰色土（2.5Y5／2）　礫（1～3cm）少量含 | | |
| 425 | G－3 | 32 | 28 | 14 | 円形 | 舟底形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／4） | | |

| 番号 | 位置 | 規模（cm） | | | 平面形 | 断面形 | 土層 | 出土遺物 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 長径 | 短径 | 深さ | | | | | |
| 426 | F−3 | 50 | 44 | 18 | 円形 | 舟底形 | 1.オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | 土師器小形甕 | |
| 427 | F−3 | 40 | 35 | 19 | 円形 | 半円形 | 1.暗オリーブ褐色土（2.5Y3／3） | | |
| 428 | F−3 | 36 | 30 | 13 | 円形 | 半円形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／4） | | |
| 429 | F−3 | 45 | 38 | 23 | 円形 | 半円形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | | |
| 430 | F−3 | 38 | 32 | 12 | 円形 | 舟底形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | | |
| 431 | F−3 | 51 | 35 | 5 | 楕円形 | 舟底形 | 黒褐色土（10YR2／2） | | |
| 432 | F−3 | 38 | 31 | 9 | 円形 | 舟底形 | 黒褐色土（10YR2／2） | | |
| 433 | G−3 | 320 | 150 | 63 | 不整円形 | 舟底形 | 挿図 28 | 黒色土器坏 | |
| 434 | G−3 | 48 | 42 | 9 | 円形 | 舟底形 | 暗オリーブ褐色土（2.5Y3／3） | | |
| 435 | G−3 | 43 | 41 | 16 | 円形 | 台形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | | |
| 436 | G−3 | 43 | 33 | 10 | 円形 | 舟底形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | | |
| 437 | G−3 | 30 | 23 | 10 | 円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y4／2） | | |
| 438 | G−3 | 25 | 23 | 7 | 円形 | U字形 | 暗褐色土（10YR3／3） | | |
| 439 | G−3 | 28 | 26 | 10 | 円形 | 舟底形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | | |
| 440 | G−3 | 44 | 30 | 8 | 円形 | 半円形 | 暗褐色土（10YR3／4） | | |
| 441 | F−3 | 43 | 35 | 11 | 円形 | 半円形 | オリーブ黒色土（5Y2／2） | | |
| 442 | F−3 | 40 | 31 | 13 | 円形 | U字形 | オリーブ黒色土（5Y3／2） | | |
| 443 | F−3 | 33 | 29 | 16 | 円形 | U字形 | 黒色土（10YR2／1） | | |
| 444 | F−3 | 43 | 38 | 17 | 円形 | U字形 | 黒褐色土（10YR3／2） | | |
| 445 | F−3 | 43 | 35 | 7 | 楕円形 | 舟底形 | 黒褐色土（10YR3／2） | | |
| 446 | F−3 | 37 | 26 | 11 | 楕円形 | 半円形 | 黒褐色土（10YR3／2） | | |
| 447 | F−3 | 70 | 40 | 10 | 楕円形 | 舟底形 | 1.黒色土(10YR2／1) 2.黒褐色土(10YR2／3) | | |
| 448 | H−3 | 30 | 28 | 12 | 円形 | 台形 | 暗褐色土（10YR3／3） | | |
| 449 | H−3 | 30 | 21 | 6 | 円形 | 半円形 | 暗褐色土（2.5Y3／2） | | |
| 450 | G−3 | 150 | 135 | 47 | 円形 | 舟底形 | 挿図 28 | | |
| 451 | G−3 | 42 | 38 | 16 | 円形 | 半円形 | オリーブ褐色土（5Y3／2） | | |
| 452 | G−3 | 268 | 90 | 10 | 楕円形 | 舟底形 | 挿図 28 | | |
| 453 | G−3 | 105 | 54 | 12 | 楕円形 | 舟底形 | 1.オリーブ褐色土(2.5Y4／4) 2.黒褐色土(2.5Y3／2) | | |
| 454 | G−2 | 230 | 130 | 24 | 不整円形 | 舟底形 | 挿図 28 | | |
| 455 | G−2 | 66 | 60 | 22 | 円形 | 半円形 | 1.オリーブ褐色土(2.5Y4／4) 2.黒褐色土(2.5Y3／2) | | |
| 456 | G−3 | 45 | 28 | 27 | 円形 | U字形 | 暗オリーブ褐色土（2.5Y3／3） | 山皿（13C） | |
| 457 | F−3 | 47 | 42 | 37 | 円形 | U字形 | 1.暗褐色土(10YR3／3) 2.黒褐色土(10YR2／2) | 銭 | |
| 458 | G−3 | 45 | 28 | 16 | 円形 | U字形 | 黒褐色土（10YR2／2） | | |

| 番号 | 位置 | 規模（cm） | | | 平面形 | 断面形 | 土層 | 出土遺物 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 長径 | 短径 | 深さ | | | | | |
| 459 | F－2 | 35 | 26 | 16 | 円形 | 半円形 | 黒褐色土（10YR2／2） | | |
| 460 | F－2 | 58 | 52 | 21 | 円形 | 半円形 | 1.オリーブ黒色土(2.5Y4／3) 2.オリーブ黒色土(5Y3／1) | 黒色土器坏 | |
| 461 | F－2 | 42 | 40 | 17 | 円形 | 舟底形 | 1.暗オリーブ褐色土(2.5Y3/3) 2.オリーブ黒色土(5Y2/2) 3.オリーブ黒色土(5Y3/2) | | ＞SK462 |
| 462 | F－2 | 78 | 36 | 11 | 楕円形 | 舟底形 | 1.暗オリーブ褐色土(2.5Y3/3) 2.オリーブ黒色土(5Y2/2) 3.オリーブ黒色土(5Y3/2) | | ＜SK461 |
| 463 | F－3 | 51 | 28 | 20 | 不整円形 | 舟底形 | 黒褐色土（2.5Y3／2） | | |
| 464 | F－3 | 25 | 24 | 10 | 円形 | 舟底形 | 暗オリーブ褐色土（2.5Y3／3） | | |
| 465 | F－3 | 30 | 25 | 20 | 円形 | U字形 | 黒褐色土（2.5Y3／2） | | |
| 466 | F－2 | 28 | 26 | 10 | 円形 | 半円形 | 黒褐色土（10YR2／3） | | |
| 467 | F－3 | 40 | 31 | 18 | 円形 | U字形 | 黒褐色土（10YR3／3） | | |
| 468 | F－3 | 30 | 25 | 9 | 円形 | 舟底形 | 黒褐色土（10YR2／3） | | |
| 469 | F－3 | 36 | 30 | 16 | 円形 | 半円形 | 黒褐色土（10YR3／1） | | |
| 470 | F－3 | 52 | 47 | 24 | 円形 | 半円形 | 黒褐色土（10YR2／3） | | |
| 471 | F－3 | 38 | 34 | 17 | 円形 | 半円形 | 黒褐色土（10YR3／3） | | |
| 472 | F－3 | 40 | 32 | 15 | 円形 | 半円形 | 黒褐色土（10YR3／2） | | |
| 473 | E－3 | 30 | 27 | 6 | 円形 | 舟底形 | 黒褐色土（2.5Y3／2） | | |
| 474 | F－3 | 27 | 23 | 17 | 円形 | 半円形 | 黒褐色土（2.5Y3／2） | | |
| 475 | E－3 | 40 | 35 | 13 | 円形 | 台形 | 暗オリーブ褐色土（2.5Y3／3） | | |
| 476 | E－3 | 35 | 32 | 15 | 円形 | 台形 | 暗褐色土（10YR3／3） | | |
| 477 | E－3 | 32 | 29 | 9 | 円形 | 舟底形 | 暗褐色土（10YR3／4） | | |
| 478 | E－3 | 33 | 26 | 11 | 円形 | U字形 | 暗オリーブ褐色土（2.5Y3／3） | | |
| 479 | E－3 | 32 | 30 | 15 | 円形 | 半円形 | オリーブ黒色土（5Y3／2） | | |
| 480 | E－3 | 37 | 32 | 15 | 円形 | 半円形 | 暗オリーブ褐色土（2.5Y3／3） | | |
| 481 | E－3 | 41 | 32 | 12 | 円形 | 半円形 | 黒褐色土（2.5Y3／1） | | |
| 482 | F－2 | 46 | 34 | 18 | 楕円形 | 舟底形 | 黒褐色土（2.5Y3／2） | | |
| 483 | F－2 | 30 | 25 | 17 | 円形 | 舟底形 | 暗オリーブ色土（2.5Y3／3） | | |
| 484 | F－2 | 33 | 28 | 16 | 円形 | U字形 | 暗褐色土（10YR3／4） | | |
| 485 | F－2 | 40 | 35 | 16 | 円形 | 舟底形 | 暗オリーブ褐色土（10YR4／3） | | |
| 486 | F－2 | 37 | 35 | 12 | 円形 | 舟底形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | | |
| 487 | F－2 | 29 | 24 | 6 | 円形 | 半円形 | オリーブ黒色土（5Y3／2） | | |
| 488 | F－2 | 24 | 21 | 14 | 円形 | U字形 | オリーブ黒色土（5Y3／2） | | |
| 489 | F－2 | 42 | 39 | 20 | 円形 | 半円形 | オリーブ黒色土（5Y3／1） 礫(1～3cm)含 | | |
| 490 | F－2 | 35 | 30 | 15 | 円形 | 半円形 | 黒褐色土（2.5Y3／2） | | |
| 491 | F－2 | 20 | 18 | 10 | 円形 | U字形 | 黒褐色土（10YR3／3） | | |

| 番号 | 位置 | 規模（cm） | | | 平面形 | 断面形 | 土層 | 出土遺物 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 長径 | 短径 | 深さ | | | | | |
| 492 | F−2 | 26 | 22 | 6 | 円形 | 舟底形 | 黒褐色土（10YR3／3） | 土師器甕 | |
| 493 | F−2 | 40 | 29 | 12 | 楕円形 | U字形 | 1.灰オリーブ褐色土(2.5Y3/3) 2.黒褐色土(10YR3/3) | | |
| 494 | F−2 | 25 | 22 | 14 | 円形 | 半円形 | オリーブ黒色土（5Y3／2） | | |
| 495 | F−2 | 31 | 30 | 16 | 円形 | 半円形 | 灰オリーブ褐色土（2.5Y3／3） | | |
| 496 | F−2 | 57 | 37 | 20 | 円形 | 半円形 | 黒褐色土（2.5Y3／2） | | |
| 497 | F−2 | 90 | 75 | 25 | 円形 | 舟底形 | 黒褐色土（2.5Y3／2） | | |
| 498 | G−2 | 62 | 60 | 22 | 円形 | 舟底形 | 黒褐色土(2.5Y3／2) 礫（1〜2cm）少量含 | | |
| 499 | G−2 | 57 | 51 | 23 | 円形 | 台形 | オリーブ褐色土(2.5Y4/3) 礫（1〜3cm）少量含 | | |
| 500 | G−2 | 145 | 75 | 13 | 楕円形 | 舟底形 | 挿図 28 | 白磁V類碗（12C） | <SK21 |
| 501 | G−2 | 192 | 175 | 15 | 円形 | 舟底形 | 挿図 29 | 須恵器甕 | |
| 502 | G−2 | 90 | 76 | 35 | 円形 | 舟底形 | 1.オリーブ褐色土(5Y3/1) 2.黒褐色土(2.5Y3/2) | | |
| 503 | H−2 | 37 | 33 | 23 | 円形 | U字形 | オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | | |
| 504 | G−2 | 43 | 36 | 16 | 円形 | U字形 | 黒褐色土（2.5Y3／2） | | |
| 505 | G−5 | 216 | 90 | 24 | 長方形 | 舟底形 | 挿図 29 | | |
| 506 | H−4 | 35 | 26 | 18 | 円形 | 台形 | 灰オリーブ色土（5Y5／2） | | |
| 507 | H−4 | 40 | 36 | 25 | 円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y5／2） | | |
| 508 | H−4 | 25 | 24 | 7 | 円形 | 半円形 | 灰オリーブ色土（5Y5／2） | | |
| 509 | G−4 | 29 | 25 | 8 | 円形 | 半円形 | 黄褐色土（2.5Y5／4） | | |
| 510 | E−2 | 113 | 92 | 50 | 円形 | U字形 | 挿図 29 | | |
| 511 | E−2 | 188 | 95 | 20 | 楕円形 | 舟底形 | 挿図 29 | 土師器甕、かわらけ | |
| 512 | G−2 | 484 | 218 | 14 | 長方形 | 舟底形 | 挿図 29 | 土師器甕、かわらけ | |
| 513 | F−7 | 41 | 40 | 25 | 円形 | 半円形 | 灰オリーブ色土（5Y5／2） | | |
| 514 | G−7 | 85 | 60 | 22 | 楕円形 | 舟底形 | 黒褐色土（10YR2／3） | | |
| 515 | G−7 | 26 | 24 | 14 | 円形 | 半円形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 516 | G−7 | 105 | 94 | 19 | 円形 | 舟底形 | 1.暗赤褐色土(5YR3／3) 2.灰色土(5Y4／1) | 須恵器、白磁碗（12C）、志野皿（17C）、内耳鍋 他 | |
| 517 | G−7 | 36 | 24 | 9 | 楕円形 | 舟底形 | にぶい褐色土（5YR4／4） | | |
| 518 | G−6 | 76 | 53 | 15 | 円形 | 舟底形 | 1.暗灰黄色土(2.5Y4／2) 2.灰色土(5Y4／1) | | |
| 519 | G−6 | 60 | 42 | 15 | 楕円形 | 舟底形 | オリーブ黒色土(5Y3／1) 礫(1〜5cm)少量含 | | |
| 520 | G−7 | 26 | 25 | 10 | 円形 | 舟底形 | 灰黄褐色土（10YR4／2） | | |
| 521 | G−6 | 152 | 130 | 43 | 楕円形 | 舟底形 | 挿図 30 | | |
| 522 | G−6 | 30 | 27 | 10 | 円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y5／2） | | |
| 523 | G−6 | 30 | 29 | 35 | 円形 | U字形 | 灰黄褐色土（10YR5／2） | | |
| 524 | G−6 | 26 | 24 | 32 | 円形 | U字形 | 灰黄褐色土（10YR5／2） | 瀬戸美濃灰釉碗（18C）、内耳鍋 | |

| 番号 | 位置 | 規模（cm） | | | 平面形 | 断面形 | 土層 | 出土遺物 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 長径 | 短径 | 深さ | | | | | |
| 525 | G－6 | 82 | 70 | 20 | 円形 | 舟底形 | 1.オリーブ褐色土（2.5Y4／3） | | |
| 526 | G－6 | 65 | 61 | 27 | 円形 | 舟底形 | 1.黄褐色土(2.5Y5/3) 2.オリーブ黒色土(5Y3/1) 礫(1~5cm) 含 | | |
| 527 | G－6 | 45 | 30 | 8 | 円形 | 舟底形 | 灰オリーブ色土（5Y5／2） | | |
| 528 | G－6 | 32 | 25 | 13 | 円形 | 舟底形 | オリーブ黒色土（2.5Y3／1） | | |
| 529 | G－6 | 51 | 42 | 15 | 円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 530 | G－6 | 60 | 58 | 12 | 円形 | 舟底形 | 灰黄褐色土（10YR4／2） | | |
| 531 | G－6 | 35 | 32 | 10 | 円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） 礫(1～3cm)少量含 | | |
| 532 | G－6 | 42 | 31 | 15 | 円形 | 半円形 | 灰黄褐色土（10YR4／2） | | |
| 533 | F－4 | 33 | 29 | 12 | 円形 | 半円形 | 暗褐色土（10YR3／4） | | |
| 534 | G－6 | 80 | 65 | 19 | 円形 | 半円形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） 礫(1～10cm)少量含 | | |
| 535 | G－6 | 37 | 31 | 11 | 円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 536 | G－6 | 26 | 25 | 13 | 円形 | 半円形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 537 | G－6 | 35 | 25 | 23 | 円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y5／2） | | |
| 538 | F－6 | 30 | 27 | 10 | 円形 | 半円形 | 灰黄褐色土（10YR4／2） | | |
| 539 | F－6 | 35 | 30 | 35 | 円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y5／2） | | |
| 540 | F－6 | 38 | 30 | 10 | 楕円形 | 舟底形 | 灰褐色土（7.5YR4／2） | | |
| 541 | F－6 | 37 | 30 | 6 | 楕円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4／2） | | |
| 542 | F－6 | 94 | 60 | 14 | 楕円形 | 舟底形 | 灰黄褐色土（10YR4／2） | | |
| 543 | F－6 | 34 | 32 | 14 | 円形 | 半円形 | 灰黄褐色 土(10YR4／2） | | |
| 544 | F－6 | 73 | 66 | 7 | 楕円形 | 舟底形 | 灰褐色土（7.5YR4／2） 礫(1cm)少量含 | | |
| 545 | H－5 | 37 | 35 | 10 | 円形 | 舟底形 | 灰褐色土（7.5Y4／2） | | |
| 546 | H－5 | 40 | 38 | 7 | 円形 | 舟底形 | 灰黄褐色土（10YR4／2） | | |
| 547 | G－5 | 153 | 126 | 18 | 円形 | 舟底形 | 挿図 30 | | |
| 548 | F－5 | 30 | 28 | 5 | 円形 | 舟底形 | 灰黄褐色土（10YR4／2） | | |
| 549 | F－5 | 45 | 38 | 10 | 円形 | 舟底形 | 灰黄褐色土（10YR4／2） | | |
| 550 | F－5 | 40 | 33 | 7 | 円形 | 舟底形 | 1.黄褐色土(2.5Y5／3) 2.オリーブ黒色土(5Y3／1) | | |
| 551 | F－4 | 57 | 36 | 9 | 楕円形 | 舟底形 | 灰黄褐色土（10YR4／2） | | |
| 552 | F－4 | 25 | 22 | 7 | 円形 | 舟底形 | 灰褐色土（7.5YR4／2） | | |
| 553 | E－5 | 37 | 31 | 12 | 円形 | 半円形 | 灰褐色土（7.5YR4／2） | | |
| 554 | E－4 | 22 | 15 | 7 | 楕円形 | 半円形 | 灰褐色土（7.5YR4／2） | | |
| 555 | G－4 | 35 | 32 | 7 | 円形 | 舟底形 | オリーブ灰色土（5Y5／2） | | |
| 556 | G－4 | 35 | 29 | 8 | 円形 | 舟底形 | 灰黄褐色土（10YR4／2） | | |
| 557 | G－4 | 40 | 36 | 10 | 円形 | 舟底形 | 灰黄褐色土（10YR4／2） | | |

| 番号 | 位置 | 規模（cm） | | | 平面形 | 断面形 | 土層 | 出土遺物 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 長径 | 短径 | 深さ | | | | | |
| 558 | C−5 | 38 | 35 | 15 | 円形 | U字形 | 1.黄灰色土(2.5Y4/1) 2.暗灰黄色土(2.5Y4/2) | | |
| 559 | F−3 | 30 | 28 | 9 | 円形 | 舟底形 | オリーブ黒色土（5Y3/1） 礫(1cm)少量含 | | |
| 560 | F−3 | 34 | 30 | 6 | 円形 | 舟底形 | 灰褐色土（7.5YR4/2） 礫(1〜3cm)少量含 | | |
| 561 | G−5 | 38 | 27 | 8 | 円形 | 舟底形 | 暗褐色土（10YR3/4） 礫(1cm)少量含 | | |
| 562 | C−4 | 33 | 30 | 35 | 円形 | U字形 | 1.灰オリーブ色土(5Y4/2) 2.オリーブ褐色土(2.5Y4/3) | | |
| 563 | B−8 | 25 | 24 | 26 | 円形 | 台形 | 灰色土（7.5Y4/1） | | >SB1 |
| 564 | B−8 | 32 | 27 | 20 | 楕円形 | 台形 | 灰色土（7.5Y4/1） 礫(1〜5cm)少量含 | | >SB1 |
| 565 | B−7 | 25 | 25 | 18 | 円形 | 舟底形 | 灰色土（7.5Y4/1） 礫(1〜5cm)少量含 | | >SB1 |
| 566 | C−8 | 62 | 50 | 70 | 不整円形 | V字形 | 1.にぶい赤褐色土(2.5YR5/4) 2.褐灰色土(5Y5/1) 他 | | >SB2 |
| 567 | C−8 | 30 | 30 | 17 | 円形 | 舟底形 | 暗褐色土（10YR3/4） | | >SB2 |
| 568 | C−7 | 22 | 20 | 40 | 円形 | U字形 | 暗灰黄色土（2.5Y4/2） | | >SB2 |
| 569 | B−4 | 35 | 32 | 30 | 円形 | U字形 | 灰色土（5Y4/1） | | >SB6 |
| 570 | C−5 | 26 | 23 | 12 | 円形 | 半円形 | 灰色土（5Y4/1） | | >SK26 |
| 571 | B−4 | 42 | 30 | 10 | 円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4/2） | | >SB7 |
| 572 | B−4 | 32 | 28 | 7 | 円形 | 舟底形 | 暗灰黄色土（2.5Y4/2） | | >SB7 |
| 573 | B−4 | 45 | 41 | 16 | 円形 | 舟底形 | 灰色土（5Y4/1） | | >SB7 |
| 574 | B−4 | 37 | 34 | 8 | 円形 | 舟底形 | 黄灰色土（2.5Y5/1） | | >SB7 |
| 575 | C−4 | 30 | 24 | 30 | 楕円形 | U字形 | 灰オリーブ色土（5Y4/2） | | >SB8 |
| 576 | B−4 | 20 | 20 | 22 | 円形 | U字形 | 灰色土（5Y4/1） | | >SB6 |

## SB 1　出土土器観察表

| 土器の種類 | 器形の種類 | 番号 | 法量 口径 | 法量 底径 | 法量 器高 | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 須恵器 | 坏 | 1 | 13.5 | 5.8 | 3.8 | ＊体部下半をやや膨らませながら立ち上がり、口縁をわずかに外反させる。<br>＊内面は底部周囲に明瞭な境を作らず緩やかに弧を描き立ち上がる。 | ＊内外ヨコナデ。<br>＊底部回転糸切り。 | ＊灰白色～黄褐色軟質。 |
| | | 2 | 13.4 | 5.8 | 4.1 | | | 〃 |
| | | 3 | 13.1 | 6.3 | 4.0 | | | 〃　＊墨書あり。 |
| | | 4 | 13.2 | 6.0 | 4.4 | | | 〃 |
| | | 5 | 12.6 | 4.5 | 3.6 | | | 〃 |
| | | 6 | | 5.6 | | | | 〃 |
| | | 7 | | 5.3 | | ＊内面底部周囲に明瞭な境を持つ。 | | ＊青灰色。 |
| 黒色土器 | 坏 | 8 | 12.4 | 5.0 | 4.3 | ＊体部はやや丸味を持って立ち上がる。 | ＊内外ヨコナデ。内面ヘラ磨き、黒色処理。<br>＊底部外面回転糸切り。 | |
| 黒色土器 | 椀 | 9 | 15.8 | 6.4 | 5.1 | ＊体部はやや丸味を持って立ち上がり、口縁端部は外反する。 | ＊内外ヨコナデ。内面ヘラ磨き、黒色処理。<br>＊底部外面回転糸切り。高台貼り付け後、周辺部ヨコナデ。 | |
| | | 10 | 14.9 | | | | | |
| 土師器 | 小形甕 | 11 | 12.8 | | | ＊胴部に最大径を持ち、口縁端部の外反は弱い。 | ＊内外ヨコナデ。<br>＊口縁部内面、胴部外面カキ目調整。<br>＊底部回転糸切り。 | |
| | | 12 | | 7.0 | | | | |
| 土師器 | 甕 | 13 | 21.6 | | | ＊口縁部が「く」字状に弱く外反する。 | ＊内外ナデ。胴部外面ハケ目調整。口縁部内面カキ目調整。 | |
| 土師器 | 盤 | 14 | 29.5 | | | ＊盤部が大きく外反する。端部は縁帯を作らない。 | ＊内外ヨコナデ。 | |

## SB 2　出土土器観察表

| 土器の種類 | 器形の種類 | 番号 | 法量 口径 | 法量 底径 | 法量 器高 | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 黒色土器 | 坏 | 15 | 12.2 | 6.6 | 2.9 | ＊体部下半をやや膨らませながら立ち上がる。<br>＊口縁端部は丸くおさめ、わずかに外反気味のものもある(17)。 | ＊内外ヨコナデ。内面ヘラ磨き、黒色処理。 | |
| | | 16 | 12.4 | 4.8 | 4.1 | | | |
| | | 17 | 12.9 | 5.2 | 4.2 | | | |
| | | 18 | 13.0 | 5.5 | 4.1 | | | ＊黒斑あり、須恵器？ |
| | | 19 | 13.0 | 5.5 | 4.1 | | | |
| | | 20 | 13.1 | 5.0 | 3.6 | | | |
| | | 21 | 13.1 | 5.3 | 4.1 | | | |
| | | 22 | 13.5 | 5.0 | 4.4 | | | ＊墨書あり。 |
| | | 23 | 13.2 | | | | | |
| | | 24 | 17.9 | 5.7 | 7.2 | | | |
| | | 25 | 18.4 | 7.1 | 5.7 | | | |
| 黒色土器 | 椀 | 26 | 15.2 | 7.3 | 5.7 | ＊体部は直線的に開く。内面は底部周囲に明瞭な境を作らない。 | ＊内外ヨコナデ。内面ヘラ磨き、黒色処理。<br>＊底部外面回転糸切り。高台貼り付け後、周辺部ヨコナデ。 | |
| | | 27 | 15.5 | 7.0 | 5.2 | | | |
| 灰釉陶器 | 瓶 | 28 | | 7.8 | | | ＊胴部外面回転ヘラ削り。<br>＊内面ヨコナデ。<br>＊底部高台貼り付け後、周辺部ヨコナデ。 | |
| 灰釉陶器 | 皿 | 29 | 14.3 | 6.6 | 2.9 | ＊口縁端部が強く外反する。 | ＊内外ヨコナデ。30は体部外面下半ヘラ削り。高台貼り付け後、周辺部ヨコナデ。<br>＊施釉ハケ塗り。 | |
| | | 30 | 17.6 | | | ＊大形で、体部中位で段がつく。 | | |

| 土器の種類 | 器形の種類 | 番号 | 法量 口径 | 底径 | 器高 | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 灰釉陶器 | 椀 | 31 | 13.3 | 7.1 | 5.0 | | ＊内外ヨコナデ。施釉ハケ塗り。 | |
| 須恵器 | 坏 | 32 | 12.7 | 5.7 | 3.9 | ＊体部下半をやや膨らませながら立ち上がり、内面の底部周囲に明瞭な境を作らない。 | ＊内外ヨコナデ。<br>＊底部外面回転糸切り。 | ＊灰白色軟質。 |
| | | 33 | 12.7 | 4.6 | 4.6 | | | 〃 |
| | | 34 | 12.6 | | | ＊口縁端部がやや肥大する。<br>＊内面は底部周囲に明瞭な境を作る。 | | |
| | | 35 | | 5.1 | | | | |
| 須恵器 | 椀 | 36 | 13.3 | 7.1 | 5.0 | ＊体部は薄く、直線的に開く。<br>＊断面三角形の高台が付く。 | ＊内外ヨコナデ。<br>＊底部外面回転糸切り。高台貼り付け後、周辺部ヨコナデ。 | |
| 須恵器 | 四耳壺 | 37 | 17.2 | | | ＊口縁部は外反しながら開き、端部は上方へ折り返す。 | ＊口頸部ヨコナデ。 | |
| | | 38 | 14.3 | | | | | |
| | | 39 | | | | ＊肩部に二条の断面台形の凸帯をめぐらし、下側の凸帯を4分割する形で突起(耳)を付す。 | ＊体部外面は平行タタキ。内面はナデ。 | ＊SB 9出土片と接合。 |
| 須恵器 | 甕 | 40 | 42.7 | | | ＊口頸部は大きく外開する。端部は下方へ引き出すもの(40)と、上方へ折り返すもの(41)とがある。 | ＊内外ナデ(平行タタキ痕あり)。 | |
| | | 41 | 39.5 | | | | | |
| 土師器 | 盤 | 42 | 12.7 | | | ＊盤部は浅く平らで、端部は特に折り返さない。 | ＊内外ナデ。内面ヘラ磨き。 | |
| 土師器 | 甕 | 43 | 25.6 | | | ＊胴の長い甕で、外面はハケ目調整で仕上げる。<br>＊口縁部は「く」字状に弱く外反する。<br>＊43は肩が張る。 | ＊内外ナデ。<br>＊胴部外面ハケ目、口縁部内面カキ目調整。 | |
| | | 44 | 19.7 | | | | | |
| | | 45 | 20.8 | | | | | |
| | | 46 | | 8.6 | | | | |
| | | 47 | 17.9 | | | ＊胴部はヘラ削り調整され、非常に薄い。<br>＊口縁部は「コ」字状。<br>＊脚がつくもの(50)もある。 | ＊口縁部外面～内面ナデ。<br>＊胴部外面ヘラ削り。 | |
| | | 48 | 15.4 | | | | | |
| | | 49 | 15.6 | | | | | |
| | | 50 | | | | | | |
| 土師器 | 小形甕 | 51 | 13.3 | | | ＊口縁部は「く」字状に強く外反し肩が張る。 | ＊内外ヨコナデ。<br>＊胴部外面、口縁部内面カキ目調整。 | |
| | | 52 | 19.8 | | | | | |

## SB 6　出土土器観察表

| 土器の種類 | 器形の種類 | 番号 | 法量 口径 | 底径 | 器高 | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 須恵器 | 坏 | 53 | 13.7 | 5.6 | 4.6 | ＊体部は丸味を持って立ち上がる。 | ＊内外ヨコナデ。<br>＊底部外面回転糸切り。 | ＊灰～暗褐色軟質。 |
| 灰釉陶器 | Ⅲ | 54 | | 7.2 | | ＊体部に段を有す。<br>＊高台は断面三角形。 | ＊内外ヨコナデ。<br>＊底部回転糸切り。高台貼り付け後周辺部ヨコナデ。 | |
| 灰釉陶器 | 椀 | 55 | | 8.7 | | ＊断面三日月形の高台が付く。 | ＊内外ヨコナデ。体部外面ヘラ削り。<br>＊高台貼り付け後、周辺部ヨコナデ。 | |
| 黒色土器 | 坏 | 56 | 15.0 | 5.8 | 4.9 | ＊体部は下半でやや丸味を持つ。<br>＊口縁端部は丸くおさめる。 | ＊内外ヨコナデ。底部回転糸切り。<br>＊内面ヘラ磨き、黒色処理。 | |
| 黒色土器 | 椀 | 57 | 18.5 | 6.8 | 6.7 | ＊体部はやや丸味を持って立ち上がる。 | ＊内外ヨコナデ。底部回転糸切り、高台貼り付け後、周辺部ヨコナデ。<br>＊内面ヘラ磨き、黒色処理。 | |
| 黒色土器 | 鉢 | 58 | | 8.1 | | ＊内面は底部周囲に明瞭な境を作らず、緩やかに弧を描き立ち上がる。 | ＊内外ヨコナデ。<br>＊内面ヘラ磨き、黒色処理。 | ＊磨耗著しい。 |

| 土器の種類 | 器形の種類 | 番号 | 法量 口径 | 法量 底径 | 法量 器高 | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 土師器 | 小形甕 | 59 | 15.1 | 7.6 | 18.5 | ＊胴部に最大径をもち、口縁部は弱く外反しながら立ち上がる。 | ＊内外ヨコナデ。胴部外面カキ目。<br>＊底部回転糸切り。 | |
| 土師器 | 甕 | 60 | 24.8 | 9.2 | 36.0 | ＊胴の長い甕で、外面はハケ目調整で仕上げる。<br>＊口縁部は「く」字状に外反する。 | ＊内面ナデ。<br>＊胴部外面ハケ目、口縁部内面カキ目調整。 | |
| | | 61 | 21.0 | | | | | |
| | | 62 | 21.5 | | | | | |

## SB7　出土土器観察表

| 土器の種類 | 器形の種類 | 番号 | 法量 口径 | 法量 底径 | 法量 器高 | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 須恵器 | 蓋 | 63 | | | | ＊扁平な宝珠状のつまみが付く。<br>＊端部は断面三角形。 | ＊内外ヨコナデ。<br>＊外面頂部回転ヘラ削り。つまみ貼り付け。 | ＊転用硯 |
| | | 64 | 14.3 | | | | | |
| 須恵器 | 坏 | 65 | 13.5 | 5.1 | 3.9 | ＊体部は薄く、稜を明瞭に残す。<br>＊内面底部周囲に明瞭な境を作る。 | ＊内外ヨコナデ。<br>＊底部回転糸切り。 | |
| 須恵器 | 甕 | 66 | 39.4 | | | ＊口頸部は大きく外開し、端部の断面は三角形となる。 | ＊内外ナデ。胴部外面平行タタキ。（口頸部外面平行タタキ痕あり。） | |
| 須恵器 | 長頸壺 | 67 | | 7.8 | | ＊肩部が丸味をもつ。 | ＊内外ヨコナデ。胴部下位回転ヘラ削り。<br>＊底部高台貼り付け後　ナデ。 | |
| 黒色土器 | 皿 | 68 | 13.0 | 7.1 | 2.4 | ＊底部は厚く、高台は小さい。<br>＊口縁端部は丸くおさめる。 | ＊内外ヨコナデ。内面ヘラ磨き、黒色処理。<br>＊底部回転糸切り。高台貼り付け後ナデ。 | |
| 黒色土器 | 坏 | 69 | 15.6 | 6.7 | 4.7 | ＊体部はやや丸味をもちながら立ち上がる。 | ＊内外ヨコナデ。内面ヘラ磨き、黒色処理。<br>＊底部回転糸切り。 | |
| 土師器 | 小形甕 | 70 | 14.3 | | | ＊口縁部は「く」字状に外反する。 | ＊内外ヨコナデ。口縁部内面・胴部外面カキ目調整。 | |
| | | 71 | | | | | | |
| 土師器 | 甕 | 72 | 19.0 | | | ＊口縁部は「コ」字状に立ち上がる。<br>＊体部は薄い。 | ＊内外ナデ。<br>＊胴部外面ヘラ削り。 | |
| | | 73 | 23.3 | | | ＊口縁部が「く」字状に外反する。<br>＊74は外反が弱く、肩も張らない。 | ＊内外ナデ。胴部外面ハケ目調整。<br>＊口縁部内面カキ目調整。 | |
| | | 74 | 22.7 | | | | | |

## SB8　出土土器観察表

| 土器の種類 | 器形の種類 | 番号 | 法量 口径 | 法量 底径 | 法量 器高 | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 須恵器 | 蓋 | 75 | 11.2 | | | ＊天井部は扁平で、口縁端部は下方へ折り返す。 | ＊天井部外周～内面ヨコナデ。<br>＊天井部回転ヘラ削り。 | |
| 須恵器 | 坏 | 76 | 13.1 | 5.5 | 4.1 | ＊体部は直線的に開き、稜が明瞭に残る。 | ＊内外ヨコナデ。<br>＊底部回転糸切り。 | |
| | | 77 | 13.1 | 6.2 | 3.9 | ＊体部は直線的(77)、あるいはやや膨らみをもちながら立ち上がる。 | | ＊灰白色軟質。 |
| | | 78 | 13.2 | 5.1 | 3.5 | | | 〃 |
| | | 79 | 13.3 | 5.8 | 4.3 | | | 〃 |
| | | 80 | 14.0 | 5.7 | 4.1 | | | 〃 |
| 須恵器 | 長頸壺 | 81 | 10.9 | | | ＊口縁端部を上方へ折り返す。 | ＊内外ヨコナデ。 | |
| 須恵器 | 短頸壺 | 82 | | 9.4 | | | ＊内外ナデ。 | |
| 灰釉陶器 | 椀 | 83 | 15.8 | 7.9 | 5.0 | ＊体部は膨らみをもちながら立ち上がり、口縁端部は外反する。 | ＊内外ヨコナデ。底部回転糸切り。<br>＊高台貼り付け。施釉ハケ塗り。 | ＊SB2出土片と接合。 |

| 土器の種類 | 器形の種類 | 番号 | 法量 口径 | 底径 | 器高 | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 黒色土器 | 皿 | 84 | 12.2 | 6.7 | 2.6 | ＊体部は直線的に開く。<br>＊断面三角形の高台が付く。 | ＊内外ヨコナデ。内面ヘラ磨き、黒色処理。<br>＊底部回転糸切り。高台貼り付け。 | |
| | | 85 | 12.4 | 5.4 | 2.8 | | | |
| 黒色土器 | 坏 | 86 | 12.2 | 5.9 | 4.0 | ＊体部はやや膨らみをもちながら立ち上がる。<br>＊口縁端部は丸くおさめるが、やや外反気味のもの（88・90）もある。<br>＊内面底部周囲には明瞭な境を作らない。 | ＊内外ヨコナデ。<br>＊内面ヘラ磨き、黒色処理。<br>＊底部回転糸切り。 | |
| | | 87 | 13.2 | 5.4 | 3.9 | | | |
| | | 88 | 13.8 | 6.6 | 4.3 | | | |
| | | 89 | 14.3 | 6.3 | 4.0 | | | |
| | | 90 | 15.1 | 5.9 | 4.6 | | | |
| 黒色土器 | 椀 | 91 | 15.2 | 6.7 | 5.4 | ＊体部は下位で膨らみをもつが、ほぼ直線的に開く。 | ＊内外ヨコナデ。内面ヘラ磨き、黒色処理。<br>＊底部回転糸切り。高台貼り付け。 | ＊墨書あり。 |
| | | 92 | 15.3 | 7.2 | 5.4 | | | |
| 土師器 | 小形甕 | 93 | 13.6 | | | ＊口縁部が「く」字状に開く。<br>＊93は口縁部の屈曲が強い。 | ＊内外ヨコナデ。<br>＊93・95は胴部外面にカキ目調整を施す。 | |
| | | 94 | 16.4 | | | | | |
| | | 95 | | | | | | |
| 土師器 | 甕 | 96 | 22.9 | 9.5 | 32.4 | ＊胴の長い甕で、外面はハケ目調整で仕上げる。<br>＊口縁部は「く」字状に弱く外反する。 | ＊内外ナデ。<br>＊胴部外面ハケ目調整。<br>＊口縁部内面カキ目調整。 | |
| | | 97 | 21.4 | 9.7 | 30.4 | | | |
| | | 98 | 19.3 | | | | | |
| | | 99 | 21.5 | | | | | |
| | | 100 | 21.7 | | | | | |
| | | 101 | 23.6 | | | | | |
| | | 102 | 20.2 | 9.4 | 28.1 | | | |
| | | 103 | | 10.5 | | | | |
| | | 104 | | 9.6 | | | | |
| | | 105 | | 8.8 | | | | |

## SB 9　出土土器観察表

| 土器の種類 | 器形の種類 | 番号 | 法量 口径 | 底径 | 器高 | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 須恵器 | 坏 | 106 | 13.5 | 6.3 | 4.0 | ＊体部はやや膨らみをもちながら立ち上がる。 | ＊内外ヨコナデ。<br>＊底部回転糸切り。 | ＊灰白色軟質。 |
| 黒色土器 | 坏 | 107 | 13.1 | 5.6 | 3.6 | ＊体部は膨らみをもちながら立ち上がる。 | ＊内外ヨコナデ。底部回転糸切り。<br>＊内面ヘラ磨き、黒色処理。 | |
| 黒色土器 | 椀 | 108 | 14.8 | 6.0 | 5.6 | ＊体部はやや膨らみをもちながら立ち上がる。<br>＊108は細く長い高台、109は丸い高台をもつ。 | ＊内外ヨコナデ。<br>＊内面ヘラ磨き、黒色処理。<br>＊底部回転糸切り、高台貼り付け。 | |
| | | 109 | 14.9 | 7.0 | 5.4 | | | ＊墨書あり。 |
| | | 110 | 16.4 | | | | | |
| 土師器 | 小形甕 | 111 | 11.2 | 7.5 | 14.6 | ＊口縁部は弱く外反しながら立ち上がる。 | ＊内外ヨコナデ。底部回転糸切り。<br>＊胴部外面カキ目調整。 | |
| 土師器 | 甕 | 112 | | 10.9 | | ＊胴の長い甕で、外面はハケ目調整で仕上げる。 | ＊内外ナデ。<br>＊胴部外面ハケ目調整。 | |

## SB10　出土土器観察表

| 土器の種類 | 器形の種類 | 番号 | 法量 口径 | 底径 | 器高 | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 灰釉陶器 | 皿 | 113 | 19.4 | | | ＊体部は直線的に大きく開き、口縁端部は外反する。<br>＊丸くおさめた高い高台が付く。 | ＊内外ヨコナデ。<br>＊高台貼り付け。<br>＊施釉ハケ塗り。 | |
| | | 114 | 15.2 | | | | | |
| | | 115 | | 7.6 | | | | |
| 須恵器 | 坏 | 116 | | 4.6 | | ＊内面底部周囲に明瞭な境を作らない。 | ＊内外ヨコナデ。底部回転糸切り。 | ＊浅黄燈色軟質。 |
| 黒色土器 | 皿 | 117 | 13.2 | 5.6 | 3.0 | ＊体部は直線的に開き、口縁端部は丸くおさめる。 | ＊内外ヨコナデ。内面ヘラ磨き、黒色処理。<br>＊底部回転糸切り。高台貼り付け。 | |
| 黒色土器 | 椀 | 118 | | 6.7 | | ＊体部は膨らみをもって立ち上がる。 | ＊内外ヨコナデ。内面ヘラ磨き、黒色処理。<br>＊底部回転糸切り。高台貼り付け。 | |
| 黒色土器 | 鉢 | 119 | | 9.2 | | ＊厚い底部から体部は大きく開く。 | ＊内外ヨコナデ。底部回転糸切り。<br>＊内面ヘラ磨き、黒色処理。 | |
| 土師器 | 小形甕 | 120 | 14.6 | | | ＊口縁部は「く」字状に強く外反する。 | ＊内外ヨコナデ。<br>＊胴部外面・口縁内面カキ目調整。 | |
| | | 121 | 14.9 | | | ＊やや厚い口縁部が「く」字状に外反する。 | ＊内外ナデ。<br>＊胴部外面・内面上位ハケ目調整。 | |
| 土師器 | 甕 | 122 | 19.8 | | | ＊口縁部が強く外反する。 | ＊内外ナデ。<br>＊胴部外面ハケ目調整。口縁部内面カキ目調整。 | |

## SB11　出土土器観察表

| 土器の種類 | 器形の種類 | 番号 | 法量 口径 | 底径 | 器高 | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 灰釉陶器 | 皿 | 123 | 14.2 | | | ＊口縁部が大きく外反する。 | ＊内外ヨコナデ。<br>＊体部下位回転ヘラ削り。<br>＊施釉ハケ塗り？ | |
| 須恵器 | 坏 | 124 | 12.8 | 5.5 | 4.2 | ＊124はやや膨らみをもちながら、125は直線的に体部が立ち上がる。 | ＊内外ヨコナデ。<br>＊底部回転糸切り。 | ＊灰白色軟質。 |
| | | 125 | 13.3 | 5.9 | 3.9 | | | 〃 |
| 黒色土器 | 坏 | 126 | | 4.9 | | ＊内面底部周囲に明瞭な境を作らない。 | ＊内外ヨコナデ。底部回転糸切り。<br>＊内面ヘラ磨き、黒色処理。 | |
| 黒色土器 | 鉢 | 127 | 21.0 | | | ＊体部は膨らみをもちながら立ち上がる。<br>＊128は厚い体部で大形。 | ＊内外ヨコナデ。底部回転糸切り。<br>＊内面ヘラ磨き、黒色処理。 | |
| | | 128 | | 11.2 | | | | |
| 土師器 | 小形甕 | 129 | 12.2 | | | ＊口縁部が「く」字状に外反する。(130は外反の度合いが弱い。) | ＊内外ヨコナデ。<br>＊胴部外面カキ目調整。 | |
| | | 130 | 13.8 | | | | | |
| 土師器 | 甕 | 131 | 20.0 | | | ＊口縁部が「く」字状に弱く外反する。 | ＊内外ナデ。<br>＊胴部外面ハケ目調整。<br>＊口縁部内面カキ目調整。 | |
| | | 132 | 21.9 | | | | | |
| | | 133 | 25.5 | | | | | |
| | | 132' | | 9.5 | | | | ＊132と同一個体？ |
| | | 134 | | 8.8 | | | | |
| | | 135 | | 8.8 | | | | |
| 土師器 | 鍋 | 136 | 28.0 | | | ＊丸味をもった底部から体部が大きく開き、口縁部がさらに外反する。 | ＊内外ナデ。<br>＊体部下半ヘラ削り。 | |

SB 3　出土土器・陶磁器観察表

| 焼き物・器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 白磁碗 | 137 | 10.6 | | | ＊口縁部が大きく外反する。 | ＊体部外面に楠目文をいれる。 | ＊V類 |

SB 4　出土土器・陶磁器観察表

| 焼き物・器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 鉄釉碗 | 138 | | 3.6 | | ＊体部が大きく開く。 | ＊底部回転ヘラ削り。高台削り出し。 | ＊瀬戸美濃 |
| 染付碗 | 139 | 12.4 | | | ＊薄手で口縁部が大きく開く。 | | |
| 志野丸皿 | 140 | | 7.7 | | ＊低く小さい高台が付く。 | ＊底部削り出し。 | |

SB12　出土土器観察表

| 土器の種類 | 器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 黒色土器 | 皿 | 141 | 13.2 | 6.0 | 3.2 | ＊断面が丸い高台を付す。 | ＊内外ヨコナデ。底部回転糸切り後、高台貼りつけ。<br>＊内面ヘラ磨き、黒色処理。 | |
| | 椀 | 142 | 15.4 | | | ＊体部は大きく開き、口縁が弱く外反する。 | | |

SK 3　出土土器・陶磁器観察表

| 焼き物・器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 鉄釉碗 | 143 | 8.6 | | | ＊体部は丸味を持ちながら立ち上がる。<br>＊断面台形の高台を付す。 | ＊外面下半回転ヘラ削り。<br>＊底部高台削り出し。 | ＊瀬戸美濃 |
| | 144 | | 5.1 | | | | |
| 青磁器 | 145 | | | | | | ＊龍泉窯系 |

SK 6　出土土器・陶磁器観察表

| 焼き物・器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 染付碗 | 146 | 8.9 | | | ＊体部は下半で丸味をもち、口縁へとまっすぐ立ち上がる。 | | |
| 志野丸皿 | 147 | | 7.0 | | ＊厚い底部に小さい高台を付す。 | ＊底部削り出し。 | |
| 徳利 | 148 | | 11.1 | | | ＊底部削り出し。 | |

SK11　出土土器・陶磁器観察表

| 焼き物・器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 志野織部丸皿 | 149 | 11.2 | 5.8 | 2.6 | ＊低い高台を付す。 | ＊内面鉄絵を描く。 | |

SK12　出土土器・陶磁器観察表

| 焼き物・器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| かわらけ | 150 | | 9.2 | | ＊厚い底部から体部が斜めに立ち上がる。 | ＊底部回転糸切り。<br>＊内面ナデ（斜め）。 | |

SK13　出土土器・陶磁器観察表

| 焼き物・器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 磁器碗 | 151 | | 5.2 | | ＊高く丸い高台を付す。 | ＊外面紺青色文様を描く。 | ＊産地不明 |
| 上絵付Ⅲ | 152 | | 3.6 | | ＊やや高く薄い高台を付す。 | ＊底部削り。 | ＊瀬戸美濃 |
| 挙骨茶碗 | 153 | | 5.2 | | ＊断面台形の高台を付す。 | ＊底部削り。 | ＊瀬戸美濃・高台に印 |
| 灰釉鉢 | 154 | 23.2 | | | ＊口縁部は丸く折り返す。 | | ＊瀬戸美濃 |

SK24　出土土器観察表

| 土器の種類 | 器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 須恵器 | 坏 | 155 | | 5.9 | | ＊体部は斜めに大きく開く。 | ＊内外ヨコナデ。底部回転糸切り。 | ＊灰白色 |

SK25　出土土器観察表

| 土器の種類 | 器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 黒色土器 | 椀 | 156 | | 6.5 | | ＊高台はやや丸味をもつ。 | ＊内外ヨコナデ。底部高台貼りつけ<br>＊内面ヘラ磨き、黒色処理。 | |
| 須恵器 | 壺 | 157 | | 7.9 | | ＊高台は底部端から斜めに張りだす。 | ＊内外ヨコナデ。<br>＊底部回転糸切り、高台貼りつけ。 | |

SK51　出土土器観察表

| 土器の種類 | 器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 黒色土器 | 坏 | 158 | 12.6 | 5.1 | 4.5 | ＊体部は丸味を持ちながら立ち上がり、口縁部は丸くおさめる。 | ＊内外ヨコナデ。底部高台貼りつけ<br>＊内面ヘラ磨き、黒色処理。 | |

SK61　出土土器・陶磁器観察表

| 焼き物・器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 青磁碗 | 159 | | | | | ＊鏡蓮弁文を施す。 | ＊龍泉窯系 |

SK67　出土土器・陶磁器観察表

| 焼き物・器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 白磁碗 | 160 | 13.1 | | | ＊口縁部が大きく外反するる | ＊体部外面櫛目文。 | ＊Ⅴ類 |

SK269　出土土器・陶磁器観察表

| 焼き物・器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 灰釉丸Ⅲ | 161 | 12.6 | | | ＊口縁端部は丸くおさめる。 | | ＊瀬戸美濃？ |

SK296　出土土器観察表

| 土器の種類 | 器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 須恵器 | 坏 | 162 | 12.4 | 6.6 | 4.1 | ＊体部は底部内面に明瞭な境を作らず立ち上がり、口縁は弱く外反。 | ＊内外ヨコナデ。底部回転糸切り。 | ＊灰白色軟質。 |

## SK297　出土土器観察表

| 土器の種類 | 器形の種類 | 番号 | 法量 口径 | 法量 底径 | 法量 器高 | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 須恵器 | 坏 | 163 | 13.2 | 6.0 | 3.8 | ＊口縁端部は丸くおさめる。 | ＊内外ヨコナデ。底部回転糸切り。 | ＊灰白色軟質。 |
| 黒色土器 | 椀 | 164 | | 6.6 | | ＊やや丸味を持った断面三角形の高台を付す。 | ＊内外ヨコナデ。内面ヘラ磨き、黒色処理。<br>＊底部回転糸切り、高台貼り付け。 | |
| | | 165 | | 7.4 | | | | |

## SK298　出土土器観察表

| 土器の種類 | 器形の種類 | 番号 | 法量 口径 | 法量 底径 | 法量 器高 | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 土師器 | 甕 | 166 | 28.8 | | | ＊口縁部は「く」字状に弱く外反する。 | ＊内外ナデ。内面カキ目、胴部外面ハケ目調整。 | |

## SK355　出土土器・陶磁器観察表

| 焼き物・器形の種類 | 番号 | 法量 口径 | 法量 底径 | 法量 器高 | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 青磁碗 | 167 | 16.0 | | | | ＊外面鎬蓮弁文を施す。 | ＊龍泉窯系 |
| 捏鉢 | 168 | 22.1 | 9.8 | 9.6 | ＊断面三角形の高い高台を付す。<br>＊口縁部は肥厚し、面を作る。 | ＊内外ヨコナデ。体部下半ヘラ削り。<br>＊高台貼りつけ。 | ＊内面磨られている。 |

## SK361　出土土器・陶磁器観察表

| 焼き物・器形の種類 | 番号 | 法量 口径 | 法量 底径 | 法量 器高 | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 志野丸皿 | 169 | 11.0 | | | ＊口縁部は丸くおさめるもの（169）と外反するもの（170）とがある。<br>＊底部には小さい高台を付す。 | ＊底部削り出し。 | |
| | 170 | 10.5 | 5.3 | 2.3 | | | |
| | 171 | | 7.4 | | | | |

## SK385　出土土器・陶磁器観察表

| 焼き物・器形の種類 | 番号 | 法量 口径 | 法量 底径 | 法量 器高 | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| かわらけ（灯明皿） | 172 | 10.2 | 5.8 | 3.0 | ＊体部はやや急に立ち上がる。 | ＊内外ヨコナデ。底部回転糸切り。 | ＊内外スス付着。 |
| 志野丸皿 | 173 | 10.6 | 5.4 | 2.5 | ＊体部中位に稜をもつ。 | ＊底部削り出し。 | |
| 灰釉皿 | 174 | 10.0 | | | ＊体部中位に稜をもつ。口縁は外反 | | ＊瀬戸美濃 |
| 志野織部皿 | 175 | | 7.2 | | ＊体部は大きく開く。 | ＊底部削り出し。内面、鉄絵を描く | |
| 青磁碗 | 176 | | 5.2 | | ＊底部は厚い。 | | ＊龍泉窯系 |
| 内耳鍋 | 177 | 22.2 | | | ＊口縁部は弱く内湾する。 | ＊内外ナデ。 | |

## SK400　出土土器・陶磁器観察表

| 焼き物・器形の種類 | 番号 | 法量 口径 | 法量 底径 | 法量 器高 | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 青磁碗 | 178 | 16.2 | | | | ＊内面劃花文を施す。 | ＊龍泉窯系 |

## SK456　出土土器・陶磁器観察表

| 焼き物・器形の種類 | 番号 | 法量 口径 | 法量 底径 | 法量 器高 | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 山皿 | 179 | 8.4 | 4.2 | 2.0 | ＊口縁部端を丸くおさめる。 | ＊内外ヨコナデ。底部回転糸切り。 | |

## SK500　出土土器観察表

| 焼き物・器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 白磁碗 | 180 | | | | ＊断面台形の高台を付す。 | ＊削り高台。 | ＊V類 |

## SK512　出土土器・陶磁器観察表

| 焼き物・器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| かわらけ | 181 | 11.8 | 6.8 | 3.1 | ＊口縁端部は丸くおさめる。<br>＊底部内面のおさえしっかりしている。 | ＊内外ヨコナデ。<br>＊底部回転糸切り。 | |

## 堀（東側）出土土器・陶磁器観察表

| 土器の種類 | 器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 灰釉陶器 | 椀 | 182 | | 8.3 | | ＊断面三角形の高台を付す。 | ＊内外ヨコナデ。高台貼りつけ。 | |
| | 瓶 | 183 | | 8.6 | | ＊底部端に断面三角形の高台を付す | | |
| 土師器 | 甕 | 184 | 25.4 | | | ＊口縁部が「く」字状にやや強く外反する。 | ＊内外ナデ。口縁部内面カキ目、胴部外面ハケ目調整。 | |

| 焼き物・器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 内耳鍋 | 185 | 26.1 | 20.2 | 9.8 | ＊斜めに立ち上がった体部から口縁は稜を作って上方に折れる。 | ＊内外ナデ。 | |
| | 186 | 31.6 | | | | | |
| | 187 | | | | | | |
| 鉄釉鉢 | 188 | | 7.8 | | ＊高台が底部端より内側に付く。 | ＊内外ヨコナデ。底部削り出し。 | |
| 染付碗 | 189 | | 4.6 | | ＊底部から体部にかけて丸味をもつ | | |
| 灰釉鉢 | 190 | | 13.4 | | ＊断面台形の高台を付す。 | ＊削り高台。 | ＊瀬戸美濃 |
| | 191 | 22.0 | | | ＊口縁端部を丸く折り返す。 | | |
| 鉄釉擂鉢 | 192 | | 13.2 | | ＊体部は大きく開く。 | ＊5本が単位の卸目を施す。 | |
| 鉄釉鉢 | 193 | 23.0 | | | ＊口縁部を外方へ2段に折る。 | | |

## 堀（南側）出土土器・陶磁器観察表

| 焼き物・器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 内耳鍋 | 194 | | 21.2 | | ＊口縁部が外方へ折れる。 | ＊内外ナデ。 | |
| 灰釉三足香炉 | 195 | 5.6 | 3.4 | 4.1 | ＊体部はまっすぐ立ち上がる。 | ＊内外ヨコナデ。底部回転糸切り。<br>＊足貼りつけ。 | ＊瀬戸美濃 |

## 堀（北側）出土土器・陶磁器観察表

| 焼き物・器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| ほうろく | 196 | 30.5 | 23.4 | 6.7 | ＊体部は下半で丸味をもちながら立ち上がる。 | ＊内外ナデ。 | |
| 拳骨茶碗 | 197 | 12.7 | | | ＊体部は下半で丸味をもちながら立ち上がる。 | ＊鉄釉を施す。 | ＊瀬戸美濃 |
| 錆釉擂鉢 | 198 | 34.4 | | | ＊口縁端部を短く折り返す。 | | |

| 焼き物・器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 鉄釉擂鉢 | 199 | | 10.9 | | ＊体部は外反しながら大きく開く。 | ＊単位11本の卸目を施す。 | |
| 染付碗 | 200 | | 5.0 | | ＊薄い高台が付く。 | | |
| | 201 | 6.0 | | | ＊小形で体部は丸味をもつ。 | | |

## 遺構外出土土器・陶磁器観察表

| 土器の種類 | 器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 須恵器 | 坏 | 202 | | 5.4 | | ＊体部は大きく開く。 | ＊内外ヨコナデ。底部回転糸切り。 | ＊浅黄橙色軟質。 |
| | 有台坏 | 203 | | 8.7 | | ＊高台の内側で接地する。 | ＊内外ヨコナデ。底部回転糸切り、回転ヘラ削り後、高台貼りつけ。 | |
| | 短頸壺 | 204 | | 7.7 | | ＊底部は薄く、体部はほぼまっすぐに立ち上がる。 | ＊内外ヨコナデ。底部回転糸切り。 | |
| 灰釉陶器 | Ⅲ | 205 | | 8.9 | | ＊高台の中位に稜を有する。 | ＊内外ヨコナデ。<br>＊底部回転ヘラ削り、高台貼りつけ。 | |
| | | 206 | | 9.4 | | ＊高台はやや丸味をもつ。 | | |
| 黒色土器 | 鉢 | 207 | | 12.4 | | ＊体部は大きく外開する。 | ＊内外ヨコナデ。底部回転糸切り。<br>＊内面ヘラ磨き、黒色処理。 | |

| 焼き物・器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 山茶碗 | 208 | | 5.7 | | ＊断面三角形の低い高台が付く。 | ＊内外ヨコナデ。底部回転糸切り、高台貼りつけ。 | ＊高台モミ痕あり。 |
| かわらけ | 209 | 9.3 | 6.8 | 1.7 | ＊口縁端部がやや肥厚する。 | ＊内外ヨコナデ。内面ナデ(斜め)<br>＊底部回転糸切り、高台貼りつけ。 | |
| 青磁碗 | 210 | | | | | ＊劃花文を施す。 | ＊龍泉窯系 |
| ほうろく | 211 | 30.2 | 25.4 | 7.7 | ＊口縁端部は面をなす。 | ＊内外ナデ。 | |
| 内耳鍋 | 212 | 25.2 | | | ＊口縁部は外に弱く開く。 | ＊内外ナデ。 | |
| | 213 | | 25.4 | | ＊体部は斜めに開く。 | | |
| 火鉢 | 214 | 26.6 | | | ＊口縁部は内外に稜をもちながら内傾し、端部を外に折り返す。 | ＊内外ナデ。 | |
| 灰釉皿 | 215 | | 5.1 | | ＊高い高台を付す。 | | ＊瀬戸美濃 |
| 志野丸皿 | 216 | | 5.7 | | ＊小さい高台を削り出す。 | ＊内外ヨコナデ。底部削り出し。 | |
| 鉄釉碗 | 217 | | 5.5 | | ＊底部から体部にかけて大きく開く | ＊内外ヨコナデ。底部削り出し。 | ＊瀬戸美濃 |
| 灰釉菊皿 | 218 | | 8.1 | | ＊断面台形のしっかりした高台を付す。 | | ＊瀬戸美濃 |
| 灰釉系皿? | 219 | 8.6 | | | ＊体部は大きく開き、浅い。 | | |
| 灰釉碗 | 220 | | 5.6 | | ＊体部は丸味をもって立ち上がる。 | | ＊瀬戸美濃 |
| 呉須絵皿 | 221 | | 7.6 | | ＊底部が厚い。 | ＊内面呉須絵で文様を描く。 | ＊瀬戸美濃 |
| 汁つぎ | 222 | | 7.0 | | ＊底部と体部との境に強い稜を作りそこに把手を付ける。 | ＊底部削り出し。<br>＊把手貼りつけ。 | ＊瀬戸美濃 |
| 志野織部向付 | 223 | | 10.6 | | ＊底端部に足を付す。 | ＊足貼りつけ。 | |
| | 224 | | 11.2 | | | | |
| 染付碗 | 225 | | 6.6 | | ＊体部は下半で丸味をもって立ち上がる。 | | |
| | 226 | | 6.3 | | | | |
| | 227 | | 8.0 | | ＊高台が底部端より内側につき、体部はまっすぐに立ち上がる。 | | |

| 焼き物・器形の種類 | 番号 | 法量 | | | 形態の特徴 | 技法の特徴 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 口径 | 底径 | 器高 | | | |
| 染付碗 | 228 | | 3.5 | | ＊体部は丸味をもって立ち上がる。 | | ＊瀬戸美濃 |
| 染付皿 | 229 | | 3.4 | | ＊小さい高台が付く。<br>＊230は角皿 | | |
| | 230 | | | | | | |
| | 231 | | 3.1 | | | | |
| | 232 | 16.0 | | | ＊薄手で口縁が外反する。 | | |
| 灰釉鉢 | 233 | | 13.1 | | ＊体部は底部との境に稜を作って立ち上がる。 | ＊底部高台削り出し。<br>＊233は銅緑釉を施す。 | ＊瀬戸美濃 |
| | 234 | | 14.4 | | ＊体部は丸味をもって立ち上がる。 | | |

## 鉄器・金属製品一覧表

| No. | 出土遺構 | 図番号 | 種別 | 長さ（mm） | 幅（mm） | 厚さ（mm） | 重量（g） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | SB 2 | 240 | 鎌 | | 32 | 4 | 40 | |
| 2 | 〃 | | 鉄滓 | | | | 40 | |
| 3 | SB 3 | | 釘 | | 5 | 5 | 1 | |
| 4 | 〃 | | 釘 | | 6 | 5 | 2 | |
| 5 | SB 5 | | 鉄滓 | | | | 110 | |
| 6 | SK 3 | | 不明 | | 9 | 8 | 4 | 棒状 |
| 7 | SK 7 | 241 | 刀子 | | 12 | 3 | 17 | 刃部と茎部の境不明瞭 |
| 8 | SK 11 | 242 | 煙管 | | 径 9 | 0.5 | 1 | |
| 9 | 〃 | 243 | 不明 | | 30 | 3 | 5 | 鎌? |
| 10 | SK 25 | | 釘 | | 8 | 7 | 2 | |
| 11 | SK 39 | 244 | 釘 | | 6 | 5 | 2 | |
| 12 | 〃 | | 鉄滓 | | | | 28 | |
| 13 | SK 236 | | 鉄滓 | | | | 32 | |
| 14 | 検出面 | | 鉄滓 | | | | 25 | |
| 15 | 〃 | 246 | 不明 | | 径30 | 3 | 5 | 環状 |
| 16 | 〃 | | 釘 | | 6 | 5 | 2 | |
| 17 | 〃 | | 釘 | | 5 | 4 | 2 | |
| 18 | 〃 | 245 | 釘 | | 6 | 6 | 2 | |

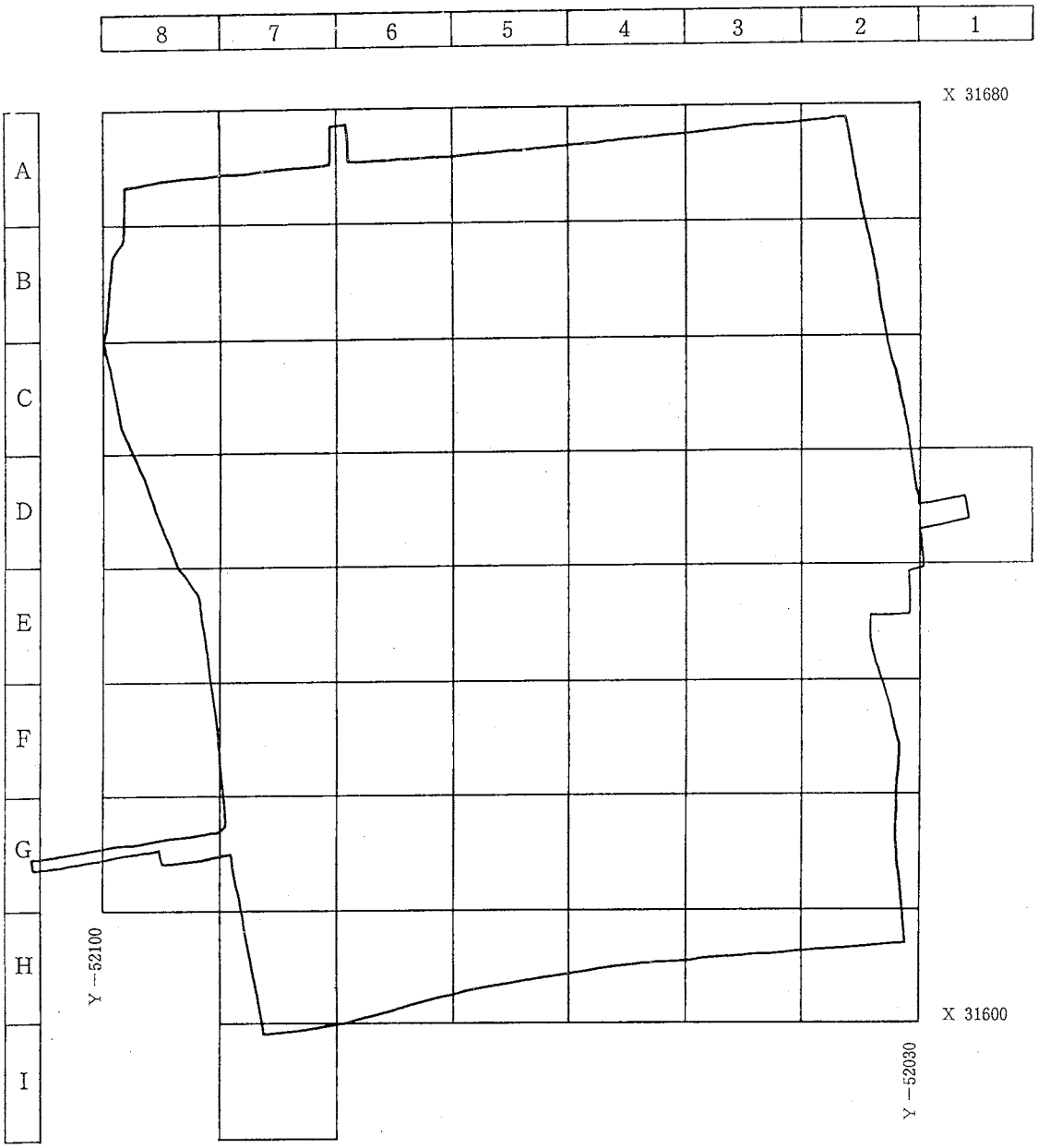
銭一覧表

| No. | 出土遺構 | 図番号 | 名　　称 | 初鋳年 | 径（mm） | 重量（g） | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | SB　3 | | 不　　明 | | 26.2 | 3 | 錆著しい |
| 2 | SK　8 | 235 | 不　　明 | | | 0.5 | 1／4 残存、□□通宝、銅銭 |
| 3 | SK　65 | 236 | 紹聖元宝 | 1094 | 25.0 | 3 | |
| 4 | SK457 | 237 | 元祐通宝 | 1086 | 24.2 | 3 | |
| 5 | 検出面 | 238 | 寛永通宝 | | 23.4 | 2 | |
| 6 | 〃 | 239 | 寛永通宝 | | 23.4 | 2 | |
| 7 | 〃 | | 寛永通宝 | | 22.4 | 2 | |
| 8 | 〃 | | 不　　明 | | 25.1 | 4 | 8・9付着 |
| 9 | 〃 | | 不　　明 | | | | |

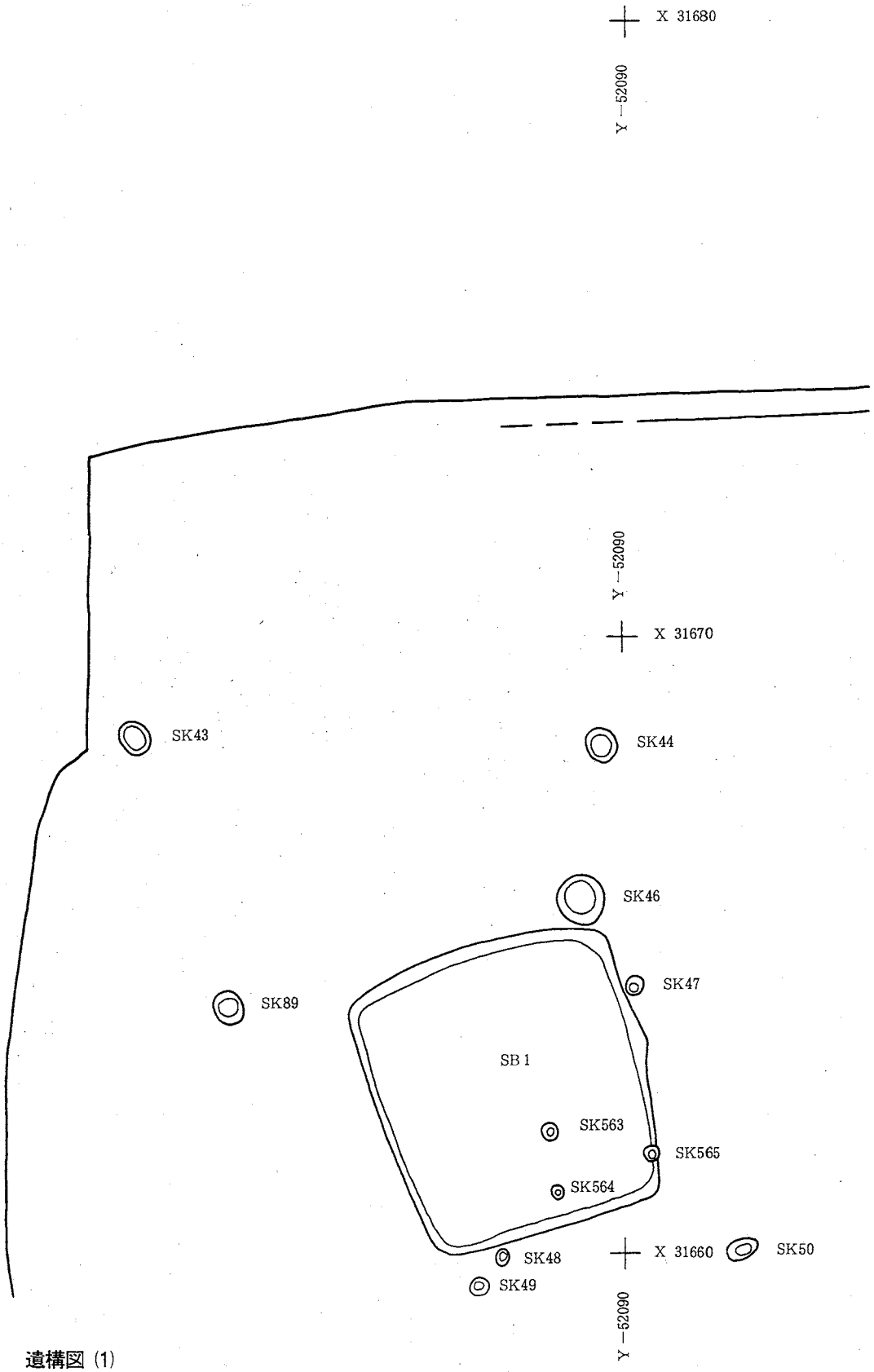
石器・石製品一覧表　　（長さの項　石臼は径）

| No. | 出土遺構 | 品　名 | 長さ（cm） | 幅（cm） | 厚さ（cm） | 重量（g） | 石　質 | 備　　考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 247 | 検出面 | 石　鏃 | 2.1 | 1.8 | 0.4 | 2 | 黒燿石 | 先端欠損 |
| 248 | 〃 | 石　鏃 | 1.9 | 1.4 | 0.3 | 1 | 〃 | 茎部欠損 |
| 249 | 〃 | 石　鏃 | 1.7 | 1.1 | 0.3 | 1 | 〃 | 〃 |
| 250 | SB　2 | 不　明 | 10.7 | 6.0 | 1.5 | 95 | 砂　岩 | |
| 251 | 堀（北） | 砥　石 | 7.5 | 3.1 | 1.4 | 55 | 珪長岩 | |
| 252 | 堀（東） | 凹　石 | 14.8 | 11.4 | 6.8 | 975 | 安山岩 | |
| 253 | SK　12 | 凹　石 | 12.1 | 9.9 | 7.9 | 930 | 安山岩 | |
| 254 | SB　5 | 石　臼 | 30.8 | | 8.2 | 3450 | 玢　岩 | 上臼1／3 |
| 255 | SK　6 | 石　臼 | 38.4 | | 13.0 | 3240 | 花崗岩 | 上臼1／4 |
| 256 | SK　58 | 凹　石 | 24.9 | 13.5 | 15.0 | 6725 | 砂　岩 | 上・横面磨かれている |
| 257 | SK　205 | 石　臼 | 20.1 | | 8.8 | 3370 | 安山岩 | 茶臼・上臼ほぼ完形 |
| 258 | 遺構外 | 石　臼 | 33.0 | | 9.4 | 2165 | 安山岩 | 下臼1／4、凹石に転用 |

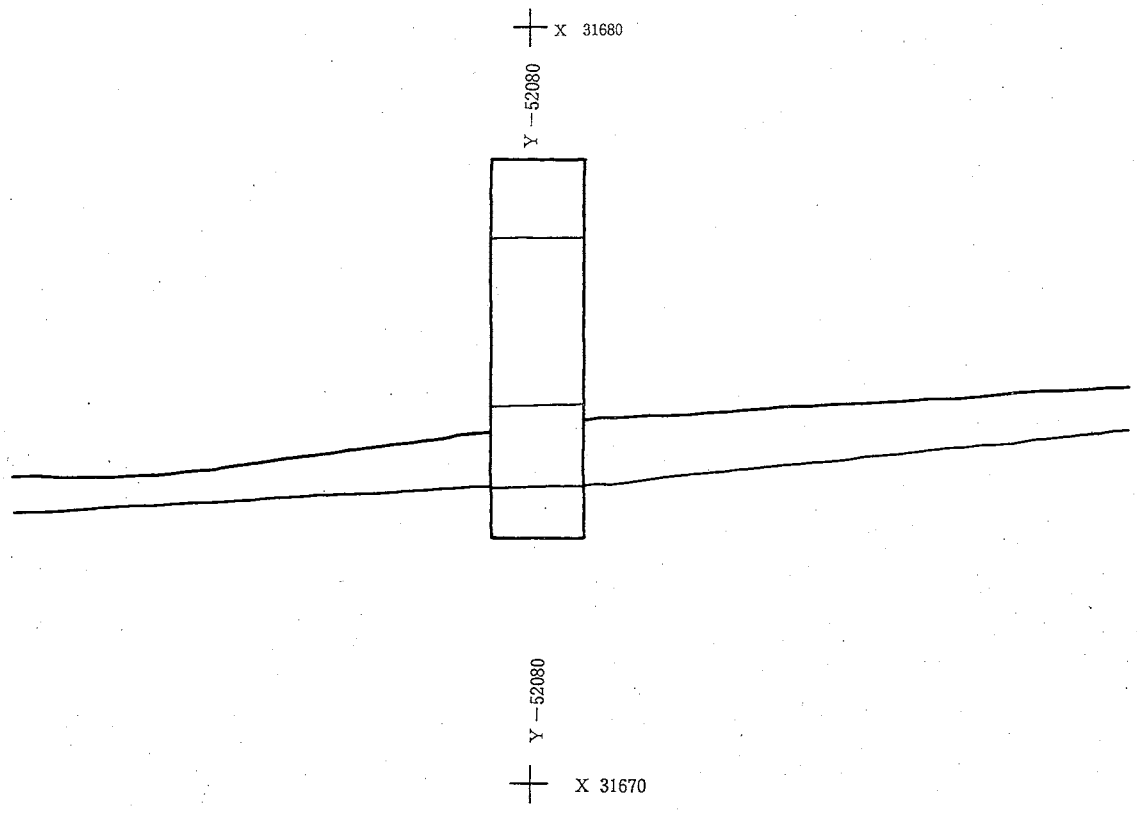
# 図　　版

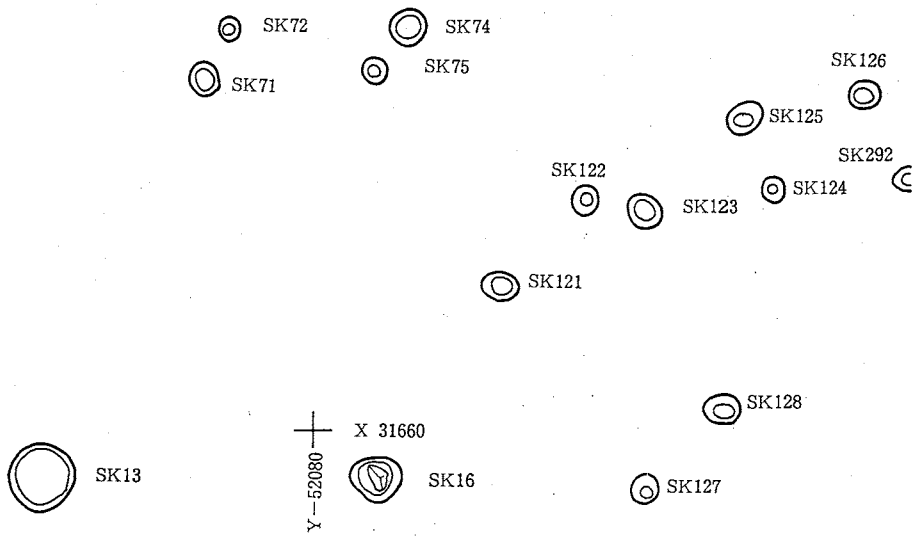

8
7
6
5
4
3
2
1
A
B
C
D
E
F
G
H
I
X 31680
X 31600
Y —52100
Y —52030

調査地全体図

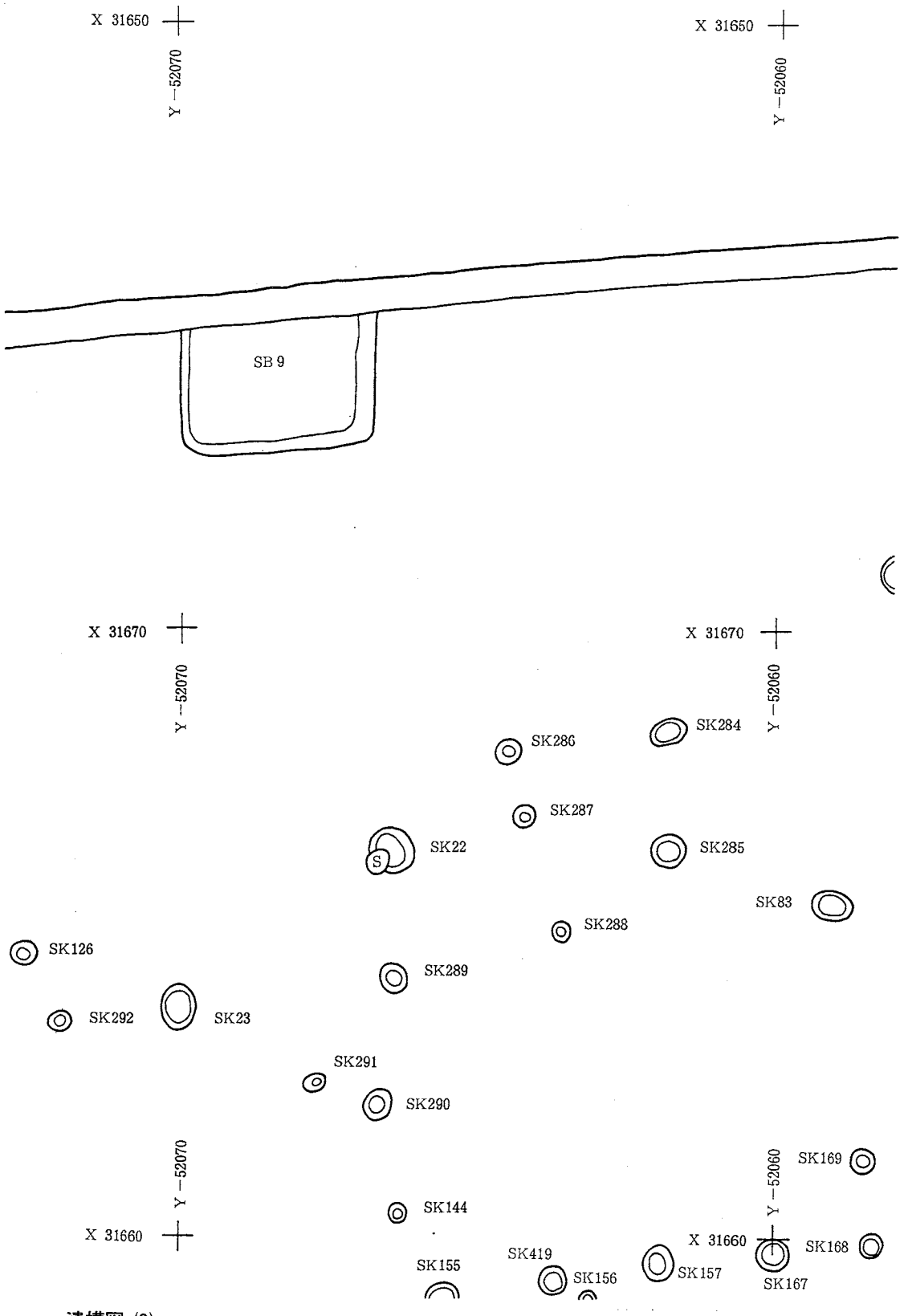

X 31680
Y −52090
X 31670
Y −52090
SK43
SK44
SK46
SK47
SK89
SB 1
SK563
SK565
SK564
SK48
SK49
X 31660
SK50
Y −52090

遺構図 (1)

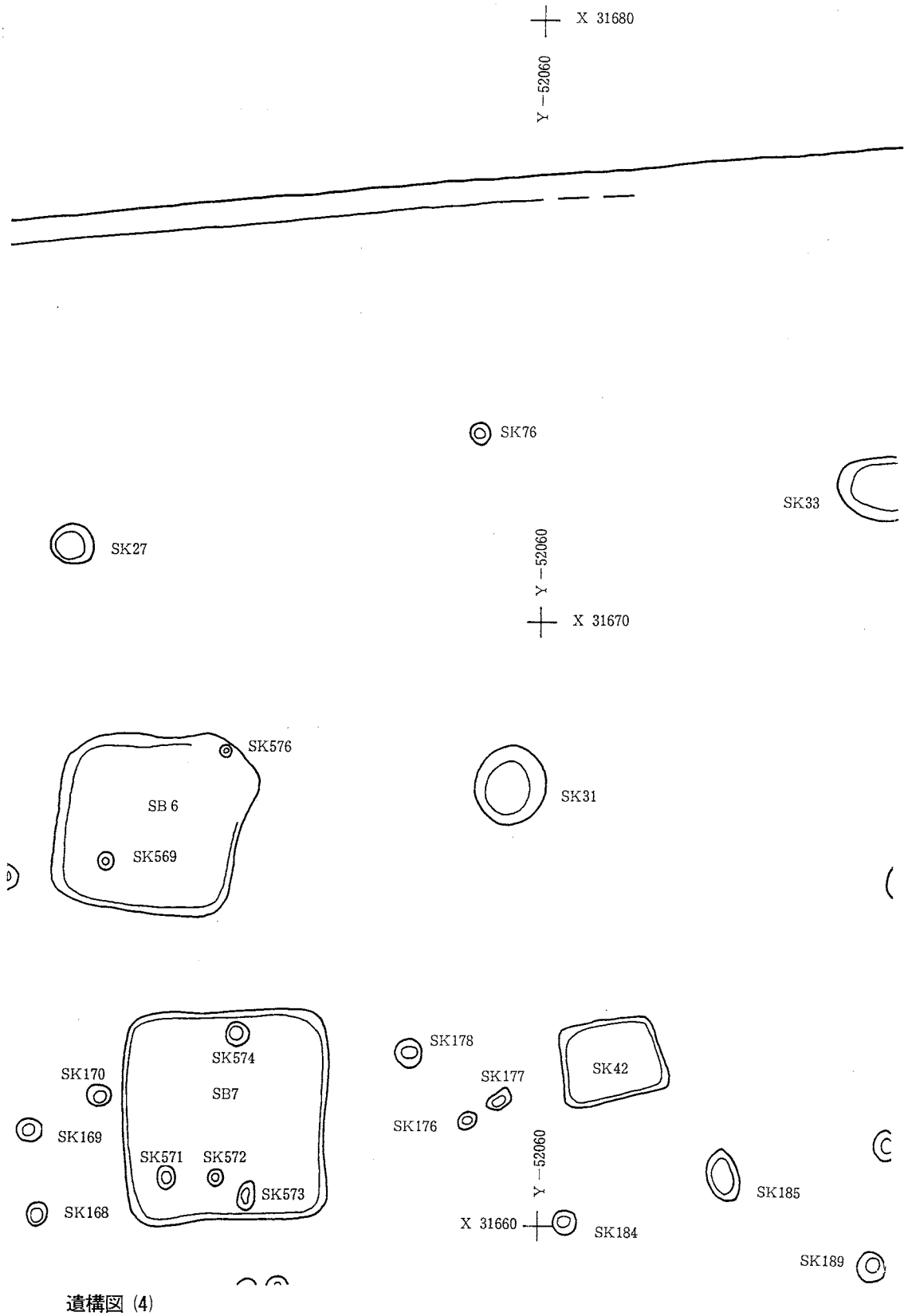

X 31680
Y −52080
Y −52080
X 31670


SK72
SK74
SK71
SK75
SK126
SK125
SK292
SK122
SK124
SK123
SK121
SK128
X 31660
SK13
SK16
SK127
Y −52080

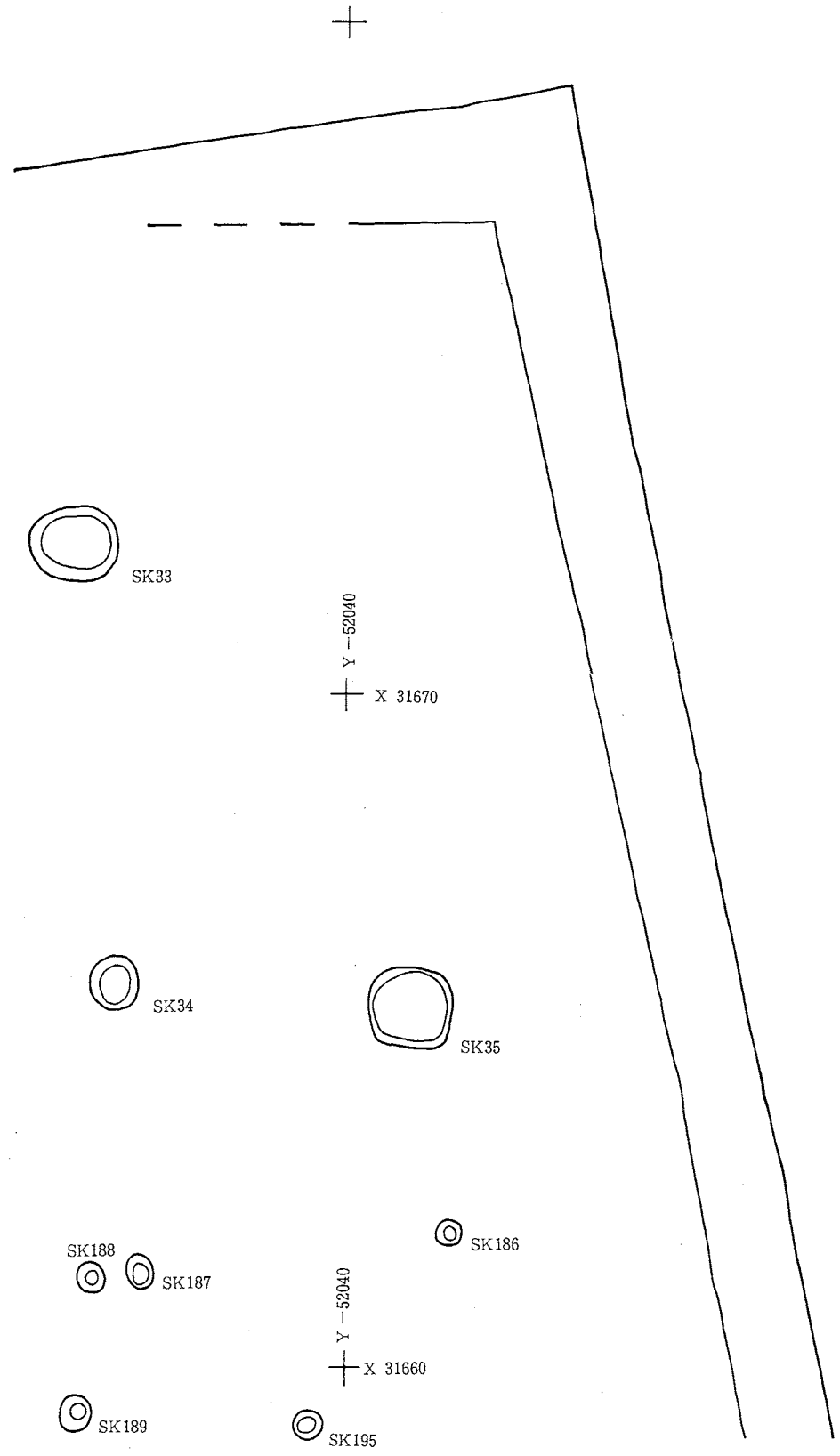
遺構図 (2)


X 31650
Y −52070
X 31650
Y −52060
SB 9
X 31670
Y −52070
X 31670
Y −52060
SK286
SK284
SK287
SK22
S
SK285
SK83
SK288
SK126
SK289
SK292
SK23
SK291
SK290
Y −52070
X 31660
SK144
SK155
SK419
SK156
SK157
Y −52060
SK169
X 31660
SK168
SK167

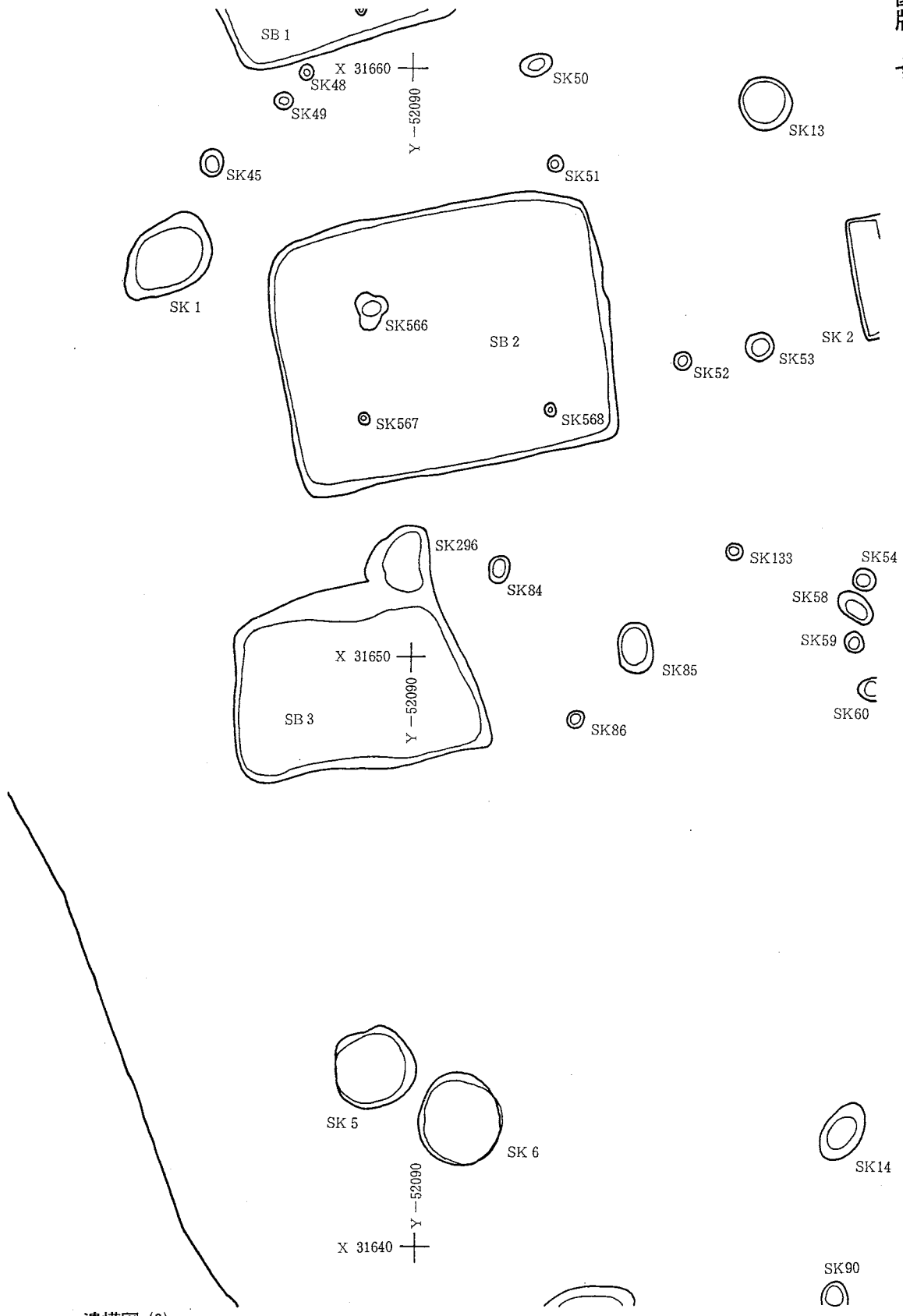
遺構図 (3)


X 31680
Y −52060
SK76
SK33
SK27
Y −52060
X 31670
SK576
SB 6
SK569
SK31
SK574
SK170
SB7
SK169
SK571
SK572
SK573
SK168
SK178
SK177
SK42
SK176
Y −52060
X 31660
SK184
SK185
SK189

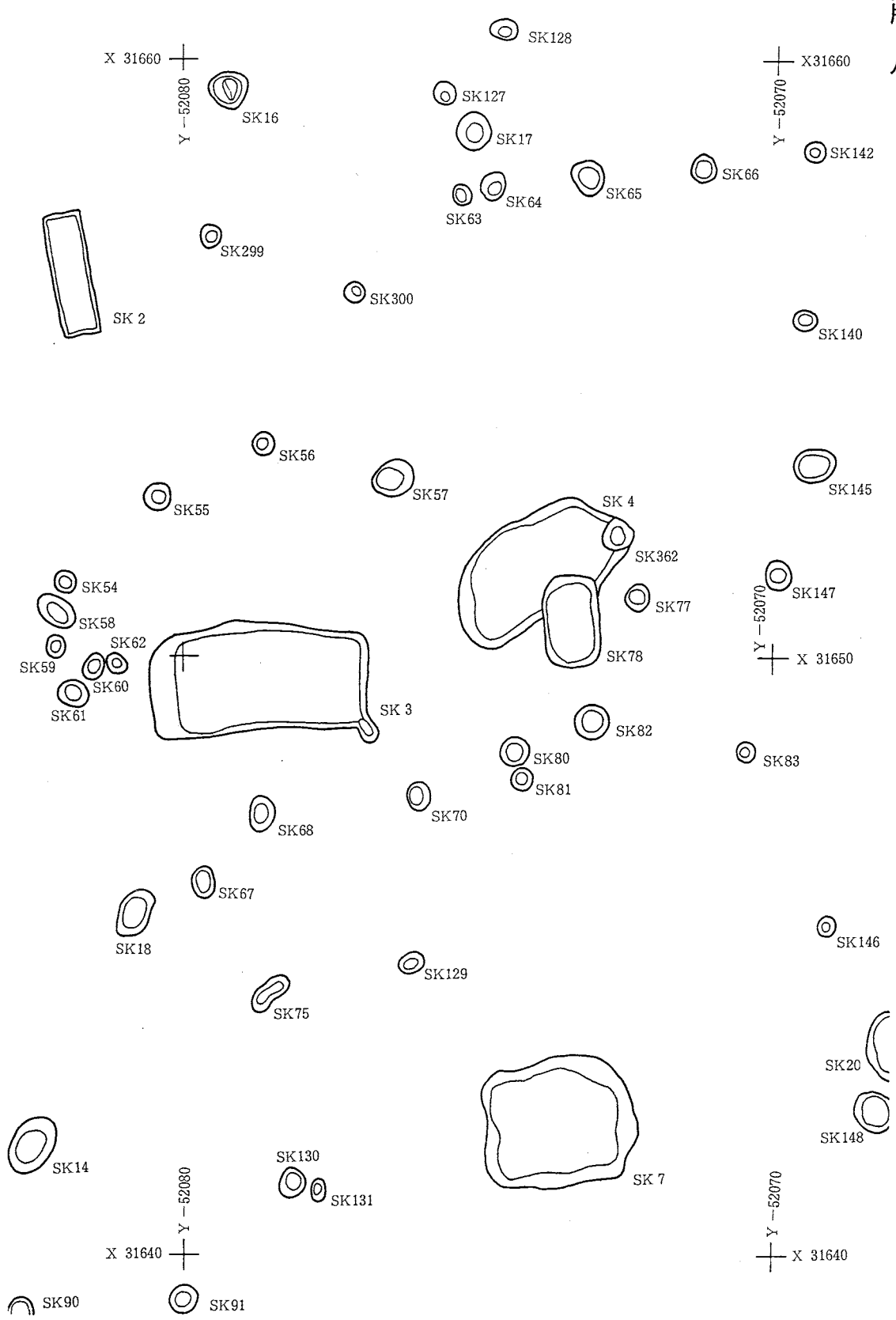
遺構図 (4)


SK33
Y −52040
X 31670
SK34
SK35
SK186
SK188
SK187
Y −52040
X 31660
SK189
SK195

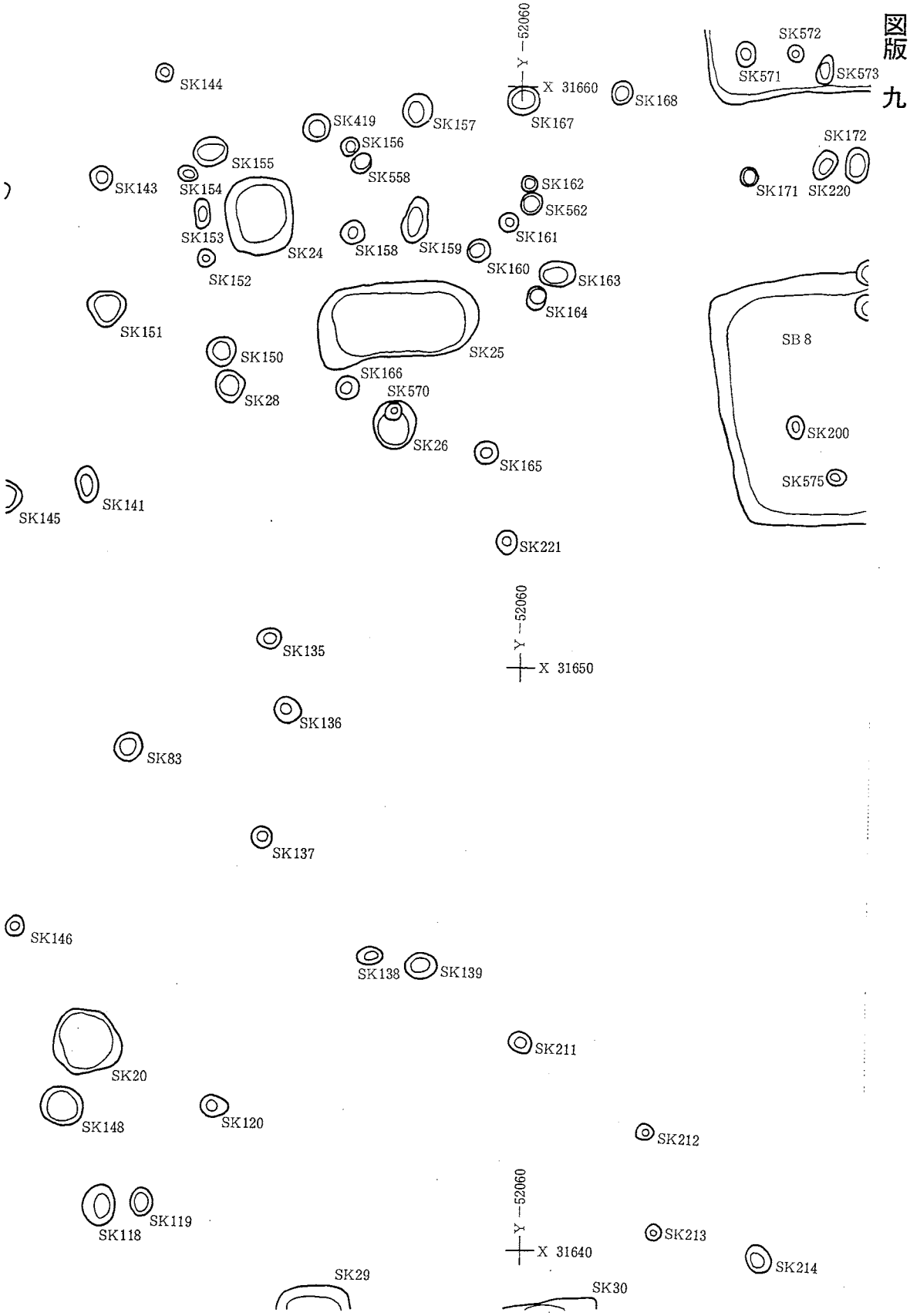
遺構図 (5)


SB 1
X 31660
SK48
SK49
Y −52090
SK50
SK13
SK45
SK51
SK 1
SK566
SB 2
SK 2
SK52
SK53
SK567
SK568
SK296
SK84
SK133
SK54
SK58
SK59
X 31650
SB 3
Y −52090
SK85
SK60
SK86
SK 5
SK 6
SK14
Y −52090
X 31640
SK90

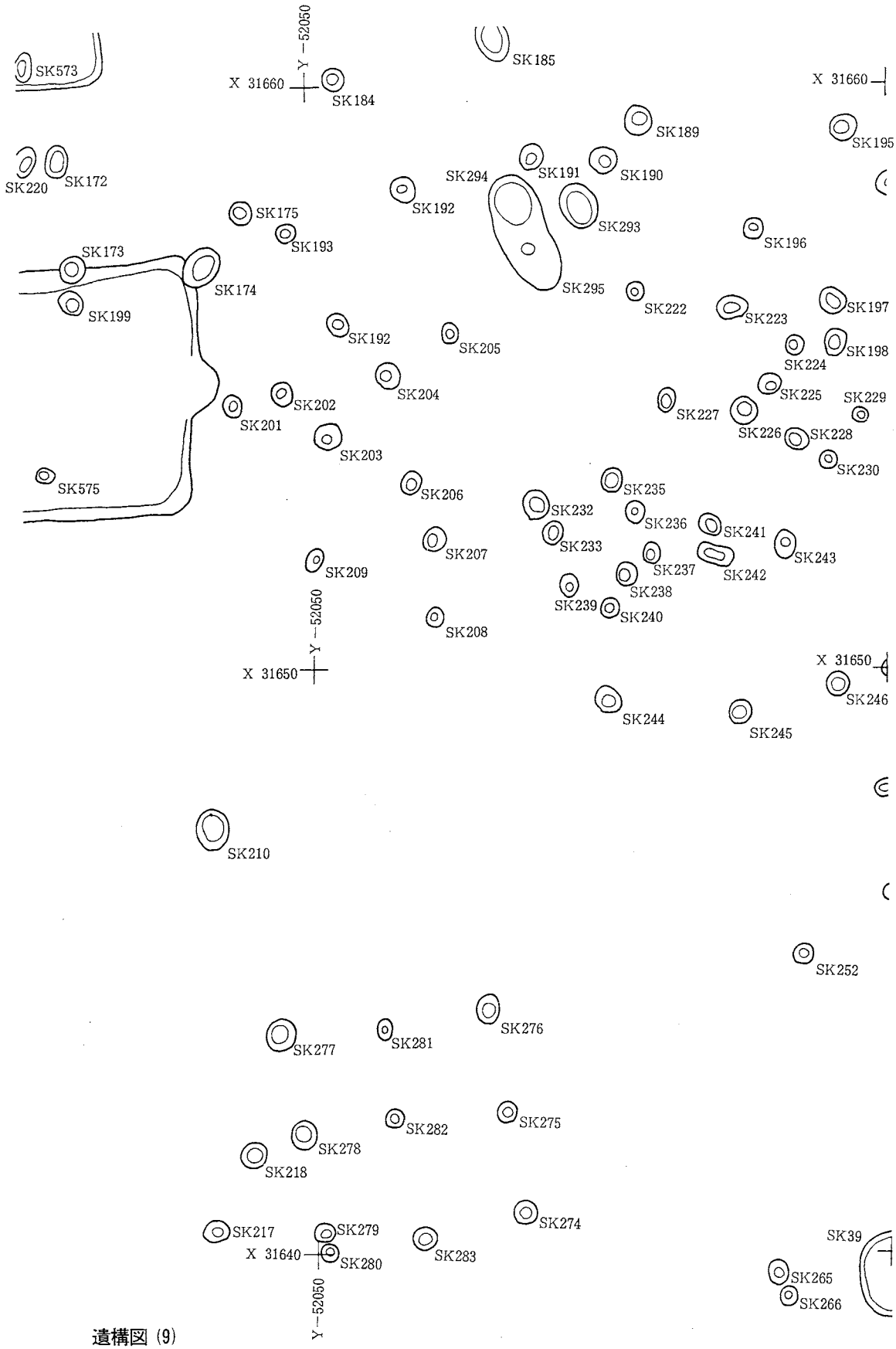
遺構図 (6)


X 31660
Y −52080
SK16
SK128
SK127
SK17
SK63
SK64
SK65
X31660
Y −52070
SK142
SK66
SK299
SK300
SK 2
SK140
SK56
SK55
SK57
SK145
SK 4
SK362
SK54
SK58
SK62
SK59
SK60
SK61
SK 3
SK77
SK78
SK147
Y −52070
X 31650
SK82
SK80
SK81
SK83
SK68
SK70
SK67
SK18
SK146
SK129
SK75
SK20
SK148
SK14
SK130
SK131
SK 7
X 31640
Y −52080
Y −52070
X 31640
SK90
SK91

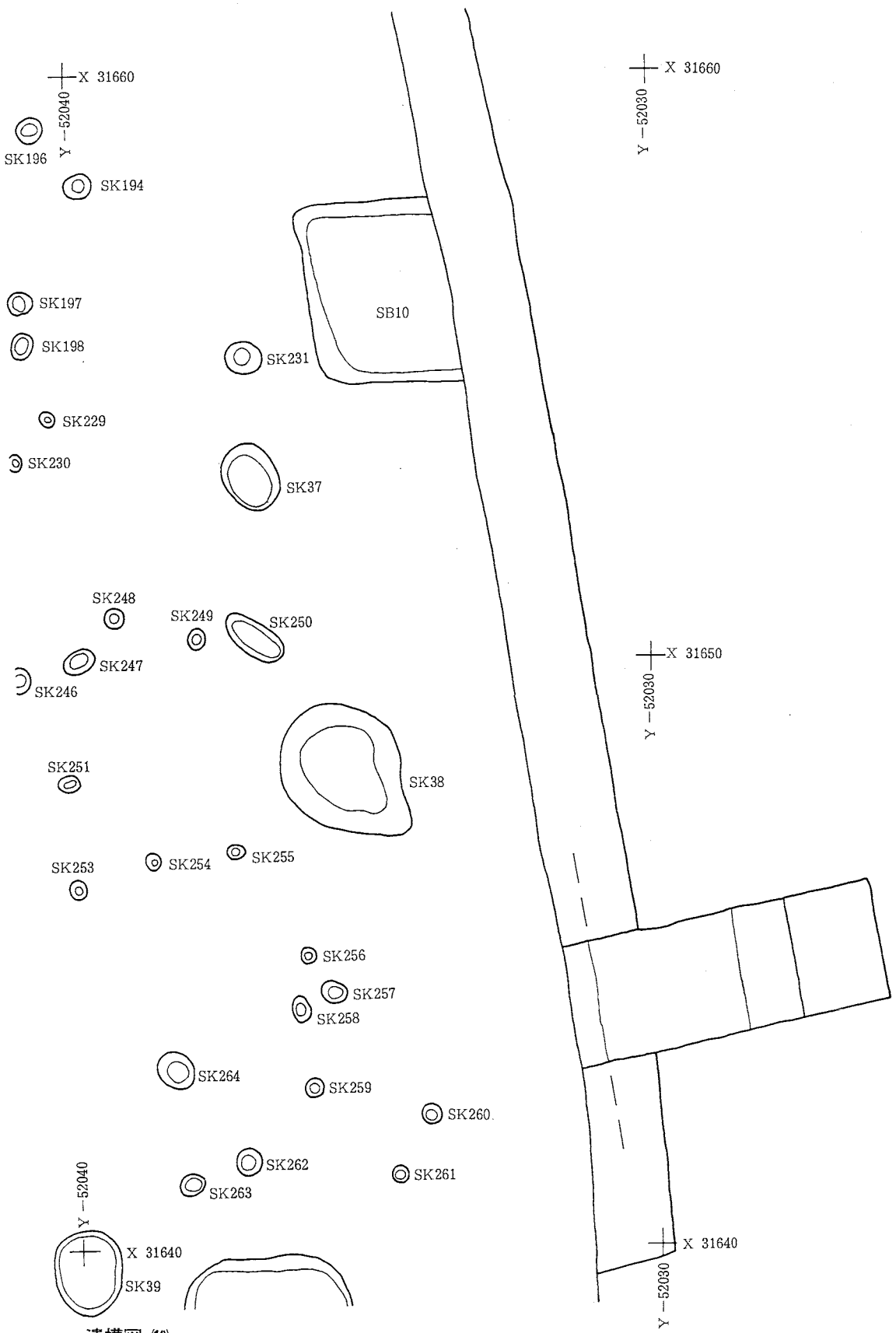
遺構図 (7)


Y −52060
X 31660
SK572
SK571
SK573
SK144
SK168
SK167
SK419
SK157
SK156
SK155
SK558
SK143
SK154
SK153
SK24
SK152
SK158
SK159
SK162
SK562
SK161
SK160
SK163
SK164
SK172
SK171
SK220
SK151
SK150
SK166
SK25
SK28
SK570
SK26
SK165
SB 8
SK200
SK575
SK145
SK141
SK221
Y −52060
X 31650
SK135
SK136
SK83
SK137
SK146
SK138
SK139
SK211
SK20
SK148
SK120
SK212
Y −52060
X 31640
SK213
SK214
SK118
SK119
SK29
SK30

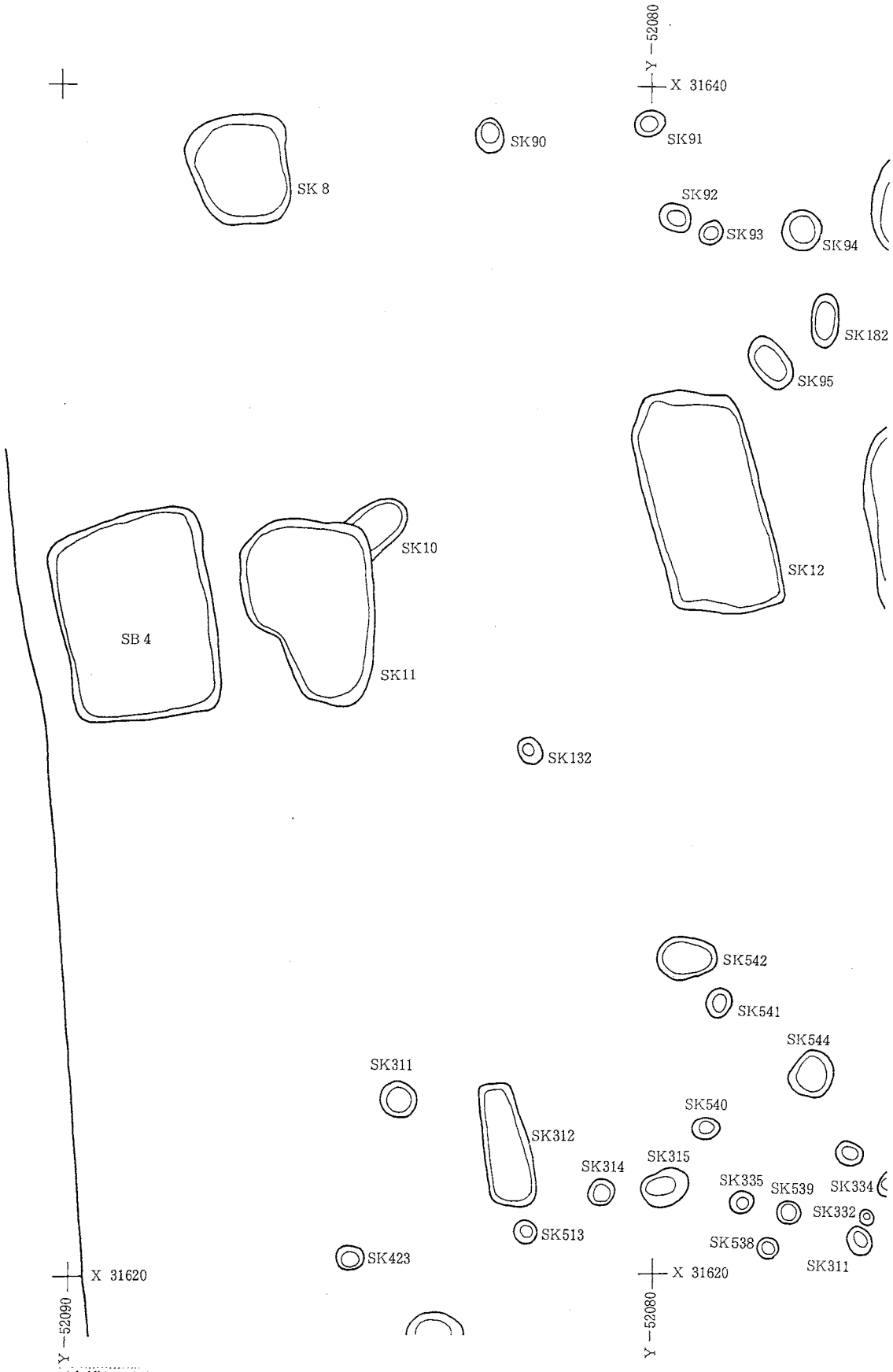
遺構図 (8)


SK573
Y—52050
X 31660
SK184
SK185
X 31660
SK189
SK195
SK220
SK172
SK294
SK191
SK190
SK192
SK293
SK175
SK193
SK196
SK173
SK174
SK199
SK295
SK222
SK223
SK197
SK192
SK205
SK198
SK224
SK204
SK225
SK229
SK202
SK227
SK201
SK226
SK228
SK203
SK230
SK575
SK206
SK235
SK232
SK236
SK241
SK233
SK243
SK207
SK237
SK242
SK209
SK238
SK239
SK240
SK208
Y—52050
X 31650
X 31650
SK246
SK244
SK245
SK210
SK252
SK277
SK281
SK276
SK282
SK275
SK278
SK218
SK274
SK217
SK279
SK283
X 31640
SK280
Y—52050
SK39
SK265
SK266

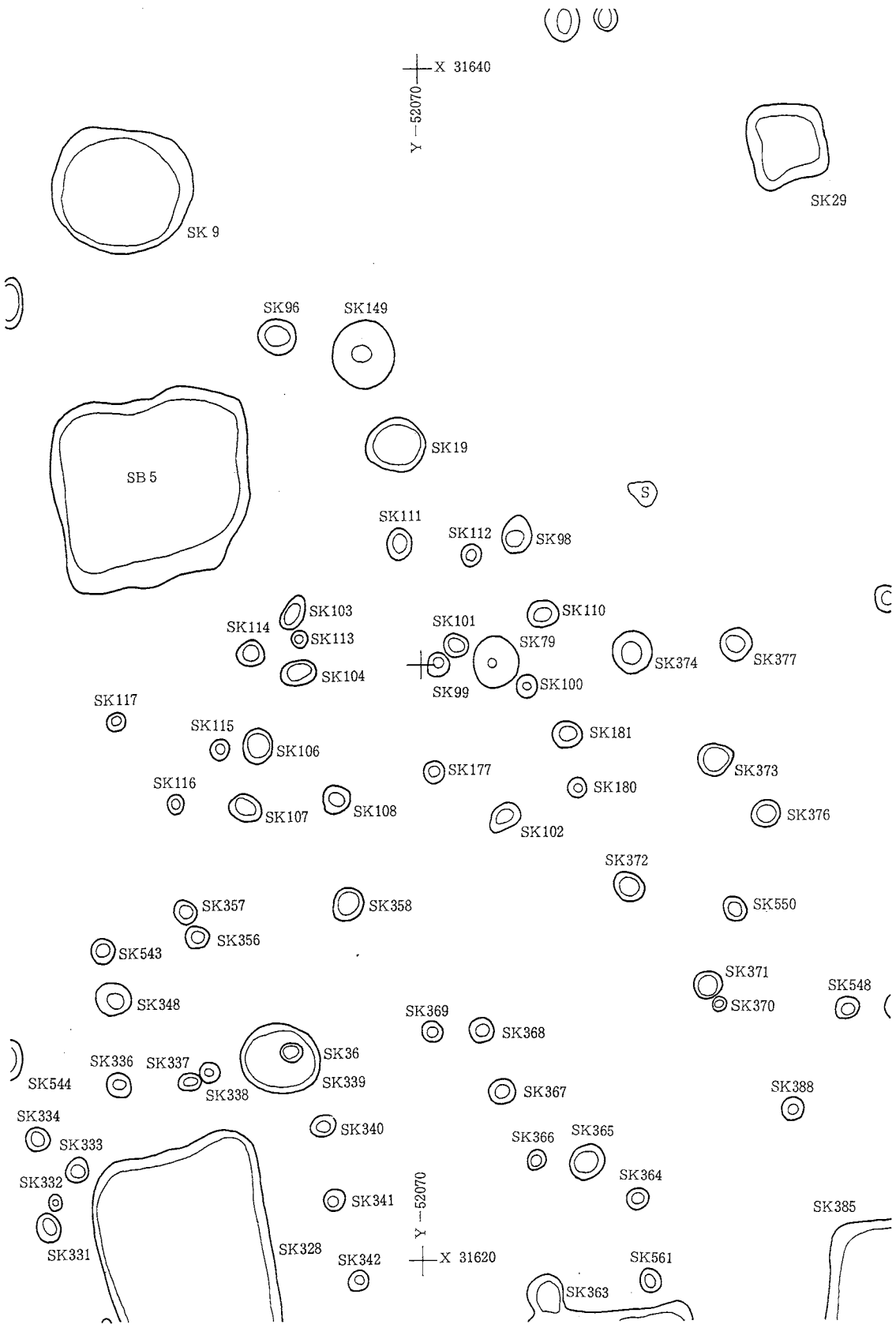
遺構図 (9)


X 31660
Y −52040
SK196
SK194
X 31660
Y −52030
SK197
SK198
SB10
SK231
SK229
SK230
SK37
SK248
SK249
SK250
SK247
SK246
X 31650
Y −52030
SK251
SK38
SK253
SK254
SK255
SK256
SK257
SK258
SK264
SK259
SK260
SK262
SK263
SK261
Y −52040
X 31640
SK39
X 31640
Y −52030

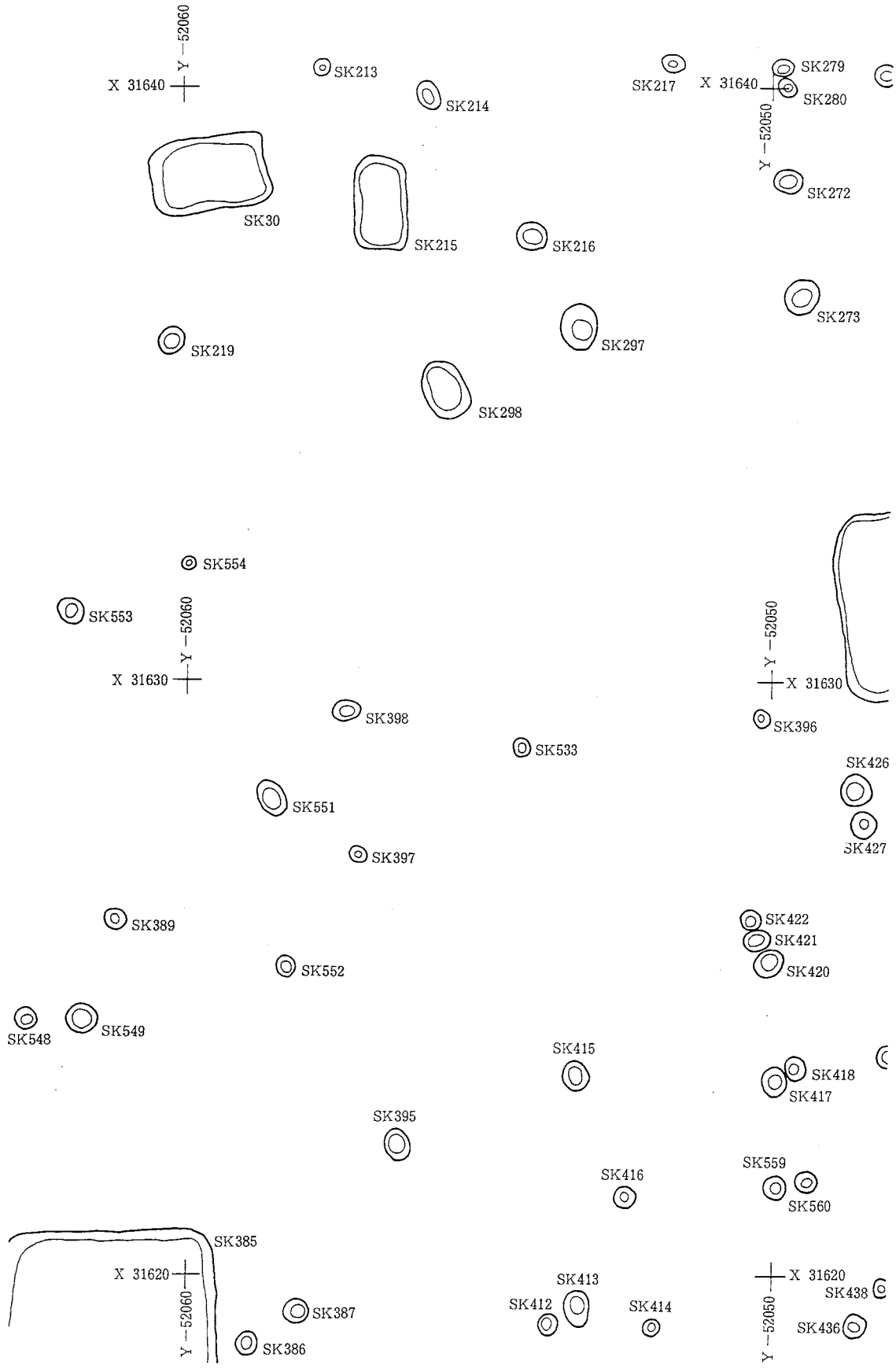
遺構図 (10)


Y −52080
X 31640
SK90
SK91
SK 8
SK92
SK93
SK94
SK182
SK95
SK12
SK10
SB 4
SK11
SK132
SK542
SK541
SK544
SK311
SK540
SK312
SK315
SK314
SK335
SK539
SK334
SK332
SK538
SK311
SK513
SK423
X 31620
Y −52090
X 31620
Y −52080

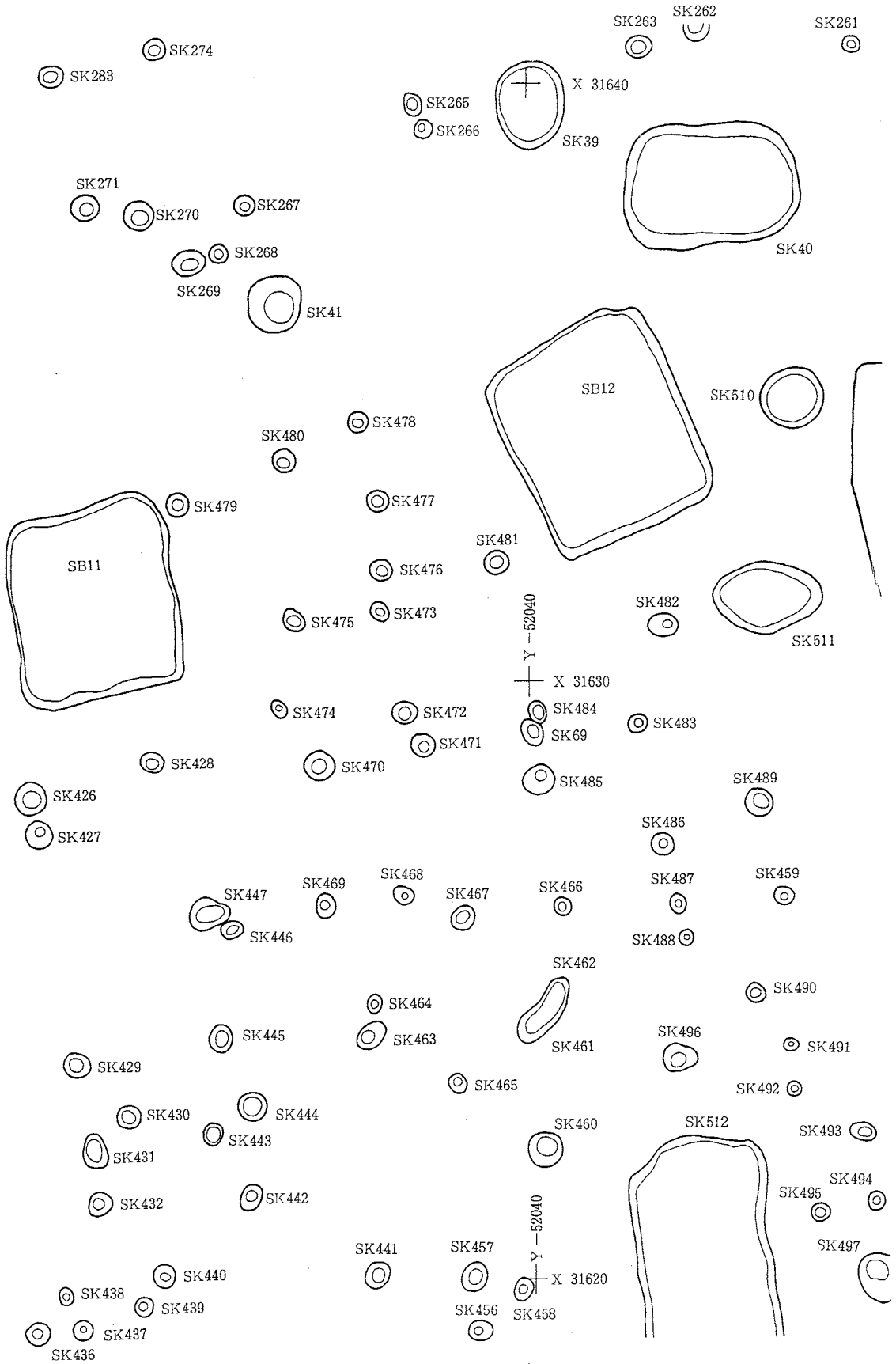
遺構図 (11)


X 31640
Y −52070
SK 9
SK29
SK96
SK149
SB 5
SK19
S
SK111
SK112
SK98
SK103
SK114
SK113
SK104
SK101
SK110
SK79
SK99
SK100
SK374
SK377
SK117
SK115
SK106
SK181
SK373
SK177
SK116
SK180
SK107
SK108
SK102
SK376
SK372
SK357
SK358
SK550
SK356
SK543
SK371
SK548
SK370
SK348
SK369
SK368
SK336
SK337
SK36
SK544
SK338
SK339
SK367
SK388
SK334
SK340
SK366
SK365
SK333
SK364
SK332
SK341
SK385
SK331
SK328
SK342
X 31620
Y −52070
SK561
SK363

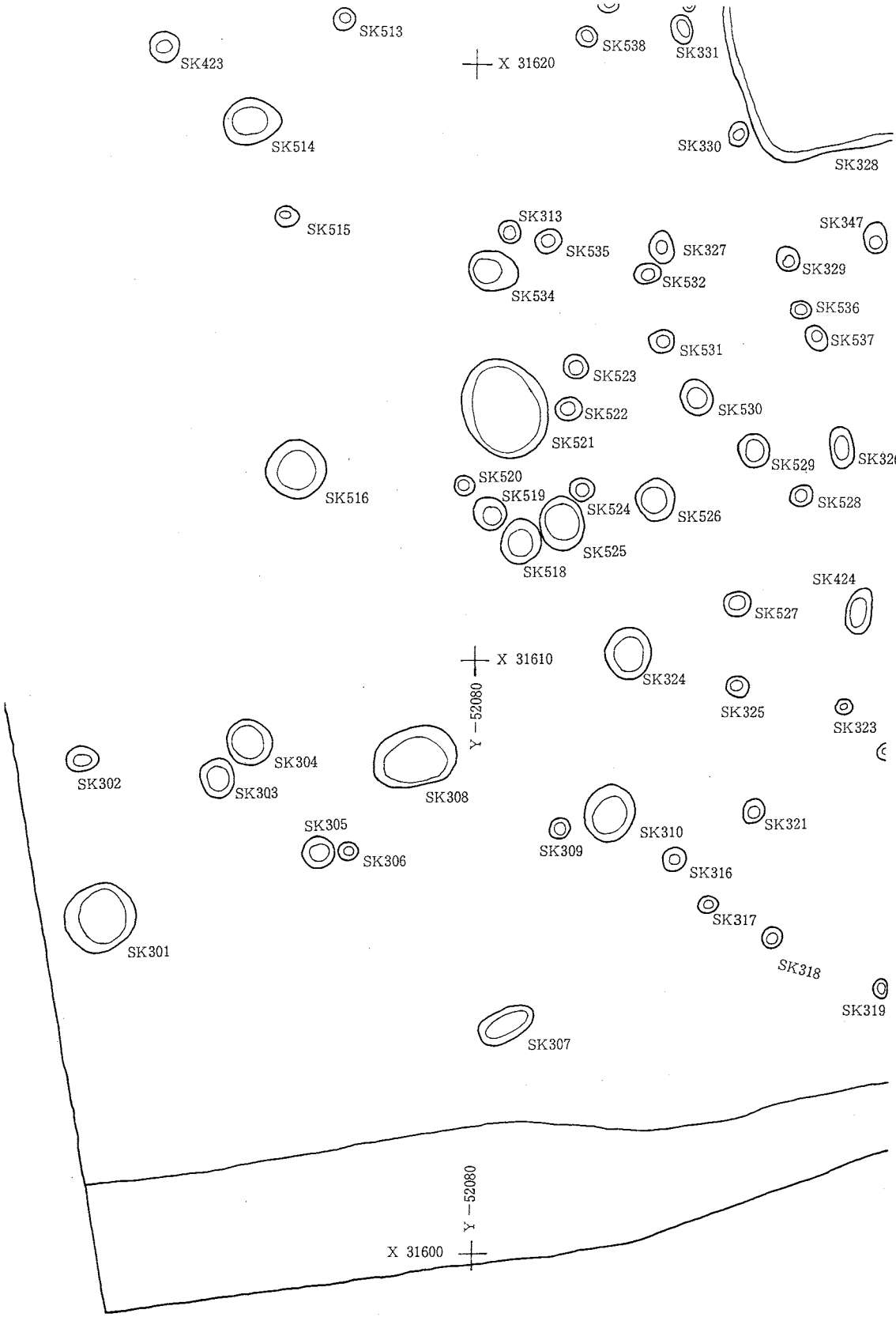
遺構図 (12)


X 31640
Y −52060
SK213
SK214
SK30
SK215
SK216
SK217
X 31640
SK279
SK280
Y −52050
SK272
SK273
SK219
SK297
SK298
SK554
SK553
X 31630
Y −52060
SK398
SK533
SK396
X 31630
Y −52050
SK426
SK427
SK551
SK397
SK389
SK422
SK421
SK420
SK552
SK548
SK549
SK415
SK418
SK417
SK395
SK559
SK560
SK416
SK385
X 31620
Y −52060
SK387
SK386
SK413
SK412
SK414
X 31620
SK438
SK436
Y −52050

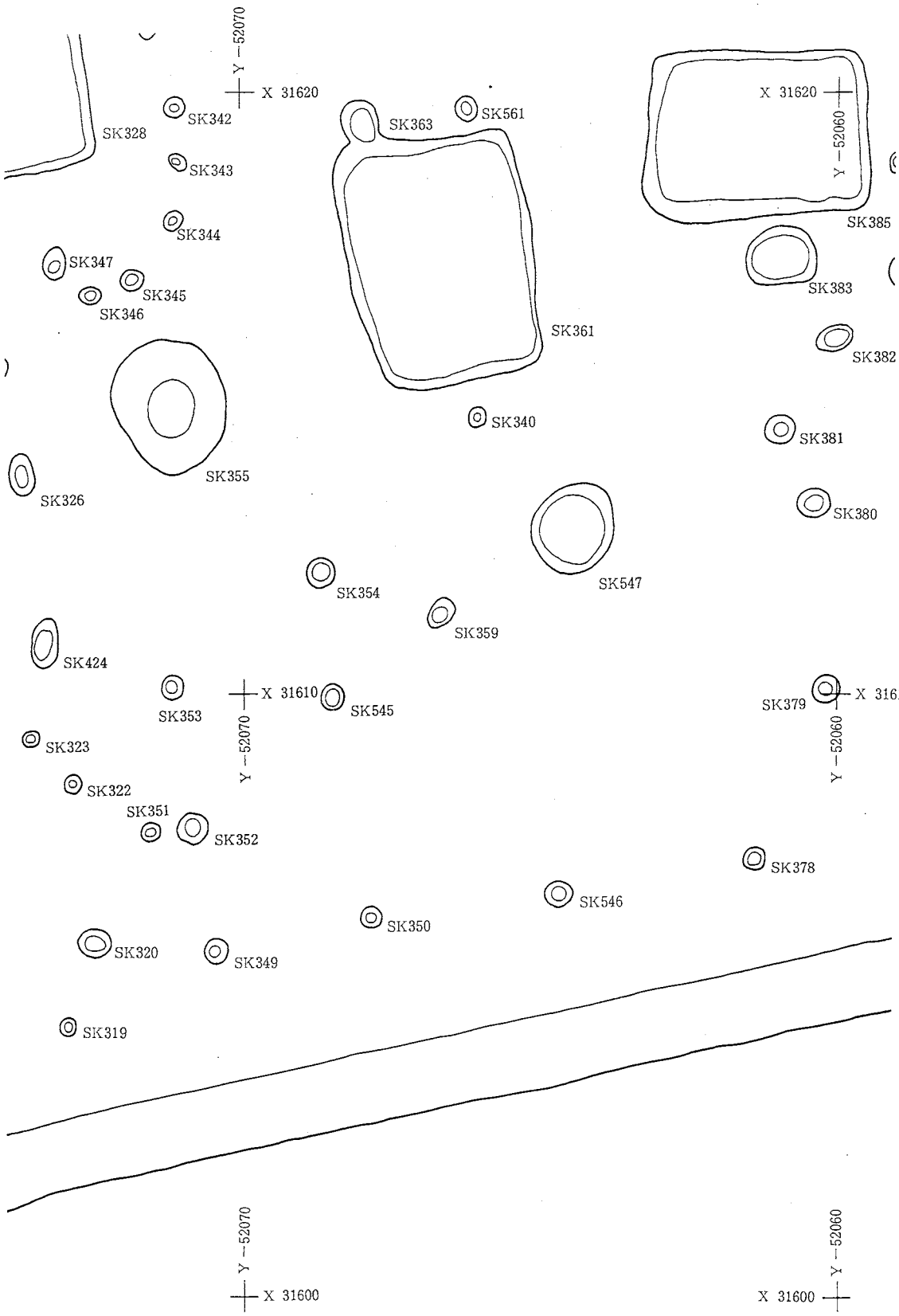
遺構図 (13)


SK263
SK262
SK261
SK274
SK283
X 31640
SK265
SK266
SK39
SK271
SK270
SK267
SK268
SK269
SK40
SK41
SB12
SK510
SK480
SK478
SK479
SK477
SK481
SB11
SK476
SK482
SK475
SK473
SK511
Y −52040
X 31630
SK474
SK472
SK484
SK483
SK69
SK471
SK428
SK470
SK485
SK489
SK426
SK427
SK486
SK447
SK469
SK468
SK467
SK466
SK487
SK459
SK446
SK488
SK462
SK464
SK490
SK445
SK463
SK461
SK496
SK491
SK429
SK465
SK492
SK430
SK444
SK460
SK512
SK493
SK443
SK431
SK494
SK495
SK432
SK442
SK497
SK441
SK457
Y −52040
X 31620
SK440
SK438
SK439
SK456
SK458
SK437
SK436

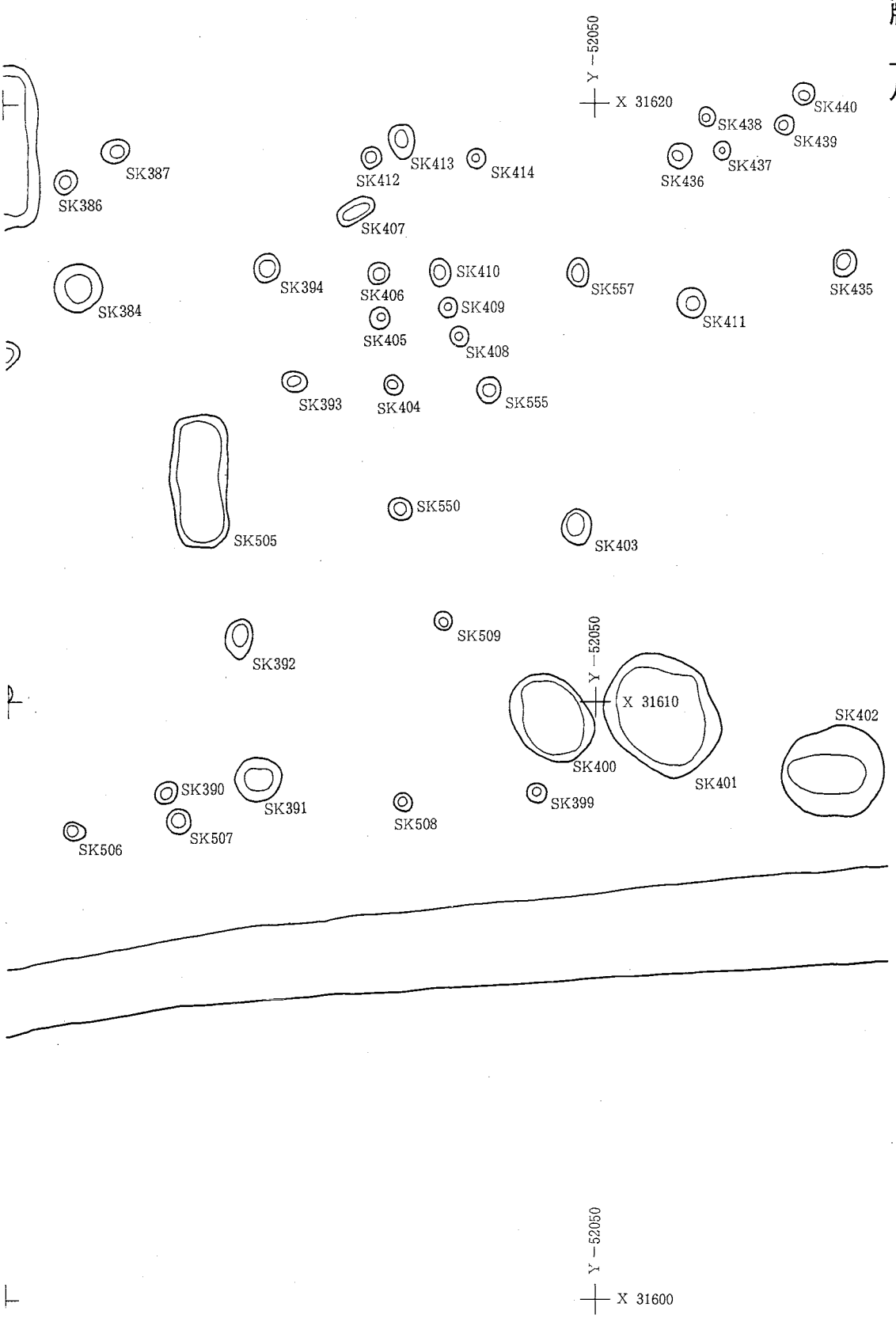
遺構図 (14)


SK513
SK423
X 31620
SK538
SK331
SK514
SK330
SK328
SK515
SK313
SK535
SK347
SK327
SK329
SK534
SK532
SK536
SK537
SK531
SK523
SK522
SK530
SK521
SK529
SK326
SK516
SK520
SK519
SK524
SK526
SK528
SK525
SK518
SK424
SK527
X 31610
SK324
Y −52080
SK325
SK323
SK304
SK302
SK303
SK308
SK305
SK306
SK309
SK310
SK321
SK316
SK301
SK317
SK318
SK319
SK307
Y −52080
X 31600

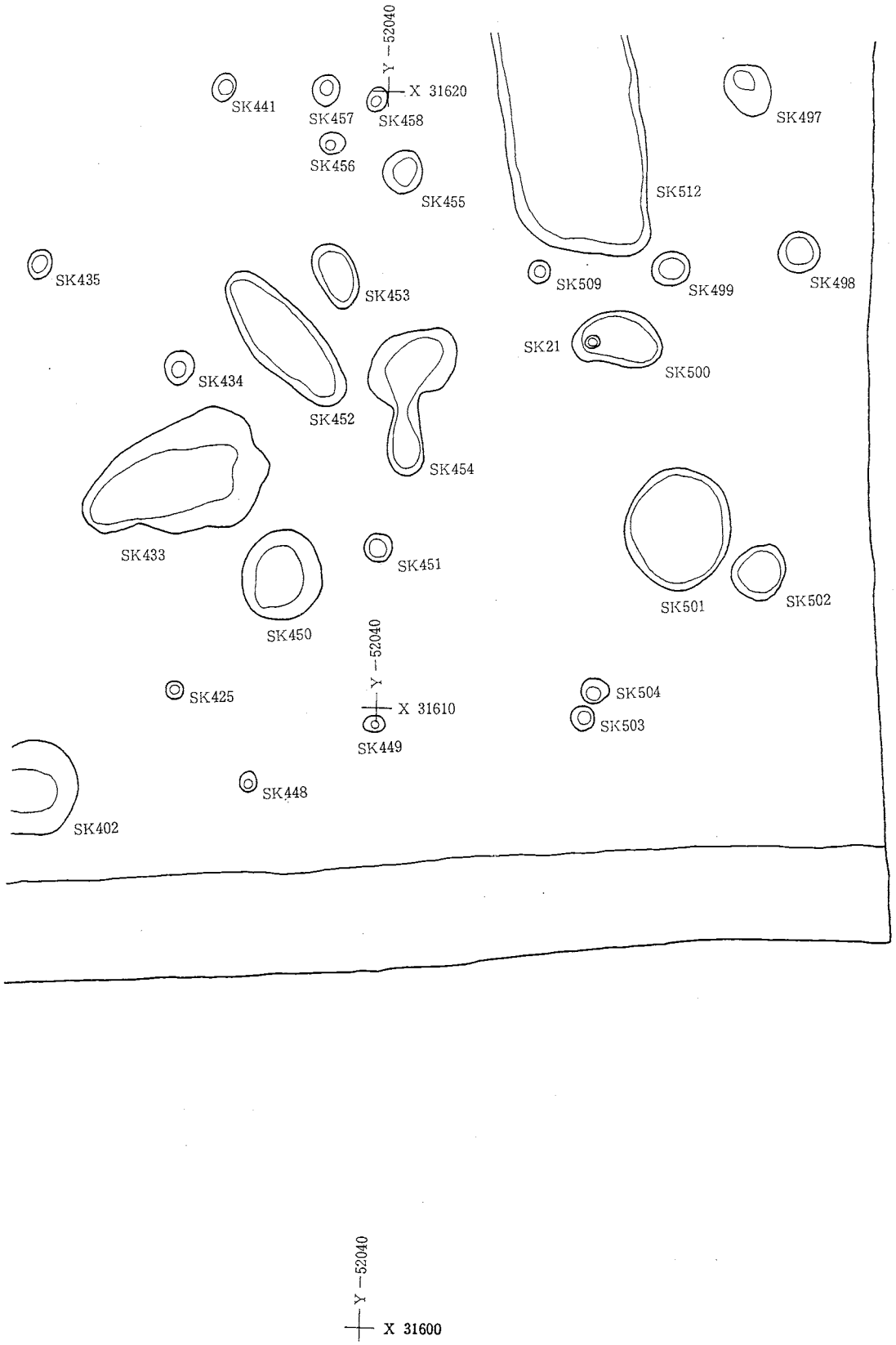
遺構図 (15)


Y −52070
X 31620
SK342
SK328
SK343
SK344
SK347
SK345
SK346
SK363
SK561
SK361
SK340
SK355
SK326
SK354
SK359
SK547
SK424
SK353
X 31610
SK545
SK323
SK322
SK351
SK352
SK320
SK349
SK319
SK350
SK546
X 31620
Y −52060
SK385
SK383
SK382
SK381
SK380
SK379
X 31610
Y −52060
SK378
Y −52070
X 31600
Y −52060
X 31600

遺構図 (16)

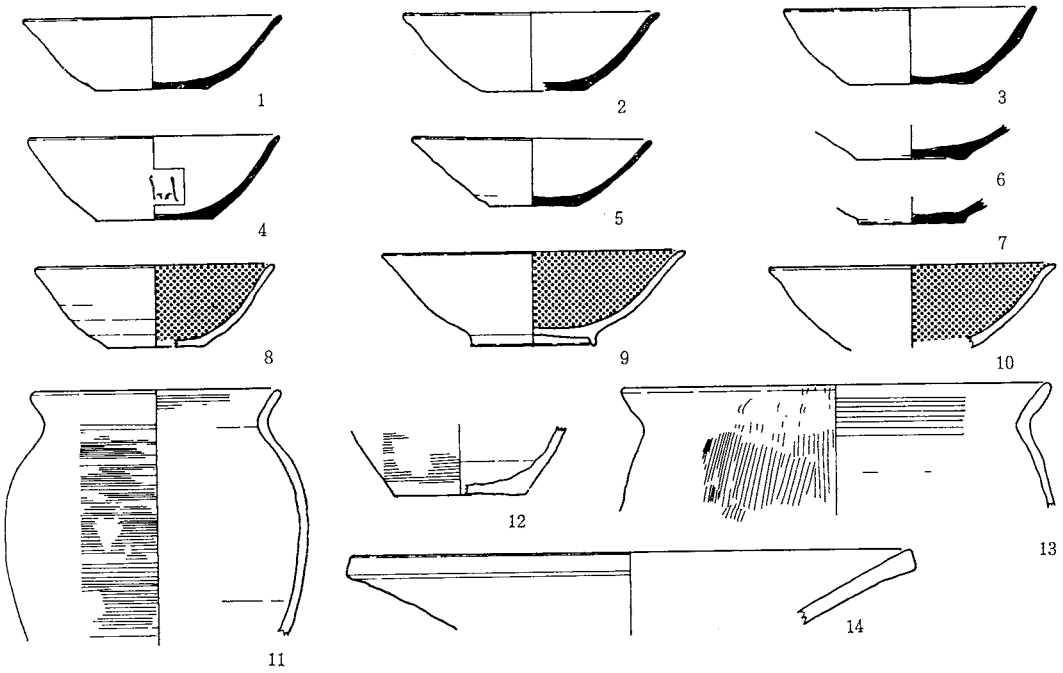

Y −52050
X 31620
SK440
SK438
SK439
SK437
SK436
SK413
SK412
SK414
SK387
SK386
SK407
SK394
SK406
SK410
SK557
SK435
SK384
SK409
SK411
SK405
SK408
SK393
SK404
SK555
SK505
SK550
SK403
SK509
SK392
Y −52050
X 31610
SK402
SK400
SK401
SK390
SK391
SK399
SK508
SK507
SK506
Y −52050
X 31600

遺構図 (17)

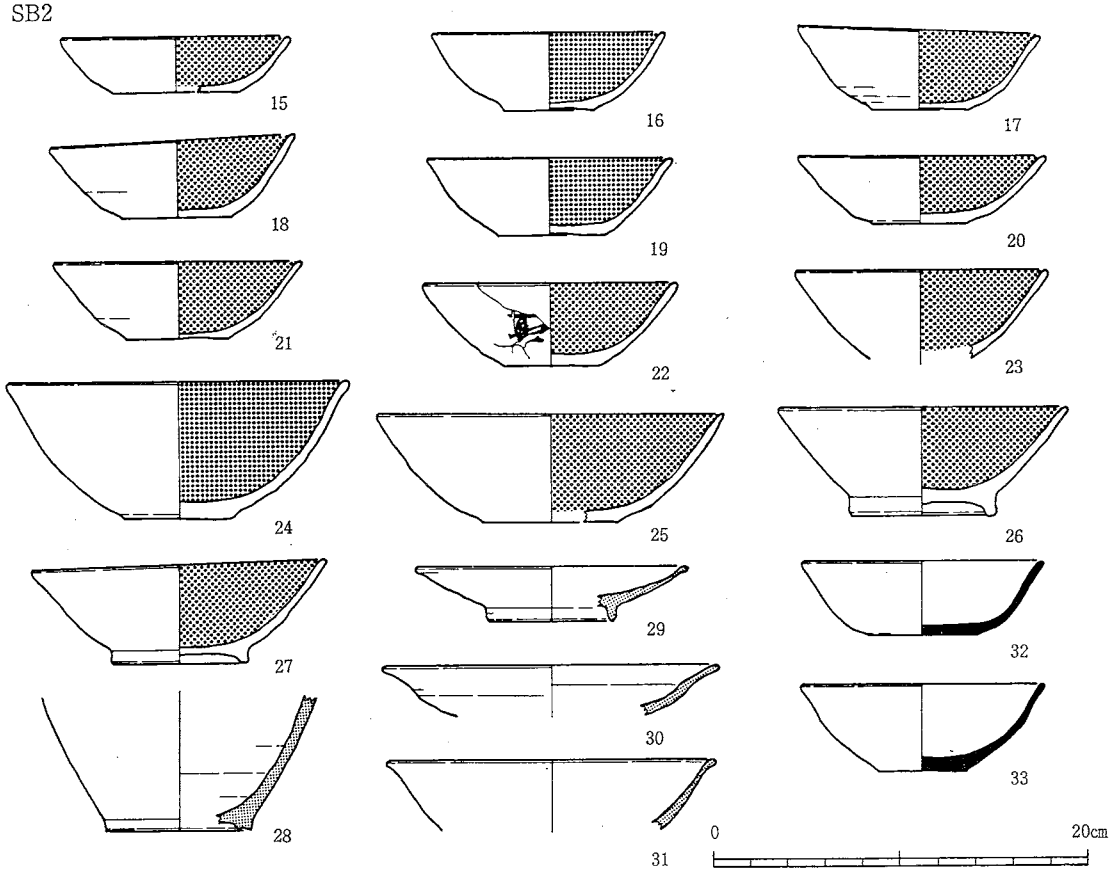

Y −52040
X 31620
SK441
SK457
SK458
SK456
SK455
SK497
SK512
SK435
SK453
SK509
SK499
SK498
SK21
SK500
SK434
SK452
SK454
SK433
SK451
SK501
SK502
SK450
Y −52040
X 31610
SK425
SK504
SK503
SK449
SK448
SK402
Y −52040
X 31600

遺構図 (18)

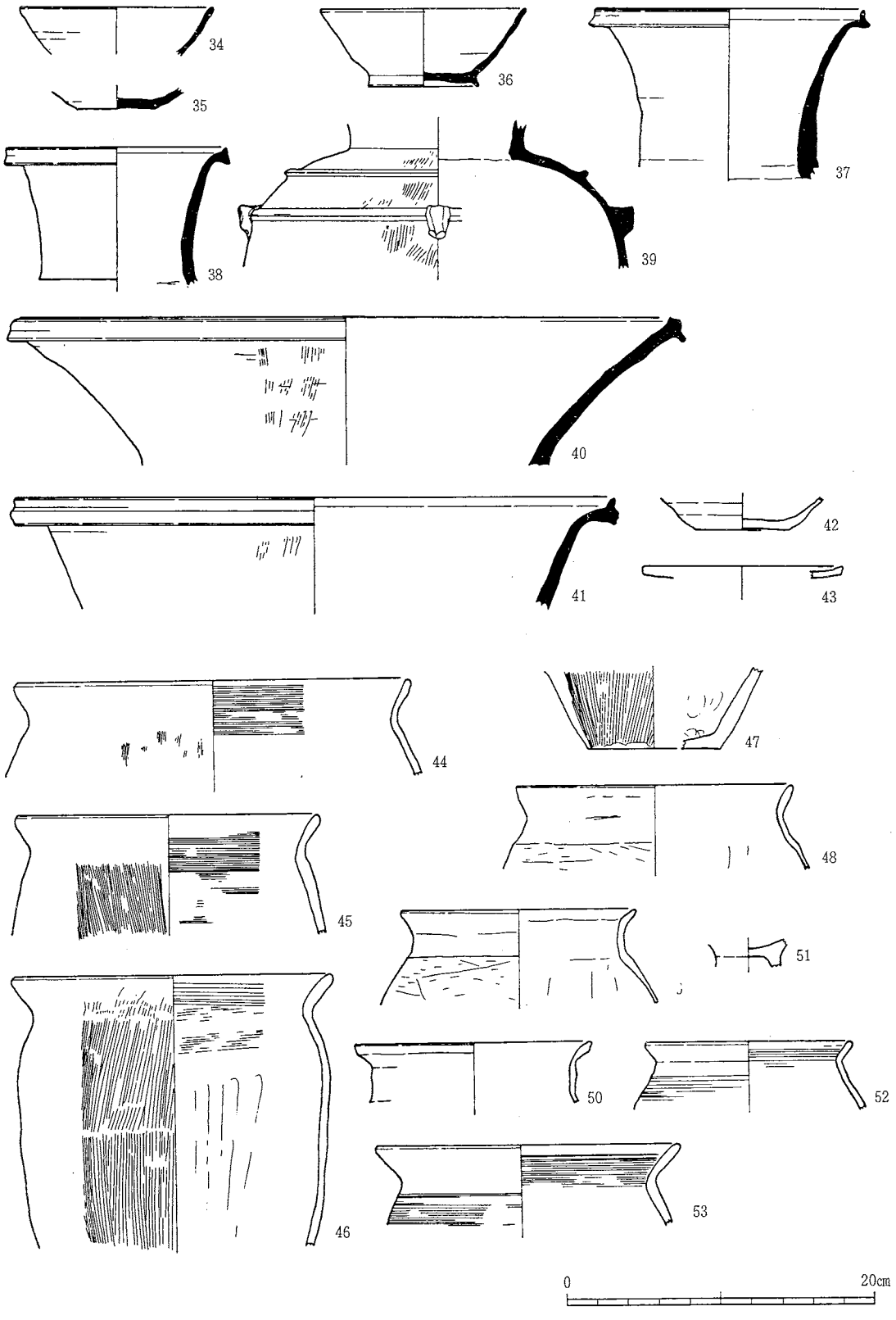
SB1




SB2

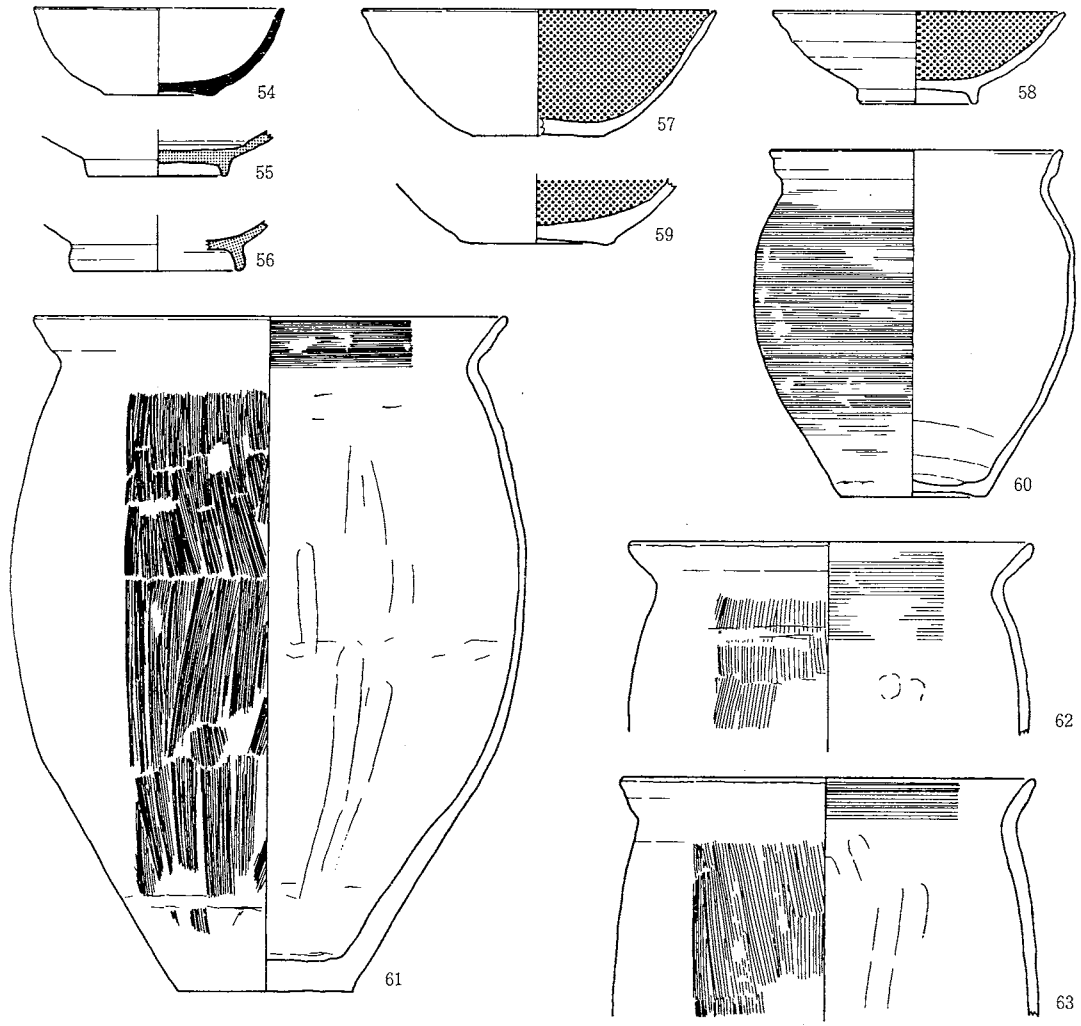



遺物実測図（土器：SB１，SB２）

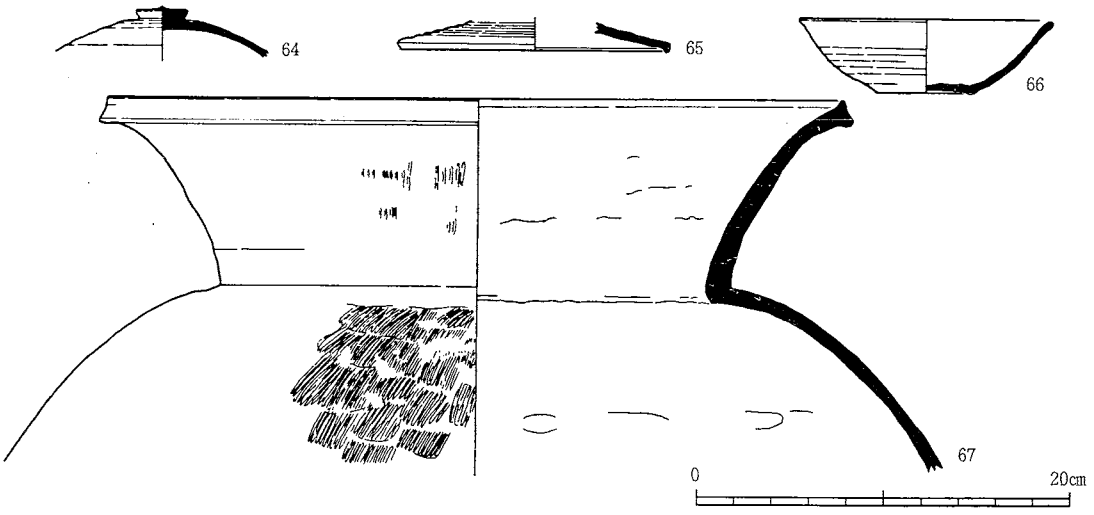



遺物実測図（土器：SB 2）

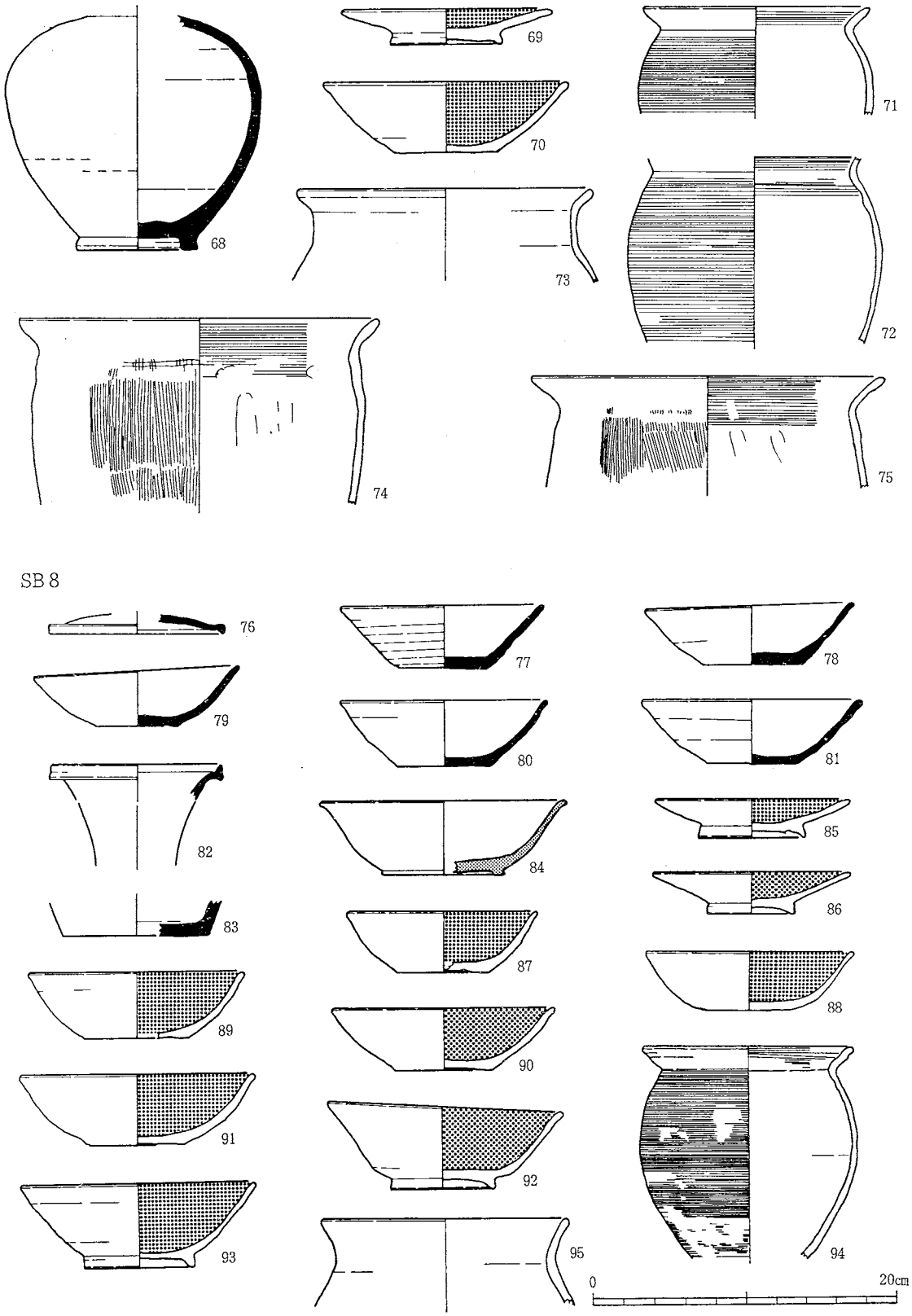
SB 6



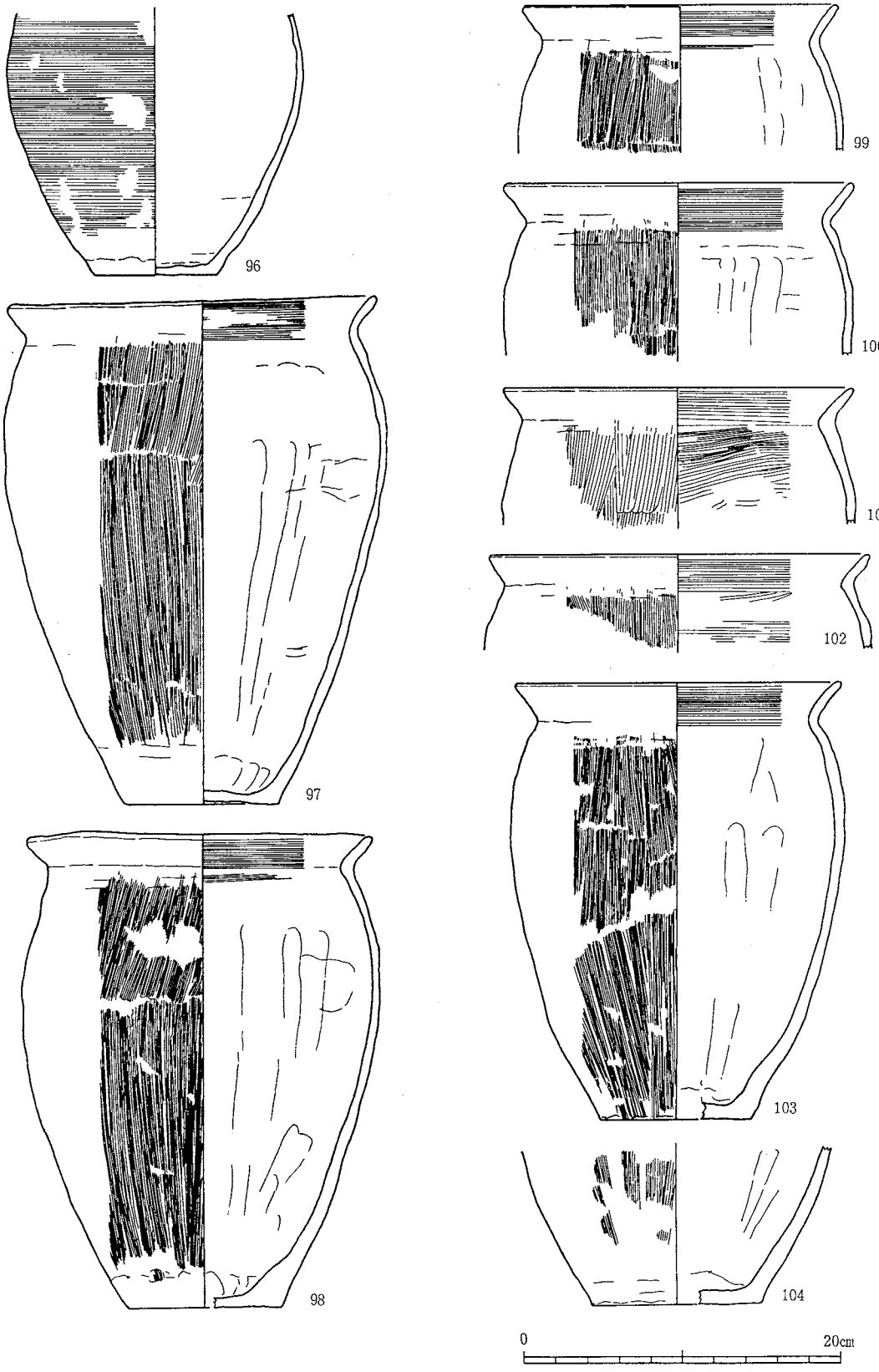

SB 7



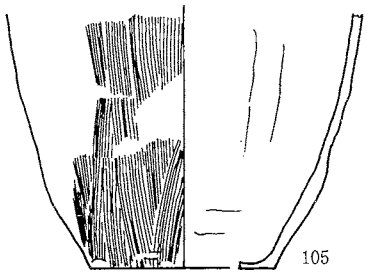

遺物実測図（土器：SB 6，SB 7）

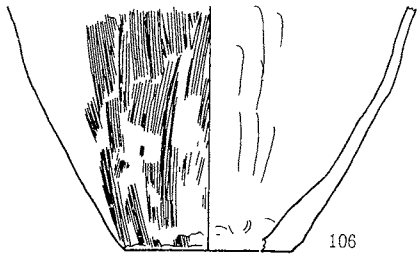



遺物実測図（土器：SB 7，SB 8）

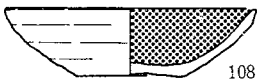


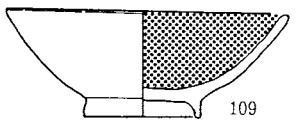

遺物実測図（土器：SB８）

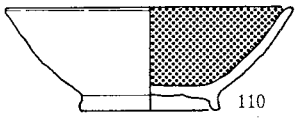


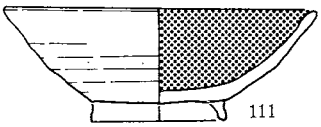



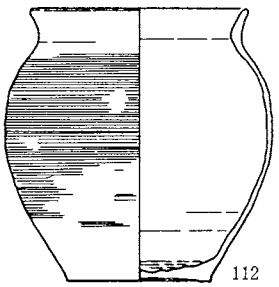

SB 9

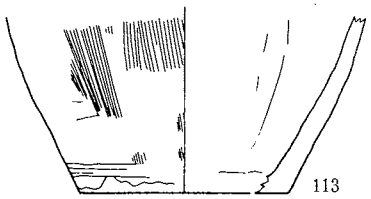


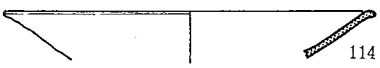



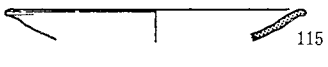



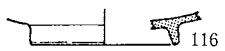



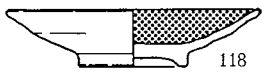



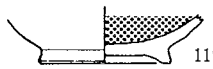

SB10

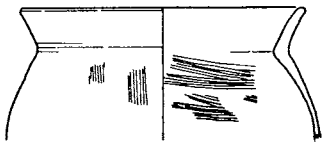


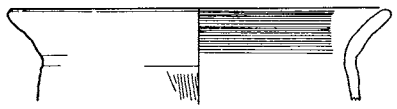



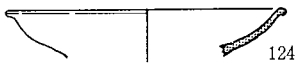


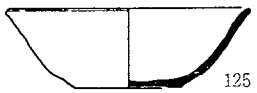



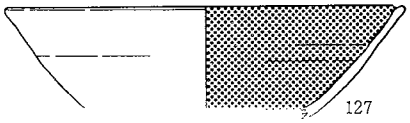


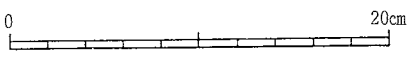




SB11

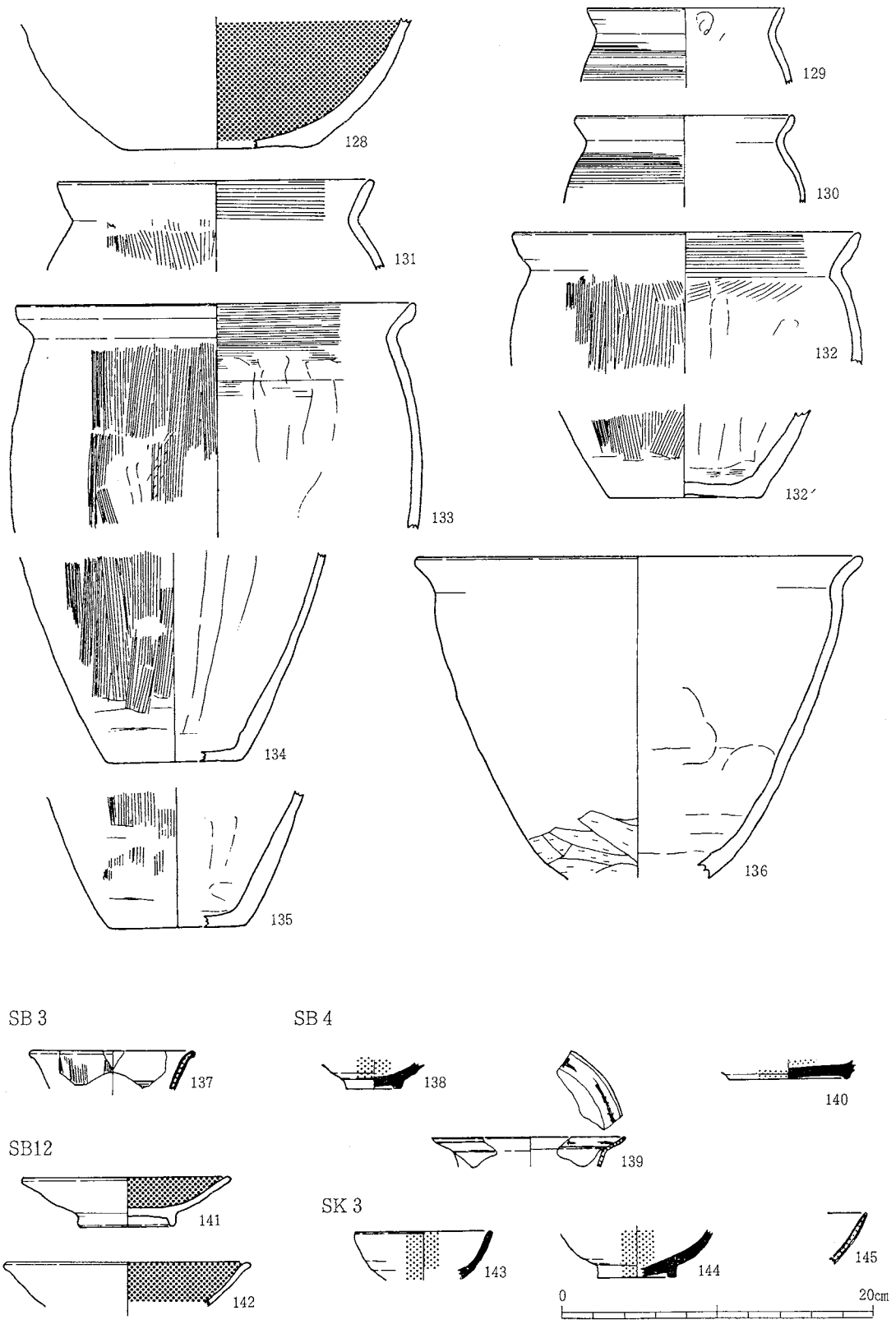


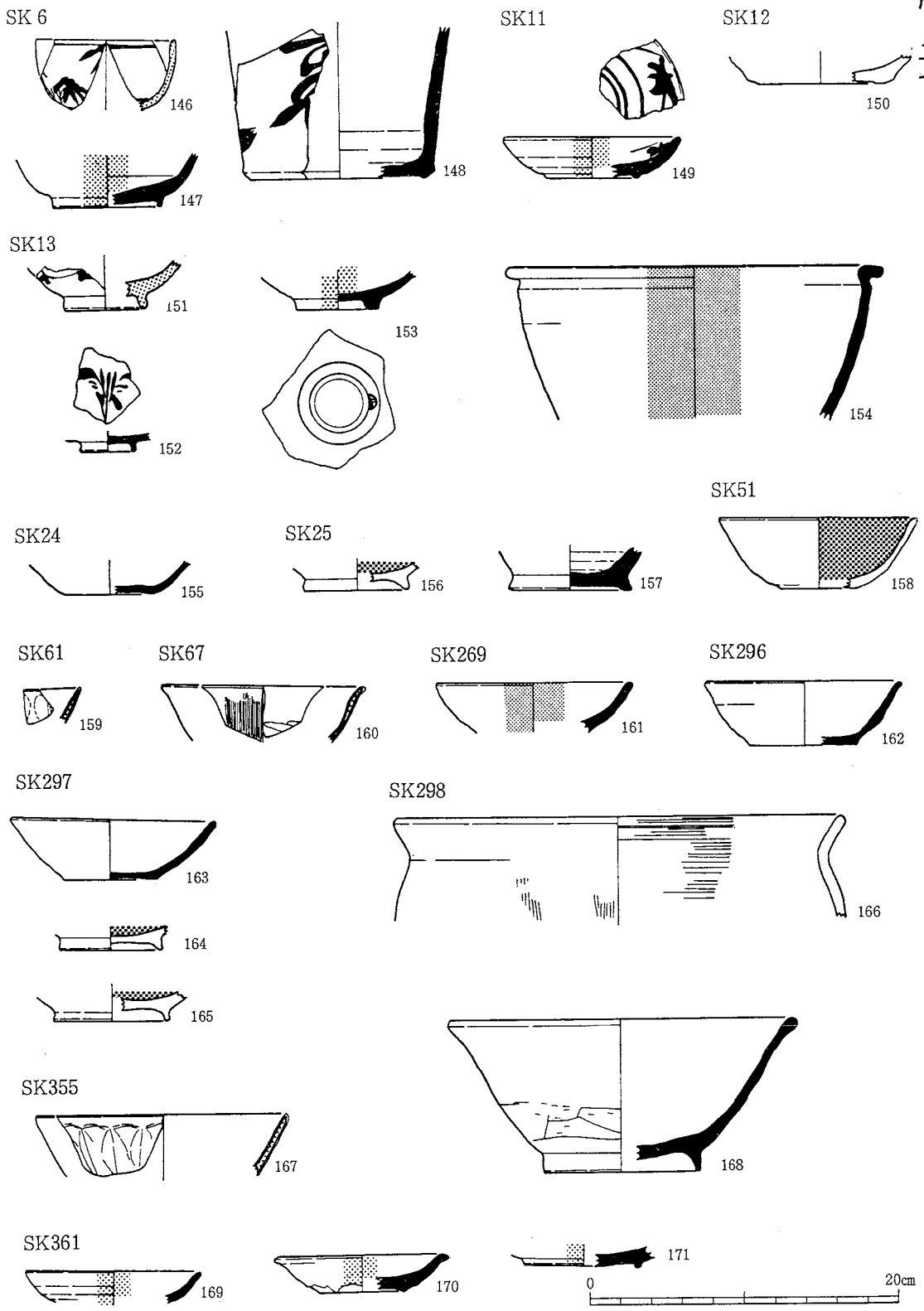


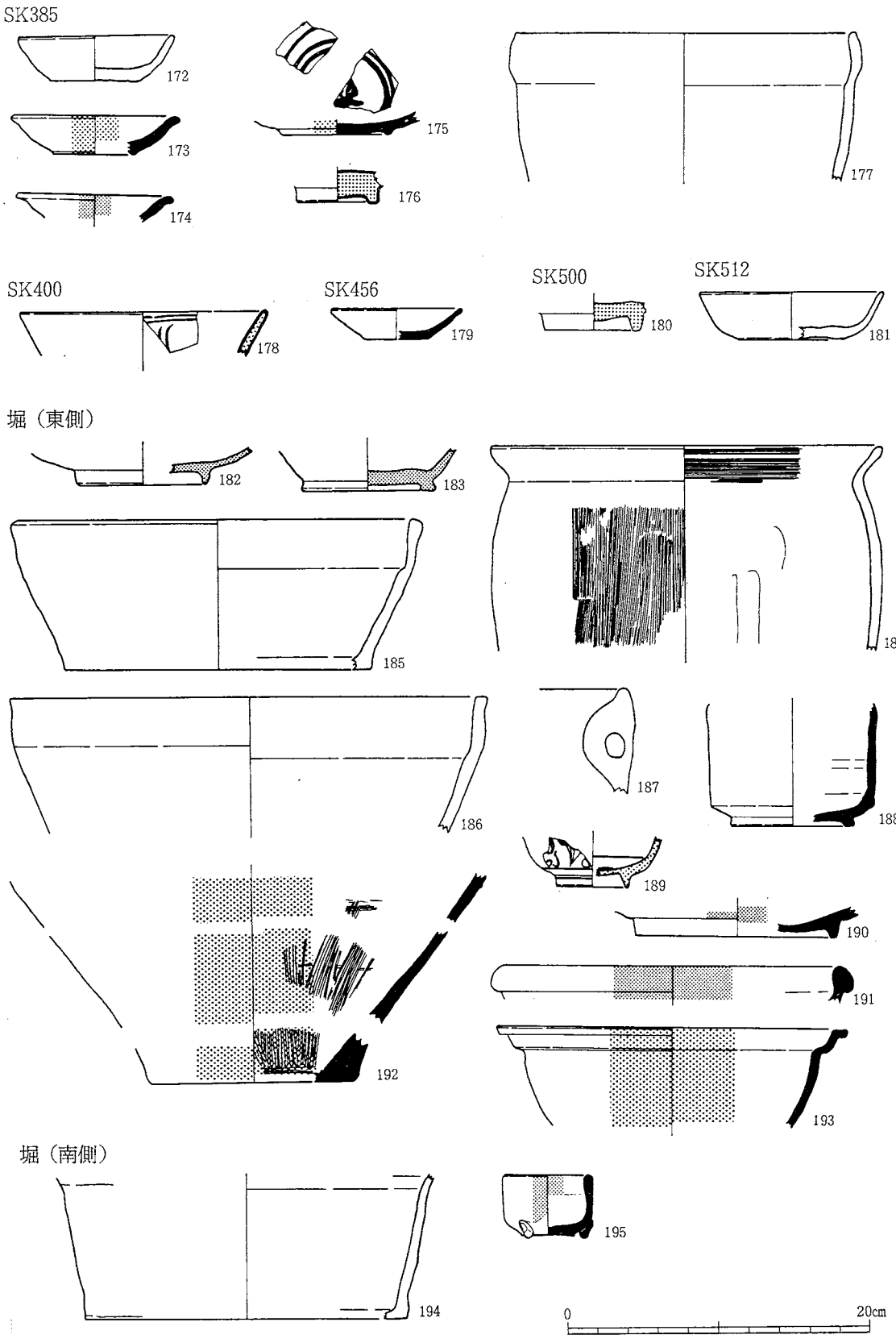

遺物実測図（土器：SB 8，SB 9，SB10，SB11）……




遺物実測図（土器・陶磁器：SB11，SB 3，SB 4，SB12，SK 3）

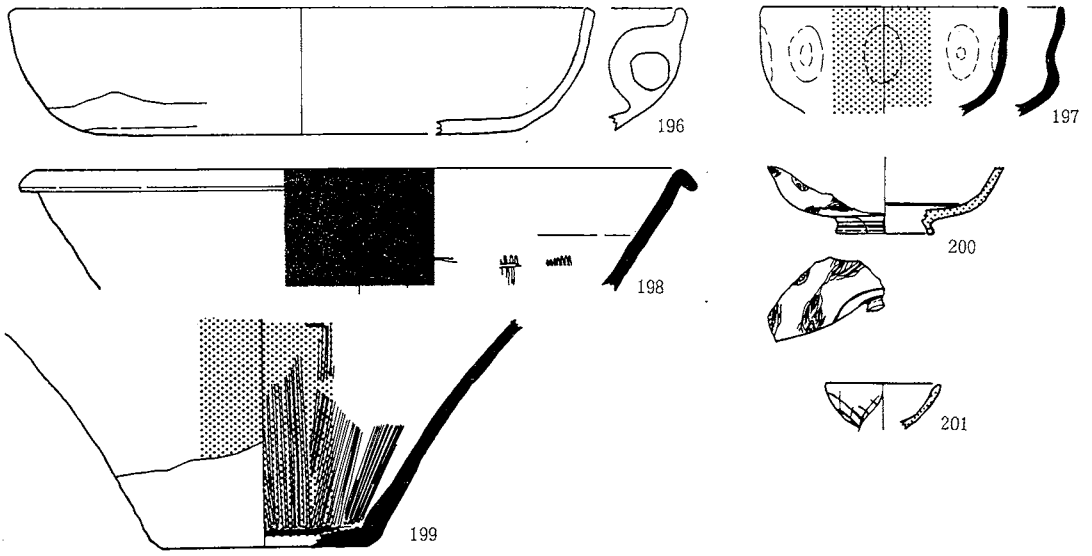



遺物実測図（土器・陶磁器：SK 6，SK11. SK12,SK13, SK24, SK25, SK51, SK61, SK67, SK269, SK296，SK297, SK298, SK355, SK361）

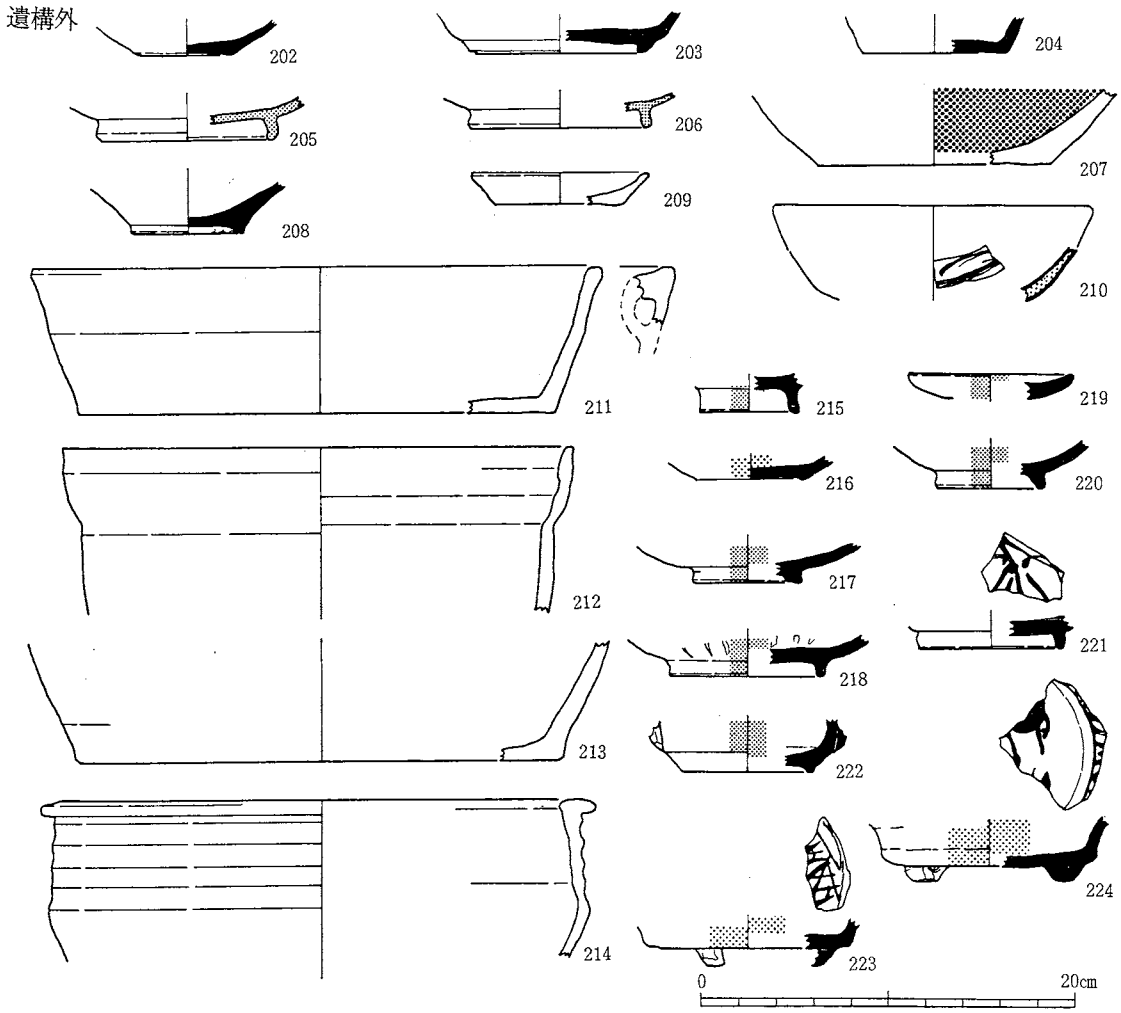



遺物実測図（土器・陶磁器：SK385，SK400，SK456，SK500，SK512，堀（東側），堀（南側）

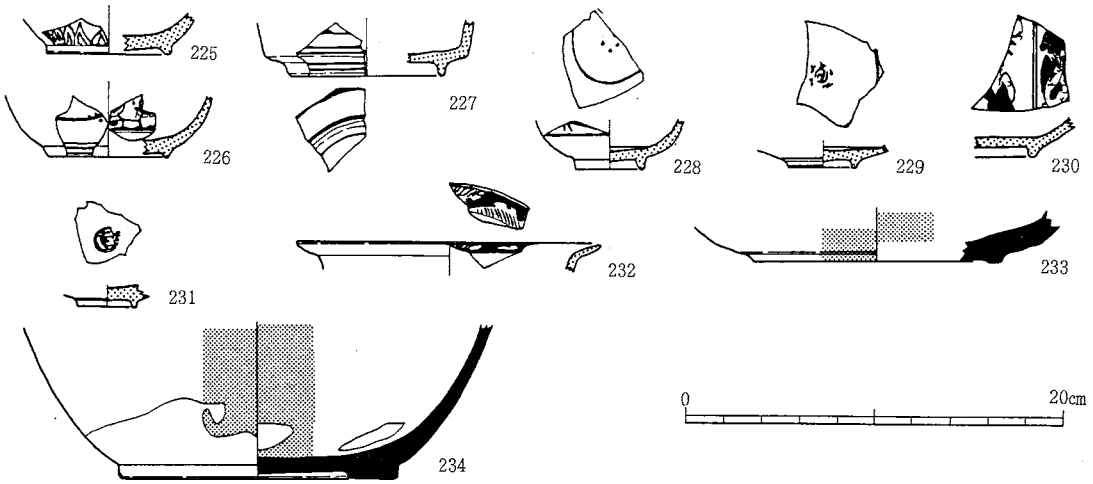
堀（北側）

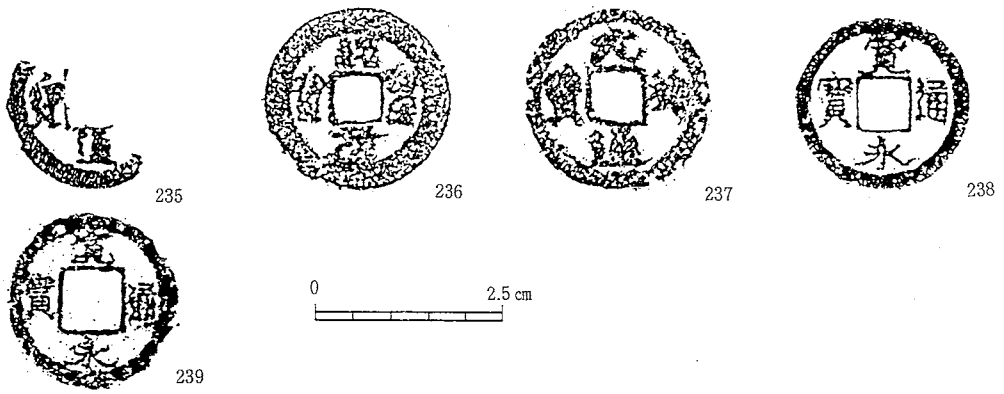


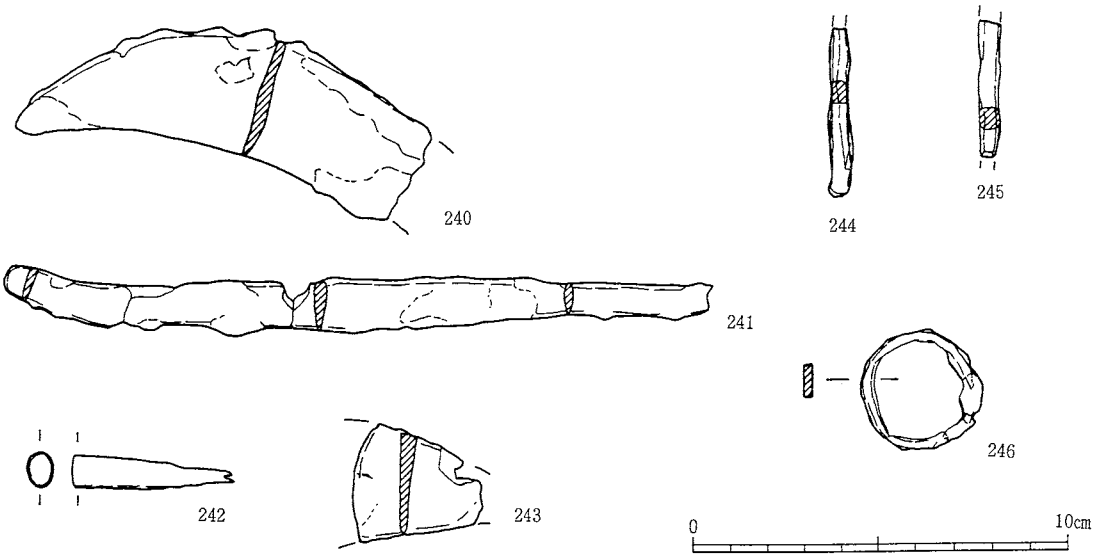

遺構外



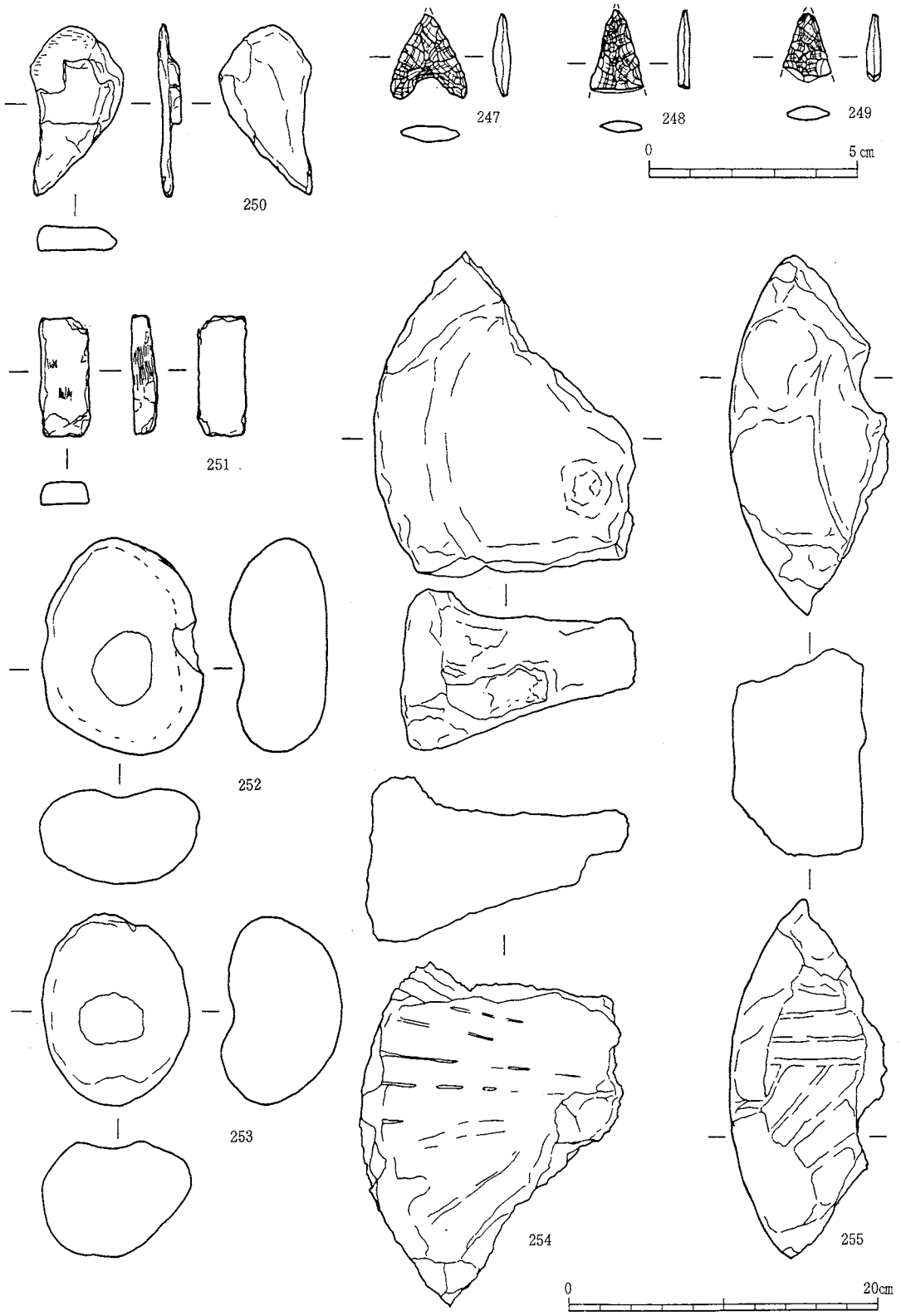

遺物実測図（土器・陶磁器：堀（北側），遺構外）



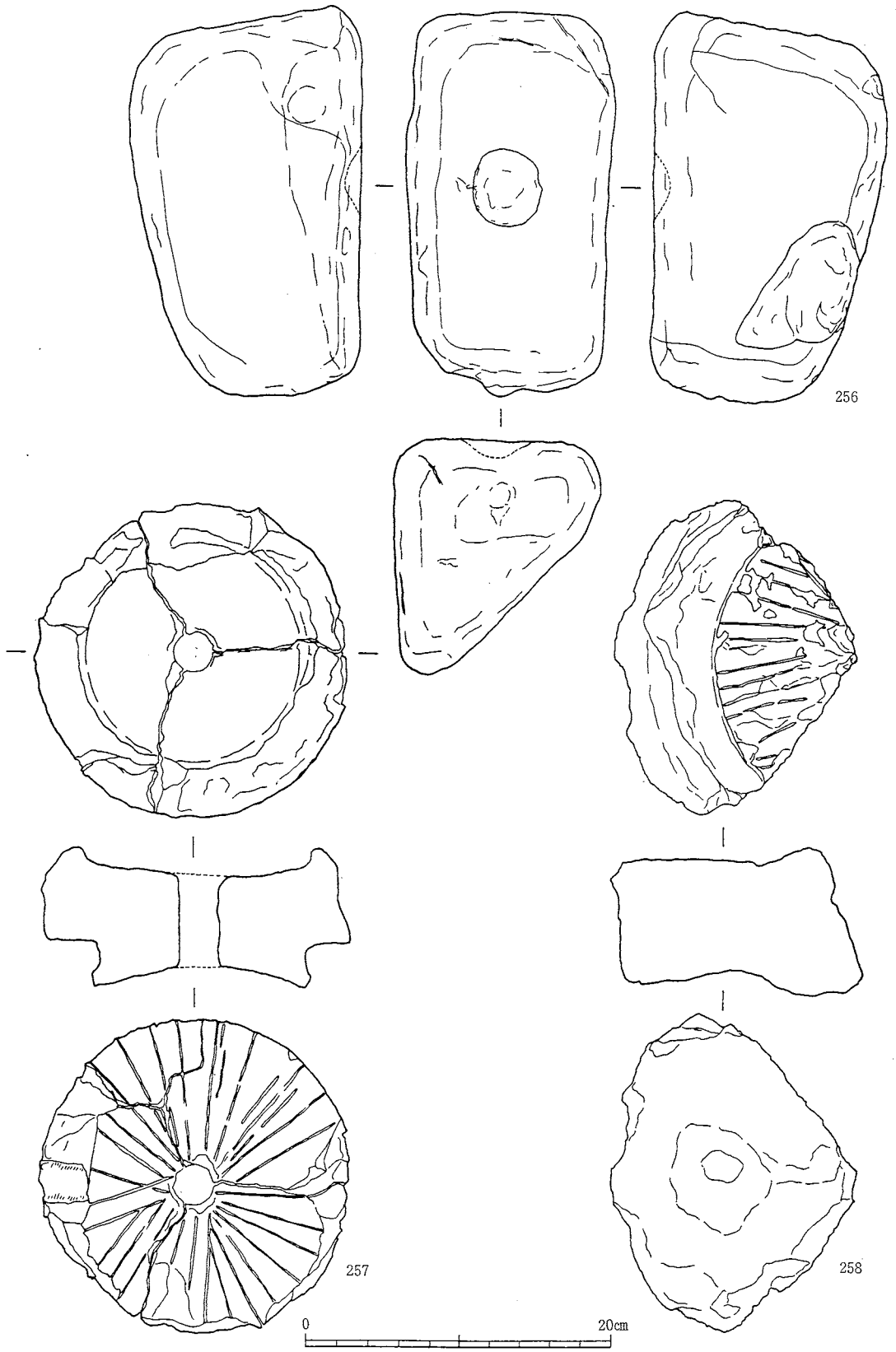



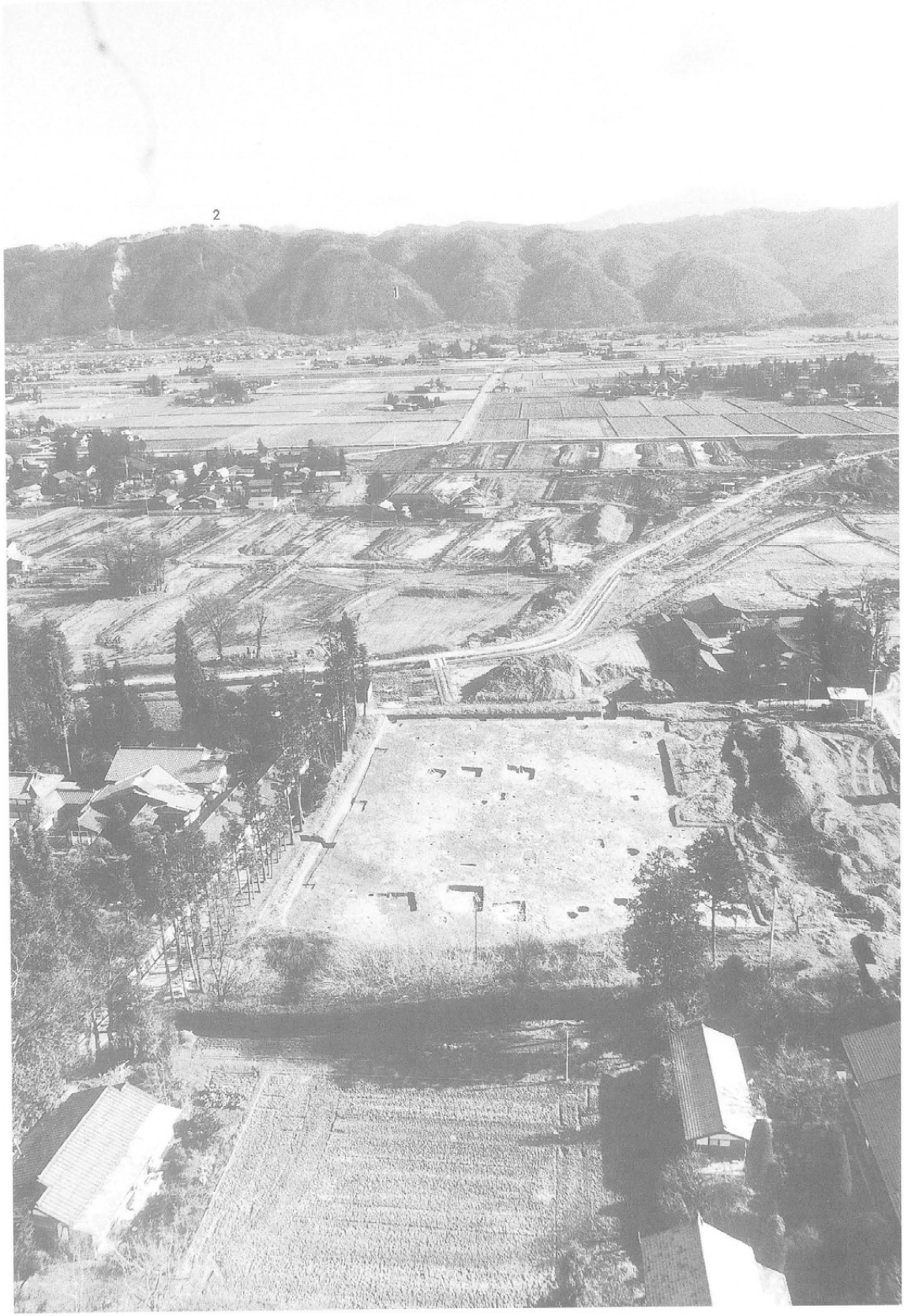

遺物実測図（土器・陶磁器：遺構外，銭貨，鉄器・金属製品）




遺物実測図（石器・石製品）




遺物実測図（石器・石製品）




**西上空より**（調査地北半、 1 平瀬城、 2 上ノ山窯跡群）

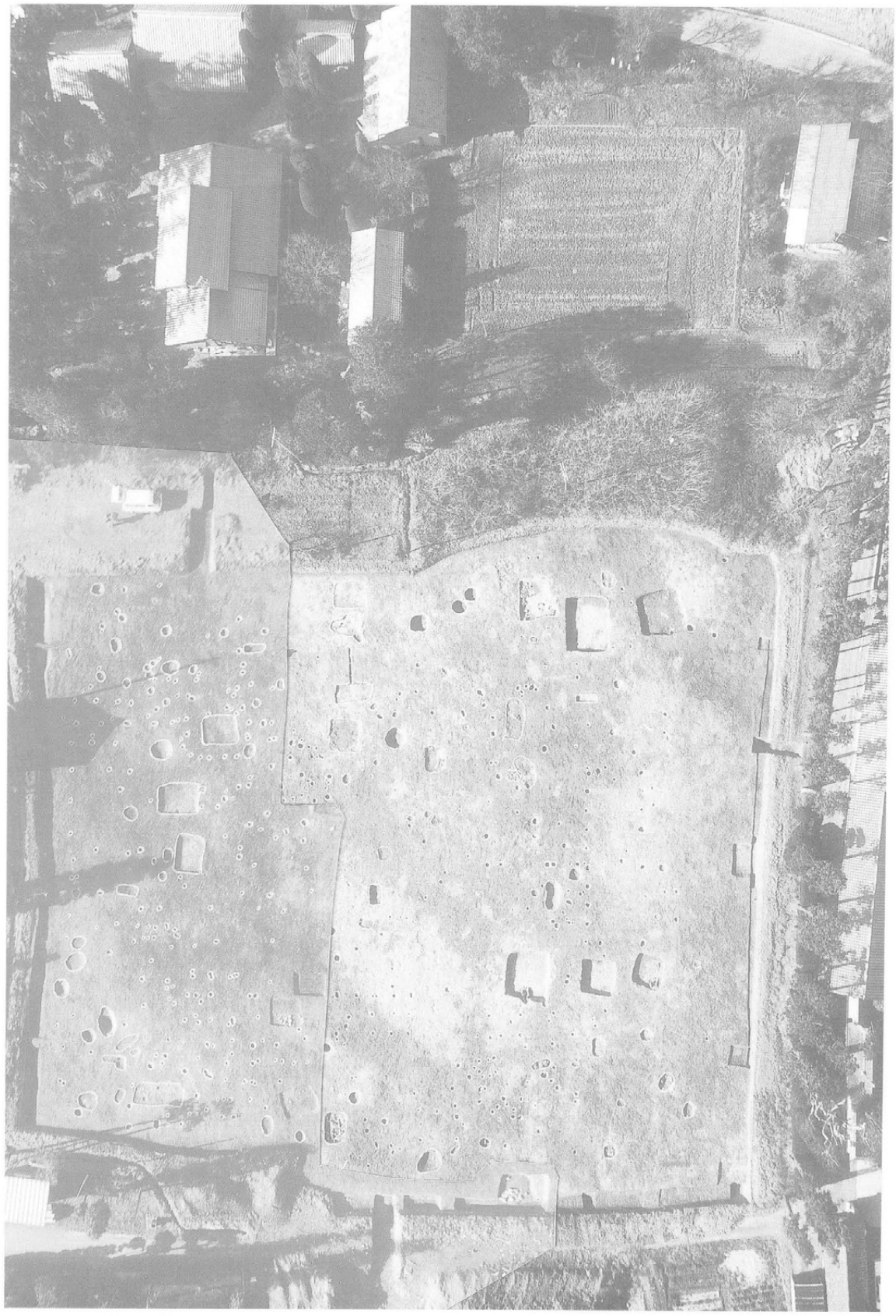
**東上空より**（調査地南半、 背後に吉野町の町並が見える）

二の郭西側の矢竹

**調査地北側**（右奥が調査地、堀と土塁を彷彿させる。）

堀 跡（本郭西側）

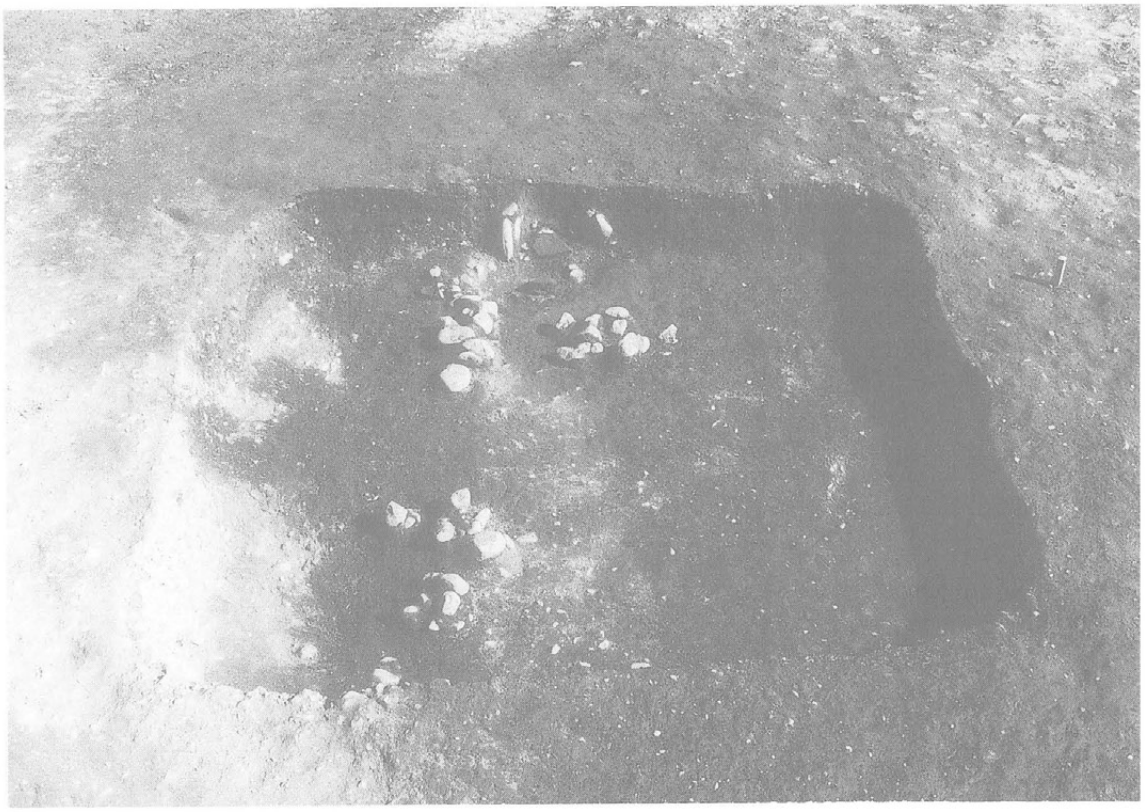
熊野権現社（西より）



調査地全景

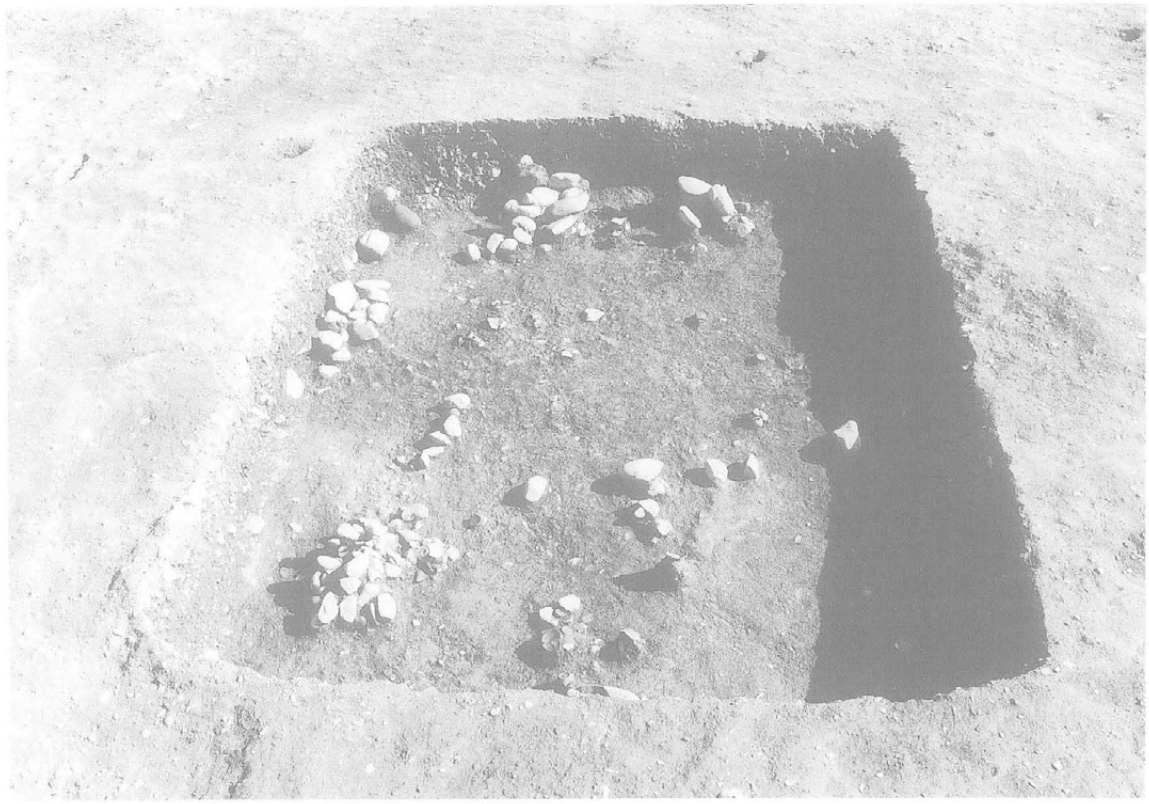
調査地北半

調査地南半



SB1

SB1　カマド



SB2　遺物等出土状況

SB2

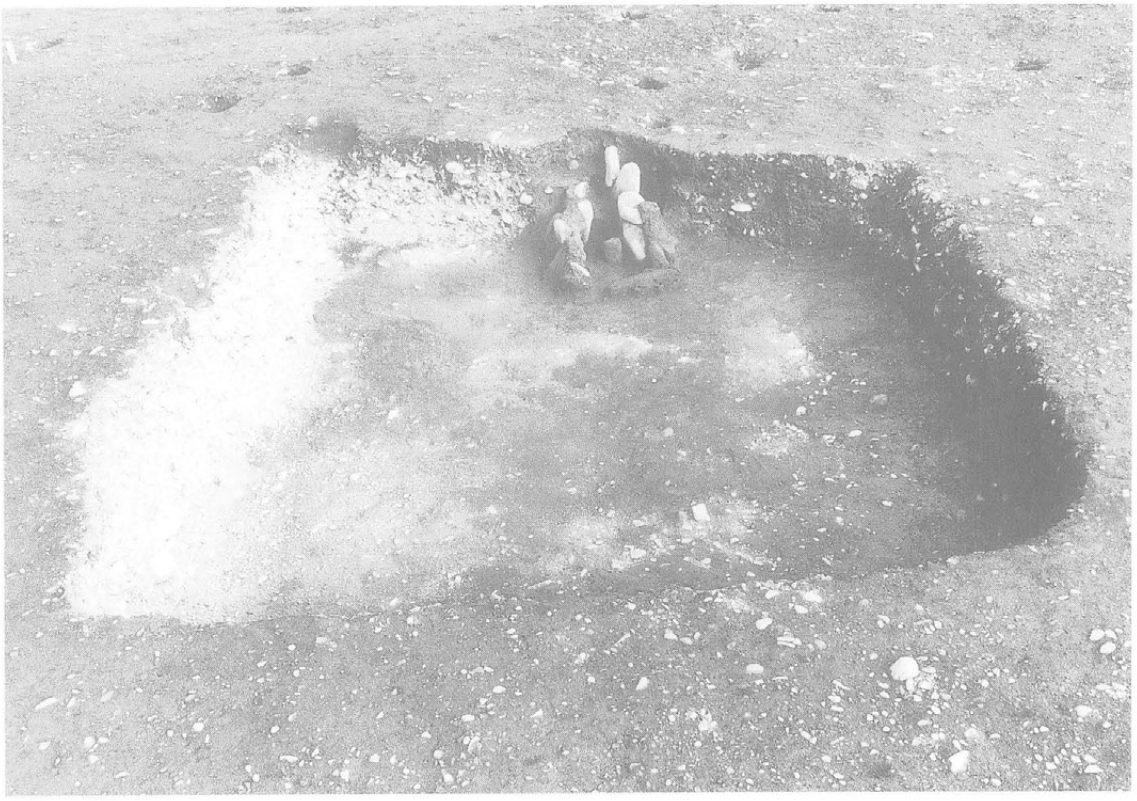
SB6　礫等出土状況

SB6

SB7

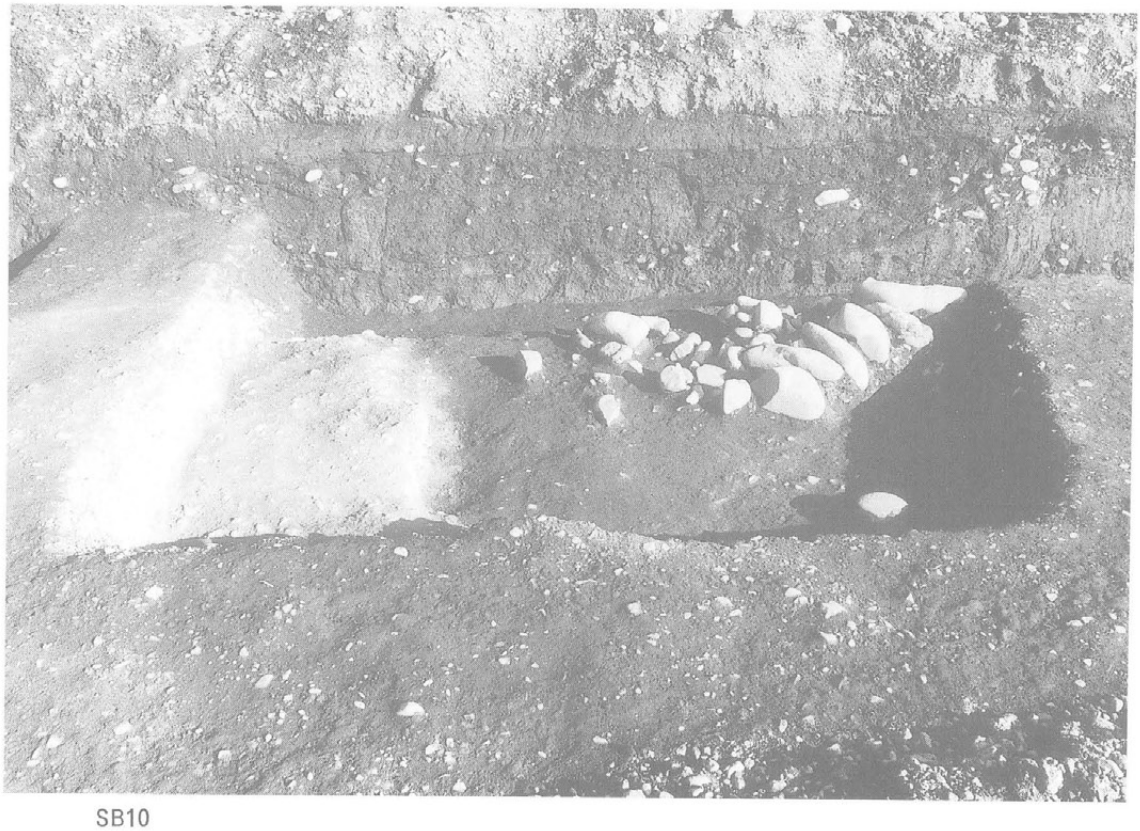
SB8　遺物等出土状況

SB８　カマド



SB8

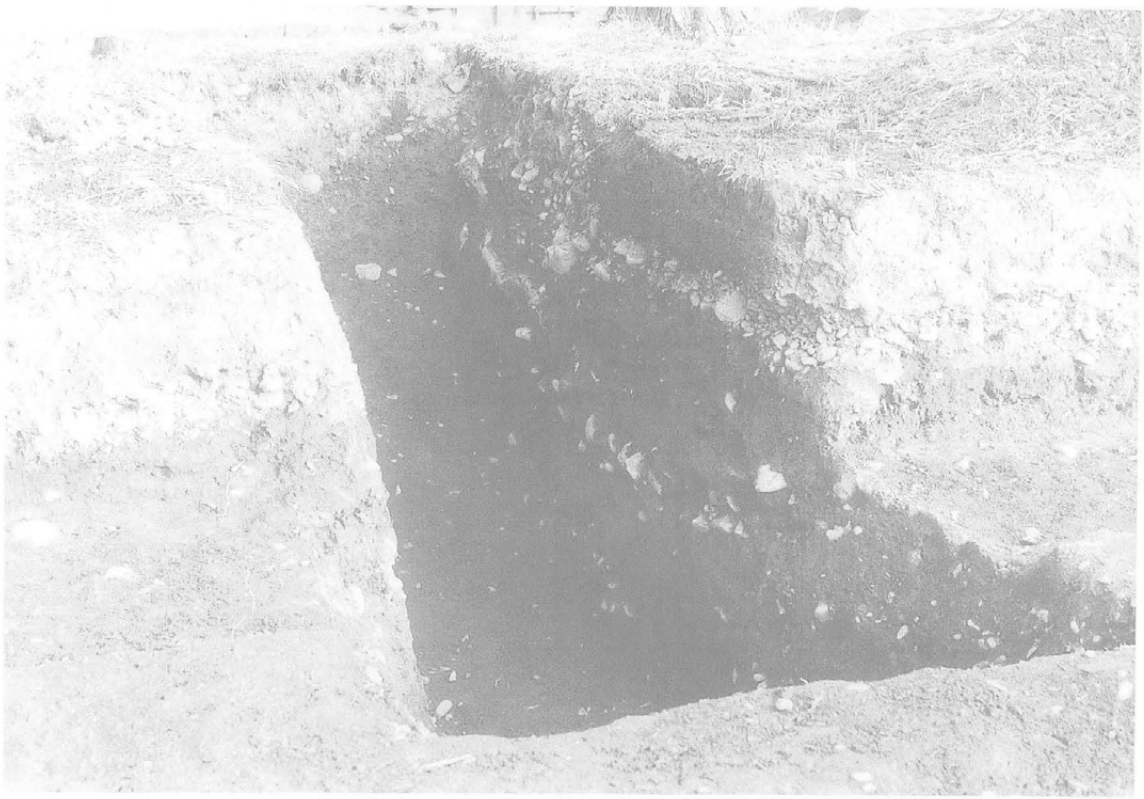
SB9



SB10

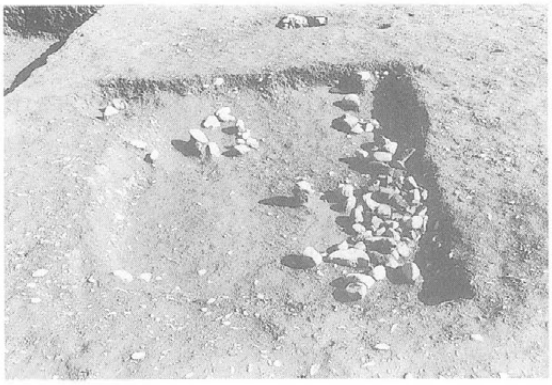
SB11

SB11　カマド



堀（北側）

堀（東側）



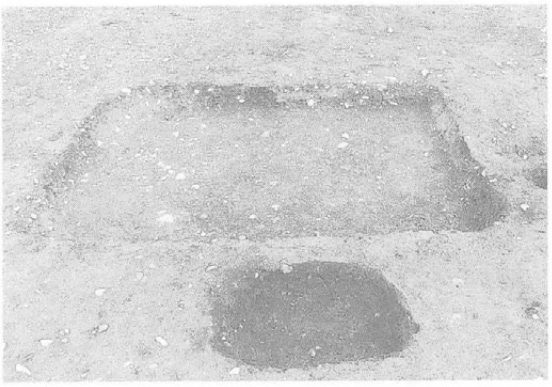
SB3

SK24　周辺

SB5

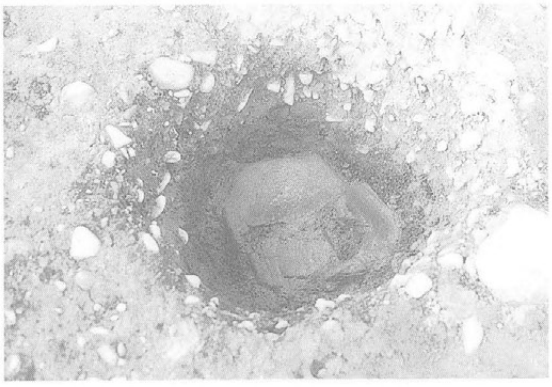
SK328　周辺

SK2



SK383（手前）・SK385

SK6　土層



SK374

1

3

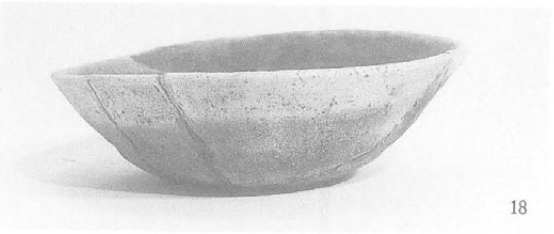
4

5

11

9

17


18

19

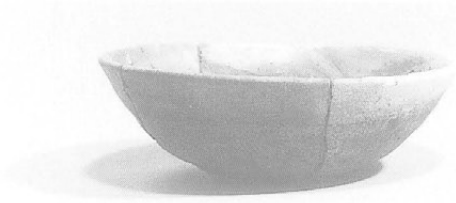
26

27

SB1・SB2　出土土器

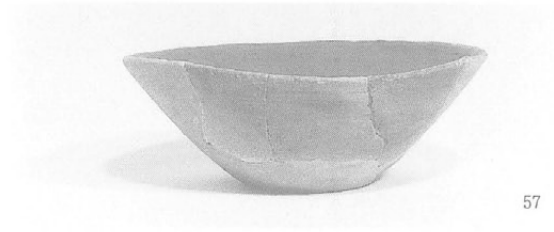
29

38


32

54

33


57

36

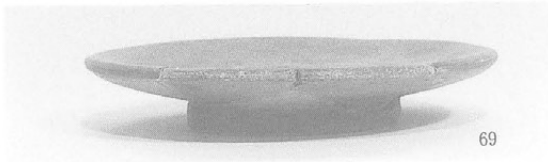
58

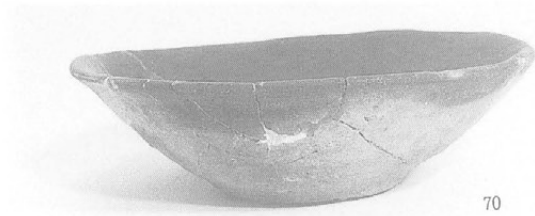
37

60

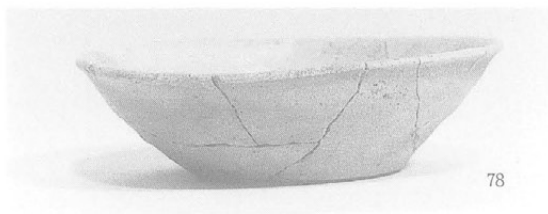
SB2・SB6　出土土器

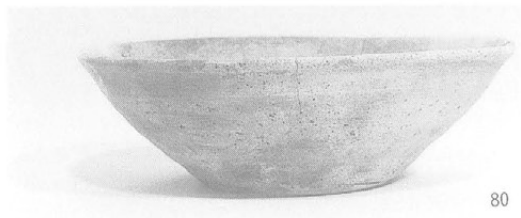
68

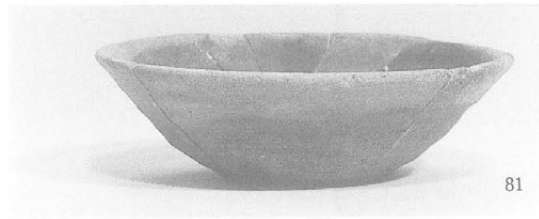

69

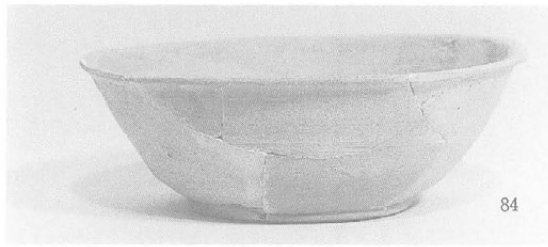

70

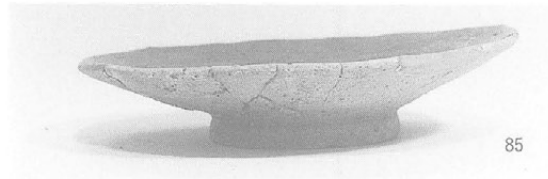
77

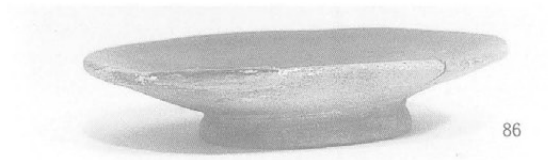

78


80

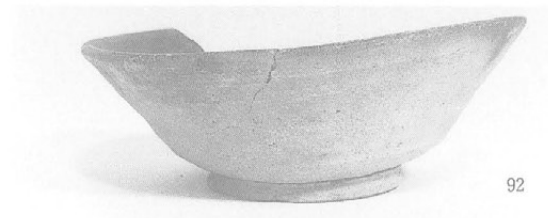

81


84


85


86

91

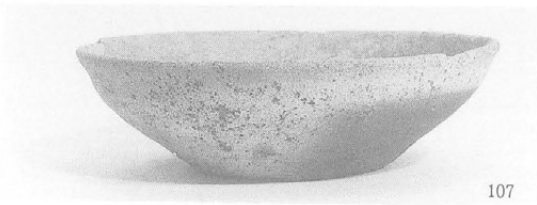

92

93

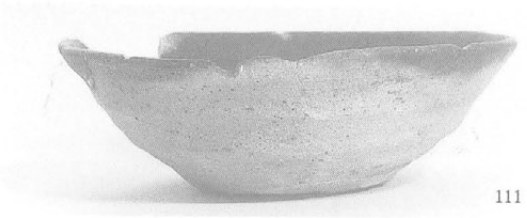
SB7・SB8　出土土器

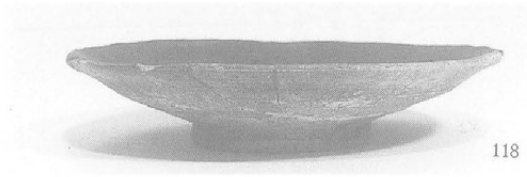
97

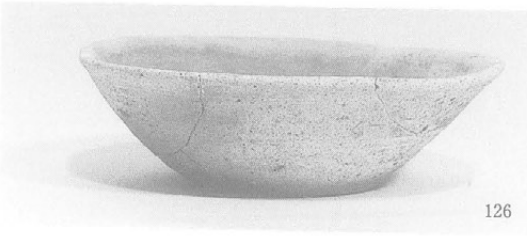
98

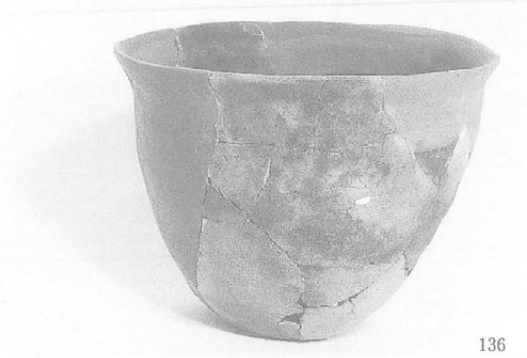

107

109


111


118

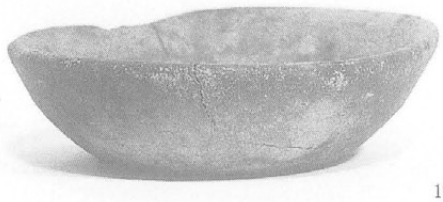

126


136

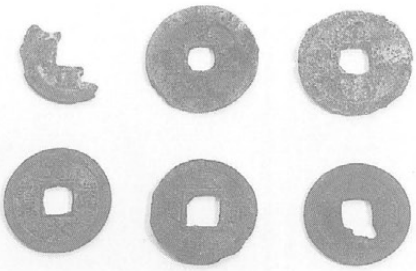
163

168

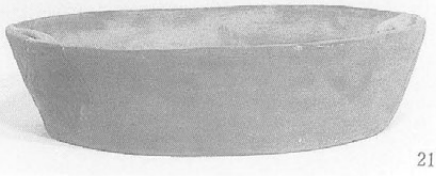
SB8・SB9・SB10・SB11・土坑出土土器・陶器



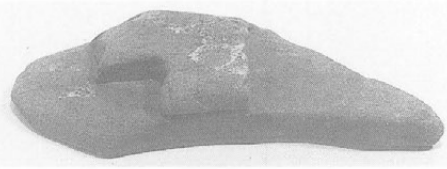
172



銭貨



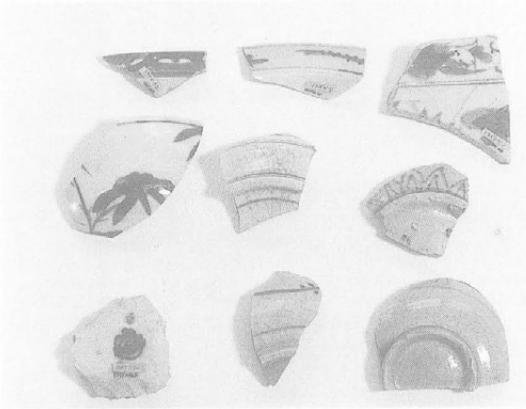
211



250

瀬戸美濃系陶器・磁器

256



肥前系磁器

257

土器・陶磁器、銭貨、石器・石製品

吉野町館跡遺跡

県営ほ場整備事業豊科南部地区に係る
埋蔵文化財発掘調査報告書

平成4年3月20日　印刷
平成4年3月25日　発行
発行　豊科町教育委員会
長野県南安曇郡
豊科町大字豊科4289－1

印刷　㈲安曇印刷
豊科町大字豊科4821